

統計年鑑

1 9 5 3



大 牟 田 市



大牟田市章



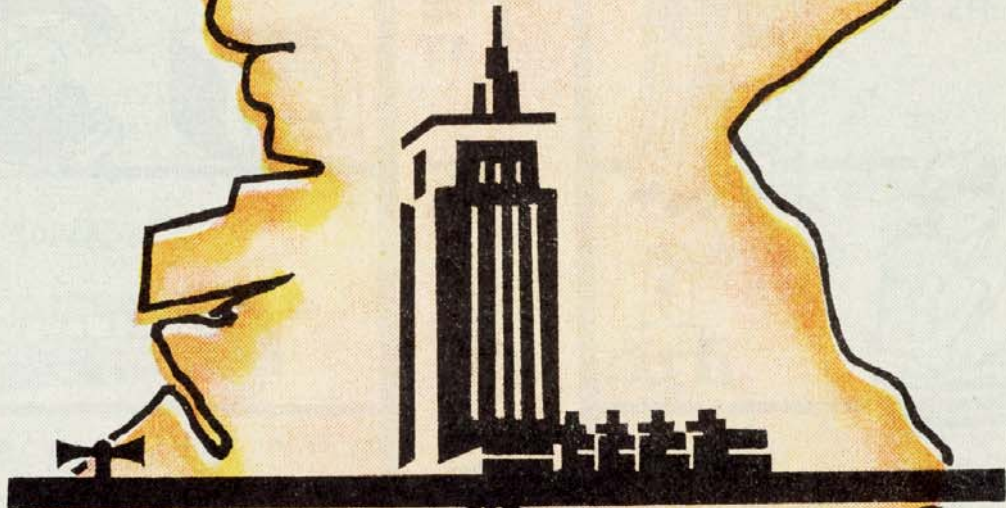
市章の説明

市名大牟田を図案化したもので外郭の六角形は天然特産物たる石炭（くろだいや）を象形化したものである

大牟田の位置



昭和28年度
一般会計当初予算表



歳入
988.161千円

市税	63.9%
国庫支出金	16.2%
市債	11.1%
雑収入	4.1%
その他	4.7%

歳出
988.161千円

教育費	18.6%
市役所費	14.8%
警察消防費	14.8%
社会及労働施設費	14.4%
失業対策費	8.2%
保健衛生費	7.6%
復興費	5.4%
諸支出金	3.7%
土庫費	3.3%
公債費	3.1%
その他	6.1%

統計から見た市民生活

27年末

自転車
6.7人に1台

電話15.8世帯に1台

ラジオ2.3世帯に1台

バス 3,021人に1台

乗用車 1,853人に1台

トラック 776人に1台

水道1人1ヶ月1.9m³

ガス 18.7世帯に1基

消防自動車 9,801.8人に1台

医師 873人に1人

電燈 1戸に4.9燈

離婚1日平均 0.6件

結婚1日平均 4.2件

出生7日平均 14.5人

死亡1日平均 5.0人

新聞 1.1世帯に一部

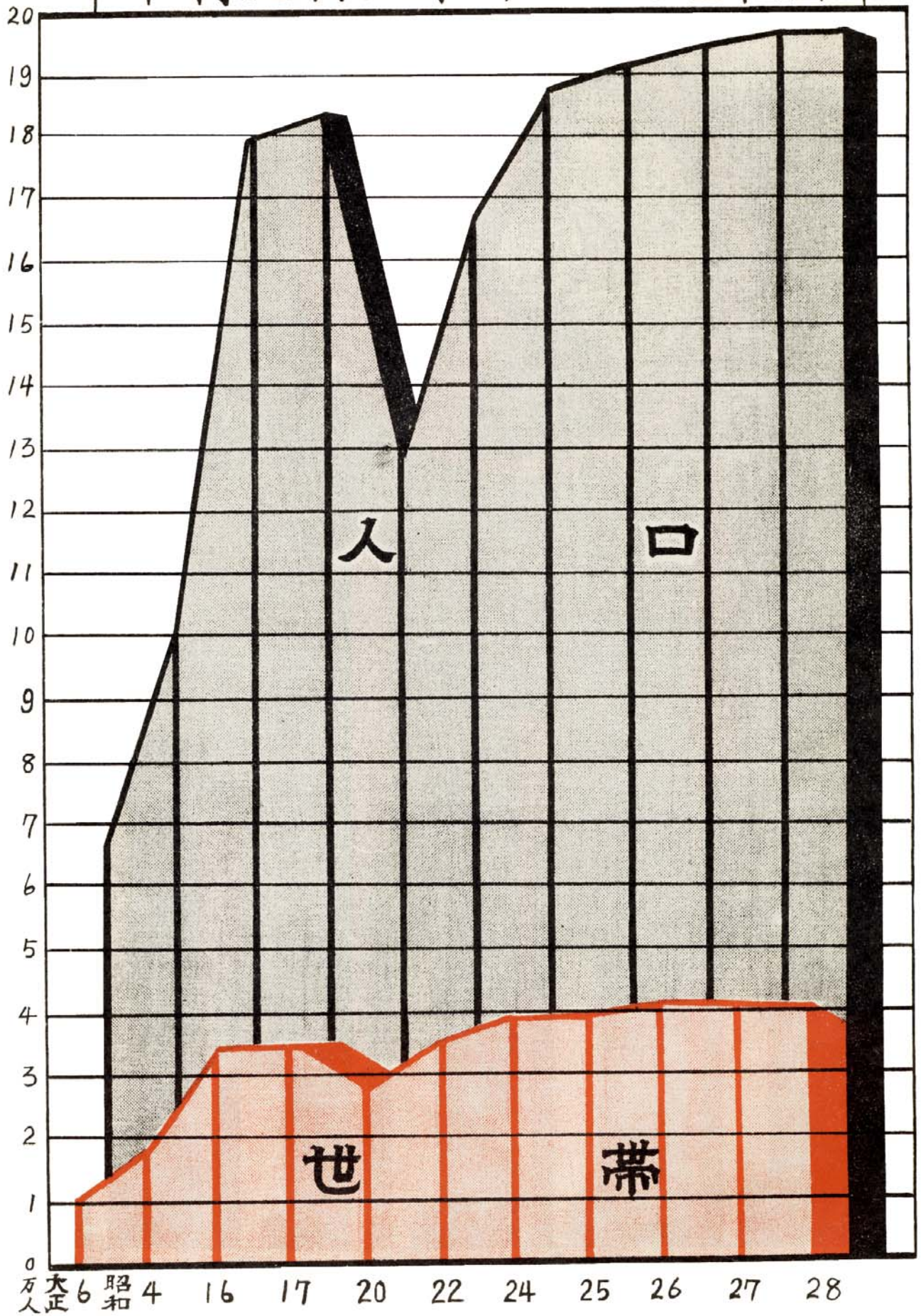
市予算 1人当 5,033円

消防吏員 1,906人に1人

市吏員 158人に1人

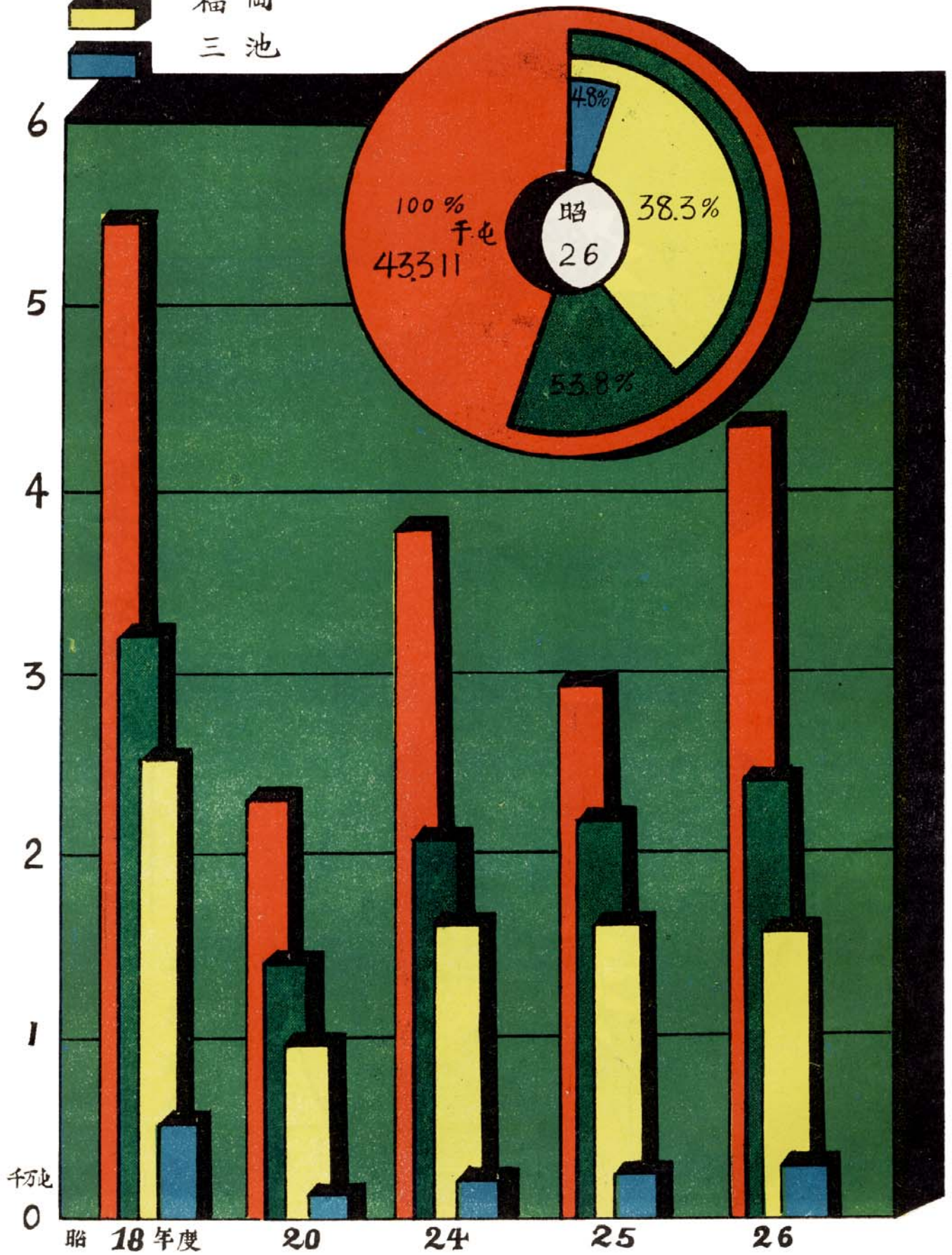
警察吏員 704人に1人

市制施行以来の人口及び世帯数



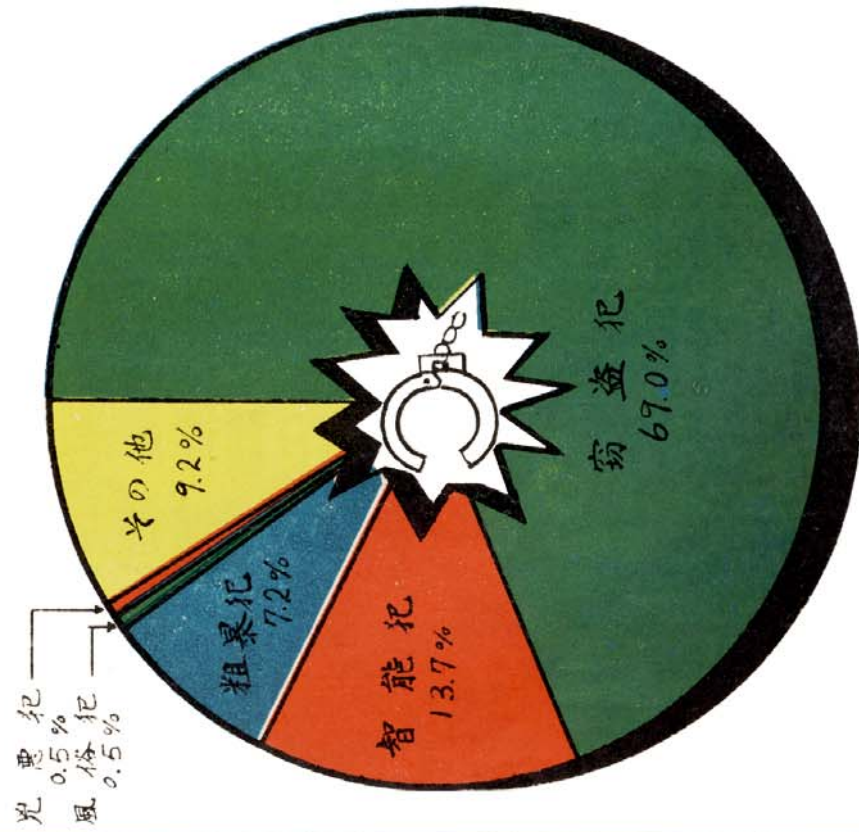
石炭出炭高

全 國
 九 州
 福 岡
 三 池

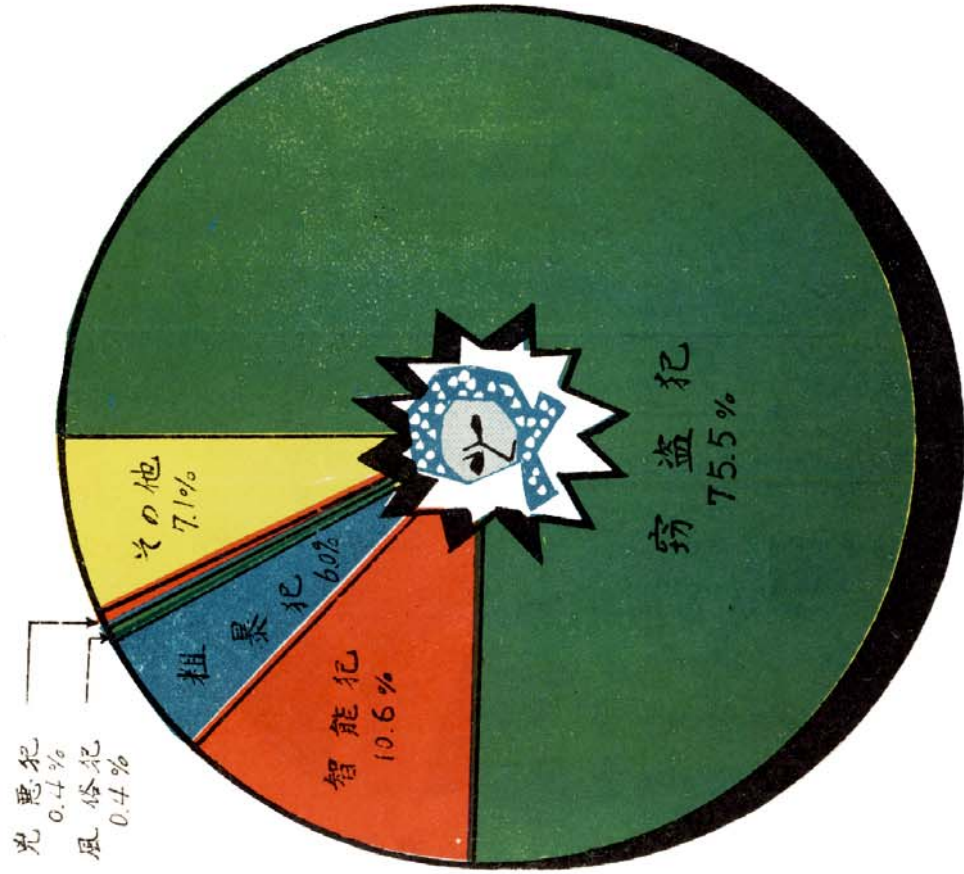


犯罪別検挙及び発生の割合

検挙総数 5,336件



発生総数 6,301件





田中市長



山田助役



猿渡収入役

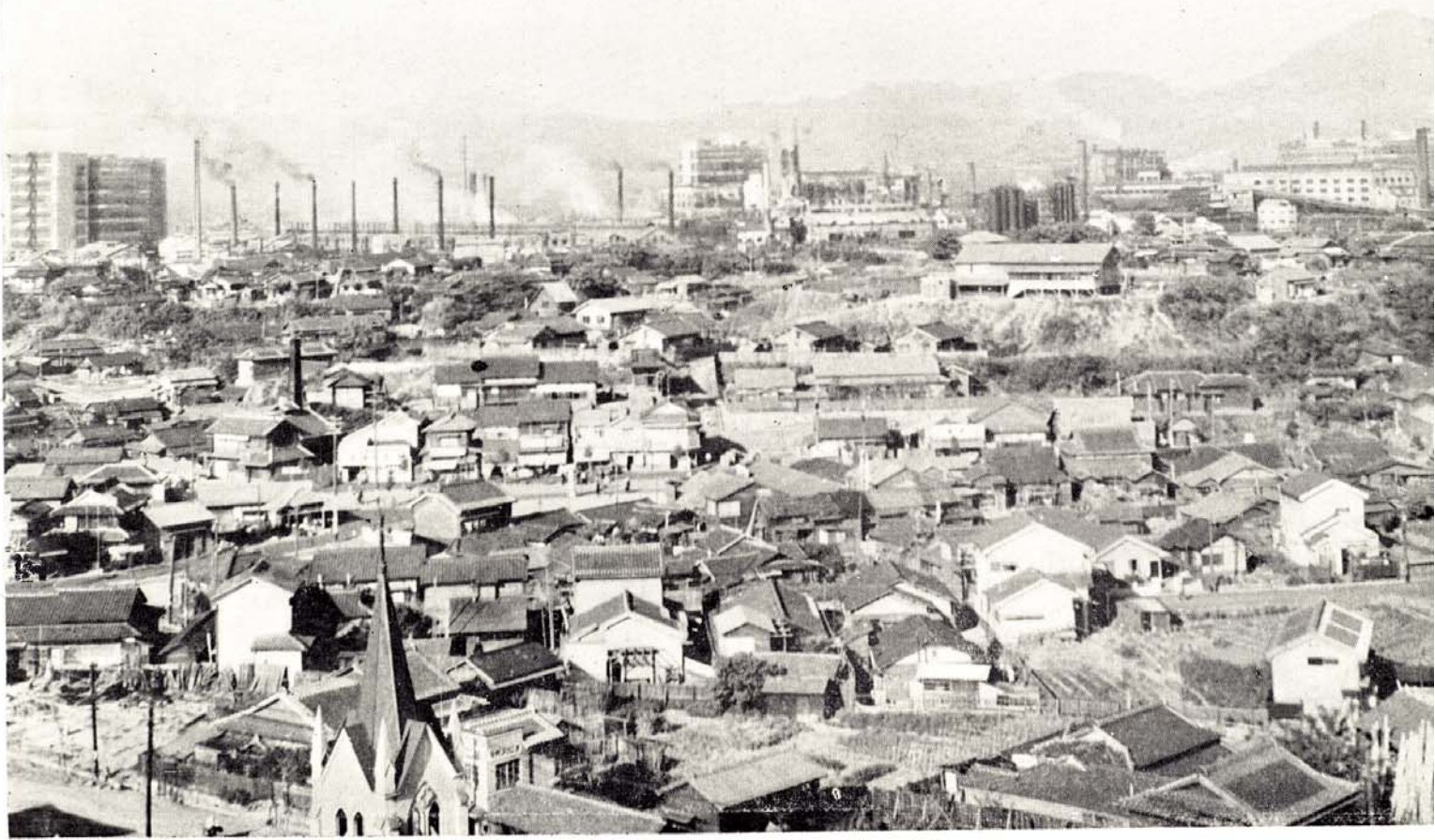


大牟田市役所



工 鉞 っ た 成 興 復





市田牟大市都業





大
牟
田
駅



シ
ョ
ッ
ピ
ン
グ
セ
ン
タ
ー
銀
座
通
り



躍進しつつある三池港

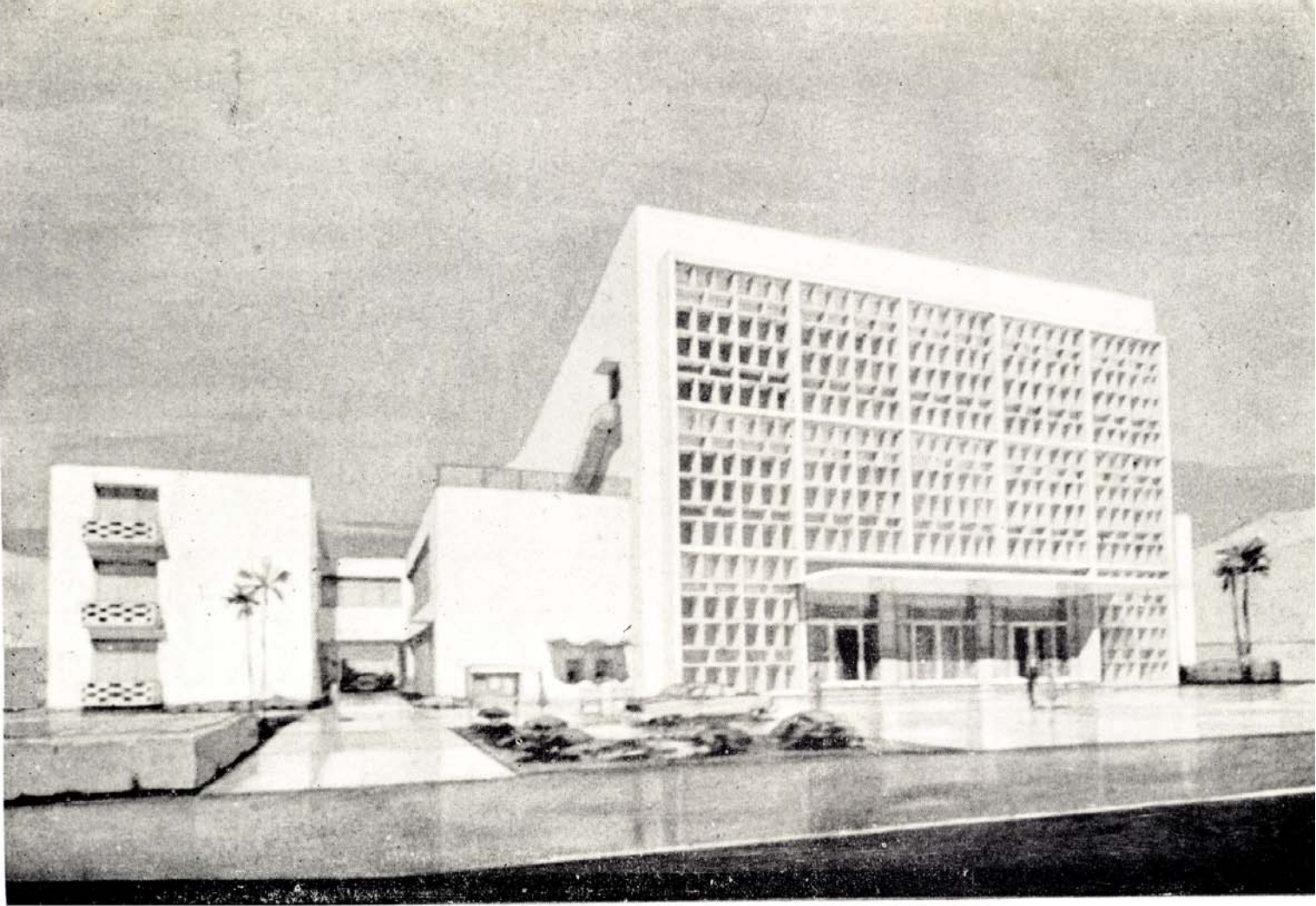


炭都商工業の改善発展を目ざす商工会議所

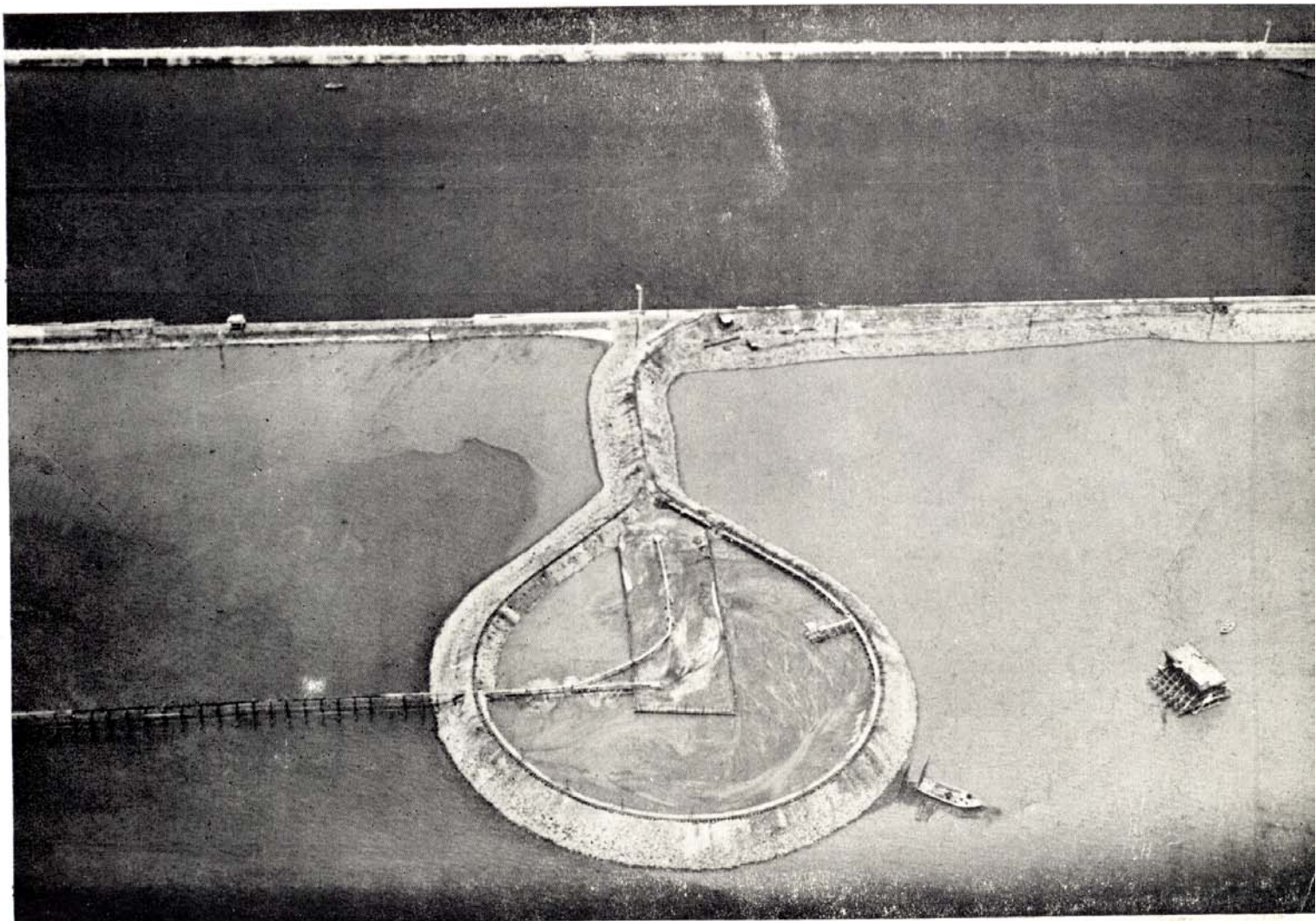
延命公園



三池山 普光寺の臥竜梅

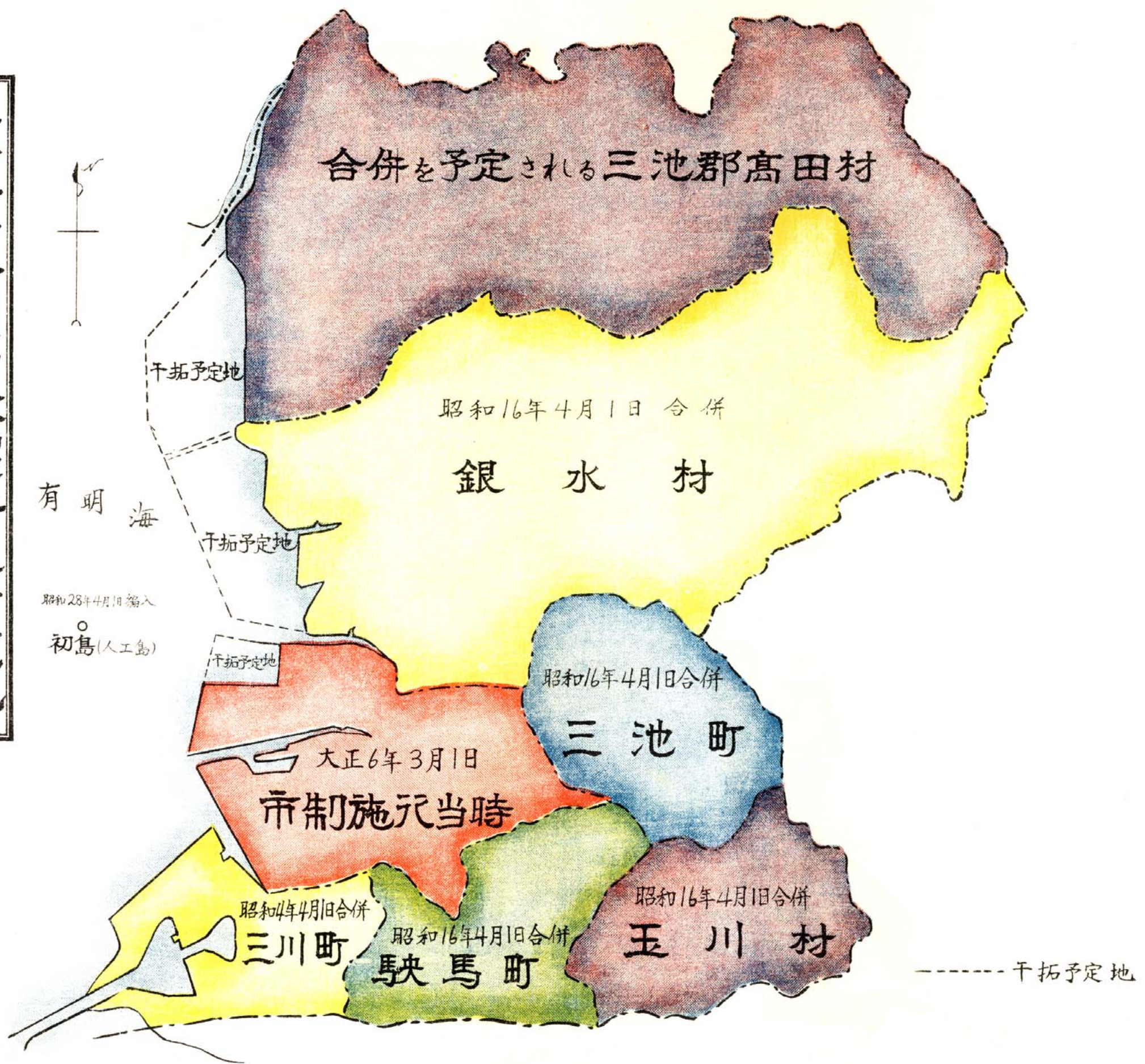


近代建築の粋を誇る市民館（昭和29年4月完成予定）



造成中の第二人工島（朝日新聞社撮影）

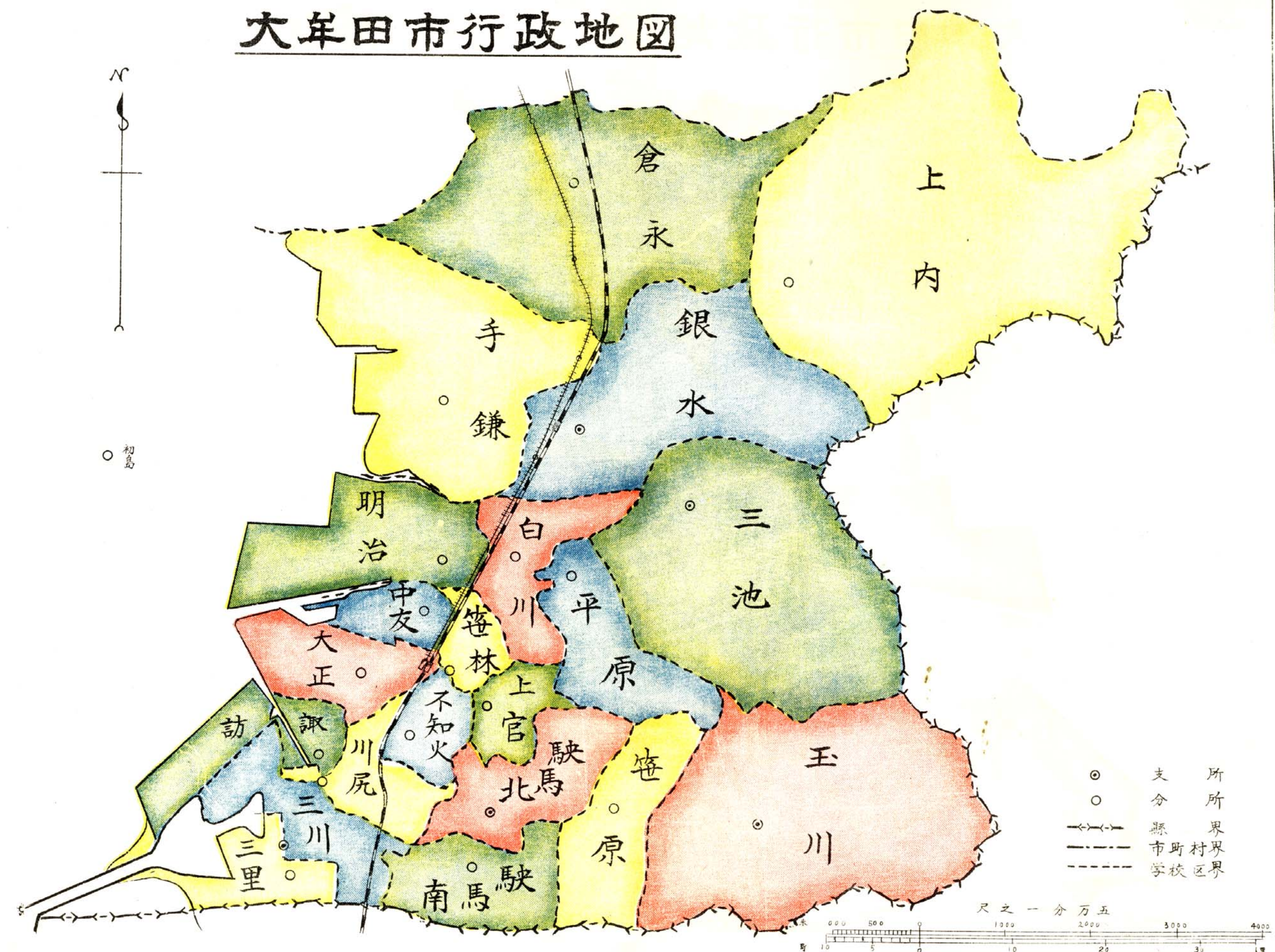
大牟田市拡張趨勢及予定地



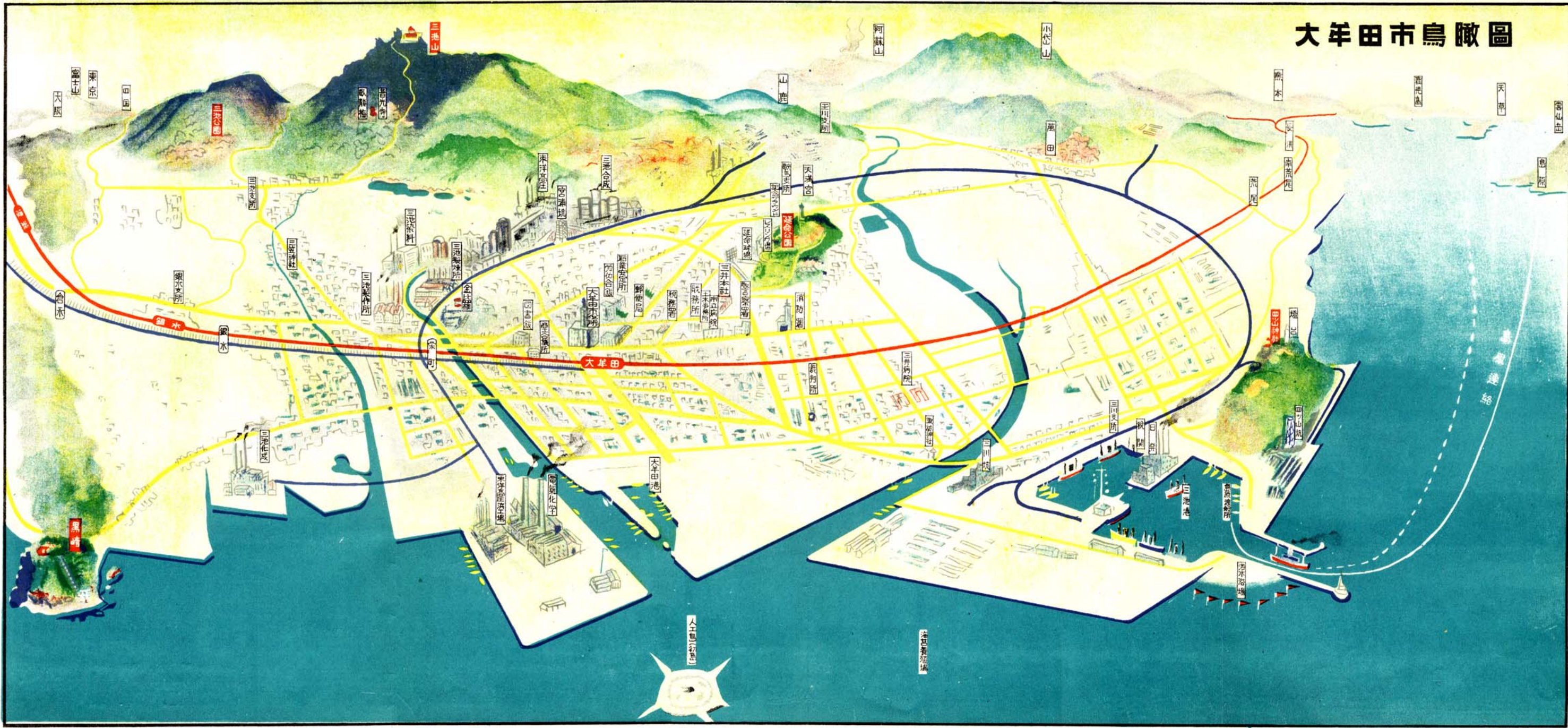
大牟田市行政地図



初島



大牟田市鳥瞰圖



は し が き

1. この統計年鑑は大牟田市の市勢を一般に紹介するために従来発行してきた統計年鑑の内容を拡充し、これにできるだけ新しい資料をとり入れて編纂したものである。
2. この統計年鑑の様式及び内容はさきに総理府統計局から示された標準規画によつたものである。
3. この統計年鑑は昭和28年版として内容は主として昭和27年中の資料を基準としこれに過去7ヶ年間の計数を配置したが調査の関係上これと異なるものは調査期日を附記した。
4. 終りに貴重なる資料を提供された関係各位に対して深甚の謝意を表し今後の御協力と御指導をお願いする次第である。

昭和28年8月

總 務 部 庶 務 課

大牟田市統計年鑑目次

第一編	沿革及び土地気象	1
1. 沿革	第1表 大牟田の歴史	2
2. 土地	位置の概況 地勢の概況	4
	第2表 面積	
	第3表 地区別	
	第4表 昭和22年～27年有租地地目別面積	
	第5表 校区別宅地調	
	第6表 河川調	
3. 気象	気象の概況	7
	第7表 気象累年比較	
	第8表 昭和18年～27年気温及降水量	
	第9表 昭和27年気象類別月表	
	第10表 昭和27年気温日表	
	第11表 昭和27年12月気温日表	
第二編	人口	7
1. 人口静態	人口静態の概況	15
	第1表 累年別人口世帯数	
	第2表 校区別人口及び世帯数	
	第3表 町別人口及び世帯数	
	第4表 人口密度	
	第5表 産業別人口	
	第6表 本籍及び非本籍地人口世帯数	
	第7表 県下12市人口及び世帯数	
	第8表 外国人数	
2. 人口動態	人口動態の概況	17
	第9表 人口動態	
	第10表 ”	
	第11表 昭和27年年令別男女別死亡者数	
	第12表 昭和22年～27年転入転出口数	
第三編	産業	17
1. 鉱業	鉱業の概況	19
	第1表 三池鑛業所月別従業員	
	第2表 昭和20年～27年度出炭高	
	第3表 三池炭鉱月別出炭量	
	第4表 炭坑事故による人的被害状況	
2. 工業	工業の概況	22
	第5表 経営組織別工場数	
	第6表 工業中分類別工場数、従業者数及生産金額	
	第7表 工場数及び生産金額累年比較	
	第8表 主要工場、生産数量及び金額	
3. 電力	電力生産の概況	
	第9表 昭和21年～27年電力生産量	
	第10表 昭和27年度月別電力生産量	
	第11表 電燈需要	
	第12表 用途別電力需要	

第13表 業種別電力需要

4. 瓦	斯	-----	26
	瓦 斯 の 概 況		
	第14表	ガ ス	
	第15表	ガス供給戸数及び孔口数	
	第16表	ガ ス 供 給 量	
5. 水	道	-----	27
	水 道 の 概 況		
	第17表	上水道沿革一覽表	
	第18表	水 道	
	第19表	取水唧筒設備	
	第20表	仲継唧筒設備	
		上水道施設一覽図	
		流下系統図	
	第21表	急速濾過池	
	第22表	配 水 池	
	第23表	液体塩素注入機	
	第24表	昭和22年~27年水道用地鉦管その他	
	第25表	昭和22年~27年給水料金	
	第26表	昭和22年~27年給水栓及び戸数類別	
6. 農	業	-----	29
	農 業 の 概 況		
	第27表	経営規模別専業企業別農家戸数	
	第28表	〃 地区別農家戸数	
	第29表	〃 耕地面積	
	第30表	耕地種類別面積	
	第31表	経営規模別耕地面積	
	第32表	〃 収入源別業態	
	第33表	〃 農家の教育程度	
	第34表	経営耕地の便否	
	第35表	森 林	
	第36表	経営規模別年令別男女別人数調	
	第37表	家族構成人員別専兼業調	
	第38表	農機具の現在所有調	
	第39表	山林原野の状況	
	第40表	経営耕地面積広狭別農家数	
	第41表	専業兼業別農家数	
	第42表	自小作別農家数	
	第43表	経営耕地面積	
	第44表	貸付農用地面積及び賣家数	
	第45表	賣用地別面積	
	第46表	畜力機械力使用別農家	
	第47表	〃 種類別	
	第48表	昭和22年~27年主要農産物調	
	第49表	〃 食糧供出実績表	
	第50表	賣業協同組合調	
7. 畜	産	-----	40
	畜 産 の 概 況		
	第51表	経営規模別家畜の飼育数	
	第52表	畜 産 状 況	
	第53表	昭和22年~27年屠畜状況調	
8. 水	産 業	-----	41
	水 産 業 の 概 況		
	第54表	専業兼業別漁業者数	
	第55表	業種別従業者数	
	第56表	使用漁具別組合員数	
	第57表	所 有 漁 船 数	
	第58表	〃	
	第59表	海面漁業漁家数	

第60表 昭和23年～37年漁獲数量

9. 干拓	拓	① 三池干拓概況 ② 人口島概況 ③ 堂面川地先干拓計画概況	42
第四編 経 済			
1. 事業	業	所事業所調査の一般的説明 事業所調査の結果概況 第1表 産業分類別事業所及び従業者数 第2表 " 従業者数割合 第3表 " 規模事業所数及び従業者数 第4表 " 事業所数	43
2. 商業	業	商業調査の一般的説明 商業調査の結果概況 第5表 業種別店舗数従業者数及び商品賣上高 第6表 "	46
3. 物価	価	特別消費者価格調査の一般的説明 第7表 1世帯当り1ヶ月間の費目別平均支出金額 第8表 昭和27年月別物価指数 第9表 " 生活必需料金調	47
4. 金融	融	金融概況 第10表 金融事業所数 第11表 銀行名称及び所在地 第12表 銀行諸勘定 第13表 " 第14表 内国為替 第15表 手形交換高 第16表 市内特定局 第17表 郵便貯金(本局分) 第18表 振替貯金(%) 第19表 定額貯金(%) 第20表 積立貯金(%) 第21表 外郵便為替(%) 第22表 公益質屋貸付及回収状況 第23表 " 市民1人当り利用状況	48
5. 貿易	易	貿易概況 第24表 輸出入貨物(三池港) 第25表 昭和27年輸出貨物 第26表 " 輸入貨物 第27表 " 移出入貨物 第28表 昭和22年～27年移出入貨物(大牟田港) 第29表 昭和27年出貨物 第30表 " 移入貨物	54
第五編 交 通			
1. 道路	路	陸上運輸の概況 第1表 道路延長調 第2表 舗装道路区分別調 第3表 橋梁数	57
2. 国鉄	鉄	第4表 昭和22年～27年乗降客及手荷物調 第5表 "	57

第 9 表	昭和22年～27年国鉄貨物取扱数
第 7 表	〃
第 8 表	昭和27年国鉄主要貨物調
第 9 表	〃

3. 私 鉄.....59

第 10 表	昭和 27 年西日本鉄道乗降客数
第 11 表	米 町 駅
第 12 表	銀 水 駅
第 13 表	東 甘 木 駅
第 14 表	倉 永 駅
第 15 表	渡 瀬 駅

4. バスその他.....60

第 16 表	市 内 西 鉄 バ ス
第 17 表	昭 和 27 年 西 鉄 バス輸送調
第 18 表	産 交 バ ス
第 19 表	昭 和 27 年 産 交 バス輸送調
海上運輸の概況	
第 20 表	昭和21年～27年三池島原間渡船乗降調
第 21 表	昭和27年三池～島原間渡船月別乗降人員調
第 22 表	昭 和 22 年 ～ 27 年 諸 車調

5. 船 舶.....62

第 23 表	昭 和 27 年 三池港入港船舶調
第 24 表	〃 大牟田港 〃
第 25 表	三 池 港 入 港 船 舶 調
第 26 表	大 牟 田 港 入 港 船 舶 調
第 27 表	在 籍 船 舶 調

6. 通 信.....64

第 28 表	昭 和 22 年 ～ 27 年 小 包 郵 便
第 29 表	〃 電 信 発 着 数
第 30 表	〃 電 話 加 入 者 及 び 市 外 通 話 料

7. 報 道.....64

第 31 表	昭和23年～27年月別ラヂオ聴取調
第 32 表	新 聞 及 び 放 送

第六編 地方財政

1. 一 般 会 計.....65

財 政 の 概 況

第 1 表	昭 和 28 年 度 当 初 予 算
第 2 表	〃 市 税 内 訳
第 3 表	累 年 別 市 財 政 計 数 表
第 4 表	累 年 別 決 算 表
第 5 表	昭 和 27 年 度 市 税 徴 収 成 績 調

2. 特 別 会 計.....68

第 6 表	昭 和 28 年 度 予 算 市 立 病 院
第 7 表	〃 公 益 質 屋
第 8 表	〃 国 民 健 康 保 険
第 9 表	〃 競 馬 費
第 10 表	〃 競 輪 費
第 11 表	競 馬 競 輪 事 業
第 12 表	水 道 事 業
第 13 表	特 別 会 計 累 年 別 決 算 表
第 14 表	地 方 債 目 的 別 現 在 高
第 15 表	市 有 財 産

第七編 行 政

市 政 の 概 況

1. 執 行 機 関.....73

第 1 表	行 政 機 構
-------	---------

第2表	歴代三役
第3表	助入役
第4表	收吏員定員数
第5表	吏員年令別本俸額調査
第6表	市職員実態調査
第7表	

2. 議決機関76

第8表	市議会の組織
第9表	議長
第10表	副議長
第11表	現市議会議員
第12表	昭和27年本会議開催状況
第13表	" 委員会協議開催状況
第14表	昭和27年市議会審議事項

3. 選挙78

選挙の概況

第15表	各種選挙状況
第16表	基本選挙人名簿登載人員
第17表	昭和28年4月19日執行衆議院議員選挙政党派別得票
第18表	昭和28年執行衆議院議員選挙投票状況

第八編 司法及び警察

1. 司法81

第1表	司法機関
第2表	昭和27年登記件数
第3表	民事訴訟
第4表	"
第5表	刑事訴訟
第6表	"
第7表	検察官処理事件
第8表	昭和27年取扱事件
第9表	"
第10表	家事調停事件
第11表	昭和27年審判事件処理状況

2. 警察84

警察の概況

第12表	警察職員定員数
第13表	派出所駐在所轄区域及配
第14表	昭和23年~27年刑法犯市内発生検撃状況
第15表	刑法犯罪市内発生検挙月別及検挙人員数
第16表	昭和27年被疑者学歴調
第17表	" 職業被疑者数
第18表	" 犯罪原因別調
第19表	" 青少年犯罪者数
第20表	昭和24年~27年交通事故数
第21表	昭和27年交通事故数
第22表	" 交通事故被害者男女別年令別調
第23表	" 原因調
第24表	" 時間別交通事故数
第25表	地区別交通事故数
第26表	昭和24~26年経済違反数
第27表	昭和24~27年遺失物拾得物調
第28表	昭和27年自殺者数
第29表	警察取締營業者数

第九編 消防

1. 消防91

消防の概況

第1表	消防本部及び消防署人員配置表(未定)
第2表	消防團

第3表	消 防 設 備
第4表	消 防 水 利
第5表	特 定 消 防 対 象 物
第6表	危 険 物 製 造 所 等 設 置 数
第7表	危 険 物 取 扱 主 任 者 映 写 技 術 者 有 資 格 者 数
第8表	昭 和 27 年 中 建 築 物 同 意 事 務 処 理 状 況
第9表	昭 和 22 年 ~ 27 年 火 災 覚 知 調
第10表	〃 火 災 発 生 損 害 調
第11表	〃 中 時 刻 別 火 災 発 生 件 数
第12表	6 ケ 年 間 火 災 統 計 表
第13表	昭 和 22 年 ~ 27 年 月 別 火 災 発 生 件 数
第14表	昭 和 22 年 ~ 27 年 原 因 別 火 災

第十編 教育及び文化

1. 教 育.....97

第1表	昭 和 22 年 27 年 学 校 調
第2表	小 学 校
第3表	中 学 校
第4表	高 等 学 校
第5表	昭 和 22 年 ~ 27 年 学 令 児 童 調
第6表	昭 和 27 年 度 計 測 検 査 平 均 表
第7表	中 ・ 高 学 生 卒 業 後 の 進 路 状 況
第8表	小 学 校 の 校 地 及 び 校 舎
第9表	中 学 校 の 校 地 及 び 校 舎
第10表	小 中 学 校 教 職 員 年 令 別 人 員
第11表	教 職 員 職 名 別 人 員

2. 公 民 館.....101

(1)	組 織 状 況
(2)	運 営 状 況

3. 図 書 館.....103

図 書 館 の 概 況

第12表	図 書 館
第13表	昭 和 27 年 月 別 閲 覧 者 数
第14表	〃 職 業 別 図 書 閲 覧 者 数
第15表	〃 分 類 別 図 書 閲 覧 冊 数
第16表	分 類 別 図 書 冊 数

4. 宗 教.....104

宗 教 の 概 況

第17表	神 社
第18表	寺 院 会
第19表	教 会

5. 社 会 事 業.....105

第20表	社 会 事 業 施 設
第21表	授 産 状 況
第22表	家 庭 授 産 生 業 資 金 借 入 調
第23表	生 活 保 護 法 に よ る 取 扱 数
第24表	共 同 募 金 実 績
第25表	身 体 障 害 者 調
第26表	公 益 質 屋 実 績 総 括 表
第27表	公 益 質 屋 職 業 別 貸 付 及 び 弁 済 状 況
第28表	入 質 物 種 類
第29表	霊 柩 車 校 区 別 利 用 状 況
第30表	戦 災 者 及 び 復 員 者 調

第十一編 保 健 衛 生

1. 医 療.....109

保 健 の 概 況

第 1 表	保健衛生機関及び従事者
第 2 表	医師の分布状況
第 3 表	病 院 調
第 4 表	昭和27年月別市立病院患者取扱数
第 5 表	昭和24年～27年結核患者発生及び死亡数
第 6 表	昭和27年結核患者年令別発生死亡数
第 7 表	” 主 要 病 種 別 死 亡 数
第 8 表	” 乳 児 死 亡 者 原 因 調
第 9 表	昭和22年～27年法定傳染病発生及び死亡数
第 10 表	昭和27年性病患者月別発生状況
第 11 表	” 年 令 別 発 生 状 況
第 12 表	” 職 業 別 性 病 患 者 発 生 状 況
第 13 表	出 産 状 況
第 14 表	妊 婦 検 査
第 15 表	保健所取扱業者
第 16 表	昭和27年予防接種状況
第 17 表	ツベルクリン反応検査状況

2. 清 掃.....114

清 掃 の 概 況

第 18 表	清掃従事者及び器具数
第 19 表	汚物搬出延車及び人員数
第 20 表	汚物搬出量及塵芥焼却数

3. 国民健康保険.....115

国 保 の 概 況

第 21 表	国民健康保険療養給付状況
第 22 表	” 收 納 状 況

第十二編 労 働 及 び 住 宅

1. 労 働.....117

労 働 概 況

第 1 表	昭和21年度～27年度職業紹介状況
第 2 表	日 雇 労 務 者
第 3 表	昭和27年度産業分類別就職状況
第 4 表	失 業 保 險 受 給 者
第 5 表	労 働 組 合 調
第 6 表	労 働 組 合 連 合 団 体
第 7 表	労 働 争 議 発 生 件 数

2. 住 宅.....119

住 宅 概 況

第 8 表	居 住 々 宅 数
第 9 表	年 度 別 市 営 住 宅 調
第 10 表	市 営 住 宅 建 設 状 況
第 11 表	校 區 別 建 物
第 12 表	建物の種類構造別（福岡県12市比較表）

第十三編 觀 光

1. 産業観光	125
2. 一般観光	
3. 年中行事	
4. 事業所案内	

附 録

1 名簿編	131
-------	-----

1. 官 公 署
2. 議 員 会
3. 委 員 会
4. 教 育 行
5. 運 輸 通 信
6. 銀 行 社
7. 新 聞 社
8. 主 要 事 業 所
9. 会 社
10. 団 体

2 昭和27年市政日誌

第一編 沿革及び土地氣象

- 1 沿 革
- 2 土 地
- 3 氣 象

昭和28年版大牟田市統計年鑑

第一編 沿革及び土地氣象

1 沿革

第1表 大牟田の歴史

(市庶務課)

時代	年代	主な事項	
古代	平安朝時代	景行天皇高田行宮に居たもう時高さ 970丈に及ぶ歴木の巨木があつたのに因み「御木の国」と称せらる	
	鎌倉時代	三毛郡と称せらる	
	室町時代	今山岳の活動によつて「三つの池」が出現したので頼朝の時三池と称せらる	
	豊臣時代	傳治左衛門という一農夫山中で焚火中に燃える石(石炭)を発見した	
	徳川時代	立花氏三池氏領治す	
		平塚善左衛門早鐘山の谷に堤を築く	
		小野春信藩主から平野鷹取山の地を賜り同年11月此処に石炭の採掘を始める	
		三池藩主立花種周は石山御用掛を置き石山法度を定め石炭を採掘せしめた	
		上内の立花内膳吉ヶ谷の大堤を築く、その面積6町5反余り	
		三池藩主移封	
明治時代	寛政 8 年	伊能忠敬一行三池郡地方測量	
	享保6年3月(1721)	柳河藩士小野寛隆平野山の地を買ひ六處に坑を穿ひ石炭の採掘を始めた	
	文化3年6月(1806)	立花氏石炭を幕府に献納	
	" 9年— (1812)	立花恭泰三池藩知事に任ぜらる	
	天保 6 年 (1835)	三池藩士族石炭採掘願出す	
	安政3年3年(1856)	三池藩は三池縣となる	
	明治2. 6. 24(1869)	炭坑一円官山となる	
	" 4. 7. 12(1871)	天梁、御木、威休等の小学校設立	
	" 4. 7. 14 "	大浦坑より大牟田川口に至る馬車鉄道完成	
	" 6. 5. —(1873)	鉾山本局と七浦坑間に始めて電話架設	
	" 6. — "	大蔵省鉾山山下規則を告示し8月1日山下入札を行う三井組の名儀人佐々木八郎に455万円にて落札し翌年1月より三井炭鉾社名義にて営業開始	
	" 11. 2. —(1878)	町村制実施大牟田、横須、稻荷、下里は大牟田町となり三池、新町、今山、歴木は三池町となる	
	" 17. —(1884)	初代大牟田町長水野澄治氏就任	
" 21. 4. 21(1888)	九州鉄道株式会社線久留米、高瀬間開通大牟田駅開設		
" 22. 4. 1(1889)	三池郡役所三池町より大牟田町に移る		
" 22. 6. — "	三池港起工		
" 24. 4. —(1891)	大牟田港起工		
" 33. 4. 25(1899)	大牟田郵便局に電話開始		
" 32. — "	三池港竣工		
" 35. 11. 3(1902)	市制施行7月3日市長巖谷忠順氏就任		
" 36. 4. 25(1903)	炭山創業翌7年8月15日三池鉾山株式会社組織改定、鉾業所、港務所、製煉所、染料工業所、製作所を設く		
" 41. 4. — (1908)	上水道市内一部通水開始		
大正時代	大正6. 3. 1 (1917)	3年20日より4月25日迄市制十周年記念国産共進会開催	
	" 6. 5. — (1917)	銀水駅開設	
	" 10. 8. 4(1921)	三池郡役所廃止	
	" 15. 3. —(1926)	大牟田電気軌道旭町より四山迄2哩27鎖敷設竣工	
	" 15. 4. 15(")	三川町市に編入	
	" 15. 7. —(")	公益質屋一本町に開所	
	昭和時代	昭和2. 12. 1(1927)	市役所火災
		" 4. 4. 1(1929)	腸チブス流行、患者大牟田市512人、三池、銀水70余人
		" 5. 2. 4 (1930)	市役所新築基礎工事着手
		" 8. 5. 27(1933)	市役所新築落成(総工費402,680円、高サ112尺、建坪416、延坪1,565坪)
" 9. 5. 8 (1934)		本市一円赤痢流行、称して9. 25爆發赤痢と呼称	
" 9. 10. 15(")		九州鉄道株式会社の電車栄町まで開通	
" 11. 3. 15(1936)		九州鉄道株式会社の電車栄町大牟田駅間開通	
" 12. 9. 25(1937)		玉川村、駛馬町、三池町、銀水村、市に編入	
" 13. 10. 1(1938)	大東亜戦争勃発		
" 14. 7. 1 (1939)			
" 16. 4. 1 (1941)			
" 16. 12. 8(")			

第1表 大牟田の歴史(続)

(市庶務課)

時代	年代	主な事項
昭和時代	昭和17.8.27(1942)	全市未曾有の風水害に襲わる
	" 18.7.一(1943)	大牟田消防署開設
	" 20.6.18(1945)	市内中心地帯、工場地帯戦災に遭う
	" 20.7.27(")	市内中心地帯工場地帯甚大な戦災に遭う
	" 20.8.15(")	終戦
	" 21.11.3(1946)	日本国憲法公布
	" 22.4.7(1947)	公選初代市長荒木万寿夫氏就任
	" 22.6.1(")	各校区に駐在員を設置
	" 22.9.1(")	連絡員を設置
	" 22.11.1(")	銀水、三池、駛馬、玉川に出張所を設置しこの地域の駐在員を廃止
	" 23.3.31(1948)	駐在員を全面的に廃止
	" 23.4.1(")	自治振興區を設け自治振興員を置く(全市248区)
	" 24.4.1(1949)	大牟田市立図書館設立
	" 25.7.25(1950)	大牟田駅新築落成
	" 25.8.15(")	出張所を廃止し支所を設置
	" 25.8.25(")	大牟田市立病院不知火町に新築落成
	" 26.1.10(1951)	自治振興區及び自治振興員を廃止
	" 26.1.11(")	分所開設
	" 26.4.2(")	三川支所開設
	" 26.10.3(")	福祉事務所開設
" 27.1.5(1952)	市内電車廃止	
" 27.5.3(")	市制35周年記念祭	
" 27.10.16(")	労働会館新築落成	
" 27.10.17(")	炭労無期限ストライキ始まる	
" 17.12.17(")	労炭ストライキ中止	

2 土地

位地の概況

本市は九州の中部東経130度26分、北緯33度1分に位し福岡県の最南端筑後平野の南端にあり、西は不知火の名高き有明海を抱き多良嶽を望み、東は三池山の連峰起伏し、北は甘木丘陵を経て三池郡高田村に連接し南は熊本県荒尾市と界す

地勢の概況

地勢は東と北に山岳丘陵を負い西と南は平坦で市街地は主としてこの地区に發展する。地下は所謂三池炭の炭層よりなり、気候は極めて温暖で乾湿も亦適度である。

第2表 面積

(市土木課)

面積	距離		極地					
	東	西	南	北	東	西	南	北
77.77km ²	12.5km		10.8km		大字四ヶ	新港町	大字東米生	大字上内

第3表 地区別

(市土木課)

地區名	全市	旧・大牟田	銀水	三池	駛馬	玉川
面積	77.77km ²	18.33	36.34	8.89	6.53	7.68

第4表 昭和22年～27年有租地地目別面積

(市稅務課)

區分	22年	23年	24年	25年	26年	27年
田畑	14,454反	14,544反	14,507反	14,427反	13,960反	13,372反
	10,852	10,842	10,876	10,725	9,773	9,543
	7,248	7,257	7,151	7,195	6,316	6,824
	1,100	1,009	1,100	1,092	1,021	858
山原	215	214	219	224	229	267
	1,818	1,818	3,619	3,614	3,816	3,804
池雜小	35,687	35,684	37,472	37,277	35,115	34,671
宅地	1,807,782坪	2,453,299坪	2,492,996坪	2,496,402坪	2,946,778坪	2,937,080坪

第5表

校 区 別 宅 地 調

(市 税 務 課)

昭和27年末

区 分	筆 数	地 積	評 価 額	摘 要	
總 計	21,824	2,937,080.10	2,541,455.254		
白笹 明上	川林 治官	799 31 430 680	138,808.64 33,868.26 195,917.29 83,032.96	115,984,738 66,557,824 168,766,687 74,770,461	
平不 大三	知 原火 正里	1,166 818 98 584	245,891.68 95,989.64 78,805.33 39,687.49	171,819,592 112,194,065 58,270,172 48,301,294	
三 諏川 駛	川 訪尻 馬	943 196 1,157 3,337	78,791.36 99,276.50 135,296.47 471,160.02	110,456,630 122,047,539 149,318,911 169,550,440	駛馬南北笹原一部
玉 三銀 上倉	川 池水 内永	869 1,761 1,542 915 1,016	86,587.72 209,148.01 154,309.54 73,783.36 67,975.65	14,345,907 65,079,812 38,931,335 12,705,449 13,179,731	笹原の一部を含む
手 区劃整理地区第1	鎌	1,703	170,030.38	36,400,869	中友校区全部大正校區半分
"	第2	1,008	178,248.77	445,801,104	川尻校区の一部上官の一部
"	第3	902	111,629.31	260,357,758	笹林の大部分不知火の一部上官の一部
"	三里地区	950	115,083.20	208,154,888	明治校区白川の一部笹林の一部
"		619	74,758.58	78,440,048	

第6表

河 川 調

(市 土 木 課)

區分	河川名	延 長	河川名	延 長	河川名	延 長	河川名	延 長	河川名	延 長	河川名	延 長
県營	白銀川	6,700m	隈 川	6,640m	大牟田川	6,360m	堂面川	5,850m	諏訪川	4,130m	合 計	29,680m
市營	甘木川	4,500	森木川	2,500	長溝川	2,480	船津新川	2,200	中尾川	2,000	野間川	2,000
	妙見川	1,700	寺南川	1,700	鳶浦川	1,600	岡 川	1,500	釈迦川	1,300	笠谷川	1,100
	小坂川	1,000	白銀川	1,100	山口川	1,100	吉ヶ浦川	800	湯谷川	600	久保田川	600
	新 川	560	東山川	1,380							合 計	31,720



(三池連山の白明)

3 気 象

気象の概況

東南の二方に山岳を廻らし自然の障壁を作り気候概して温暖なれど冬から春にかけて北西の季節風が強く突風を伴うことがあるが最大陸上15米、気温は高く最高36°最低零下4度で雪は殆んど見ない。古期の夏から秋にかけては、南々東の風が相当強く、雨量は平均して少なく乾湿亦適度である。

第7表

気象累年比較

天気日数は晴曇を除き、当日現象の起つた日をいう。

(三池港務所)

區 分	天 気 日 数											地 震	
	晴	曇天	降雨	降雪	雷電	結氷	暴風	霧	霰	霜	不照	有 感	無 感
昭和 2 1 年	196	169	119	9	5	17	69	68	9	30	—	3	—
2 2	189	176	85	19	4	28	41	40	2	23	—	1	—
2 3	188	178	110	6	11	14	36	57	1	14	—	2	—
2 4	167	198	150	10	6	5	61	51	—	18	—	2	—
2 5	176	189	141	6	6	4	41	50	—	16	—	1	—
2 6	186	179	120	10	3	10	38	66	1	31	—	2	—
2 7	197	169	143	7	12	12	36	67	—	26	—	—	—

註 暴風、風速秒10m以上の日をいう。

第8表 昭和18~27年気温及降雨量

(三池港務所)

区 分	最 高 (C°)	最 低 (C°)	年平均(10時観測)	最大雨量(mm)	最小雨量(mm.)	年 総 量
昭和18年	36.5	—6.0	17.1	251.8	14.3	1,352.3
19	37.7	—3.0	17.1	237.3	11.1	1,185.1
20	37.5	—5.2	16.9	567.3	6.6	2,008.6
21	37.8	—5.0	17.9	514.3	34.1	1,856.0
22	36.1	—4.7	16.9	264.5	21.6	1,214.8
23	36.7	—2.5	18.0	347.6	17.1	1,450.3
24	36.1	—1.6	16.4	470.5	18.9	2,022.6
25	37.3	—3.0	17.7	199.9	48.1	1,329.8
26	37.3	—3.0	17.2	596.7	34.1	1,835.8
27	37.4	—3.5	18.0	425.4	31.5	2,092.8

第 9 表 昭和 27 年 気 象 類 別 月 表 (三池港務所)

気温平均気温を示す。雨量月雨量を示す。天気日数晴曇を除き当日現象の起つた日をいう。

區 分	気温 F°	降雨量 mm	気 温				天 気 日 数							地 震		風 (米)		
			日	最高極 F°	日	最低極 F°	晴	曇	雨	雪	霜	雷雨	氷	疾風 以上	有感	無感	最多 風向	平均速度
昭和27年																		
1月	43.9	59.7	21	63.5	27	2.70	14	17	15	1	8	—	6	16	—	—	北	3.34
2	43.5	128.7	13	61.2	6	27.5	14	15	12	4	6	—	3	13	—	—	北	3.89
3	49.3	105.3	30	68.0	12	31.8	14	17	13	1	4	—	—	16	—	—	北	3.96
4	59.2	239.5	10	79.7	3	38.7	17	13	9	—	—	1	—	12	—	—	北	3.59
5	66.7	119.0	13	83.1	1	48.0	16	15	14	—	—	—	—	7	—	—	北	3.24
6	70.7	425.4	16	82.0	13	56.3	9	21	16	—	—	—	—	9	—	—	北	3.57
7	38.0	272.5	17	94.5	13	64.8	16	15	15	—	—	2	—	7	—	—	北	3.37
8	82.4	140.5	17	95.0	12	68.9	23	8	11	—	—	2	—	7	—	—	南西	3.36
9	75.2	326.1	2	87.7	23	52.2	14	16	16	—	—	2	—	13	—	—	北	3.66
10	63.7	56.5	2	81.5	26	45.0	21	10	7	—	—	—	—	8	—	—	北	3.09
11	59.4	88.3	4	76.6	2	41.9	23	7	7	—	—	—	—	11	—	—	北	3.55
12	46.2	31.5	1	63.9	92	29.5	16	15	8	1	8	—	3	8	—	—	北	3.69

註 疾風~風速7.5m/秒以上の日をいう。

第 10 表 昭和27年気温日表 気満は平均気温を示す。(三池港務所)

区分	昭 和 2 7 年											
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
1日	51.8	44.8	40.8	53.4	53.4	62.6	77.4	83.7	82.6	69.4	60.3	59.2
2	44.6	41.9	43.2	46.8	46.8	61.2	77.4	85.8	81.1	68.5	54.7	55.4
3	45.0	40.8	44.8	51.1	51.5	63.1	73.0	85.6	82.0	68.0	62.6	41.5
4	41.0	37.4	44.4	59.9	59.9	64.4	74.5	85.6	82.0	63.9	62.1	41.0
5	43.9	36.5	45.3	58.6	58.6	66.2	75.0	86.5	77.9	64.4	68.0	43.2
6	45.5	35.2	48.2	58.6	58.6	61.3	76.5	79.7	77.9	63.9	68.4	43.5
7	41.7	38.7	47.8	60.6	60.6	60.8	75.2	82.2	78.3	64.6	60.8	44.6
8	39.2	45.0	52.7	63.1	63.1	69.4	72.1	82.4	80.8	68.0	58.1	40.3
9	39.6	47.3	50.0	65.3	65.3	64.0	72.5	80.6	80.1	68.2	56.5	35.5
10	41.4	44.4	50.2	63.0	63.0	68.0	76.6	83.1	79.0	65.5	61.0	46.8
11	46.4	41.2	43.5	64.0	64.0	68.2	78.6	82.2	79.7	67.8	64.9	47.5
12	42.8	45.5	43.2	65.3	65.3	66.9	79.3	80.6	83.1	62.4	61.3	47.8
13	36.4	50.5	49.6	61.9	61.9	69.8	76.5	81.5	81.1	59.4	61.7	47.7
14	42.7	49.3	54.5	57.9	57.9	63.5	80.4	83.1	75.0	63.7	54.3	51.8
15	44.2	48.9	49.3	58.1	58.1	68.7	83.7	84.0	74.8	66.2	60.1	51.1
16	42.8	50.4	55.6	54.5	54.5	66.0	83.8	82.0	76.8	61.9	60.1	54.0
17	46.2	41.7	52.0	60.8	60.8	68.0	85.3	85.6	74.7	58.3	61.3	48.0
18	42.4	38.8	61.0	61.7	61.7	71.4	85.1	81.5	70.7	59.5	54.1	47.5
19	39.4	38.7	58.1	58.5	58.5	70.0	85.1	82.4	65.7	62.2	51.6	43.5
20	48.4	41.4	49.5	61.0	61.0	68.2	81.5	81.0	68.4	64.9	52.5	47.5
21	53.1	44.2	46.4	61.3	61.3	72.1	81.5	80.1	71.4	67.8	58.3	44.4
22	47.5	38.3	45.9	61.3	56.8	68.2	82.4	79.7	70.0	67.6	57.9	41.0
23	50.4	42.6	49.8	56.8	56.1	70.5	83.5	81.1	66.7	62.2	58.1	47.1
24	41.9	41.0	45.3	54.5	54.5	68.5	84.2	81.1	69.8	61.5	55.0	44.1
25	38.8	48.7	46.4	54.1	54.1	66.2	84.2	82.0	74.7	59.7	55.2	47.7
26	38.5	45.7	46.2	56.8	56.8	63.5	83.8	81.5	74.3	56.8	58.8	43.5
27	39.0	46.4	51.6	57.7	57.7	64.6	81.5	81.7	72.0	61.7	58.6	42.6
28	48.9	49.1	52.0	63.1	63.1	71.4	81.1	81.0	73.0	65.1	64.0	45.0
29	48.9	48.4	51.8	66.2	66.2	69.4	81.7	81.1	67.6	62.1	62.6	38.8
30	44.8	—	54.9	66.7	66.7	71.2	82.9	84.0	68.4	60.6	58.1	43.3
31	41.0	—	58.1	—	—	63.1	82.9	83.3	—	59.0	—	51.1
月平均	43.9	43.5	49.3	59.2	59.2	66.7	79.9	82.4	75.2	63.7	59.4	46.2

第 11 表 昭和27年12年気温日表(F°) (三池港務所)

	1日	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16
	最高	63.9	59.0	44.6	46.9	47.7	50.5	49.6	48.2	54.9	56.3	57.2	57.7	59.4	60.3	55.4
最低	54.5	51.6	38.3	35.1	38.7	36.5	39.6	32.4	36.1	37.2	37.8	37.8	35.8	43.2	46.8	48.9
平均	59.2	55.4	41.5	41.0	43.2	43.5	44.6	40.3	45.5	46.8	47.5	47.8	47.7	51.8	51.1	54.0
	17日	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	平均
	最高	56.3	54.3	54.5	54.3	48.2	49.6	54.0	51.4	55.0	53.1	54.1	54.1	48.2	55.6	58.1
最低	39.7	40.6	32.5	40.6	40.5	32.2	40.1	36.7	40.1	33.8	31.1	35.8	29.5	31.1	44.1	38.7
平均	48.0	47.5	43.5	47.5	44.4	41.0	47.1	44.1	47.7	43.5	42.6	45.0	38.8	43.3	51.1	46.2

第二編 人 口

- 1 人 口 靜 態
- 2 人 口 動 態

第二編 人口

1 人口静態

人口の静態概況

昭和27年末の大牟田市の人口は、196,369人であり、世帯数は41,682を算している。

これを大正6年3月市制施行当時の人口67,810人、世帯数10,394と比較してみると人口において約2.8倍世帯数において約4.0倍の増加となつている。

この主原因は自然増加の外に、本市の鉾工業都市としての躍進に伴う人口の都市集中を挙げねばならない。又近代都市発展形態の一要素としての近郊隣接市町村の編入もこの一翼を担つていることを看過してはならない。

本市は昭和4年三川町を編入、更に昭和16年4月には、近接の三池町、駛馬町、銀水村及び玉川村を編入して一躍人口179,338人の大都市となり一大飛躍をとげたのである。

昭和17年においては、183,110人に増加し戦前の最高人口を示したが大東亜戦争の進展につれ、空襲をさけての疎開、再度の戦災により破滅的大打撃を蒙り、昭和18年を限度に減少傾向に轉じ、20年には127,677人に激減したのである。然し20年8月終戦と共に

漸次市の復興に従い疎開人口の復歸、復員海外引揚者の帰郷等、再び急速に増加膨脹し始め、昭利24年187,839人25年191,808人(概数)(増加率2.2%)26年194,459人(増加率1.3%)27年196,369人(増加率1.0%)が物語つている如く、昭和24年及び25年において、戦争の影響に判う農村及び都市間の人口交流も一應一段階に達したものと推測される。その後昭和26年及び27年の逐年の増加率は殆んど自然増加人口による増加となつているがしかし、今後市内主要会社、工場等の発展と共に人口20万突破も近い将来に実現するであらう。



(人の動き)

第1表

累年別人口及び世帯数

(市庶務課)

区分	世帯数	人 口			純増加数	純増加率	備 考
		男	女	計			
明治22年	2,017	11,295	町 制 施 行
23	2,289	12,864	1,569	13.8	
24	2,446	13,815	951	7.3	
25	2,472	13,905	90	0.6	
26	2,498	13,988	83	0.5	
27	2,756	15,626	1,638	11.7	
28	2,877	16,255	629	4.0	
29	2,981	16,872	617	3.7	
30	3,167	17,839	967	5.7	
31	3,291	18,381	542	3.0	
32	3,451	18,980	599	3.2	
33	3,632	20,521	1,541	8.1	
34	3,958	22,283	1,762	8.5	
35	4,292	24,371	2,088	9.3	
36	4,720	26,797	2,426	9.9	
37	4,894	27,662	865	3.2	
38	4,982	28,098	436	1.5	
39	5,493	30,811	2,713	9.6	
40	5,829	32,842	2,031	6.5	
41	6,225	35,414	2,572	7.8	
42	6,653	36,322	908	2.5	
43	6,972	39,206	2,884	7.3	
44	7,382	41,622	2,416	6.1	
大正元年	7,760	46,471	4,849	11.6	
2	8,017	46,909	438	0.9	
3	8,143	47,584	675	1.4	
4	8,753	58,050	10,466	21.9	
5	9,708	61,748	3,698	6.3	
6	10,394	35,594	32,216	67,810	6,062	9.8	市 制 施 行

第 1 表

累年別人口及び世帯数 (続)

(市庶務課)

区 分	世 帯 数	人 口			純増加数	純増加率	備 考
		男	女	計			
大正 7年	11,063	37,412	33,772	71,184	3,374	4.9	
8	11,657	39,159	35,601	74,760	2,576	5.0	
9	12,264	40,737	37,085	77,822	3,062	4.0	
10	12,662	35,439	33,570	69,009	-8,813	-11.3	
11	12,743	36,282	34,981	71,263	2,254	3.2	
12	13,171	37,860	36,940	74,800	35,37	4.9	
13	13,274	38,489	37,694	76,183	1,383	1.8	
14	13,864	36,735	35,970	72,705	-3,478	4.5	
昭和元年	13,931	38,085	37,353	75,438	2,733	3.7	
2	14,013	38,261	37,729	75,990	552	0.7	
3	14,253	38,784	38,166	76,950	960	1.2	
4	19,421	51,136	51,394	102,530	25,580	33.2	三川町編入
5	19,421	47,620	47,735	95,355	7,175	-6.9	
6	19,358	48,230	48,624	96,854	1,499	1.5	
7	19,459	48,230	49,280	97,510	656	0.6	
8	19,569	48,713	49,359	98,072	562	0.5	
9	19,955	50,777	51,386	102,163	4,091	4.1	
10	20,329	53,022	53,609	106,631	4,468	4.3	
11	21,105	55,413	55,896	111,309	4,678	4.3	
12	21,619	57,047	58,092	115,139	3,830	3.4	
13	22,038	59,078	60,270	119,348	4,209	3.6	
14	22,696	61,231	62,632	123,863	4,515	3.7	
15	23,338	62,451	63,390	125,841	1,978	1.5	
16	34,308	89,961	89,377	179,338	53,497	42.5	銀水、三池、駿馬、玉川合併
17	35,418	90,479	92,631	183,110	3,772	2.1	
18	35,881	88,612	92,292	180,904	-2,206	1.2	4月1日現在
19	36,293	87,587	91,987	179,574	-1,330	-0.7	
20	28,624	61,574	66,103	127,677	-51,897	-28.9	終戦の年
21	30,253	71,119	73,058	144,177	16,500	12.9	
22	35,500	82,577	83,923	166,500	22,323	15.4	国勢調査10月1日(臨時)
23	37,875	89,630	90,057	179,687	13,187	7.9	常住人口調査8月1日
24	39,925	93,670	94,169	187,839	8,152	4.5	12月31日
25	39,911	94,744	97,064	191,808	4,139	2.2	国勢調査10月1日(概数)
26	41,309	96,044	98,415	194,459	2,651	1.3	12月31日
27	41,682	96,530	99,839	196,369	1,910	0.9	"

第 2 表

校區別人口及び世帯数

(市庶務課)

昭和28年3月末日

地区別	校區別	世帯数	人 口			地区別	校區別	世帯数	人 口			
			男	女	計				男	女	計	
旧 市 内	總 数	41,519	96,105	100,282	196,387	三池	小 計	2,855	6,973	7,229	14,202	
	小白	24,713	54,158	57,626	111,784	三池	三 池	2,855	6,973	7,229	14,202	
	計川	2,611	5,991	6,303	12,294	駿馬	小 計	7,302	17,328	17,756	35,084	
	平原	2,200	4,908	5,371	10,279		駿馬北	2,629	5,912	6,290	12,202	
	笹林	1,277	2,829	3,055	5,882		駿馬南	2,079	5,006	5,168	10,174	
	明治	2,384	5,270	5,553	10,823		笹原	2,594	6,410	6,298	12,708	
	玉川	中大	2,307	4,896	5,454	10,350	小 計	936	2,343	2,452	4,795	
		友正	2,470	5,671	5,790	11,461		玉川	936	2,343	2,452	4,795
		大上	1,775	3,755	4,035	7,850	準世帯	小 計	39	1,129	299	1,428
		不知	1,541	3,171	3,354	6,525						
		三川	2,394	5,007	5,294	10,301						
	銀 水	川尻	1,555	3,367	3,651	7,018	準世帯	39	1,129	299	1,428	
		三里	2,578	5,675	5,977	11,652						
		諏訪	1,621	3,618	3,731	7,349						
小倉		5,674	14,174	14,920	29,094							
手 上 銀	計永	967	2,430	2,600	5,030							
	鎌内	1,796	4,318	4,585	8,903							
	水	700	1,939	2,054	3,993							
	銀	2,211	5,487	5,681	11,168							

第3表 町別人口及び世帯数

昭和28年3月31日 上段普通世帯下段準世帯

(市庶務課)

校区名	町別	世帯数	人口			備考	校区名	町別	世帯数	人口			備考
			男	女	計					男	女	計	
白川	總數	41,480	94,976	99,983	194,959		小計	1,277	2,829	3,053	5,882		
		39	1,129	299	1,428		笹林町	66	134	152	286		
	小計	2,611	5,991	6,303	12,294		曙町	140	319	325	644		
	八尻町南	97	226	223	449		上町一丁目	39	78	81	159		
	八尻町北	213	488	504	992		上町二丁目	37	80	87	167		
	鳥塚町東	151	340	342	682		〃三丁目	20	60	60	120		
	鳥塚町西	189	440	472	912		山の上町	53	112	136	248		
	東新町1丁目	80	187	201	388		〃	1	—	24	24		
	東新町2丁目	115	260	350	610		左古町	39	92	95	187		
	日之出町2丁目	114	290	333	623		谷町	29	59	65	124		
	柿園町京町	181	446	451	897		元町	33	85	90	175		
	柿園社宅	101	230	232	462		出雲町	62	118	135	253		
	鳥塚町社宅	111	262	290	552		一本町	49	116	131	247		
	白川南	232	544	546	1,090		東泉町	54	114	136	250		
	白川中	183	426	417	843		築泉町	50	127	142	269		
	白川北	143	307	304	611		常盤町	47	122	117	239		
	上白川	240	568	609	1,177		有明町	32	78	80	158		
	七夕社宅	298	649	687	1,336		松浦町	117	243	246	489		
市営住宅	163	328	342	670		西宮浦町	88	178	193	371			
平原	小計	2,200	4,908	5,371	10,279		上官町一丁目	23	52	56	108		
	通町二丁目東	2	62	—	62		〃	6	8	13	21		
	〃西	152	327	380	707		榮町一丁目	50	109	116	225		
	龜甲町	169	380	411	791		榮町二丁目	87	181	197	378		
	八本町社宅	207	472	516	988		旭町一丁目	42	100	109	109		
	八本町西	1	17	—	17		〃二丁目	45	112	114	226		
	〃東	144	284	338	622		〃三丁目	69	152	177	329		
	龜谷町	1	45	—	45		小計	2,384	5,270	5,553	10,823		
	平原町西	150	332	364	696		浜町	89	190	189	379		
	〃東	169	372	407	779		明治町一丁目	133	251	272	523		
	龍湖瀬町	216	487	554	1,041		〃二丁目	573	1,179	1,269	2,448		
	東庄社宅	164	343	415	758		〃三丁目	213	490	505	995		
瓦町	217	527	541	1,068		中町一丁目	86	202	200	402			
通町一丁目	192	453	466	919		〃二丁目	99	199	234	433			
	89	180	194	374									
	174	397	417	814									
	157	354	368	722									

棟黒町を含む(2世帯男2、女2)

第 3 表 町別人口及び世帯數 (續)

昭和 8年3月31日 上段普通世帯下段準世帯

(市庶務課)

校 区 名	町 別	世 帯 數	人 口			備 考	校 区 名	町 別	世 帯 數	人 口			備 考	
			男	女	計					男	女	計		
明	恵比須町一丁目	7	17	16	33		中	北浜田町	4	3	9	12		
	” 二丁目	21	47	50	97			新浜田町	49	123	117	240		
	天神町一丁目	41	82	90	172			中浜田町	23	44	40	84		
	” 二丁目	76	155	165	320			本浜田町	67	131	135	266		
	大黒町一丁目	116	284	255	539			南浜田町	104	187	213	400		
	” 二丁目	85	185	217	402			西浜田町	286	656	637	1,293		
	” 三丁目	2	136	163	299			友	新地町東	221	520	541	1,061	
	” 四丁目	35	84	93	177			” 南	250	510	524	1,034		
	城町一丁目	140	339	364	703			” 西	209	446	448	894		
	” 二丁目	86	212	228	440			小 計	2,470	5,671	5,790	11,461		
健老町	395	969	981	1,950	新開町を 含む(4世 帯男11、 女11)	小 浜 町	1,580	3,594	3,650	7,244				
北礎町	117	249	262	511		松 原 町	58	128	124	252				
治	小 計	2,307	4,896	5,454	10,350		大	久保田町	69	197	203	400		
	橋口町	21	65	68	133		本町四丁目	90	227	230	457			
	魚 町	43	93	126	219		” 五丁目	133	297	326	623			
	古 町	46	118	130	248		” 六丁目	321	701	724	1,425			
	西有明町	38	74	92	166		大正町四丁目	95	225	229	454			
	本町一丁目	104	187	204	391		” 五丁目	33	71	76	147			
	” 二丁目	67	120	160	280		” 六丁目	88	214	222	436			
	” 三丁目	34	80	95	175		西有明町	3	17	6	23			
	” 四丁目	26	50	67	117	本町 4丁 目の一部 は大正分 所主管	正	小 計	1,775	3,755	4,095	7,850		
	大正町一丁目	176	333	460	793		上官町	132	257	297	554			
” 二丁目	60	111	135	246		上官町2丁目(北)	114	254	298	552				
” 三丁目	41	98	126	224		” 二丁目(南)	182	412	421	833				
” 四丁目	93	203	219	422		” 三丁目(北)	113	233	275	508				
港 町	50	62	119	181		真導寺町	137	312	302	614				
中島町	99	212	304	516		宮 山 町	162	358	385	743				
中友町	56	106	136	242		西宮浦町	88	160	177	337				
住吉町	46	86	90	176		上官町3丁目(南)	128	303	312	615				
大浜町	39	95	87	182		” 四丁目	121	266	275	541				
須鼻町	23	56	49	105		花園町	266	520	612	1,132				
磯 町	14	30	28	58		七浦町(北)	144	282	314	596				
松原町一丁目	38	97	95	192		七浦町第一	86	194	213	407				
						” 第二	102	204	214	418				

第 3 表 町別人口及び世帯数 (続)

昭和28年3月31日 上段普通世帯下段準世帯

(市庶務課)

校區名	町 別	世帯数	人 口			備 考	校區名	町 別	世帯数	人 口			備 考
			男	女	計					男	女	計	
笹原	小 計	2,594	6,410	6,298	12,708		小 計	936	2,343	2,452	4,795		
	月見丘杜宅	198	475	474	949		大字教楽来(山口)	50	153	147	300		
	宮 前	224	568	551	1,119		" 教楽来	59	142	154	296		
	大 砂	206	578	583	1,161		玉 " 薬師丸	50	132	147	279		
	紅葉丘	213	591	531	1,122		大字樺野日明	50	138	129	267		
	通 松	233	601	585	1,186		" 日 懸	105	289	294	583		
	朝日丘	258	673	704	1,377		" 土 穴	44	110	118	228		
	馬 渡	295	700	659	1,359		" 黒 尾	55	140	153	293		
	天 道	79	190	186	376		大字勝立善徳	69	144	170	314		
	白井原	54	113	101	214		" 本 村	72	158	171	329		
	合 成	211	443	490	933		川 " 中 原	63	165	182	347		
	染 料	208	553	547	1,100		" 上高田	106	242	249	491		
	下池谷	134	271	260	531		" 上池谷	109	243	259	502		
	萩ノ尾	87	213	202	415		大字樺野東谷	104	287	279	566		
	東米生	98	264	245	509								
通 松	96	177	180	357									
勝立青年寮	1	63		63									

第 4 表 人 口 密 度

昭和27年度12月末日 (市庶務課)

区 分	人 口	比 率	世帯数	比 率	面 積	比 率	密 度 (KM2)		一 世 帯 平均人員	
							人 口	世 帯		
旧 市 内	111,796	56.9	24,836	59.5	18,33	18.3	6,099	1,866	4.5	
新 市 内	83,145	42.3	16,807	40.4	59,44	81.7	1,399	283	4.9	
内 訳	馬三川	35,260	18.0	7,386	17.8	6,53	9.0	5,395	1,130	4.7
	玉三池	4,774	2.4	935	2.3	7,69	10.6	621	122	5.1
	銀水	14,011	7.1	2,815	6.7	8,89	12.2	1,576	317	4.9
	準世帯	29,100	14.8	5,671	13.6	36,34	49.9	801	156	5.1
	計	1,428	0.8	39	0.1	—	—	—	—	—
計	196,369	100.0	41,682	100.0	77.77	100.0	2,525	536	4.7	
福 岡 県	3,530,169	—	...	—	4,906,35	—	720	
全 国	83,199,637	—	...	—	368,302,94	—	226	

註 県及び全国の人口は昭和25年10月1日の国勢調査人口による。

第 5 表 産 業 別 人 口

昭和22年10月1日 (国勢調査) (市庶務課)

区 分	男	女	計	比率%	区 分	男	女	計	比率%
総 数	44,038	15,079	59,117	100.0	商 業	2,694	1,728	4,422	7.5
農 業	3,173	5,134	8,307	14.1	金 融	240	109	349	0.6
林 業	52	14	66	0.1	運 輸	2,856	560	3,416	5.8
水 産	230	51	281	0.5	サ ー ビ ス	606	925	1,531	2.6
建 設	13,830	1,667	15,497	26.2	自 由	971	850	1,821	3.1
工 業	3,169	432	3,601	6.1	公 務	1,055	321	1,376	2.3
製 造	13,852	2,967	16,819	28.4	そ の 他	287	151	438	0.7
製 業	1,023	170	1,193	2.0					

第 6 表 本籍及び非本籍地人口世帯数

昭和27年7月1日 (住民登録調査)

(市戸籍課)

校 区 別	世帯総数	総 数			世帯	本 籍			世帯	非 本 籍		
		男	女	計		男	女	計		男	女	計
総 数	40,120	95,676	100,083	195,759	24,122	59,166	62,682	121,848	15,998	36,510	37,401	73,911
白平	2,535	5,947	6,180	12,127	1,551	3,665	3,871	7,536	984	2,282	2,309	4,591
川原	2,154	5,079	5,229	10,308	1,411	3,309	3,512	6,821	743	1,770	1,717	3,487
笹	1,230	2,837	3,132	5,969	720	1,627	1,763	3,390	510	1,210	1,369	2,579
笹	2,293	5,365	5,606	10,971	1,464	3,522	3,634	7,156	829	1,843	1,972	3,815
中	2,191	4,888	5,604	10,492	1,163	2,733	3,182	5,915	1,028	2,155	2,422	4,577
大上	2,344	5,624	5,818	11,442	1,209	2,928	3,046	5,974	1,135	2,696	2,772	5,468
知	1,628	3,759	4,006	7,765	991	2,328	2,472	4,800	637	1,431	1,534	2,965
三川	1,342	2,969	3,160	6,129	747	1,644	1,772	3,416	595	1,325	1,388	2,713
三	2,259	5,157	5,528	10,685	1,280	2,933	3,171	6,154	979	2,174	2,357	4,531
諏	1,446	3,367	3,581	6,948	879	2,105	2,257	4,362	567	1,262	1,324	2,586
倉	2,523	5,804	5,983	11,787	1,149	2,733	2,835	5,568	1,374	3,071	3,148	6,219
手	1,574	3,727	3,709	7,436	772	1,856	1,911	3,767	892	1,871	1,798	3,669
上	1,000	2,467	2,749	5,216	794	2,016	2,201	4,217	206	451	548	999
馬	1,683	4,280	4,491	8,771	1,296	3,408	3,636	7,044	387	872	855	1,727
三	697	1,963	2,054	4,017	633	1,803	1,893	3,701	64	160	156	316
銀	2,095	5,446	5,743	11,189	1,464	3,953	4,245	8,198	631	1,493	1,498	2,991
三	2,917	6,955	7,248	14,203	1,901	4,724	5,087	9,811	1,016	1,231	2,161	4,392
駿	2,687	6,131	6,258	12,389	1,517	3,615	3,788	7,403	1,170	2,516	2,470	4,986
馬	2,062	5,161	5,176	10,337	1,179	2,995	3,102	6,077	883	2,166	2,074	4,240
笹	2,543	6,356	6,381	12,737	1,297	3,338	3,372	6,710	1,246	3,018	3,009	6,027
玉	917	2,394	2,447	4,841	705	1,881	1,927	3,808	212	513	520	1,033

第 7 表 縣下12市人口及び世帯数

昭和27年12月末日 増加率は昭和25年国勢調査人口との比較による

(市庶務課)

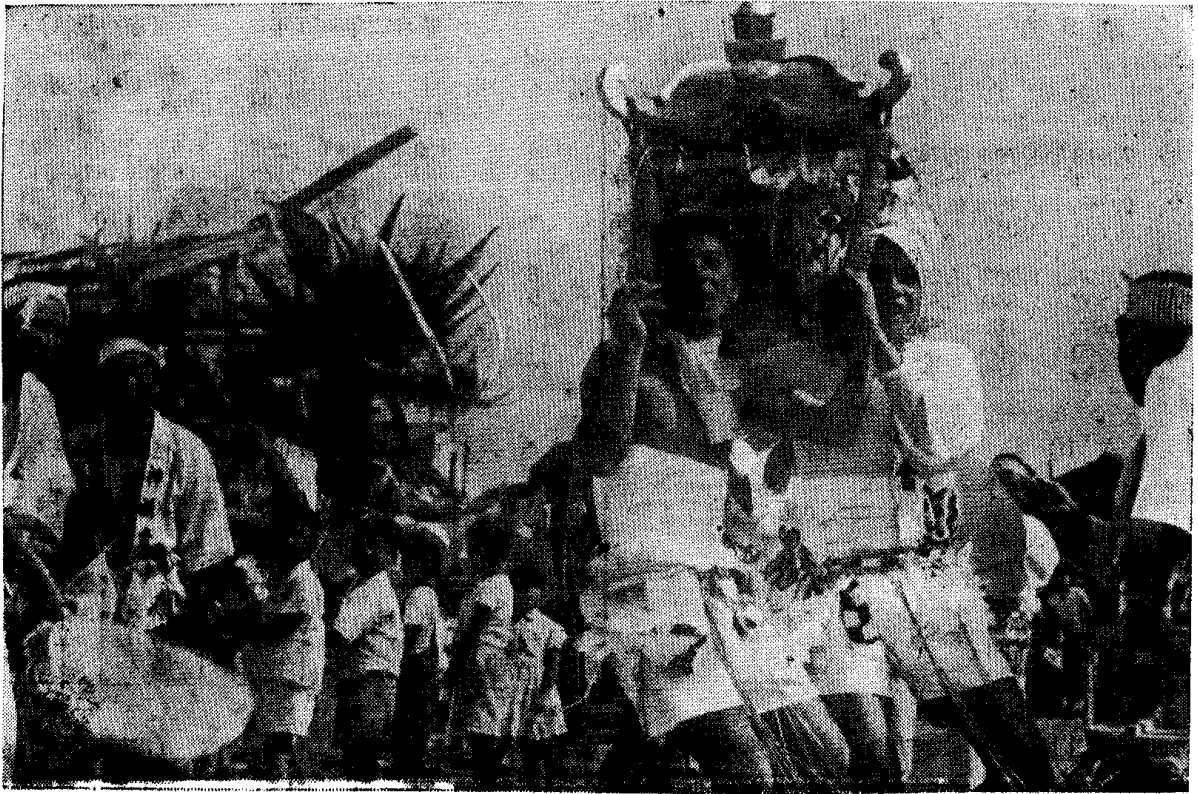
市 名	面積	世帯数	人 口				密度 (Km ²)		一世帯 平均人員
			計	増加率	男	女	人口	世帯	
総 数	平方軒 826.57	400,794	1,786,823	10.1	546,288	552,951	2,161	485	4.4
福 岡	130,41	100,015	440,118	12.1	3,374	766	4.4
若 松	56,87	20,557	93,927	4.8	46,489	47,438	1,655	364	4.5
八 幡	75,35	52,602	238,319	13.4	121,437	116,882	3,162	698	4.5
戸 畑	12,57	21,762	95,785	9.0	7,620	1,731	4.2
直 方	56,61	13,398	58,571	9.1	1,034	236	4.3
飯 塚	16,15	12,460	58,409	9.0	28,680	29,729	3,616	771	4.6
久 留 米	62,99	25,268	123,879	22.6	59,365	64,514	1,966	401	4.9
大 牟 田	77,77	41,682	196,369	2.2	96,530	99,839	2,525	536	4.7
小 倉	211,42	52,047	221,942	11.3	111,756	110,186	1,049	246	4.2
門 可 川	65,76	34,845	136,046	9.4	67,437	68,609	2,068	529	3.9
田 川	40,80	20,499	93,110	5.3	2,282	502	4.5
柳 川	19,87	5,659	30,348	5.1	14,594	15,754	1,527	284	5.3

第 8 表 外 国 人 数

昭和27年12月末日

(市社会課)

国 籍 別	外 国 人		
	計	男	女
總 数	640	382	258
朝 鮮	581	355	226
中 国	44	24	20
ア ー	4	2	2
イ ン	10	—	10
ア ー	1	1	—



(祇園まつり)

2 人口動態

人口動態の概況

人口増減の原因には自然増加及び社会増加の両面がある御承知のごとく自然増加は人の出生、死亡の純差増の人口であり、社会増加は人の（転入、転出）の純差増の人口である、以下本市の人口動態を観察して見よう。

出生及び死亡(自然増加)

戦後の自然増加人口は全国的にも戦前の比ではなく急増したのであるが、本市の人口も出生、死亡による純差増しの自然増加の結果が支配的である。

昭和20年には新生児数4,634人、死亡数6,583人にして1,949人の自然減を見たのであるが、これは終戦直後の極度に逼迫した食糧事情、衛生施設の不備等によるものと推測される。然し昭和21年より出生児数は増加傾向に転じ昭和24年においては、新生児数9,361人、死亡数2,485人、自然増加6,876人を頂点としてその後僅少なながらも下降傾向を辿つてはいるが27年においても新生児数は5,337人、死亡数は1,860であり自然増加人口は3,477人を示している。

終戦以来新生児数は昭和24年が最も高く死亡者数は昭和20年を最高として新生児数及び死亡者数とも漸次減少の方向を辿つている。この主なる原因としては、前者は政府の人口政策たる産児制限の結果を反映又死亡者数の減少は、医学の進歩発達、衛生思想の民衆化等が挙げられよう。昭和21年より24年に至る出生児数の急増及死亡者数の通減は本市のみの問題ではなく全国的な傾向であつて、今後これらの出生児数が生産年齢人口に達する場合には、労働力の商品化、その他重大な社会的課題を提供するであらう。

婚姻及び離婚

婚姻は昭和20年において1,262組、離婚が141組、昭和21年に婚姻1,858組、離婚286組となつているが、昭和22年に至つては、婚姻3,518組、離婚326組と増加し、23年及び24年とも略大同小異の状態を示している。昭和25年は又著しく減少して婚姻1,694組、離婚234組となり26年及び27年とも略同数を示している。昭和22年より24年に至る婚姻の急増は復員、海外引揚者等による結婚年齢者の増加、自由結婚の流行等が考えられる。離婚の増加は封建的家族制度よりの解放結果の一端が現はれたものと考えられよう。

死 産

終戦直後は資料未詳にて観察できないが、昭和25年には591人、昭和26年に566人、27年においては710と漸次増加傾向にある。これは人口抑制策の一端である人口妊娠中絶の急増に基づくものであらう。

轉入轉出(社会増加)

昭和17、8年頃戦争の進展に伴い軍需工業の拡大に従つて、軍需産業要員の流入等により本市人口は著しく社会増加を示したのであるが、昭和20年の戦争末期においては疎開、再度に亘る戦災等により近接の地域並に農村へ人口流出し1,145人の自然減となつた。然し終戦翌年の昭和21年においては17,232人、22年5,870人、23年8,861人、24年6,786人、25年3,327人、26年2,016人、27年1,090人の社会増加となつている。昭和21年より24年に至る流入結果は復員、引揚者、疎開人口の復帰が主要原因であり、24年を限度に25年より急激に減少しているがこれは戦後の混沌たる社会情勢も一應安定し、戦争に伴う激しい人口交流も一應安定したものと推測されよう。本市の社会増加人口は上記の通りで今後は市内鑛工業会社の進歩発展に左右されること極めて大であらう。

第9表 人口動態 昭和22年~27年 (市戸籍課)

区分	出生	死亡	自然増減	同日当	婚姻	離婚	死産	区分	出生	死亡	自然増減	同日当	婚姻	離婚	死産
昭和22年	7,418	4,706	2,712	7.4	3,518	326	...	4	400	143	257	8.5	164	23	...
23	8,553	2,728	5,825	15.9	3,478	298	...	5	369	194	175	5.6	144	13	...
24	9,361	2,485	6,876	18.8	3,195	333	...	6	352	131	221	7.3	116	21	...
25	6,732	2,027	4,705	12.8	1,694	234	591	7	427	161	266	8.5	109	24	...
26	6,198	1,932	4,266	11.6	1,607	239	566	8	426	141	285	9.2	91	16	...
27	5,337	1,860	3,477	9.5	1,511	237	710	9	425	131	294	9.8	93	18	...
1月	602	181	421	13.5	117	20	...	10	423	160	263	8.4	97	25	...
2	550	166	384	13.7	131	18	..	11	405	130	275	9.1	128	11	...
3	489	173	316	10.1	153	32	..	12	469	149	320	10.3	168	17	...

第10表 人口動態 昭和22年~27年 (市戸籍課)

区分	総人口	人口1,000人に対する			区分	総人口	人口1,000人に対する		
		出生率	死亡率	増減			出生率	死亡率	増減
昭和22年	166,480	44.6	23.3	+ 21.3	25	193,025	34.8	10.5	+ 24.3
23	182,598	46.8	14.9	+ 31.9	26	194,459	31.9	9.9	+ 22.0
24	187,839	49.8	13.2	+ 36.9	27	196,369	27.1	9.4	+ 17.7

第11表 昭和27年年令別男女別死亡者数 (市保健所)

区分	年令別												計	一日平均	
	0~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59			60以上
総数	397	53	23	51	56	60	58	68	58	77	90	98	658	1,747	4.7
男女比	213	30	11	26	26	27	34	41	33	46	45	60	313	905	2.4
率	184	23	12	25	30	33	24	27	25	31	45	38	345	842	2.3
率	23.0	3.0	1.3	2.9	3.2	3.4	3.3	3.8	3.3	4.4	5.2	5.6	37.6	100.0	一

第12表 昭和22年~27年転入転出人口数 (市商工課)

区分	転入			転出		
	男	女	計	男	女	計
昭和22年	5,207	5,546	10,753	2,474	2,409	4,883
23	5,920	5,957	11,877	1,478	1,478	3,016
24	5,326	5,190	10,516	1,848	1,848	3,730
25	2,538	2,014	5,152	894	894	1,825
26	1,942	1,985	3,927	992	992	1,911
27	18,263	17,173
1月	1,330	1,240
2	1,800	1,430
3	1,681	1,556
4	2,139	2,178
5	1,420	1,490
6	1,385	1,347
7	1,369	1,284
8	1,496	1,391
9	1,741	1,790
10	1,563	1,255
11	1,454	1,233
12	885	979

第三編 產 業

1	鋁	業
2	工	業
3	電	力
4	瓦	斯
5	水	道
6	農	業
7	畜	產
8	水	業
9	干	拓



(オ - ガ - に よ る 坑 内 作 業)

第三編 産 業

1 鉱 業

鉱業の概況

本市における鉱業は遠く480年前より始り、稻荷山、平野山、生山の開掘より始り明治6年官有となり、同年大浦斜坑同15年七浦堅坑、同20年宮浦堅坑の開鑿を開始し、産出額は年を逐つて増加した。明治22年1月三井家がこれを譲り受け勝立坑万田坑（荒尾市域内）四山堅坑を開き、鋭意設備の改善と事業の拡張とに努めた結果長足の進歩を遂げた。更に昭和12年9月三川坑の開鑿を開始し同15年10 から出炭を見るに至つた。三川坑は特に近代諸設備の充実や規模の雄大を以て聞え機械化のモデルマインとなつた。昭和24年5月 天皇陛下が三川鉱坑内までお下りになり切羽まで御視察になつたことは周知のとおりである。現在稼行中のものは三川鉱、四ツ山鉱、宮ノ浦鉱（大浦鉱を含む）三鉱で万田鉱は昭和26年廢鉱となつた。

炭 層 名	山 丈	炭 丈	稼 行 坑 口
本 層	2,47米	2,47米	宮浦 四山 三川
上 層	2,58米	1,96米	(宮浦) 三川
盤 下 層	1,88米	1,88米	宮浦 (大浦坑を含む)

鉱区及埋藏炭量

鉱 区 数	採 掘 鑛 区 5 5	試 掘 鉱 区 6 1	
鉱 区 面 積		埋 藏 量	
採 掘 鉱 区	67,353,125坪	確 定 埋 藏 炭 量	157,894,000貯
内 稼 行	39,905,916 "	推 定 " "	138,846,000 "
未 稼 行	27,447,209 "	予 想 " "	705,697,000 "
試 掘 鉱 区	57,758,842 "	計	1002,4370,000 "
計	125,111,967 "	既 採 掘 炭 量	120,000,000 "

炭質及び用途

炭質は特異な淡褐色を帯び強粘結性で長火焰、発熱量高くガス分に富み夾雑物が少ないので鍛冶用として優秀なのみならず汽罐用やガス並にコークス製造用に適する。輸出移出の外船舶燃料として愛用されてゐる。

第 1 表 三池鋳業所月別従業員

(三池鋳業所)

坑内外別 年月	坑 内	坑 外	計			職 員
			男	女	計	
昭和27年 1月	10,134	5,406	14,669	871	15,540	1,775
2	10,113	5,384	14,632	865	15,497	1,775
3	10,097	5,364	14,599	862	15,461	1,776
4	10,154	5,365	14,662	857	15,519	1,765
5	10,132	5,356	14,633	855	15,488	1,760
6	10,128	5,362	14,618	872	15,490	1,757
7	10,114	5,357	14,600	871	15,471	1,741
8	10,086	5,352	14,566	872	15,438	1,741
9	10,055	5,339	14,522	872	15,394	1,739
10	10,031	5,343	14,500	874	15,374	1,733
11	10,022	5,331	14,488	872	15,353	1,739
12	10,008	5,320	14,459	869	15,328	1,734
昭和28年 1月	9,970	5,301	14,407	864	15,271	1,727
2	9,952	5,288	14,379	861	15,240	1,718
3	10,020	5,265	14,426	859	15,285	1,717

第 2 表 昭和20年～27年度出炭高

(三池鋳業所)

年 度 別	操業総数	出 炭 高	1 月 当	従 業 員		
				男	女	計
昭和20年	日 312	屯 1,609,892	屯 134,158	(2,031)人 (20,683)	(183)人 (3,099)	(2,214)人 (23,782)
21	308	1,521,310	126,776	(1,822) (14,661)	(7) (2,210)	(1,829) (16,871)
22	311	1,827,658	152,305	(1,817) (18,369)	(7) (2,146)	(1,824) (20,515)
23	306	1,966,700	163,892	(1,871) (20,911)	(1) (2,167)	(1,877) (23,078)
24	294	2,105,600	175,467	(2,003) (20,855)	(6) (1,852)	(2,009) (22,707)
25	307	2,118,600	176,550	(1,893) (18,480)	(6) (1,495)	(1,899) (19,975)
26	308	2,098,500	174,875	(1,800) (14,792)	(4) (875)	(1,804) (15,667)
27	309	2,001,100	166,758	(1,746) (14,578)	(6) (868)	(1,752) (15,446)

第 3 表 三池炭鋳月別出炭量

(三池鋳業所)

年 月	坑 別	出 炭 量			計
		宮 浦	四 山	三 川	
昭和27年 1月		屯 52,000	屯 51,200	屯 97,100	屯 200,300
2		54,700	58,900	96,500	210,100
3		55,600	60,700	96,500	212,800
4		51,700	51,900	86,900	190,500
5		50,300	49,200	97,600	197,100
6		50,000	47,000	103,300	200,300
7		48,300	45,200	90,700	184,200
8		53,100	42,600	87,400	183,100
9		66,100	51,100	102,100	219,300
10		31,500	23,600	47,600	102,700
11		—	—	—	—
12		26,700	24,700	49,300	100,700
昭和28年 1月		60,500	60,900	109,300	230,700
2		63,000	52,300	100,300	215,600
3		65,200	47,000	101,500	213,700

第 4 表 炭鋳事故による人的被害状況

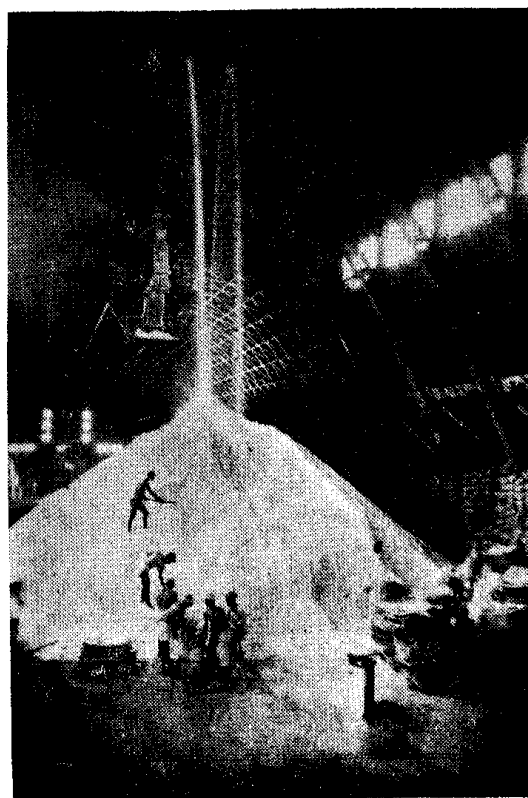
(三池鋳業所)

原因別	昭 和 2 6 年					昭 和 2 7 年				
	件 数	被 害 状 況				件 数	被 害 状 況			
		総 数	死 亡	重 傷	軽 傷		総 数	死 亡	重 傷	軽 傷
總 数	2,936	2,969	20	1,730	1,219	2,120	21,46	10	1,456	680
落 釜	782	802	16	454	332	560	585	4	423	158
警 車	254	259	1	186	72	187	191	6	147	38
破 産	3	6	1	4	1	3	3	—	3	—
電 機	6	6	1	5	—	3	3	—	3	—
機 械	87	87	—	63	24	71	71	—	50	21
其 他	1,805	1,809	1	1,018	790	1,294	1,293	—	830	463

2 工業

工業の概況

本市に於ける代表的工業は実に石炭より生れ石炭によつて発展して来たと言つても過言ではない。今を去る數十年以前までは有明海海岸の半農半漁の一寒村に過ぎなかつたが石炭による関連諸産業を根幹として急速な工業発展を見たのである即ち化学（薬品、肥料）金屬、機械器具類を主とする大工場を持ち又特に戦時中は火薬、兵器（部分品）飛行機（機体原料）等軍需生産に多大の貢献をして来たが敗戦によつて蒙つた打撃も又甚大であつた。ある工場は崩壊、或ひは半身不随の状態に陥り戦後押しよせるインフレの荒波、經濟九原則、企業整備等の悪條件下にかかわらず労資合体工業經營の合理化に努めた結果早くも平和産業に切换えられた。昭和24年にはインフレも漸く納まりドツヂラインの実施によつて次第に戦前の工業状態に進みつゝある。昭和26年12月末現在で行はれた工業調査によつて当市の産業別工場数を見れば食料品工業が157工場で50%で以下ぐつと切り離されて木材木製品工業が23工場で7%家具及建具工業は21工場で6.7%印刷製本業が19工場で6%及び化学工業が同じく19工場で6%となつている。なお従業員数より見れば化学工場が11,567人で68%、機械工業が2,167人で12%、石油及び石炭工業が1,061人で4%、金屬製品工業が361人で2%と続いている。更に生産金額より見れば化学工業が1,456千万円で82%となりトップを占め、石油及び石炭工業が121千万円で6.9%で第二位、機械工業が115千万円で6.5%食料品工業は34千万円で2%とぐんと下つている。



（白雪の結晶硫安の山、東庄浜の工場）

第5表 經營組織別工場数

（昭.26.12.末工業調査）

（市庶務課）

區分	株式会社	株式合資会社	合資会社	合名会社	有限会社	個人	組合	その他	合計
工場数	40	—	5	9	15	243	—	—	312

第6表 工業中分類別工場数、従業者数及び生産金額

（26.12.末工業調査）

（市庶務課）

區分	事業所数			従業者数			生産金額 千円
	総数	3人以上	4人以上	総数	3人以上	4人以上	
總数	312	153	159	17,034	316	16,718	17,756,483
食料品工業	157	100	57	760	212	548	346,849
煙草工業	—	—	—	—	—	—	—
紡織工業	14	8	6	92	14	78	74,234
衣服工業	10	3	7	95	4	91	16,621
木材木製品工業	23	8	15	152	16	136	77,028
家具建具工業	21	7	14	160	14	146	34,847
紙及び類似品工業	4	1	3	72	3	69	29,133
印刷出版、類似工業	19	5	14	198	10	188	40,936
化学工業	19	10	9	11,591	24	11,567	14,560,191
石油及び石炭工業	4	—	4	1,061	—	1,061	1,217,116
ゴム製品工業	—	—	—	—	—	—	—
ガラス及土石製品工業	13	3	10	162	5	157	48,543
第一次金屬製品工業	3	1	2	156	3	153	30,920
金屬製品工業	10	2	8	361	4	357	126,882
機械工業	11	1	10	2,169	2	2,167	1,151,608
電気機械製品工業	—	—	—	—	—	—	—
輸送用設備	3	3	—	5	5	—	1,575
特殊機械工業	—	—	—	—	—	—	—
その他の工業	1	1	—	X	X	—	X

第 7 表

工場数及び生産金額累年比較

(昭和24年末~26年末工業調査)

(市庶務課)

区 分	昭 和 24 年			昭 和 25 年			昭 和 26 年		
	工場数	生産額 千円	比率	工場数	生産額 千円	比率	工場数	生産額 千円	比率
總 計	146	8,370,096	100.0	297	10,830,126	100.0	312	17,756,485	100.0
食 料 品 工 業	43	113,695	1.5	69	171,580	1.6	157	346,849	2.0
食 紡 織 工 業	6	26,825	0.3	18	48,583	0.4	14	74,234	0.4
衣 服 身 廻 品 工 業	3	X	X	5	7,003	0.1	10	16,621	0.1
製 材 及 木 製 品 工 業	13	19,835	0.2	51	55,753	0.5	23	77,028	0.4
家 具 及 建 具 工 業	14	6,892	0.0	20	14,594	0.1	21	34,847	0.2
紙 及 び 紙 製 品 製 造 業	1	X	X	1	X	X	4	29,133	0.2
印 刷 製 本 業	14	33,505	0.4	14	36,061	0.3	19	40,936	0.2
化 学 工 業	10	8,048,433	96.3	12	9,775,010	90.3	19	14,560,191	82.0
石 油 及 び 石 炭 工 業	1	X	X	1	X	X	4	1,217,116	6.9
ガ ラ ス 及 び 土 石 工 業	8	30,988	0.3	11	50,242	0.5	13	48,543	0.3
金 属 製 品 工 業	9	33,620	0.4	28	59,910	0.6	10	126,882	0.7
機 械 工 業	10	24,126	0.3	12	576,576	5.3	11	1,151,608	6.5
電 気 機 械 製 品 工 業	1	X	X	3	1,078	0.0	—	—	—
輸 送 用 機 械 器 具 製 造 業	3	2,722	0.0	43	32,144	0.3	3	1,575	0.0
第 一 次 金 属 製 品 工 業	—	—	—	—	—	—	3	30,920	0.2
そ の 他 の 工 業	1	X	X	9	1,592	0.0	1	X	X
修 理 業	9	29,455	0.3	—	—	—	—	—	—

第 8 表

主要工場生産数量及び金額

(市庶務課)

區 分	昭和20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	工場名
蒸溜亜鉛	8,731屯 21,304千円	3,130 18,780	4,041 40,410	4,265 226,472	7,317 519,507	10,070 1,127,840	11,988 2,973,024	14,147屯 ...	三井金属 工業
電気亜鉛	3,158屯 7,706千円	2,129 14,903	1,595 18,343	1,988 111,727	4,024 363,752	6,571 768,807	6,803 1,700,750	7,239 ...	
亜鉛板	2,184屯 1,638千円	2,569 38,535	3,574 119,372	2,381 209,409	3,319 315,305	3,312 414,000	3,793 1,137,900	3,763 ...	株式会社 三池
硫酸	7,070屯 1,492千円	8,185 17,274	7,191 14,698	8,536 8,536	15,429 15,429	22,637 22,637	29,063 29,063	32,388 ...	
耐火煉瓦	3,605屯 ...	1,601 ...	2,197 11,058	17,976 1,918	90,445 3,113	149,404 3,404	279,035 4,246	...	製煉所
コークス	77,367屯 3,437千円	57,077 30,042	92,957 128,644	72,300 195,572	83,668 349,733	102,242 437,085	160,386 1,387,344	155,371 1,415,419	
分解ガス	42,315+立木 2,440千円	25,001 17,901	39,467 78,935	48,686 80,936	56,469 317,433	66,675 486,731	80,670 621,165	89,401 845,110	工業株式 会社
コール タール	5,858屯 354,000千円	4,655 2,374	7,862 9,728	6,040 19,124	7,782 33,669	10,582 75,397	16,939 169,390	15,920 214,222	
メンソール その他	...	15,572	52,905	156,164	158,672	227,876	416,824	8,393 356,275	三池工場
石灰窒素	16,524屯 3,607,662千円	26,469 47,319,045	18,272 99,721,662	20,062 292,753,452	21,684 515,672,833	30,822 653,501,035	42,994 884,216,047	45,097 1,288,468	
カーバイ ト	8,009千円 2,444,790千円	3,425 7,519,967	1,768 9,152,421	2,712 37,073,593	532 11,140,139	510 10,165,999	3,022 91,593,545	3,779 132,520	電気化学 工業株式 会社 大牟田 工場
その他	1,009,123千円	9,412,832	20,467,251	88,186,427	149,387,758	236,657,784	235,534,442	15,647 332,837	
炭製品	119,235 1,107,916	三井化学 工業株式 会社
合成染料	333千円 47,113千円	1,078 116,625	722 208,316	1,616 383,502	1,703 726,395	3,136 993,294	3,673 1,157,031	6,092 2,459,639	
中間物	1,869千円 350,991千円	1,573 320,170	1,519 323,978	3,142 784,573	6,431 1,176,092	11,242 1,379,058	19,127 2,091,120	5,612 997,671	
医薬品	53千円 70,879千円	173 167,707	135 156,655	168 278,782	290 639,669	167 339,510	172 173,837	2,056 560,308	三池染料 工業所
工業薬品	6,839 216,077	
農薬品	22千円 6,390千円	240 51,300	281 65,952	281 64,791	1,548 177,262	2,627 156,503	4,389 351,423	2,381 234,199	

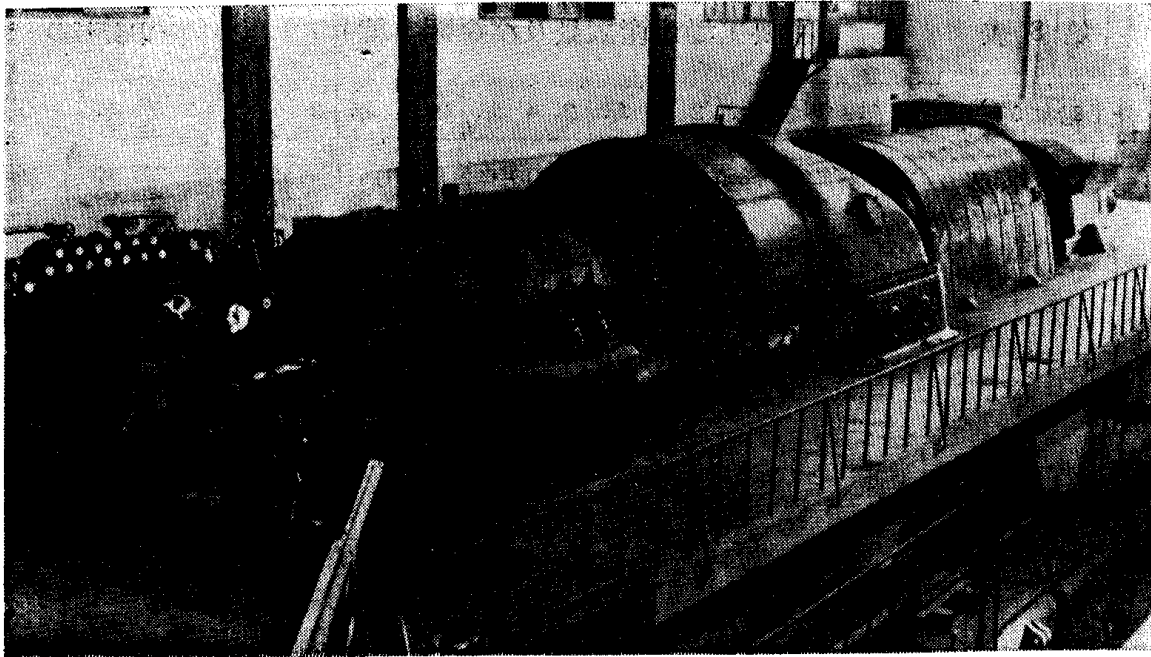
第 8 表

主要工場生産数量及び金額 (続)

(市庶務課)

区 分	昭和20年	2 1 年	2 2 年	2 3 年	2 4 年	2 5 年	2 6 年	2 7 年	工場名
硫 安	14,192屯千円	20,452 ...	68,850 ...	97,197 ...	119,522 ...	171,611 3,432,220	158,925 3,575,812	202,406 3,604,993	東洋高压 工業株式 会社 大牟田 工業所 三井鑛山 株式会社 三池 製作所
尿 素	1,313 55,146	12,769 574,605	26,183 775,527	
メ ノ ー タ ル	4,572 297,180	6,733 437,645	5,734 308,267	
ボ ソ ン プ 送 風 機	227台	154台	175台	185台	154 ...	
切 積 込 羽 籠	17台	53台	40台	47 ...	
切 炭 機	14台	31台	15 ...	
捲 揚 機	13台	15台	65台	39台	2 ...	
鉄 柱	19,613本	7,126本	19,553本	6,386 ...	
カ ッ ペ	14,151本	3,746 ...	
コ ン ベ ヤ	32台	60台	39 ...	
抗 内 電 氣 機 械 係	16台	12台	13 ...	
炭 車	330台	537台	496 ...	

註 三池染料工業所分は会計年度による



蒸気タービン（日発港発電所）

3 電 力

電力生産の概況

本市における電力の生産は港第一、第二発電所において行われる。港第一発電所は昭和6年9月三池炭鉱の自家用として7,000kwタービン2台と36屯ボイラー2罐の極小規模の設備で創設せられた。その目的は三池炭鉱の粗炭を使用し、湧水の多い同鉱に安定確実な電力を豊富に供給する為であつた。その後大牟田地区各産業の急速なる発展に伴い、電力の需要が急カーブに上昇するので之れに対応して四期に至り増設を重ねられ、現在設備容量147,000kw迄増大した。今日では戦前に優るとも劣らない出力を確保し九州における主力発電所として産業界に華々しい役割を演じている。港第二発電所は港第一発電所の老朽による出力低下と生産の拡充に伴う需要増加に対処するため、出力54,000kw汽罐1基汽罐2罐を有する発電所で昭和16年1月より着工したが戦時中工事中止となり昭和22年7月汽機及び一号汽罐が完成し8月より認可出力20,000kwにて営業運転をなし昭和23年10月2号汽罐が完成し54,000kwの出力を有するようになった、目下熱効率向上のため老朽した汽罐設備の入替工事実施中であるが明年（昭和29年）1月にはその第一期工事が竣功することになった。下表港第一、第二発電所の年別及び月別生産量調によれば年を追つて生産は増大し出力を確保しつつあることがわかる。即ち昭和22年（第一、第二を合せ）228,170,580kWhに対し昭和27年（第一、第二合せ）963,910,600kWhになり四倍以上の生産を見せている。

第9表 昭和22年度～27年度電力生産量（九州電力株式会社港発電所）

年 度	港 第 二		港 第 一		合 計
	KWH		KWH		
昭和22年度	68,293,280	159,877,300	228,170,580		
23	137,907,600	270,180,100	408,087,700		
24	202,982,900	282,198,000	485,180,900		
25	260,301,800	395,048,000	655,349,900		
26	423,652,100	429,685,300	853,337,400		
27	537,969,600	425,941,000	963,910,600		

註 港二は昭和22年8月20日開始

第10表 昭和27年度月別電力生産量（九州電力株式会社港発電所）

年 月	操業 日数	港 第 二		港 第 一		合 計
		電 力 量 KWH		電 力 量 KWH		
昭和27年 4月	30	28,806,300	31,155,500	58,961,800		
5	31	31,531,900	30,062,100	61,594,000		
6	20	14,035,500	28,561,300	42,596,800		
7	30	24,746,800	17,135,300	41,882,100		
8	31	55,139,100	37,512,500	92,651,600		
9	30	60,825,000	38,097,400	98,922,400		

第10表

昭和27年度月別電力生産量(統) (九州電力株式会社港発電所)

年 月	操業 日数	港 第 二		操業 日数	港 第 一		合 計
		電 力 量	KWH		電 力 量	KWH	
昭和28年	10	31	59,645,700	31	38,866,700	98,512,400	
	11	30	40,072,000	30	16,425,600	56,497,600	
	12	27	41,974,100	31	33,016,600	74,990,700	
	1月	29	62,059,900	31	53,470,100	115,530,000	
	2	28	59,556,600	28	56,797,400	116,354,000	
	3	31	59,576,700	31	44,840,500	104,417,200	

第11表

電 燈 需 用

(以下本資料は九州電力株式会社
大牟田営業所調査による)

(イ) 契 約 口 数

昭, 28, 3, 31

(ロ) 電燈契約数箇数及KW数

昭28, 3, 31

種 別				大牟田市		種 別				大牟田市		
定額電燈	一街小ヲ臨	型 機	般路器才時	13,487	29.3	定額電燈	一街小ヲ臨	型 機	般路器才時	23,377	燈筒箇燈	
				410						1,030		
				(18)								
				(3,144)								
				計	13,926.3						計	
											燈筒箇燈	
											27,617.8	
従量電燈	一街臨	計	般路時	14,225	3.5	従量電燈	一街臨	計	般路時	112,767	燈灯灯	
				10						172		
				3.5						28		
				計	14,238.5					計	112,967	
											灯	
											789	
大口電燈				50		大口電燈				KW		
電燈合計				28,214.8		電燈合計				灯筒KW		
再掲	定額電燈	1 2 3 5	燈燈以以上	5,375	214	再掲	定額電燈	燈數別	1 2 3 5	燈燈以以上	5,375	灯灯灯灯
				4,908							9,816	
				3,400							10,883	
				214							1,499	
再掲	従量電燈	4 10 11	燈燈以以下上	1,644	2,152	再掲	容量別電球		2 0 W 4 0 W 6 0 W 1 0 0 W 1 0 0W超過		9,787	灯灯灯灯
				10,439							8,956	
				2,152							5,214	
											443	
											7	
従量併用定額契約口数				0		従量併用定額契約口数				0		
											5,663	灯灯灯
										68,681		
										38,555		

(ハ) 使用電力量

(九電大牟田営業所)

種 別	従 量 電 灯				大 口 電 灯	合 計
	一 般	街 路	臨 時	計		
昭和28年度	6,097,095	20,845	9,095	6,127,035	873,087	7,000,122

第12表

用途別電力需用

(イ) 契約口数

昭28,3,31

(ロ) 契約KW数

昭28,3,31

種別		大牟田市		
人口 (昭和25年10月1日現在)		191,978		
業務用電力	500 KW 未 満	}	6	
	500 " 以 上			
	500 " 以 上			
	500 " 計			
大口電力	一般	従来 計 量器	683	
		計 計	5	
	臨時	農専用	従来 計 量器	0
			計 計	0
		その他	4.3	
	計		4.3	
	計		692.3	
	大口電力	甲	常電 化 浴 時場	14
			避尖頭 夜 間 最 大	0
			特小 殊計	0
乙		常 時	0	
		避尖頭 夜 間 最 大	0	
		特小 殊計	0	
丙		常 時	0	
		避尖頭 夜 間 最 大	0	
		特小 殊計	0	
計		常電 化 浴 時場	14	
		避尖頭 夜 間 最 大	0	
		特小 殊計	0	
臨時	農専用 従来 計 量器	0		
	その他 計	0.1		
計		0.1		
融 通 補 給 電 力		0		
事 業 用 電 力		17		
電 力 合 計		729.4		

種別		大牟田市		
業務用電力	500 KW 未 満	}	455	
	500 " 以 上			
	500 " 以 上			
	500 " 計			
計		455		
大口電力	一般	従来 計 量器	3,427	
		計 計	7	
	臨時	農専用 従来 計 量器	0	
		計 計	0	
		その他	118.8	
	計		118.8	
	計		3,552.8	
	大口電力	甲	常電 化 浴 時場	1050
			避尖頭 夜 間 最 大	0
			特小 殊計	0
乙		常 時	0	
		避尖頭 夜 間 最 大	0	
		特小 殊計	0	
丙		常 時	0	
		避尖頭 夜 間 最 大	0	
		特小 殊計	0	
計		常電 化 浴 時場	1,500	
		避尖頭 夜 間 最 大	0	
		特小 殊計	0	
臨時	農専用 従来 計 量器	0		
	その他 計	1,500		
計		107.3		
計		107.3		
計		1607.3		

(ハ) 使用電力量 (自昭27,4,1 至昭28,3,31)

第13表 業種別電力需用 (自昭27,4,1 至昭28,3,31)

種 別	大牟田市		業 種 別	大 牟 田 市			
	742,864			契 約 数 (口)	契 約 KW数 (KW)	使用電力量 (KWII)	
業務用電力	742,864						
小口電力	一般	従未計 計器計	50KW未満のもの		889.1 4,170.2	2,688,984	
	臨時	農事用	0 0 0	50KW以上	鉦業	0.1 0.1	0
		その他計	28,317 28,317		金属工業	1 100	13,980
	計		2,194,250		機械器具工業	6 575	257,097
			化学工業		2 135	213,015	
大口電力	甲	常電	1,401,726 0	500KW未満	窯業	0.1 0.1	0
		避尖頭	0 0		紡織工業	0.1 0.1	0
		特小	0 1,401,726		食料品工業	5 535	940,599
		常時	0		その他工業	0.1 0.1	0
	乙	避尖頭	0 0	500KW以上	農林業	1 85	47,190
		特小	0 0		電気鉄道	0.1 0.1	0
		常時	0		公共事業	4.1 537.3	602,687
		避尖頭	0 0		事務所用ビルディング	2 210	282,312
	丙	特小	0 0	計	その他	1 70	41,460
		常電	1,401,726 0		計	22.1 2,247.3	2,398,340
		避尖頭	0 0		鉦業	0.1 0.1	0
		特小	0 0		金属工業	0.1 0.1	0
	計	常電	1,401,726 0	50KW未満のもの	機械器具工業	0.1 0.1	0
		避尖頭	0 0		化学工業	0.1 0.1	0
		特小	0 1,401,726		窯業	0.1 0.1	0
		常時	0		紡織工業	0.1 0.1	0
臨時	農事用	0 0 0	合計	食料品工業	0.1 0.1	0	
	その他計	125,230 125,230		その他工業	0.1 0.1	0	
	計			1,526,956	農林業	0.1 0.1	0
					電気鉄道	0.1 0.1	0
融通補給電力		0					
事業用電力		48,966					
電力合計		4,513,036					
總計		11,513,158					

4 瓦 斯

瓦 斯 の 概 況

本市における瓦斯は三池染料工業所よりの買受瓦斯を市内一円に供給し常時2700戸の瓦斯需要家を擁していたが昭和15年戦時状態に入るや軍需工業地なるが為め再三の空襲且つ強制疎開等により需要家600戸を撤除し需要減のやむなきに至った。続いて昭和20年6月7日の二回に亘る大空襲により全供給区域に大なる被害を受け瓦斯工作物に致命的損害を蒙つたので戦後これが復興に努力し空襲被害による瓦斯工作物の復旧その他苦心の結果漸く市内直送管の瓦斯送入に成功し、なお染料工業所の復興に伴い瓦斯送出の円滑に並行して漸次市内各方面の供給に成功した従来需要家戸数の増加に重点を置き1,241戸を算するに至つたが、需要家戸数3,000戸を近き将来の目標として市内各方面の設備拡充に努め本年度内には1,640戸の需要家戸数に到達すべく企画遂行中である。尙又東洋高压工業株式会社分譲瓦斯の送入計画完了と相俟つて多年の宿案であつた公益事業令に基く熱量による瓦斯供給を開始し瓦斯送出の増大を計り益々発展の途上にある。

第14表

ガ ス (大牟田市瓦斯株式会社)

年 別	ガ ス 管 延 長			孔 口 数		需要戸数
	本 管	供 給 管	屋 内 管	燈 用	熱 用	
昭和23年	m 11,462	m 9,200	2,800	ケ —	ケ 632	戸 351
24 "	11,792	12,800	4,000	—	905	503
25 "	11,968	14,080	4,320	—	970	539
26 "	13,422	22,289	8,096	—	1,820	1,012
27 "	14,437	25,779	8,636	8	2,226	1,241

註 昭和27年休止戸数を含む

第15表

ガス供給戸数及び孔口数 (大牟田市瓦斯株式会社)

區 分	総 数	家庭用	商工業用	医療用	公 用	孔口数
昭和23年末	戸 351	戸 319	戸 31	戸 1	—	孔口 632
24 "	503	483	19	1	—	905
25 "	539	471	63	5	—	970
26 "	988	871	107	10	—	1,280
昭和27年 1月	1,008	890	108	10	—	1,866
2	1,012	898	104	10	—	1,924
3	1,052	930	112	10	—	1,960
4	1,074	950	114	11	—	2,001
5	1,089	930	148	11	—	2,032
6	1,108	949	148	11	—	2,084
7	1,111	942	158	11	—	2,098
8	1,150	986	153	11	—	2,154
9	1,147	989	148	10	—	2,154
10	1,158	997	150	11	—	2,172
11	1,162	995	157	10	—	2,221
12	1,168	1,006	151	11	—	2,234

第16表

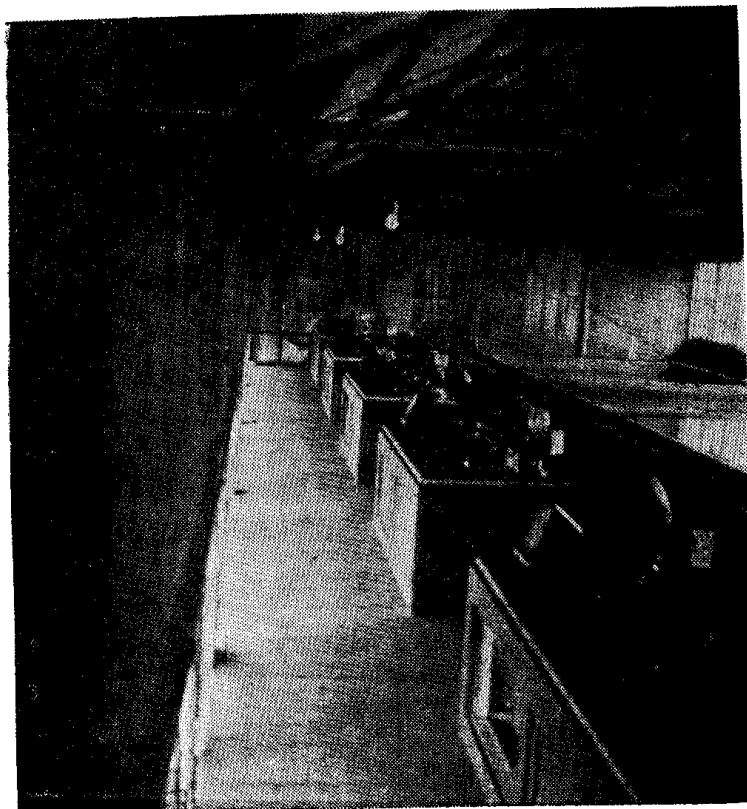
ガ ス 供 給 量 (大牟田市瓦斯株式会社)

区 分	総 数	家庭用	商工業用	医療用	公 用
昭和23年末	35,707 m ³	18,378 m ³	4,329 m ³	13,000 m ³	—
24 "	30,291	16,832	1,459	12,000	—
25 "	27,383	18,980	8,132	271	—
26 "	56,829	38,517	17,656	656	—
昭和27年 1月	68,040	46,265	21,059	716	—
2	62,657	43,294	18,817	546	—
3	46,744	32,672	13,482	590	—
4	49,579	35,106	13,660	813	—
5	43,605	29,905	12,987	713	—
6	37,691	26,049	10,947	695	—
7	35,006	26,638	7,828	540	—
8	36,738	29,035	7,295	408	—
9	39,058	30,826	7,796	436	—
10	47,316	31,722	15,029	565	—
11	48,115	31,429	15,765	921	—
12	21,483	16,934	4,209	340	—

5 水道

水道の概況

本市の市街地は地勢的に低く沼地を埋立て家屋を建築する状態であつたので井戸水も極めて汚水で（そのまま飲料に適する井戸6.07%濾過すれば飲料に適するもの4.15%煮沸すれば飲料に適するもの6.35%飲料に適しないもの83.41%）市民は飲料水を求めることに非常な困難を来していた。明治三十八年以来上水道施設が提唱されてより種々調査研究の結果大正八年水源を熊本県玉名郡清里村及び長洲町に求め当時大牟田市及び三池郡三川町の一部に給水すべく深井戸3本の鑿井が着工せられ大正十一年に給水を開始した。その後市勢の発展、人口の増加は創設当時の施設にては水給に不安を生ずるに至つたので源井三池配水池一池の増設配水管の延長を計画し昭和三年三月着工同七年七月完成して取水及び配水の機能を増大した。昭和十年水源池施設の大改修と更に水源井二井を鑿井し従来の各源井毎に唧筒設備を廃し綜合唧筒場を設くべく工事に着手し同十七年三月竣工をみたこの二回に亘る拡張工事も支那事変以来の軍需物資の増産に伴ふ人口の急激な増加のための需用量の増大は水源井の老朽と相俟



(第一配水池急速濾過機操作台)

つて本市上水道の機能の限界を越え昭和十四年には遂に時間給水のやむなきに至つたので昭和十八年三月緊急対策として第九源井の鑿井に着手したが工事資材の入手困難と物価の高騰による資金難により中止するのやむなきに至つた。(終戦後昭和二十二年五月この残工事を施行し同十一月竣工)

昭和十九年市民の保健衛行の安定及び防火上の万全を期するため従来の消極的な拡張計画を変更し三井三池飲業所簡易水道熊本県菊地川源水を1日取水量一万立方分米する拡張計画を樹てこれが認可申請中の処同年七月工事認可となつたので直ちに工事に着手したが終戦後に至り物價高騰は資材入手困難と共に工事は進捗を拒む一方源井は益々老朽し従来の送水管は銹蝕のため送水量は減退するに至つたため昭和二十五年より従来の送水管には中継唧筒場を新設し水源には第十源井が計画され本格的第四次拡張工事が軌道に乗り昭和二十六年七月には菊地川源水及び第十源井の送水を開始し十年間に亘る時間給水を解消した。

其外三井三池事業所に於る簡易水道の施設があつて事業所関係工場建物並びに杜宅等給水に徹底を期している。

第17表 上水道沿革一覽表

(市水道局工事課)

区 分	創 設	第一次擴張	第二次擴張	第三次括張	第四次擴張
総 工 費	1,759,445 円	698,639 円	618,412 円	576,000 円	85,140,000 円
工 事 期 間	自大正7年度7ヶ年至大正13年度7ヶ年	自昭和2年度6ヶ年至昭和7年度6ヶ年	自昭和10年度7ヶ年至昭和16年度7ヶ年	自昭和18年度4ヶ年至昭和21年度4ヶ年	自昭和19年度10ヶ年至昭和28年度10ヶ年
起 工	大正8年3月14日	昭和3年3月1日	昭和10年7月17日	昭和18年10月15日	昭和19年7月24日
竣 工	大正14年3月31日	昭和7年7月30日	昭和17年3月31日	昭和22年3月31日	昭和29年予定
通 水 開 始	大正10年8月2日	—	—	—	—
給 水 区 域	大牟田市及び三池郡三川町	大牟田市及び三池郡三川町	三池郡駛馬町及び荒尾市の一部編入	左 同	左 同
計 画 給 水 人 口	8 万 人	13 万 人	13万6千人	左 同	12万9千人
1日1人当り	100立	139立	175立	左 同	225立
最大給水量	—	—	—	—	—
工 事 大 要	水源井築造工事(三井)配水池及濾過池(一池)	水源井増設工事(三井)配水池及濾過池(一池)配水管布設	—	—	—
濾 過 能 力	10,000立米/日	10,000立米/日	—	—	—
殺 菌 設 備	—	—	液体塩素	—	—
濾 過 方 式	キヤンデ重力ストレーナー式	左 同	自然流下式	—	—
配 水 池	第一配水池	第二配水池	—	—	—
計 画 原 水 量	3,453立米	3,168立米	—	—	—
	8,000立米/日	計 18,500立米/日	" 23,800立米/日	" 23,800立米/日	" 30,000立米/日

第 18 表

水 源

26.5.1

(市水道局工事課)

源 井 名	計 画 1 日 湧 水 量	深 さ	吸 水 管 内 径	竣 工 年 月	備 考
第一 源井	3,670立米	144米	12吋	大正 9, 12	
第二 〃	3,670	86	12	〃 10, 2	
第三 〃	3,670	151	12	〃 9, 9	
第四 〃	3,670	142	12	昭和 2, 5	
第五 〃	3,670	157	15吋	〃 6, 1	
第六 〃	3,670	152	12	〃 6, 1	
第七 〃	3,670	103	15	〃 16, 8	
第八 〃	3,670	152	15吋	〃 13, 9	
第九 〃	3,670	109	15	〃 22,	
第十 〃	3,500	150	10 15	現在工事施行中	

第 19 表

取 水 唧 筒 設 備

(熊本縣玉名郡清里村)

26.5

(市水道局工事課)

設 備 場 所	使 用 別	形 式	馬 力	電 圧	回 転 数 (毎分)	水 頭	取 水 量
綜 唧 筒 室	常 用	在原CIIM	250	3,000v	1,170回	113米	130立/秒
〃	〃	〃	400	〃	〃	〃	210
〃	予 備	〃	400	ディーゼル	〃	〃	210
〃	〃	〃	250	〃	〃	〃	130
第 三 源 井	〃	〃	65	3,000v	〃	80米	40
第 四 源 井	〃	〃	65	〃	〃	〃	40

註 第三、第四源井は現在使用せず

第 20 表

中 継 唧 筒 設 備

(荒尾市大島)

26.5

(市水道局工事課)

設 備 場 所	使 用 別	形 式	馬 力	電 圧	回 転 数 (毎分)	水 頭	取 水 量
仲 継 唧 筒 場	常 用	ゐのくち 単K.S.M	150	3,300v	1,750回	65米	116立/秒
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
〃	予 備	〃	〃	〃	〃	〃	〃

第 21 表

急 速 濾 過 池 (26.5)

第一、第二配水池にキャンデー空気水混用洗滌重力式5池1組のもの各一基

(市水道局工事課)

区 分	長 × 巾 × 深	砂 (厚さ)	砂利 (厚さ)	濾過溝(深さ)	形 式	面 積
濾 過 池	5m × 3m × 2.1m	0.6m	0.45m	0.1m	重力キャンデー ストレーナー式	15平米/一池

註 1, 池の通水量 2,000立米/日

1, 濾過速度 136.1米/日

第 22 表

配 水 池

26.5

(市水道局工事課)

区 分	縦	横	深	形 式	実 容 量
第 一 配 水 池	16.5米	29米	4.18米	アーチ型無筋コン クリート池	6,453立米
第 二 配 水 池	22.73米	28米	5.70米	鉄筋コンクリート スラブ池	3,168 "

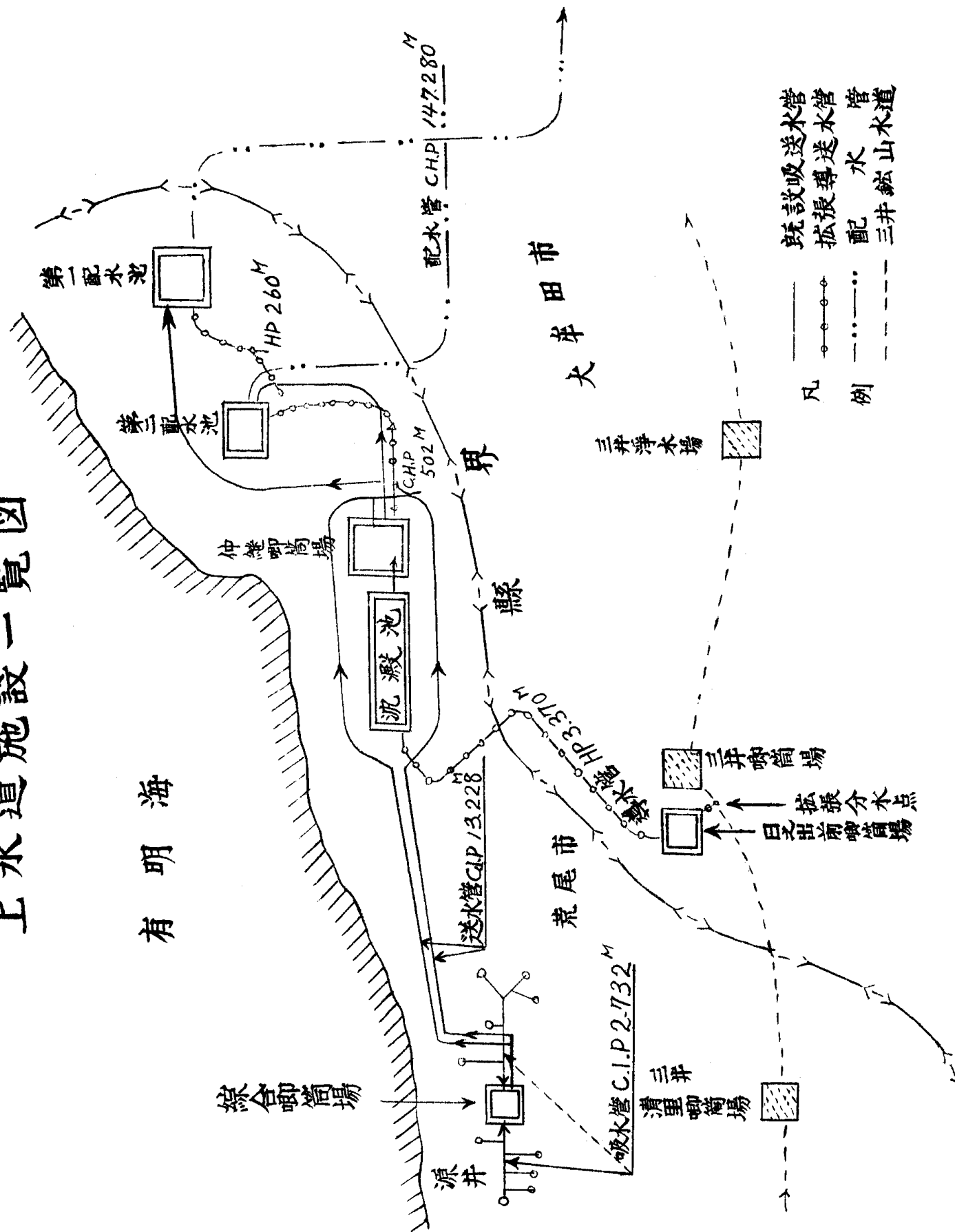
第 23 表

液 体 鹽 素 注 入 機

26.5

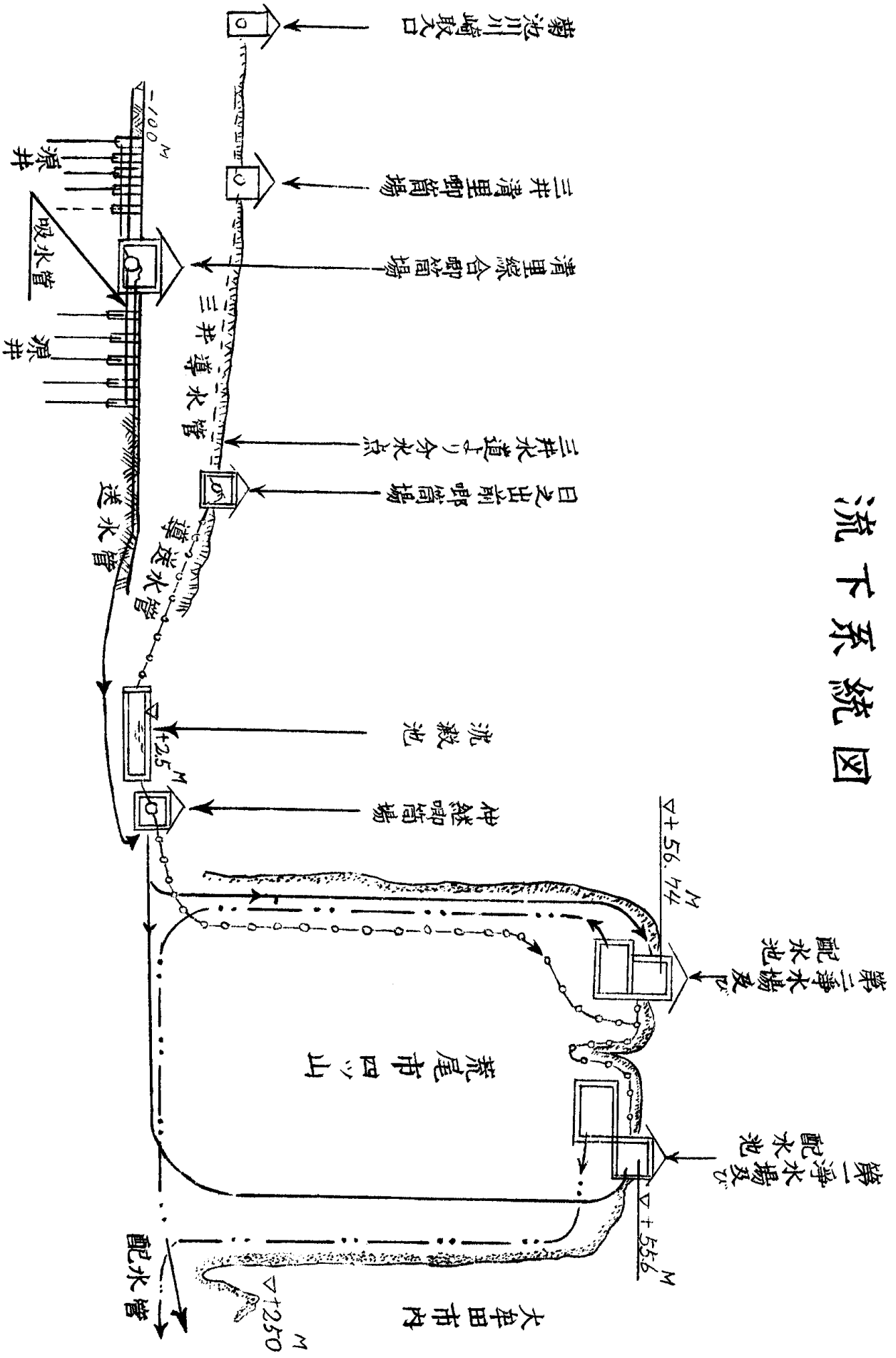
型 式	注 入 方 法	商 品 名	台 数	注 入 場 所
湿 式	自 然 流 下	磯村産業第一号型	2 台	配 水 池
真 空 式	〃	エル、レイボルト国産フロレーター	1 台	水 源 池

上水道施設一覽圖



- 凡例
- 既設吸送水管
 - - - 拡張送水管
 - ⋯ 配水管
 - · - 三井鉦山水道

流下系統圖



第 24 表

昭和22年～27年水道用地鉄管その他

(市水道局工事課)

区 分		22	23	24	25	26	27	備 考
水 道 用 地		反畝歩 37,706	37,706	37,706	39,826	40,720	40,720	27年配水管には代用管 を含まない
	送配水管	M 13,227 143,552 156,779	M 13,257 143,473 156,730	M 13,257 162,487 175,744	M 13,257 162,487 175,744	M 17,446 163,509 180,955	M 18,027 115,985 134,012	
水 圧	送配水	kg 9.6 3.0	6.6 3.0	6.6 3.0	6.6 3.0	6.6 3.2	6.5 3.5	
水 量	一年間	濾過水量 5,830,810 3,344,138	5,976,798 3,577,305	6,270,914 3,768,461	6,234,726 3,874,969	8,286,924 4,416,156	8,724,414 4,656,868	
	一日透水	最 18,030 14,076 16,011	最 18,505 13,435 15,975	高 20,282 13,179 16,835	低 19,769 12,947 17,081	平 30,960 13,343 22,642	均 30,511 17,031 23,902	

第 25 表

昭和22年～27年給水料金

収入済会計年度による

(市水道局事務課)

区 分		昭和22年度	23 年度	24 年度	25 年度	26 年度	27 年度
専 共 計	用の栓	3,718,445	11,571,260	17,615,416	19,162,685	21,112,847	40,153,951
	の栓	3,110,160	8,432,001	11,053,761	12,183,814	12,525,478	23,925,652
	計	6,828,605	20,003,261	29,268,177	31,346,499	33,638,325	64,079,603

第 26 表

昭和22年～27年給水栓及び戸数類別

區 分		2 2 年	2 3 年	2 4 年	2 5 年	2 6 年	2 7 年
給 水 栓	専 用 栓	6,774	7,372	8,179	9,216	10,115	10,628
	計	2,084	2,101	1,986	1,950	1,930	1,913
給 水 戸 数	専 産 栓 使 用	6,479	8,459	9,680	10,575	11,035	11,635
	計	10,120	10,609	10,755	10,687	10,320	10,156
給 水 類 別	家 事 用 他	16,101	18,490	19,779	20,540	20,229	20,213
	官 公 衛 所 用	—	—	—	—	142	151
給 水 類 別	官 営 湯 屋 用	450	530	608	671	750	1,117
	工 場 用	39	40	43	46	46	46
給 水 類 別	工 船 用	—	—	—	—	179	202
	特 別 用	2	2	2	2	2	2
給 水 類 別	計	7	6	3	3	7	6
	計	16,599	19,068	20,435	21,262	21,355	21,791

6 農 業

農 業 の 概 況

本市四辺は山岳と海に囲繞せられた交通条件悪き畑地多く且つ天然水系に恵まれざる小盆地に近々三、四十年の間に稀有の地下炭田の発見開発を中心とする関連産業の螺旋によつて旧来の都市の持つ経済的發展の条件の下においては到底斯る都市の誕生しがたい土地に忽然として一大鉦工都市の誕生を見たものであり市街地は他都市と同じく此の狭隘なる農地の中、最も平坦沃野地の中心に形成せられ現在幸じて農村地帯の風格は僅に都心部より比較的山岳地周辺地区に残存するに過ぎざれども本市は鉦工業を中心とする都市にて人口密度耕地率から云へば多分に農村的性格を現しているが久等の中に見出される特異性は農家の中堅たるべき労働力が鉦工業に吸引せられ収入源を大資本工業に依存する度合強く結果的には農地の細分化による農業の零細性をもたらしている。

即ち第27表に示す如く経営規模において3反未満の農家が圧倒的に多く全農家の40%を超え、5反未満は実に70% (3反未満を含む) を占めている。之を地区別にみれば夫々地区によつてもその特異性を現はしている。即ち市街地内(旧市内)の経営形態と周辺地域(倉永、上内等)のそれとは自づとその性格を異にしている。以上の性格は海外引揚、都市人口の農村流入と食糧確保のため、新しい農業経営の発生と人口の自然増加とにより戦前の人口に比し著しく増加を示し、経営の零細化に拍車をかけたものと云える。

第 27 表 經營規模別專業兼業別農家戸数 (以下本資料は昭和27年8月1日現在綜合計画基礎調査(当市農林課独自の調査)による(市農林課))

項目 規模別	(比率) 農家数	(比率) 專業農家数	兼業農家数			1950年世界 センサス	1947年臨時 センサス
			計	兼業を主と する農家	農業を従と する農家		
3反未満	(41.4) 1,549	(18.8) 292	1,257	(4.5) 69	(76.7) 1,188	1,986	1,625
3反~5反	(24.7) 922	(30.7) 283	639	(10.2) 94	(59.1) 545	982	907
5反~10反	(28.6) 1,086	(46.5) 497	571	(25.8) 275	(27.7) 296	1,243	1,076
10反~15反	(5.0) 186	(64.0) 119	67	(33.8) 63	(2.2) 4	281	223
15反以上	(0.3) 11	(72.7) 8	3	(27.3) 3	0	26	11
合計	(100) 3,736	(32.1) 1,199	2,537	(13.5) 504	(54.4) 2,033	4,527	3,842
1950年世男 センサス	4,527	1,073	3,454	1,025	2,429		
1947年臨時 センサス	3,842	1,225	2,617	1,291	1,317		

第 28 表 經營規模別地区別農家戸数 (市農林課)

区分 地区別	3反未満	3反~5反	5反~1町	1町~1町5反	1町5反以上	計	1950世男 センサス	1947臨時 センサス
銀水	243 (38.1)	151 (23.7)	206 (32.3)	37 (5.7)	—	637	640	632
手鎌	314 (47.5)	181 (27.4)	154 (23.3)	11 (1.7)	1 (0.1)	661	725	731
倉永	133 (28.8)	98 (21.2)	186 (40.2)	42 (9.1)	3 (0.7)	462	514	418
上内	128 (25.0)	142 (27.7)	195 (38.0)	45 (88)	3 (0.5)	513	541	512
三池	127 (32.9)	117 (30.3)	118 (30.6)	24 (6.2)	—	386	580	361
玉川	181 (43.3)	94 (22.5)	121 (28.9)	20 (4.8)	2 (0.5)	418	546	415
駛馬	165 (56.7)	75 (25.8)	47 (16.1)	3 (1.0)	1 (0.4)	291	363	323
大牟田	258 (70.1)	64 (17.4)	41 (11.1)	4 (1.1)	1 (0.3)	368	618	450
計	1,549 (41.5)	922 (24.7)	1,068 (28.6)	186 (4.9)	11 (0.3)	3,736	4,527	3,842
1950年世界 センサス	1,994 (44.1)	982 (21.7)	1,243 (27.5)	281 (6.2)	27 (0.5)	4,527	—	—
1947年臨時 センサス	1,625 (42.3)	907 (23.6)	1,076 (28.0)	223 (5.8)	11 (0.3)	3,842	—	—

第 29 表 經營規模別耕作面積 (單位反) (市農林課)

規模別	種類	銀水	手鎌	倉永	上内	三池	玉川	駛馬	大牟田	計
0反	田畑	272	513	140	148	181	90	162	285	1,791
~	開墾園	150	107	82	92	72	179	114	112	908
3反	樹園	2	3	8	14	4	7	2	4	44
		1	—	1	5	3	1	—	1	12

第29表

經營規模別耕作面積 (続) (単位反)

(市農林課)

規模別	種類	銀水	手鎌	倉永	上内	三池	玉川	駛馬	大牟田	計
3反 ~ 5反	田畑 開墾 園	405	592	262	344	301	195	245	256	2,600
		182	118	101	174	116	166	105	67	1,029
		3	3	5	33	11	8	1	2	66
		3	1	1	17	11	5	—	1	39
5反 ~ 10反	田畑 開墾 園	974	869	943	894	508	434	198	200	5,020
		453	173	342	419	212	398	105	52	2,154
		3	6	20	65	19	5	8	—	126
		8	—	4	42	80	7	2	5	148
10反 ~ 15反	田畑 開墾 園	283	99	372	311	180	108	26	32	1,411
		128	23	110	155	66	122	10	14	628
		2	—	6	11	2	2	—	5	28
		22	1	7	15	36	—	—	—	81
15反 ~ 以上	田畑 開墾 園	—	14	29	32	—	17	16	13	121
		—	1	8	14	—	18	2	5	48
		—	—	3	—	—	—	—	—	3
		—	—	7	11	—	1	—	—	19
計	田畑 開墾 園	1,934	2,087	1,746	1,729	1,170	844	647	786	10,943
		913	422	643	854	466	883	336	250	4,767
		10	12	42	123	36	22	11	11	267
		34	2	20	90	130	14	2	7	299

第30表

耕地種類別面積 (単位反)

(市農林課)

部 落 名	項目	田				計	畑		樹園地	沼田
		一耕作		二耕作			普通	開墾		
		半湿田	湿田	乾田	半湿田					
銀手倉上	水鎌水内	11	95	1,641	187	1,934	913	10	34	—
	池川馬田	3	62	1,757	265	2,087	421	12	2	—
三玉駛大	水内	18	186	1,095	447	1,746	643	42	20	—
	牟田	70	286	976	399	1,729	853	123	90	—
計	池川	18	181	846	125	1,170	466	36	130	—
	馬田	14	107	604	119	844	883	22	14	—
	計	8	160	331	78	647	336	11	2	70
	計	6	114	479	97	786	250	11	7	90
	計	148	1,189	7,729	1,717	10,943	4,767	267	299	160

第31表

經營規模別耕地面積 (単位反)

(市農林課)

區別	項目	種類	田				合計	畑		樹園地		合計	山林	
			一毛作		二毛作			普通畑	開墾地	果樹	その他		區別	面積
			半湿田	湿田	乾田	半湿田								
3反未滿	自作地	15	147	859	170	1,191	689	34	10	2	1,926	薪炭林	234	
	貸付地	9	30	288	48	375	137	—	1	—	513	材林	45	
	小作地	7	54	442	97	600	219	10	—	—	829	材林	16	
	耕作計	22	201	1,301	267	1,791	908	44	10	2	2,755	他	2	
3反~5反	自作地	22	225	1,296	257	1,800	828	56	32	2	2,718	薪炭林	382	
	貸付地	10	24	290	41	365	133	2	—	—	500	材林	128	
	小作地	9	71	474	86	640	201	10	5	—	856	材林	40	
	耕作計	31	296	1,770	343	2,440	1,029	66	37	2	3,574	他	4	
5反~10反	自作地	54	391	2,787	613	3,845	1,802	112	135	10	5,904	薪炭林	874	
	貸付地	12	44	478	91	625	245	2	—	—	872	材林	254	
	小作地	18	111	857	189	1,175	352	14	3	—	1,544	材林	125	
	耕作計	72	502	3,644	802	5,020	2,154	126	138	10	7,448	他	6	
10反~15反	自作地	20	153	783	225	1,181	561	28	71	—	1,841	薪炭林	159	
	貸付地	7	10	145	23	185	47	—	—	—	232	材林	43	
	小作地	3	25	159	43	230	67	—	10	—	307	材林	27	
	耕作計	23	178	942	268	1,411	628	28	81	—	2,148	他	1	

第 31 表 經營規模別耕地面積 (続) (単位反) (市農林課)

項目 區別	種類	田					畑		樹園地		合計	山 林	
		一毛作		二毛作		合計	普通畑	開墾地	果樹	その他		區別	面積
		半湿田	湿田	乾田	半乾田								
15反以上	自作地	—	12	64	37	113	46	3	19	—	181	薪竹用	36
	貸付地	—	—	11	—	11	3	—	—	—	14	炭材林	2
	小作地	—	—	8	—	8	2	—	—	—	10	林林林	13
	耕作計	—	12	72	37	121	48	3	19	—	191	其他	—
合 計	自作地	111	928	5,787	1,302	8,128	3,926	233	267	14	12,570	薪竹用	1,685
	貸付地	38	108	1,212	203	1,561	565	4	1	—	2,131	炭材林	472
	小作地	37	261	1,940	415	2,653	841	34	18	—	3,546	林林林	221
	耕作計	148	1,189	7,729	1,717	10,783	4,767	267	285	14	16,116	其他	13

第 32 表 經營規模別収入源別業態 (市農林課)

項目 經營規模別	農家 戸数	専業兼業別		生産物の 入割以上 を自家消 費する	生産物の二割以上を販賣しその三割以上が															
		項目	戸数		比率	稻	麦	雜穀	甘 馬鈴薯	蔬 菜	工芸作 業	果 樹	其他 作物	農産 加工	畜産	養蠶	いずれも三割 に満たない			
3反未滿	1,546	専業 一種兼業 二種	292 69 1,188	18.9 4.4 76.7	1,046	72	60	1	32	6	—	—	—	1	3	9	—	2	—	15
3反~5反	922	専業 一種兼業 二種	283 94 545	30.7 10.2 59.1	582	179	167	1	81	16	—	—	—	10	16	1	1	—	—	27
5反 10反	1,068	専業 一種兼業 二種	497 275 296	46.5 25.8 27.3	216	555	521	—	235	83	—	—	—	2	27	15	1	1	2	120
10反~15反	186	専業 一種兼業 二種	119 63 4	64.0 33.9 2.1	4	121	102	—	57	27	—	—	—	3	11	2	—	2	—	43
15反以上	11	専業 一種兼業 二種	8 3 —	72.8 27.2 —	2	6	6	—	2	1	—	—	—	—	2	—	—	—	—	3
合 計	3,736	専業 一種兼業 二種	1,199 504 2,033	32.1 13.5 54.4	2,210	933	356	2	407	133	—	—	—	6	53	42	2	6	2	208

第 33 表 經營規模別農家の教育程度、農家人口並農業人口戦後の分家、
労働の手段 (市農林課)

項目 規模別	農家 戸数	農家 人口	教育程度 旧制中 学校以 上の学 歴を有 する者	農 業 人 口		戦後の分家		勢務先 種別 人数	臨雇 をな す農 家数	他から 加勢を 受ける 農家数	「結 ひを なる 農家 数」	常雇 のある 農家数	營農開始の時期			
				種別	人口	1戸当 平均	種別						分家 数	種別	戸 数	
3反未滿	1,549	8,198	845	専業 兼業 農繁期 計	2,102 584 924 3,614	1.4 0.4 0.6 2.4	離村 在兼 在専 計	140 41 20 201	鉦業 工 其他 計	463 481 707 1,651	—	—	—	戦前 戦中 戦後	1,124 117 308	
3反~5反	922	5,474	553	専業 兼業 農繁期 計	1,674 333 549 2,556	1.8 0.4 0.5 2.7	離村 在兼 在専 計	70 20 34 124	鉦業 工 其他 計	234 20 34 288	442	276	439	9	戦前 戦中 戦後	819 37 66
5反 ~ 10反	1,068	7,216	718	専業 兼業 農繁期 計	2,804 278 653 3,735	2.6 0.3 0.6 3.5	離村 在兼 在専 計	86 29 21 136	鉦業 工 其他 計	181 246 342 769	608	362	512	13	戦前 戦中 戦後	1,004 22 42
10反 ~ 15反	186	1,512	175	専業 兼業 農繁期 計	651 40 113 804	3.5 0.2 0.6 4.3	離村 在兼 在専 計	21 3 11 35	鉦業 工 其他 計	21 34 39 94	125	69	90	5	戦前 戦中 戦後	175 10 1

第 33 表 經營規模別農家の教育程度、農家人口並農業人口戦後の分家、
労働の手段 (市農林課)

規模別	項目	農家 戸数	農家 人口	教育程度 旧以 中学校 以上の 有する者	農 業 人 口			戦後の分家		勢 務 先		臨 雇 を す 農 家 数	他 か ら 加 勢 を 受 け る 農 家 数	「結 ひ を な す 農 家 数	常 雇 の あ る 農 家 数	営農開始の時期	
					種別	人口	1戸 当 平均	種別	分家 数	種別	人 数					種別	戸 数
15反以上		11	104	16	専業	36	3.3	離村	1	専業	—	6	3	4	2	戦前	11
					兼業	1	0.1	在兼	—	工	1					戦中	—
					農繁期	6	0.5	在専	—	其他	1					戦後	—
					計	43	0.9	計	1	計	3						
合 計		3,736	22,514	2,307	専業	7,257	2.0	離村	318	専業	899	1,064	1,061	1,570	40	戦前	3,133
					兼業	1,236	0.3	在兼	93	工	783					戦中	186
					農繁期	2,249	0.6	在専	86	其他	1,123					戦後	417
					計	10,752	3.0	計	497	計	2,805						

第 34 表 經營耕地の便否 (単位反) (市農林課)

規模別	項目	距離	15 分 以 内				15 分 ~ 30 分				30 分 以 上				合 計	
			車が入る		入らない		車が入る		入らない		車が入る		入らない		團地数	面積
			團地数	面積	團地数	面積	團地数	面積	團地数	面積	團地数	面積	團地数	面積		
0反 ~ 3反	田畑		1,110	1,044	657	540	164	131	106	78	55	47	59	50	2,151	1,890
			641	321	681	284	132	68	144	58	33	22	53	31	1,684	784
3反 ~ 5反	田畑		1,214	1,275	804	754	179	170	138	147	42	53	38	35	2,415	2,434
			659	474	874	440	139	88	160	76	44	34	43	22	1,919	1,134
5反 ~ 10反	田畑		2,012	2,720	1,267	1,499	326	379	294	279	70	75	58	68	4,027	5,020
			1,102	1,035	1,132	844	233	198	324	246	55	42	63	61	2,907	2,426
10反 ~ 15反	田畑		510	794	321	399	80	97	65	71	13	25	9	15	998	1,401
			289	345	289	251	64	62	73	67	18	23	18	16	751	764
15反以上	田畑		55	65	18	23	3	19	1	1	11	9	6	4	94	121
			14	14	18	44	5	8	1	1	6	4	12	9	56	80
合 計	田畑	面積 比率	4,901	5,898	3,067	3,215	752	796	604	576	191	209	170	172	9,685	10,866
			—	54.2	—	29.5	—	7.3	—	5.3	—	1.9	—	1.8	—	100%
計	畑	面積 比率	2,705	2,189	2,994	1,863	573	424	702	448	156	125	189	139	7,319	5,188
			—	42.2	—	35.9	—	6.2	—	8.6	—	2.4	—	2.7	—	100%

第35表

森

樹種	0年	1年~5年	6年~10年			11年~15年		
	面積	面積	面積	畜積	生長量	面積	畜積	生長量
スギ	3,54 ^町	23,84	20,36			10,79	2,102 ^石	340 ^石
ヒノキ	0,04	1,83	2,66			2,44	464	50
マツ	8,35	1,40	0,57			3,82	469	45
其の他	—	—	—			—	—	—
用材林計	11,93	27,07	23,59			17,05	3,035	435
クヌギ	—	0,51	1,05	35	6	0,69	31	4
ザツ	7,53	173,04	189,09	1,895	292	99,48	4,962	594
其の他	2,93	13,32	21,17	—	—	17,41	1,388	136
薪炭林計	10,46	186,87	211,31	1,930	298	117,58	6,381	734
用薪計	22,39	213,94	234,90	1,930	298	134,63	9,416	1,169

樹種	31年~35年			36年~40年			41年~45年		
	面積	畜積	生長量	面積	畜積	生長量	面積	畜積	生長量
スギ	2,58 ^町	2,309 ^石	65 ^石	7,94 ^町	9,014 ^石	200 ^石	1,23 ^町	1,563 ^石	30 ^石
ヒノキ	1,24	1,028	30	1,47	1,253	30	0,70	595	10
マツ	3,32	2,370	80	2,23	1,741	45	0,05	45	1
其の他	—	—	—	29,01	18,939	620	—	—	—
用材林計	7,14	5,707	175	40,65	30,947	895	1,98	2,203	41
クヌギ	—	—	—	—	—	—	—	—	—
ザツ	3,09	1,086	30	2,33	830	21	—	—	—
其の他	3,03	1,125	27	4,31	1,935	48	0,43	2,17	5
薪炭林計	6,12	2,211	57	6,64	2,765	69	0,43	2,17	5
用薪計	13,26	7,918	132	47,29	33,712	966	2,41	2,420	46

第36表

経営規模別年令別

男女別 及び反別	人数及 び年令	60才以上		50才代		40才代	
		人数	比率	人数	比率	人数	比率
3反未満	男女計	291	48%	161	27%	71	12%
	男女計	131	14	200	21	276	29
3反~5反	男女計	422	27	361	23	347	22
	男女計	197	40	155	31	70	14
5反~10反	男女計	44	10	88	21	147	35
	男女計	241	26	243	26	217	24
10反~15反	男女計	278	32	284	33	160	19
	男女計	23	11	48	22	70	33
15反以上	男女計	301	28	332	31	230	21
	男女計	38	21	66	37	37	21
合計	男女計	1	15	3	33	2	22
	男女計	39	21	69	37	39	21
合計	男女計	2	18	6	55	1	9
	男女計	—	—	—	—	—	—
合計	男女計	2	18	6	55	1	9
	男女計	806	17	672	31	339	16
合計	男女計	199	22	339	21	505	31
	男女計	1,005	37	1,011	27	844	22

林 (普通林)

(市農林課)

16年～20年			21年～25年			26年～30年		
面積	畜積	生長量	面積	畜積	生長量	面積	畜積	生長量
21,76	7,562	760	9,58	5,220	355	11,81	9,361	385
5,70	1,727	130	1,71	878	40	4,50	2,592	85
5,03	1,353	90	4,67	2,110	105	1,33	728	30
—	—	—	0,02	5	—	—	—	—
32.49	10.642	980	15.98	8.213	500	17.64	12.681	500
0,33	88	7	1,64	375	20	0,31	149	7
65,30	7,821	602	20,48	3,689	206	24,93	6,480	279
25,20	3,264	215	55,07	10,394	520	17,86	4,645	186
90.83	11.173	824	77.19	14.458	746	43.10	11.274	972
123.32	21.815	1.809	93.17	22.671	1.246	60.74	23.955	472

46年～50年以上			計			その他		
面積	畜積	生長量	面積	畜積	生長量	竹林	特用林	
2,51	3,042	45	115,94	40,173	2,180	モーター	59,85町	油ギリ
1,27	1,195	20	23,56	9,732	395	マタケ	233,46	油ギリ
3,35	2,791	50	34,12	11,607	446	計	293.31	油ギリ
0,29	18	—	29,32	18,962	620			油ギリ
7.42	7.046	115	202.94	80.474	3.641			6.00
—	—	—	4,53	678	44			
2,02	1,052	21	587,29	27,815	2,045			
33,85	13,469	242	194,58	36,437	1,379			
35.87	14.521	263	786.40	84.930	3.468			
43.29	51.567	373	989.34	145.404	7.109			

男女別人数調

(市農林課)

30才代		20才代		20才未満		合計	
人数	比率	人数	比率	人数	比率	人数	比率
40	7%	28	5%	7	1%	598	100%
261	27	26	8	7	1	951	100
301	22	104	7	14	1	1,549	100
40	8	31	6	4	1	497	100
111	26	34	8	1	—	425	100
151	16	65	7	5	1	922	100
84	10	42	5	6	1	854	100
63	29	10	5	—	—	214	100
147	14	52	5	6	1	1,068	100
24	14	12	7	—	—	177	100
1	15	1	15	—	—	9	100
25	14	13	7	—	—	186	100
2	18	—	—	—	—	11	100
—	—	—	—	—	—	—	100
2	18	—	—	—	—	11	100
190	9	113	5	17	1	2,137	100
436	17	121	8	18	1	1,599	100
626	27	234	6	25	1	3,736	100

第 37 表

家族構成人員別専兼業調 (単位戸)

(市農林課)

家 族 構 成 人 員	經營規模	専 業 戸 數	兼 業 戸 數					計
			商	工	官	漁	他	
1 人	3反未滿	30	—	—	—	—	—	30
	3反~5反	3	—	—	—	—	—	3
	5反~1町	2	—	—	—	—	—	2
	1町~1.5町	—	—	—	—	—	—	—
	1.5町以上	—	—	—	—	—	—	—
	計	35	—	—	—	—	—	35
2 人	3反未滿	85	1	14	5	1	12	118
	3反~5反	35	—	3	2	—	—	40
	5反~1町	24	—	—	—	—	—	24
	1町~1.5町	1	—	—	—	—	—	1
	1.5町以上	—	—	—	—	—	—	—
	計	145	1	17	7	1	12	183
3 人	3反未滿	55	5	65	13	4	19	161
	3反~5反	41	1	18	6	—	9	75
	5反~1町	49	1	4	4	—	1	59
	1町~1.5町	3	—	1	—	—	—	4
	1.5町以上	—	—	—	—	—	—	—
	計	148	7	88	23	4	29	299
4 人	3反未滿	43	7	102	26	11	28	217
	3反~5反	53	3	43	8	—	5	112
	5反~1町	71	1	20	8	—	5	105
	1町~1.5町	1	—	—	—	—	1	2
	1.5町以上	—	—	—	—	—	—	—
	計	168	11	165	42	11	39	436
5 人	3反未滿	28	7	183	24	2	28	272
	3反~5反	52	3	67	20	2	14	158
	5反~1町	78	3	35	12	1	11	140
	1町~1.5町	7	—	2	—	—	—	9
	1.5町以上	—	—	—	—	—	—	—
	計	165	13	287	56	5	53	579
6 人	3反未滿	27	7	202	36	—	28	300
	3反~5反	47	5	92	20	—	11	175
	5反~1町	75	1	54	12	—	9	151
	1町~1.5町	25	—	2	1	—	1	29
	1.5町以上	—	—	—	—	—	—	—
	計	174	13	350	69	—	49	655
7 人	3反未滿	16	4	144	26	3	17	210
	3反~5反	28	9	79	10	—	12	138
	5反~1町	77	2	60	24	—	1	171
	1町~1.5町	29	1	8	2	—	—	40
	1.5町以上	1	—	1	1	—	—	3
	計	151	16	292	63	3	37	562
8 人	3反未滿	6	2	84	9	—	11	112
	3反~5反	16	6	64	14	—	2	102
	5反~1町	49	4	74	17	—	14	158
	1町~1.5町	17	1	8	2	—	3	31
	1.5町以上	2	—	—	—	—	—	2
	計	90	13	230	42	—	30	405
9 人	3反未滿	1	4	54	6	1	7	73
	3反~5反	5	6	48	6	1	6	72
	5反~1町	39	3	65	17	—	10	34
	1町~1.5町	15	—	7	3	—	1	26
	1.5町以上	3	—	—	—	—	—	3
	計	63	13	174	32	2	24	308
10 人	3反未滿	1	2	38	9	—	6	56
	3反~5反	3	3	26	9	—	3	47
	5反~1町	33	6	63	19	—	3	124
	1町~1.5町	21	2	18	2	—	1	44
	1.5町以上	2	—	—	—	—	1	3
	計	60	13	148	39	—	14	274
總 計	3反未滿	292	39	886	154	22	156	1,549
	3反~5反	283	36	443	95	3	62	922
	5反~1町	497	21	375	113	1	61	1,068
	1町~1.5町	119	4	46	10	—	7	186
	1.5町以上	8	—	1	1	—	1	11
	計	1,199	100	1,751	373	26	287	3,736

第 38 表

農機具の現在所有数

(市農林課)

項目	規模別						合計	1947年 センサス
		3反未満	3反~5反	5反~10反	10反~15反	15反以上		
農機具	数	1,549	922	1,068	186	11	3,736	—
動力	5	5	6	24	5	2	42	—
動力	22	22	60	306	123	11	572	327
動力	18	18	32	86	21	2	159	37
動力	1	1	7	32	23	2	65	—
カ	1	2	7	1	—	—	11	—
電	5	8	18	4	—	—	35	14
油	32	73	273	121	11	—	510	194
石	1,018	829	1,063	209	13	—	3,132	—
リ	32	46	163	57	9	—	307	—
荷	26	13	42	7	—	—	88	—
製	21	20	94	43	7	—	185	—
製	91	180	459	128	13	—	871	—
噴	45	89	225	79	6	—	444	—
散	5	20	47	22	—	—	94	—
24D	番							
番	スプレー							

第 39 表

山林原野の状況 (単位町)

(市農林課)

項目	部 落 名	山 林 面 積						計	
		国 有	民 有			私 有			そ の 他
			県 有	町 村 有	部 落 有	農 家	非 農 家		
銀 手	水 鎌	—	—	—	7.00	42.60	0.40	—	50.00
倉	永	—	—	—	5.00	99.00	1.00	—	150.00
上	内	—	—	—	—	158.40	1.60	—	160.00
三	池	—	5.23	15.00	576.60	3.00	—	—	599.83
玉	川	—	34.57	15.00	99.40	1.00	—	—	149.97
玉川(原野)		—	—	—	191.00	1.00	—	—	192.00
		—	—	△ 10.20	△ 10.00	—	—	—	△ 20.20
合 計		—	39.8	42.00	1,167.00	8.00	—	—	1301.800

(△印原野は玉川のみ)

農 業 セ ン サ ス

(以下本資料は昭和25年2月1日農業センサス及び昭和22年8月1日臨時農業センサスによる)

(市庶務課)

昭和25年2月現在で世界農業センサスの一環として実施された農業センサスによつて農家数を見ると4159戸で農家人口2726人となり県下十二市の農家数の17%にあたり福岡市、小倉市に次ぎ第三位で農家人口は本市の14%である。これより見て本市は炭都大牟田と呼ばれる反面郊外にかなりの農家をもつてゐる。農家を耕地面積から眺めると3反未満の農家は2263戸で50%、3反~5反未満の農家は874戸で19%、5反~1町未満の農家は1139戸で25%、1町~15町未満の農家は229戸で5%で、1.5町以上はわずか14戸で0.3%である。即ち耕地1町までが農家数、4519戸の内94%を占めておることは零細農家の多いことを物語つてゐる。又農用耕地種別は田が1134町、畑が613町、樹園地が58町であり、田が全体の63%で大部分を占め次に畑の34%、樹園地はわずかに3%である。これによれば本市の農家は穀類の生産を主体とするもので蔬菜生産農家でないことがわかる。

第 40 表

経 営 耕 地 面 積 廣 狹 別 農 家 数

区 分	昭 2 5 . 2 . 1		昭 2 2 . 8 . 1	
	実 数	割 合 (%)	実 数	割 合 (%)
總 数	4,519	100.0	3,843	100.0
3 反 未 満	2,263	50.0	1,625	42.3
3 反 ~ 5 反	874	19.3	607	23.6
5 反 ~ 1 町	1,139	25.2	1,076	28.0
1 町 ~ 1.5 町	229	5.1	223	5.8
1.5 町 ~ 2 町	13	0.3	11	0.2
1 0 町 以 上	1	0.0	1	0.0

第 41 表

専 業 兼 業 別 農 家 数

(市庶務課)

區 分	昭 2 5 , 2 , 1		昭 2 2 , 8 , 1	
	実 数	割 合 (%)	実 数	割 合 (%)
總 数	4,519	100.0	3,843	100.0
専 業 農 家	1,073	24.0	1,234	32.0
兼 業 農 家	3,446	76.0	2,609	68.0
兼 業 農 家 (農業を主とするもの)	1,024	23.0	1,304	34.0
兼 業 農 家 (農業を従とするもの)	2,422	53.0	1,305	34.0

第 42 表

自 小 作 別 農 家 數

(市庶務課)

区 分	昭 2 5. 2. 1				昭 2 2. 8. 1		
	農家数	割合	經營農用地面積		農 家 数	割	合
自作	2,215	47.0	1,013町	9反	1,171		30.0
自作兼小作	1,123	25.0	588	7	582		15.0
小作	580	13.0	237	9	456		12.0
その他	687	15.0	136	7	1,632		43.0
合計	4	0.0	1	3	2		0.0
合計	4,519	100.0	1,977	9	3,843		100.0

※ (その他) は他人の所有地を無料で耕作しているもの。

第 43 表

經 營 工 地 面 積

(市庶務課)

区 分	昭 2 5. 2. 1			昭 2 2. 8. 1		
	実 数	割 合	合	実 数	割 合	合
總 數	2,090町	5反	100.0			
農用地	1,978	0	90.0			
耕地	1,805	2		1,680	0	100.0
畑地	1,133	4	100.0	1,086	1	65.0
樹園地	613	4	63.0	593	9	35.0
その他の農用地	58	4	3.0			
山林 (放牧しないもの)	172	8				
	212	5	10.0			

第 44 表

貸 付 農 用 地 面 積 及 び 農 家 数

(市庶務課)

区 分	昭 2 5. 2. 1	
	農 家 数	貸 付 農 用 地
總 數	1,226	361町 3反
畑放牧地	805	219 8
宅地の	700	90 8
その他	—	— 1
山林	526	47 9
その他	31	1 7
その他	14	1 1

第 45 表

農 用 地 別 面 積

(市庶務課)

区 分	田			区 分	畑		
	実 数	割 合	合		実 数	割 合	合
總 數	1,133町	4反	100.0	總 數	613町	3反	100.0
一毛作の稲田	125	7	11.1	普通畑	593	7	97.3
二毛作の稲田	966	8	85.3	牧草畑	—	—	—
三毛作以上の稲田	14	3	1.3	焼畑、切替畑	2	2	0.0
夏作に畑作を作り稲を作らなかつた田	5	8	0.5	休閑田、耕作放棄田	16	4	2.7
わさび、くわい等を作つた田	12	9	1.5				
休閑田、耕作放棄田	7	9	0.6				

第 46 表 畜力及び機械力使用別農家

第 47 表 畜力及び機械力種類別

区 分	昭 25. 2. 1		区 分	昭 25. 2. 1 使用農家数
	農 家 数	割 合		
畜力も機械力も使用しなかつた農家	1,108	24.0	牛馬	2,006
				1,415

第46表 畜力及び機械力使用別農家(続) 第47表 畜力及び機械力種類別(続)

区 分	昭25. 2. 1		区 分	昭25. 2. 1. 使用 農 家 数
	農 家 数	割 合		
畜力及び 機械力を 使用した 農家	3,411	76.0	ト ラ ク タ ー	—
総 数	1,980	44.0	ハ ン ド ト ラ ク タ ー	—
畜力のみ使用 した農家	71	2.0	動 力 耕 転 機	91
機械力のみ使 用した農家	1,360	30.0	電 動 機	59
畜力と機械力を 使用した農家	4,519	100.0	石 油 発 動 機	1,348
合 計			水 風 方	—
				—

第48表 昭和22年～27年主要農産物調(年度) (市農林課)

区 分		昭和22年	23 年	24 年	25 年	26 年	27 年
米	作 付 反 別	1,011町	1,071	1,063	1,062	1,079	1,078
	実 收 当 高	21,737石 2,15石	26,240 2,45	26,343 2,46	24,772 2,33	21,205 1,96	21,107 1,96
麦	作 付 反 別	1,002町	1,135	1,060	1,082	9,891	9,890
	実 收 当 高	11,022石 1,103石	15,096 1,332	14,624 1,37	16,069 1,50	14,249 1,44	14,866 153
馬鈴薯	作 付 反 別	74町	72	123			90
	実 收 当 高	192,400× 260×	19,1520 266	403,180 326	—	—	270,000 300
甘 藷	作 付 反 別	212町	226	246			109
	実 收 当 高	699,600× 330×	791,000 350	973,501 394	—	—	490,000 450

第49表 昭和22年～26年主食糧供出実績表(年度) (市農林課)

区分	米			麦			馬 鈴 薯			甘 藷		
	割 当	供 出	比 率	割 当	供 出	比 率	割 当	供 出	比 率	割 当	供 出	比 率
昭和22年	石 66,22	石 6,622	100	石 4,681	石 4,338	100.4	× 64,510	× 64,510	100.0	× 350,805	× 355,532	100.1
23	7,233	7,807	107.9	7,319	7,319	100.1	108,200	118,100	110.0	465,538	482,600	105.8
24	6,595	6,595	100.0	5,934	6,011	101.2	168,890	205,485	111.5	466,274	367,622	78.8
25	5,521	5,545	100.4	5,789	6,912	100.3	—	—	—	—	—	—
26	—	—	—	5,990	6,179	110.5	—	—	—	—	—	—
27	3,754	4,710	125.4	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第50表 農業共同組合調 (28.5)

区 分	旧市内	銀 水	三 池	駛 馬	玉 川	唐 岬	上 内	計
組 合 數	1	1	1	1	1	1	1	7
組 合 員 數	420	1,105	396	369	382	391	692	3,782

7 畜 産

畜 産 の 概 況

本市に於ては大消費地を有して生産物の販路にも極めて恵まれた条件下にあり戦前に於ては専業として畜産を営むものも少なくなかつた就中乳牛養豚養鶏については専業として繁栄した飼育家も可成あつた。又役牛馬の飼育も経営規模に應じた生産手段の一端としては相当数にのぼつた。之等が第二次大戦に遭遇して優良馬の軍用徴発、榮養源としての牛、鶏の買付となり併せて農家労働力は兵役又は軍需産業に吸収せられて家畜の飼育も許されない情勢となり、従つて家畜数も激減の止むなきに至つた。戦後に於ては之等悪條件が解消し、農家人口の急激なる増加は農勞力に余剰を來たしたので農家經濟の安定とも相俟つて一面消費生活の慾求からして国家政策としても畜産問題が大きく取上げられて來た。下表は昭和27年 8月現在農業綜合計画基礎調査（農林課独自調査）によつて見れば即ち役牛馬について耕種役畜として經營耕地面積の大なるに従つてその飼育率は高くなり 1町歩以上の農家に在つては、その殆どが飼育している。3反未満の農家で飼育する59頭は他の兼業に使用されるものが多い、乳牛は戦後始めて農家經營部内に取入れ、玉川、上内の兩酪農組合を中心に飼育も高まりつゝある。

第 51 表 經營規模別家畜の養育数 (昭28.8.1現在市農林課)

規模別	種別	農家戸数	馬	役 牛	乳 牛	鶏	豚	緬 羊	山 羊
3反 ~ 未滿		1,549	19	40	—	4,376	23	3	24
3反 ~ 5反		922	38	201	1	4,792	5	1	20
5反 ~ 10反		1,068	260	522	7	5,118	2	4	47
10反 ~ 15反		186	114	65	6	1,195	1	27	7
15反 以上		11	9	3	2	258	—	18	2
合 計		3,736	440	831	16	15,739	31	53	100
1950年 モンサス		—	—	—	—	12,899	218	—	—
1947年 センサス		—	478	744	9	—	—	—	—

第 52 畜 産 状 況 (農業センサス市庶務課)

区 分	昭 25. 2. 1		昭 24. 2. 1		昭 22. 8. 1	
	飼養農家数	飼養頭羽数	飼養農家数	飼養頭羽数	飼養農家数	飼養頭羽数
乳 用 牛	0	0	11	11	—	—
役 肉 用 牛	915	932	683	726	746	748
馬	469	476	386	427	470	478
緬 羊	29	49	11	20	—	—
山 羊	123	181	88	126	—	—
豚	84	アソゴラ60	53	78	—	—
鶏	285	その他 529	390	843	—	—
	2,849	12,899	1,894	7,959	—	—

採卵農家数	産 卵 高	区 分	飼育農家数	掃 立 卵 量	收 繭 高
1,416	2,954	春 蠶	7	90瓦	67貫
蜜蜂飼養農家数	飼 養 郡 数	夏 秋 蠶	7	84	60
10	22				

第 53 表 昭和22年～27年屠畜狀況調 (市衛生部)

区 分	2 2 年	2 3 年	2 4 年	2 5 年	2 6 年	2 7 年
牛	518	429	606	955	531	611
馬	53	179	4	63	100	61
小 牛	2	14	1	2	3	2
豚	40	10	326	735	414	880

8 水 産 業

水 産 業 の 概 況

有明海の本市地先は干満の差極めて大きく遠浅であり従つて自然発生の貝類が多く棲息し之等の養殖に最も恵まれその採貝は極めて盛んである。又藻類採取に於ては潮流との相関に於て海苔養殖に恵まれてをり、その質に於ては他に類をみない優良品を産出している。特に最近に於ては労働条件の好転と資材の改善により逐年増加し本市水産物中の首位を占めるに至つている。之等水産物の加工は「たいらぎの粕漬」「貝のかんづめ」等本市産物中の名物として今後共に大いに有望視されている。

第 54 表

専 業 兼 業 別 漁 業 者 数

(昭28.3.31調)

(市農林課)

項 目	総 数	専 業	第一種兼業	第二種兼業	摘 要
組合名					
計	1,092	84	229	779	専業とは漁業収入によつて生計を営む程度が80%以上第一種は漁業が主で他の職業を有するもの第二種、主として他の職業による収入で生計を営み従として漁業収入によるもの
三手大 浦鎌田	728	34	145	549	
三手大 牟 里来	93	13	19	61	
三手大 三 早 米	88	22	32	34	
三手大 三 早 米	123	7	13	108	
三手大 三 早 米	55	8	20	27	

第 55 表

業 種 別 徒 業 者 数

(市農林課)

項目	延 人 員	海 苔 養 殖	採 貝	採 魚
組合名				
計	1,526	122	1,062	342
三手大 浦鎌田	901	44	728	129
三手大 牟 里来	213	52	93	68
三手大 三 早 米	166	23	83	60
三手大 三 早 米	174	1	128	45
三手大 三 早 米	72	2	30	40

第 56 表

使 用 漁 具 別 組 合 員 数

(市農林課)

漁具別	網 漁 業	釣 漁 業	雑漁具業	採 貝 業	延 繩 漁 業	採 藻 業
組合員						
計	1,526	7	123	173	1,062	39
計	1,526	7	123	173	1,062	39

第 57 表

所 有 漁 船 数

(市庶務課)

区 分	無 動 力 船				有 動 力 船				合 計
噸 数	0.~0.9	1.0~2.9	3.0~4.9	計	0.~0.9	1.0~2.9	3.0~4.9	計	
隻 数	60	19	4	83	33	25	1	59	142

第 58 表

所 有 漁 船 数 (24.3.1漁業センサス)

(市庶務課)

区分	無 動 力 船				有 動 力 船				合 計
噸数	~0.9	1.0~2.6	3.0~4.9	小計	~0.9	1.0~2.9	3.0~4.9	小計	
隻数	72	13	2	87	24	16	4	44	131

第 59 表

海 面 漁 業 漁 家 数 (24.3.1漁業センサス)

(市庶務課)

漁 業 種 類	網 漁 業	釣 漁 業	延 繩 漁 業	雑漁具による漁業	採 貝 業	採 藻 業	計
網 漁 業	6	—	—	1	4	—	11
釣 漁 業	—	70	—	1	1	—	74
延 繩 漁 業	—	—	8	—	2	—	10
雑漁具による漁業	—	—	—	20	—	—	43
採 貝 業	—	—	—	—	269	1	270
採 藻 業	—	—	—	—	—	2	2

第 60 表 昭和23年～27年漁獲数量 (歴年) (市庶務課)

漁獲物名	昭和23年	24年	25年	26年	27年	
魚類	ぼこすあぐらちきいち	33,320	4,150	1,303	1,751	383
	どな	—	—	5,176	1,607	3,421
	ちくち	—	—	708	1,253	1,742
	ちくち	9,110	3,540	1,552	1,985	2,481
	ちくち	—	—	3,255	2,645	2,733
	ちくち	—	—	—	24	41
	ちくち	—	—	—	72	45
	ちくち	—	—	257	86	1,065
	ちくち	—	300	20	60	—
	ちくち	21,980	16,550	3,500	5,153	2,957
計	64,410	24,540	15,771	14,636	14,868	
水産動物	たえかあそ	6,850	2,200	1,420	5,597	5,045
	の	6,920	4,840	6,070	8,521	2,730
	の	—	—	—	2,037	2,267
	の	12,460	12,350	1,280	636	3,976
	計	26,230	19,390	10,580	17,701	14,441
貝類	あさり	—	—	—	141,790	139,386
	あさり	—	—	—	26,030	25,486
	あさり	—	—	—	7,590	8,039
	あさり	—	—	—	7,750	136,855
	あさり	—	—	—	370	3,061
	あさり	—	—	—	101,321	11,572
	計	456,294	203,500	261,433	284,851	324,394
藻類	海苔	—	—	—	277,500枚	3,030,000枚

註 (貝類は品種毎に不明につき貝類の計のみをあげた)

9 干 拓

1、三池干拓概況

市の西北方有明海の沿岸は地盤は高く干潮の時は沖合遙かに干潟となる所で古くから工場敷地並びに住宅地として干拓計画がなされていた。

昭和27年農林省に於ては國營事業として農地田約438町、宅地等約89町歩を目標に事業費 770,000,000円を投じて三池干拓計画を樹立し、この干拓地区は福岡縣三池郡高田村(高田地区)大牟田市北部地先海面(大牟田地区)の干潟地で標高(標高は全て黒崎公園内鱒音山三角点標高 58,174mを基準とする) +1,60m～+1,000m間を以て沖合に向い $\frac{1}{800}$ の緩傾斜をなし地區総面積 522,2ha(内譯高田工区251,2ha、大牟田工区 271,0ha)である。地質は沖積層で矢部川を始め隈川、堂面川、白銀川等の諸川が微細な泥土を含有搬出しこれが沈澱堆積して生成されたもので可溶性有機物を多量に含有し地味頗る肥沃であつて農耕地として最高の場所であつて工事施行により得べき増産見込数量は米13,500石麦7,900石(米換算)である。

2、人口島概況

元来石炭鉱業は採掘場所が年々深くなるので此の海底採掘の常として高温、多湿、メタン瓦斯の発生、多量の湧水等のため労働條件は甚だしく悪化するのをこれを解決するために採炭現場近くに堅坑を下し新鮮なる空気を送入し不純なる空気を排出するの必要に迫られ昭和24年10月人工島初島の堅坑掘鑿に着手し昭和26年にこれが完成を見更に現在第二の人工島を築造工事中である。

昭和26年8月に竣工したこの人工島初島は陸地より 2,500米の沖合に高さ海底より 11米直径は上部134米、下部で180米にして上部に高さ1,0米の胸壁(パラベット)を有する緩傾斜捨石護岸であり施工は4部分に分れ先ず最下部に栗石下面に18纏目#の川崎式金網を円環状に敷き栗石の沈下を防ぎ第一段築堤にかかりこの築堤が終れば千馬力のポンプ船により海中土砂を円環状築堤の中に吹込み沈澱させ内部を埋立をなす。かかる工法を四回繰返し完成したものである。工費は終100,000,000円、工期17ヶ月を投じて完成したものである。

現在築造工事中の第二の人工島は四山鉱の坑内通気堅坑開鑿のため三池港南突堤横南側海面に海拔 6米50、直径 90米、面積 6,358平方米で周囲は硬石を二段階に捨石して護岸を築き内部は海中の土砂を吹上げて埋立をなす又暴風雨による崩壊を防ぐため島の周囲には最も風当との強い南西側を中心に延長 200米、高さ2米のバリケードを松、竹杭で張る。尙築島工事は工期6ヶ月、工事費約2千万円である。

3、堂面川地先干拓概況

本計画は大牟田市新開、健老町地先の干潟に南北夫々大牟田川、堂面川の線に沿ひ、西は新開沖 2軒現在の初島を結ぶ延長 8軒に亘つて堤防を築きその内側約 530町歩を一擧に干拓する。

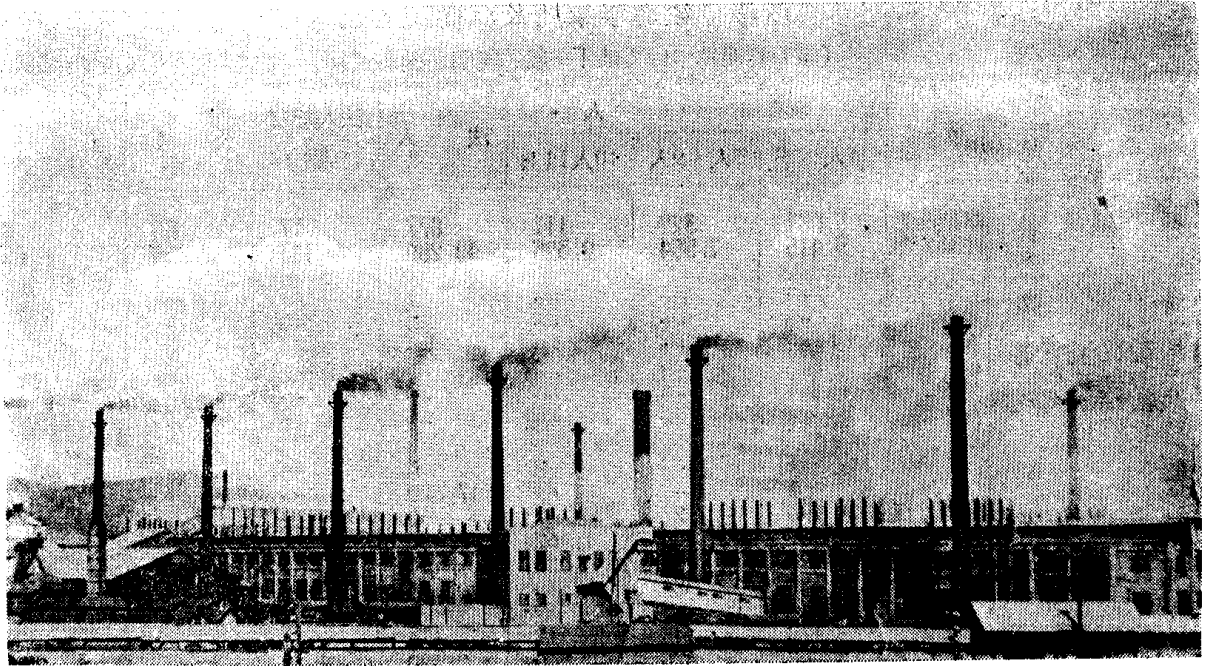
堤内の排水は遊水池を設けてポンプに依り堤外に排出し潮止工の設置をなすものである。

即ち宮浦鉄稼行区域の海面を干拓し、陸地化することにより宮浦鉄のみならず三池全山の断層又は陥没による海水の浸入を防止すると共に従業員社宅並に鉱工業用地を造成するものである。

面積 530町歩 堤防延長 7331米 工期 6ヶ年—10ヶ年

第四編 經 濟

- 1 事 業 所
- 2 商 業
- 3 物 價
- 4 金 融
- 5 貿 易



(月も煙る工場街の猛煙)

第四編 経 済

1 事 業 所

1 事業所調査の一般的説明 (総理府統計局調査)

調査期日 昭和26年7月1日

調査範囲

ここで事業所とは「仕事の行われている一定の場所」のことで、工場、鉱山、銀行、会社、商店等は勿論、学校、神社、寺院、料理店、浴場、映画館等である。

調査対象外の事業所

- ① 法人でない事業所でその主な事業が農業、狩猟業、林業、漁業及水産業に該当するもの
- ② 公営の事業所で公務に該当するもの、例、都道府県庁、市町村役場等
- ③ 場所的設備が恒久的でないもの、例、露天商、出店、路上の靴みがき等
- ④ 法人でない事業所で休業中のもの
- ⑤ 法人でない事業所で収入を得て従事する従業者を有しないもの、例、校友会趣味の同好会等
- ⑥ 連合国軍又は外国政府の直営する事業所、日本国有鉄道及び日本専賣公社、P×、大公使館、国鉄の駅、機関区、専賣公社の支社、出張所等

調査単位

- ① 事業所とは1区画の場所を占めて、同一経営の下に経済的又は文化的活動をしているところである従つて同一会社、商店に所属するものでも場所的に離れて存在する支社、支店、分工場等は、夫々別個の事業所として調査された。即場所単位によつて調査された。

2 結果の概況

昭和26年事業所統計調査の結果によれば、事業所総数は6,253で従業者数は65,301人となつている。産業大分類別にみると、事業所数は商業が断然王座を占め3,513で全事業所の56.2%を占めている。ついでサービス業が1,740でこれ又全事業所の27.8%である。

商業とサービス業の両者で5,253で事業所数は84%となり本市の大部分の事業所は商業とサービス業で形成されていることとなる。

然し従業者数は商業9,205人、サービス業6,784人で全事業所従業者の24.4%にしか過ぎない。このことは本市の鉱業及び製造工業の大企業会社の存在のためと思はれる。

事業所数は鉱業3、製造工業368で6.0%に過ぎないが従業者数は鉱業17,685人、製造工業21,527人合せて39,212人にして全従業者の60.1%即従業者の殆んどはこの両部門に集中され鉱工業都市たる本市の一端を如実に示していることが思料される。なお本市における事業所中上記以外の主なるものは建設業4,339人金融業969人、運輸通信業4,772人その他20人となつている。第1表より～第4表まで本調査結果の一端を掲載しておく。



(アミューズメントセンター)

2 商 業

1 商業調査の一般的説明 (通商産業省調査)

調査期日 昭和27年9月1日

調査範囲

卸賣及び小賣業の全般に亘るものである。すなはち一定の場所をもつて主として卸賣及び小賣「物品の仕入販賣（製造小賣を含む）及び物品賣買の代理又は仲立」を営んでいる商業事業所に限つて調査を実施した。

調査対象外の商業事業所

①街路上にある露店、屋台 ②神社の境内、公園内又は広場等にある店 ③行商人、旅商人 ④駅のホーム内にある賣店 ⑤劇場、映画館、野球場等の中にある賣店 ⑥官公廳、学校、会社、工場、病院等の中にある厚生施設としての賣店 ⑦統轄事務を主とする鉱工業会社の本店及び本社又金融業、證券業、倉庫業及び保管業、不動産業 電気ガス業、水道、衛生業、製造卸賣業サービス業（旅館）洗濯業、写真屋、理髮店、美容院等は本調査の対象ではない、他の産業に属するものである。

調査単位

この調査で商業事業所とは一区画を占めて商品の賣買業務に従事しているところである。すなはち商業を営んでいる場所が一つの単位となる。したがつて営業をしている場所ごとに調査が実施された。

2 結果の概況

昭和27年商業調査の結果を観察してみよう。総店舗数は3,112であるこの構成比率は一般卸賣業8.0% (249商店) に対して小賣業は81.3% (2,531商店) すなはち卸賣業に対して小賣業は圧倒的多数を示している。更に小賣業を産業中分類別に見ると（呉服衣類小賣業361、飲食料品小賣業1,418、路上機械器具小賣業42、石油小賣業5、その他の小賣業705）ついで飲食店10.5% (326商店)、代理商及び仲立業、各種商品小賣業0.1% (6商店) となつている。

従業者数をみてみよう。総数は8,496人にして一店当りの従業者数は2.7となり一般卸賣業が5.6人で小賣業は2.5人となり、飲食店において2.4人小賣業と同一形態となつている。総数8,496人中、家族従業者は5,055人 (59%) 雇傭従業者は3,441人 (41%) で家族従業者を主とする零細企業の生業本位の色彩が強いことが推測されよう。更に一店当りの商品賣上高（昭和27年8月分）を検討してみると一般卸賣業は1,559千円であり小賣業は157千円、飲食店に於て45千円にして一般卸賣業（法人経営大半）の商業的企業性に対し、小賣業の生業本位の経営状態が賣上高にも明瞭に現はれているのである。以上本市の商業調査の結果を概略のべてみたが、特に注目すべきことは本市商業発展の一つの方法として市内主要事業所の厚生施設としての33商店の存在に対する施設方策を樹立する必要が緊要な事ではないかと思料されることである。第5表及び第6表に本調査結果の一部を掲載しておく。

第5表 業種別店舗数、従業者数及び商品売上高

調査対象のうち、法人組織の商店及び常備労働者を使用している個人商店について調査したものである。調査範囲については「一般的説明」欄参照 (市庶務課)

区 分	店舗数	従業者数			賣場面積	商手持品高	商品年間売上高	商賣品高	一店当り				
		家族従業者	雇傭従業者	計					従業者数	賣場面積	商手持品高	商品年間売上高	商賣品高
					坪	千円	千円	千円	人	坪	千円	千円	千円
一般卸賣業	169	181	1,062	1,243	9,962	235,594	4,294,904	358,925	7,358.9	1,394	25,413	150	
代理商及仲立業	5	—	89	89	469	—	221,724	23,061	17,893.8	—	44,344	4,612	
各種商品小賣業	1	—	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x	x
専門品小賣業	424	625	1,814	2,439	6,172	247,711	2,502,428	220,368	5,714.5	584	5,901	519	
飲食店	146	231	272	503	1,530	782	101,380	9,172	3,410.4	5	694	62	
計	745	1,037	3,441	4,478	19,215	484,087	7,120,436	611,526	6,025.7	649	9,557	820	

註 1. 臨時日傭の従業者、修理料及びサービス料は含まない。
2. 商品売上高は8月一ヶ月分である。

第6表 業種別店舗数、従業者数及び商品売上高

調査対象のうち個人商店で常備労働者を使用していない商店について調査したものである。調査範囲については「一般的説明」欄参照 (市庶務課)

区 分	店舗数	従業者数			賣場面積	商手持品高	商品年間売上高	商賣品高	一店当り				
		家族従業者	雇傭従業者	計					従業者数	賣場面積	商手持品高	商品年間売上高	商賣品高
					坪	千円	千円	千円	人	坪	千円	千円	千円
一般卸賣業	80	160	—	160	—	—	29,378	2,0	—	—	—	—	367
代理商及仲立業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
各種商品小賣業	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
専門品小賣業	2,107	3,564	—	3,564	—	—	151,547	1,6	—	—	—	—	71
	(7)	(8)	—	(8)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
飲食店	180	294	—	294	—	—	5,784	1,6	—	—	—	—	32
	(4)	(4)	—	(4)	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	2,367	4,018	—	—	—	—	186,709	1.7	—	—	—	—	78
	(11)	(12)	—	(12)	—	—	—	—	—	—	—	—	—

註 1. () 内の数字は休業中のものであり、内数とした。
2. 臨時日傭の従業者は含まない。
3. 商品売上高は8月一ヶ月分である。
4. 賣場面積、商品手持高及び商品年間売上高は調査していない。

3 物 價

特別消費者価格調査の一般的説明 (総理府統計局調査)

調査範囲

- (イ) 調査地域 市制施行207市、町制施行147町計354市町
(ロ) 調査世帯数本市割当世帯数は150世帯にして、科学的抽出方法により下記地区が抽出された。(大字西米生、三川町及諏訪町、大字唐船北、南、通町、上官町、新地町、大字歴木、三里町、明治町二丁目、大字田隈、小浜町)
(ハ) 時昭和25年5月1日より31日まで(一ヶ月間)

(ニ) 調査項目

1. 家計上購入した一切の品目(サービスを含む)の数量と支出金額
2. 現物収入のうち家計上消費した数量及びその見残り金額
3. 世帯員及び住居に関する事項
4. 特に指定したものの価格及び料金についての市場価格

本調査の本市一世帯当り一ヶ月間の費目別平均支出金額は第7表の通りである

第7表 1世帯当り1ヶ月間の費目別平均支出金額

負担費貯蓄費及び現物収入消費見積額は含まない。

(市庶務課)

調査月	平均世帯人員	平均支出金額	合計	主食	比率	非主食	比率	被服費	比率	光熱費	比率	住居費	比率	雑費	比率
24. 5	5.33	12,045	7,173	3,215	26.8	3,958	32.8	1,254	10.4	290	2.4	638	5.3	2,690	22.3
24. 11	5.05	11,951	7,011	3,308	27.7	3,703	31.0	1,794	15.0	478	4.0	569	4.8	2,099	17.5
25. 5	5.01	11,773	6,625	3,349	28.4	3,276	27.8	1,443	12.3	420	3.6	529	4.5	2,756	23.4

註 本市は24年5月及び11月並びに25年5月のみ実施された。以後は実施されていない。

第 8 表 昭和 27 年月別物價指数 (商工會議所)

区 分	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
食料品 総合	100	98.1	105.5	107.8	98.6	90.4	101.5	101.1	96.9	95.5	99.0	91.2
蔬菜類	100	110.8	106.9	105.4	105.3	106.0	107.2	110.0	108.3	107.7	100.3	98.6
畜産品	100	90.3	94.7	113.0	104.2	76.7	126.8	113.6	103.5	93.3	112.8	92.5
嗜好品	100	97.0	95.6	89.9	89.9	87.9	87.9	91.1	91.9	91.2	86.3	78.4
調味料	100	98.9	100.5	97.5	93.4	95.3	89.6	95.5	88.8	93.1	99.0	96.1
嗜好品	100	98.7	142.0	142.5	97.2	98.8	98.4	99.3	97.5	97.4	97.0	96.5
嗜好品	100	98.4	96.0	88.3	89.1	87.5	87.2	84.1	82.3	83.9	86.3	84.9
嗜好品	100	102.6	94.9	94.9	81.6	81.6	78.1	81.2	109.2	106.1	100.0	109.3
嗜好品	100	139.1	124.1	138.4	141.6	129.6	128.7	128.0	126.1	95.4	107.3	80.7
嗜好品	100	100.0	95.4	92.7	95.7	96.7	94.8	96.9	96.1	94.7	97.3	96.7
総合平均指数	100	118.2	107.1	97.2	101.1	96.2	100.4	100.5	101.8	95.8	107.5	100.7

第 9 表 昭和27年月別生活必需料金調 (市庶務課)

区 分	銘 柄	単 位	1 月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
電気料金	従料電燈料金	1KWH	17円	17	17	22	22	22	22	22	22	22	22	22
水道料金	一般家庭専用	1m ³	167円	167	167	167	167	167	167	167	167	167	186	186
水道料金	計量制	1回	75円	75	75	120	120	120	120	120	120	120	120	120
水道料金	市内	1回	46円	46	46	46	46	46	46	64	46	46	46	46
入浴料金	大市日刊	1区	10円	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
入浴料金	一般新調	1ヶ月	220円	220	220	220	220	220	220	220	220	250	250	250
入浴料金	邦画・大人	1回	100円	100	100	100	100	100	100	100	100	100	130	130
映画料金	邦画・大人	1ヶ月	50円	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
映画料金	一般乗車	1区	10円	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
映画料金	一般乗車	1ヶ月	10円	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10	10
郵便料金	ハ基本0キ	1枚	5円	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
郵便料金	ハ基本0キ	1級	50円	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50	50
郵便料金	ハ基本0キ	1級	900円	900	900	900	900	900	900	900	900	900	900	900
郵便料金	ハ基本0キ	1級	400円	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400	400

4 金融

1 金融の概況

金融は各種産業の死活を操つり市の経済を集約的に現わすものであり、その実情を把握すると同時に市民生活との関連において当面金融の情勢を総合的に検討することは是非必要なことである。

大牟田市銀行協会勘定による預金残高及び貸出残高の推移を見よう。昭和22年度、321百万円、23年度715百万円、24年度1052百万円、27年度に至つては2498百万円と増加している。貸出残高においては昭和22年度125百万円、23年度321百万円、24年度426百万円、27年度においては1,209百万円となつている。

本市における金融機関の主なるものは銀行業にして現在市内に15(本、支店、相銀含む)銀行ありその他大牟田信用金庫、郵便局(普通局並びに特定局併せて17箇所)その他農業協同組合、市営公益質屋、市内の一般質屋等これらの金融機関は年次ごとに発展の途上にある。

なお本項に相互銀行関係資料が掲載されていないが、今後は是非掲載資料の充実をはかりたいと考えている。

第 10 表 金融事業所数

昭和 28 年 4 月 1 日

(市庶務課)

区 分	銀行業	保険業	相互銀行業	質屋業	その他	計
事業所数	8	10	8	131	157

註 相互銀行業には信用金庫業を含む

銀行

第 11 表 銀行名称及び所在地

昭和 28 年 4 月 1 日

(銀行協会)

銀行名	所在地	銀行名	所在地
帝国銀行大牟田支店	旭町1丁目2番地	福岡相互銀行大牟田支店	不知火町1丁目20
福岡銀行大牟田支店	中知火町1丁目82番地	長崎相互銀行大牟田支店	大正町2丁目121
" 五月橋支店	旭町1丁目2番地	西日本相互銀行大牟田支店	西有明町 20
" 三池支店	大字三池新町44	九州相互銀行大牟田支店	築 町 2 3
" 三川支店	三川町2丁目1	熊本相互銀行大牟田支店	大 高 町 9
協和銀行大牟田支店	築 町 2 5	正金相互銀行大牟田支店	旭 町
肥後銀行大牟田支店	築 町 3 9	肥後相互銀行大牟田支店	本 町 2 丁目 44
筑邦銀行大牟田支店	築 町	大牟田信用金庫	有 明 町 45

第 12 表 銀行諸勘定

昭和 22 年度 ~ 27 年度

(銀行協会)

區 分	預 貯 金						
	総 額	当座預金	普通預金	通知預金	定期預金	定期積金	その他
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
昭和 22 年度	321,062	132,865	119,950	13,310	23,682	16,952	14,303
23	715,594	183,831	314,307	15,072	100,911	47,994	53,479
24	1,052,976	239,393	438,282	15,021	215,010	90,142	55,128
25	1,355,323	316,699	502,396	12,685	365,237	92,225	66,081
26	1,748,971	284,510	648,255	27,134	542,208	119,950	126,914
27 年 4 月	1,856,984	272,654	710,442	27,906	554,651	119,149	172,182
5	1,988,324	286,812	775,295	27,610	583,173	126,806	188,628
6	2,010,250	329,568	748,967	20,799	645,138	134,650	131,128
7	2,159,590	385,494	724,475	28,114	665,345	143,074	213,088
8	2,068,069	320,189	749,738	25,932	688,669	154,311	129,230
9	2,293,738	423,589	782,632	26,481	717,358	163,981	179,697
10	2,192,224	298,925	826,536	27,806	738,195	171,828	128,934
11	2,269,804	323,709	842,497	29,252	716,832	177,342	180,172
12	2,399,821	373,911	888,182	48,829	740,573	188,090	160,236
28 年 1	2,419,639	432,253	822,387	29,866	806,237	196,883	132,013
2	2,537,031	511,674	752,772	29,329	794,959	198,589	249,708
3	2,498,994	475,316	825,271	30,530	828,956	201,523	137,398

第 13 表 銀行諸勘定

昭和 22 年度 ~ 27 年度

(銀行協会)

區 分	貸 付 金						コール ローン	所 有 有価証券	現 金	預 け 金
	総 額	手形貸付	證券貸付	当座貸越	割引手形	荷為替 手 形				
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	
昭和 22 年度	125,793	107,035	13,360	1,474	3,924	—	—	42,469	—	
23	321,217	223,632	11,189	40,990	45,406	—	—	178,635	—	
24	426,911	265,059	7,947	440	153,465	—	—	133,731	—	
25	683,056	320,614	533	526	361,383	—	—	126,351	—	
26	869,805	418,370	100	911	450,164	260	—	224,514	—	
27 年 4 月	862,694	402,490	98	1,319	458,787	—	—	322,610	—	
5	905,659	418,859	10,033	925	475,842	—	—	257,682	—	
6	919,553	433,345	9,962	996	475,250	—	—	216,841	—	
7	946,183	451,793	78	739	493,573	—	—	365,607	—	
8	974,910	462,769	75	1,110	510,956	—	—	201,786	—	
9	994,892	495,645	69	566	498,612	—	—	421,623	—	
10	1,025,838	531,808	66	1,425	492,539	—	—	235,974	—	
11	1,050,131	541,626	19,628	922	487,955	—	—	229,689	—	
12	1,076,343	550,216	22,035	1,437	502,652	—	—	345,053	—	
28 年 1	1,100,412	544,129	22,381	1,404	532,501	—	—	367,683	—	
2	1,143,846	597,842	20	1,380	544,206	398	—	447,521	—	
3	1,209,777	617,140	18	9,299	583,320	—	—	471,807	—	

第 14 表

内 国 爲 替

昭和22年度~27年度

(銀行協会)

區 分	送金為替(当座振込含む)		荷付爲替手形		他所割引及代金取立手形	
	取 組 高	支 払 高	取 組 高	取 立 高	取 組 高	取 立 高
昭和 22 年度	千円 4,814,355	千円 11,095,453	千円 —	千円 32,007	千円 567,302	千円 1,078,831
23	4,642,653	11,431,268	—	35,431	923,549	1,610,821
24	4,569,286	11,387,203	3,928	36,238	1,541,430	1,609,318
25	5,322,145	11,993,664	4,692	35,881	1,906,030	1,488,681
26	5,411,095	11,650,344	—	64,665	2,082,449	2,798,146
27年4月	513,126	1,282,905	—	6,957	216,891	225,062
5	551,723	1,331,097	—	5,319	224,388	269,347
6	497,083	1,107,111	—	18,072	262,874	256,447
7	541,167	1,207,058	—	19,288	211,567	265,668
8	568,578	1,280,989	—	21,946	217,313	282,242
9	592,301	1,358,206	—	16,613	227,757	276,264
10	565,185	1,253,239	395	18,019	258,546	330,502
11	486,878	1,198,969	399	20,398	235,274	284,838
12	692,468	1,762,684	1,593	38,358	289,137	435,393
28年 1	681,063	1,116,006	—	22,752	215,862	395,937
2	634,417	1,196,259	398	24,808	252,190	347,105
3	614,491	1,273,403	392	28,594	228,890	333,712

第 15 表

手 形 交 換 高

昭和22年度~27年度

(銀行協会)

区 分	交換日数	手 形 交 換 高			不 渡 手 形		
		枚 数	金 額	差 額	人 員	枚 数	金 額
昭和 22 年度	1.020	130,697,818	111,527,243
23	1.424	547,935,241	325,006,177	8	10	1,323,178
24	2.579	647,261,461	377,560,953	56	57	6,541,355
25	3.522	802,163,506	451,508,924	68	101	7,064,549
26	5.359	913,457,910	488,577,768	94	153	8,263,753
27年4月	5.480	901,312,969	451,361,309	100	159	7,999,253
5	6.293	1,033,038,144	592,358,463	115	225	15,470,447
6	6.236	933,083,752	416,900,781	92	142	9,036,453
7	6.779	970,272,498	415,008,922	72	104	8,586,412
8	6.585	1,271,022,697	507,584,646	61	98	4,252,542
9	7.084	968,739,123	390,149,619	66	105	4,369,473
10	6.983	1,247,816,019	425,964,740	94	133	6,242,233
11	6.135	1,004,456,958	384,078,621	76	113	6,695,057
12	9.399	1,511,643,264	447,700,481	124	159	8,732,348
28年 1月	6.479	1,248,231,082	412,501,187	74	98	4,698,060
2	7.151	1,154,236,552	388,500,646	103	143	8,664,205
3	7.837	1,247,146,265	509,735,634	83	109	6,355,982

郵 便 局

第 16 表

市 内 特 定 局

昭和 28 年 4 月 1 日

(大牟田郵便局)

局 名 称	所 在 地	局 名 秩	所 在 地
三池郵便局	大字三池630	駛馬郵便局	花園町26
井	東米生2588	三川町	三川町1丁目74
駛馬桜町	大字藤田394の1	不知火町	淨真町6
通町	通町2丁目200	上官町	上町2丁目4
勝立	大字勝立730	旭町	旭町3丁目24の1
立浦	宮山町59	銀水	大字草木404
里	浪花町2	西浜田町	西浜田町15
鎌	大字手鎌1518の4	倉永	倉永字笹尾

第 17 表 郵便貯金 (本局分)

(大牟田郵便局)

区 分	預 入			払 出		
	口 数	金 額	一口当り預入高	口 数	金 額	一口当り払出高
		円	円		円	円
昭和 22 年度	34,887	17,449,500	500	32,623	17,582,173	538
23 "	29,523	26,298,075	890	39,213	27,955,280	717
24 "	15,855	47,790,983	3,014	18,653	40,791,262	2,186
25 "	21,205	54,975,725	2,592	16,231	49,612,116	3,056
26 "	21,796	56,385,773	2,586	14,160	53,206,535	3,757
27 年 4 月	1,677	4,737,848	2,825	1,277	5,314,638	4,161
5	1,829	4,879,065	2,667	1,401	4,657,736	3,324
6	1,654	5,340,637	3,228	945	4,321,178	4,572
7	1,790	5,789,704	3,234	1,012	4,475,838	4,422
8	1,480	5,231,826	3,535	907	3,916,668	4,318
9	1,632	4,939,215	3,026	1,049	4,475,312	4,266
10	1,518	4,681,862	3,084	1,182	6,019,854	5,092
11	1,278	3,676,937	2,877	1,006	5,558,453	5,525
12	1,440	5,007,840	3,477	1,080	5,969,915	5,527
28 年 1 月	1,695	6,178,527	3,645	633	3,692,443	5,833
2	1,689	5,216,806	3,088	876	4,974,984	5,679
3	1,548	4,781,751	3,088	1,070	5,631,213	5,262

第 18 表 振替貯金 (本局分)

昭和22年度~27年度

(大牟田郵便局)

区 分	払 込			払 出		
	枚 数	金 額	一枚当り払込高	枚 数	金 額	一枚当り払出高
		円	円		円	円
昭和 22 年度	5,126	5,527,583	1,078	2,653	2,186,768	824
23 "	4,475	22,655,108	5,062	2,437	2,991,907	1,227
24 "	5,530	16,497,053	2,983	1,980	5,591,952	2,824
25 "	8,817	40,108,802	4,549	2,730	9,638,653	3,530
26 "	10,478	58,739,139	5,605	2,970	14,160,807	4,767
27 年 4 月	875	5,869,850	6,708	262	1,182,991	4,515
5	819	5,723,813	6,988	192	1,121,239	5,839
6	978	5,550,626	5,675	278	1,175,393	4,228
7	939	4,372,555	4,656	299	1,418,707	4,744
8	705	3,767,210	5,343	218	898,730	4,122
9	866	6,203,537	7,163	214	1,343,201	6,276
10	824	4,247,099	5,154	214	1,976,658	9,236
11	803	5,307,285	6,609	176	995,967	5,658
12	1,018	5,595,402	5,496	348	2,765,426	7,946
28 年 1 月	676	4,074,698	6,027	189	891,028	4,714
2	749	5,695,905	7,604	192	1,002,295	5,220
3	1,002	6,345,421	6,332	254	1,246,288	4,906

第 19 表 定額貯金 (本局分)

昭和22年度~27年度

(大牟田郵便局)

区 分	預 入			払 出		
	口 数	金 額	一口当り預入高	口 数	金 額	一口当り払出高
		円	円		円	円
昭和 22 年度
23 "
24 "	49,240	16,664,911	338	32,585	13,123,804	402
25 "	389,974	41,730,307	107	170,255	29,796,188	175
26 "	56,167	45,764,218	814	233,551	40,590,578	173
27 年 4 月	4,653	3,387,765	728	4,177	1,942,693	465
5	6,712	3,014,514	449	4,838	2,940,577	607
6	5,041	4,090,100	811	4,775	2,819,438	590
7	4,337	4,014,500	925	5,548	2,568,498	462
8	4,634	3,950,800	852	3,662	2,669,573	728
9	6,851	6,256,800	913	2,354	1,848,136	785
10	93	3,094,400	33,273	255	3,594,536	14,096
11	100	3,655,300	36,553	220	2,514,392	11,429
12	137	4,736,380	34,572	278	4,264,277	15,339
28 年 1 月	176	4,363,200	24,790	128	2,769,462	21,636
2	206	6,528,120	31,689	283	4,188,980	14,802
3	212	6,292,900	29,683	198	2,940,269	14,849

第 20 表 積立貯金 (本局分)

昭和22年度~27年度

(大牟田郵便局)

区 分	預 入			払 出		
	口 数	金 額	一口当り預入高	口 数	金 額	一口当り払出高
昭和 22 年度
23 "
24 "	19,083	10,058,346	527	906	1,330,318	1,468
25 "	20,622	9,990,940	484	2,778	7,806,955	2,810
26 "	31,207	15,660,850	501	3,321	13,074,731	3,936
37年4月	3,350	1,613,600	481	163	504,291	3,093
5	4,080	1,864,700	457	103	347,091	3,369
6	4,074	1,886,800	463	86	319,306	3,712
7	4,643	2,149,600	462	148	384,418	2,597
8	3,408	1,949,800	472	46	353,846	7,692
9	4,928	2,192,800	449	78	425,989	5,461
10	4,618	2,087,800	452	83	517,483	6,234
11	3,609	1,782,800	493	67	522,446	7,797
12	3,855	1,913,200	496	132	650,079	4,924
28年1月	4,592	2,321,900	505	123	1,073,397	8,726
2	4,724	2,282,900	483	283	2,623,276	9,269
3	3,972	2,247,300	565	372	2,932,034	7,881

第 21 表 内外郵便爲替 (本局分)

昭和22年度~27年度

(大牟田郵便局)

区 分	払 出			払 渡		
	口 数	金 額	一口当り振出高	口 数	金 額	一口当り払渡高
昭和 22 年度
23 "	28,929	43,083,644	1,482	18,351	47,026,086	2,562
24 "	23,572	47,872,126	2,030	15,762	39,047,411	2,477
25 "	25,357	56,577,105	2,231	14,530	31,547,582	2,171
26 "	21,041	66,494,677	3,160	13,169	38,279,829	2,906
27年4月	1,304	7,593,810	5,823	739	3,395,725	4,595
5	1,205	7,332,910	6,085	719	3,511,395	4,883
6	1,042	5,646,835	5,419	736	3,120,895	4,240
7	1,075	5,787,911	5,384	859	3,690,070	4,295
8	1,080	5,418,511	5,017	827	3,405,964	4,118
9	976	5,566,107	5,702	663	3,073,513	4,635
10	976	5,807,711	5,950	646	3,498,694	5,415
11	806	4,671,337	5,795	586	4,105,503	7,005
12	1,251	7,454,607	5,958	820	5,683,043	6,930
28年1月	787	5,407,141	6,870	477	2,451,146	5,138
2	1,135	7,073,232	6,249	565	3,624,621	6,415
3	1,045	7,382,320	7,062	624	3,586,856	5,748

第 22 表 公益質屋貸付及回収状況

昭和25年度~27年度

(市社会課)

区 分	貸 付 金			回 收 金			利 息
	口 数	金 額	一口当り貸付金額	口 数	金 額	一口当り回収金額	
昭和 25 年度	9,917	7,501,386	756	8,804	6,536,054	742	714,679
26 "	18,758	14,781,913	788	16,035	12,696,678	791	1,420,458
27年4月	1,485	1,139,390	767	1,422	1,102,520	775	118,252
5	1,589	1,232,950	775	1,640	1,270,529	774	155,770
6	1,496	1,151,120	769	1,376	1,079,870	784	124,665
7	1,593	1,200,780	780	1,486	1,145,030	770	144,989
8	1,494	1,138,890	762	1,459	1,121,900	768	141,884
9	1,589	1,214,810	764	1,654	1,274,220	770	158,689
10	1,733	1,337,240	771	1,946	1,503,755	772	202,476
11	1,459	1,068,840	732	1,686	1,288,720	764	160,370

第 22 表

公益質屋貸付及回収状況 (続き)

昭和25年度～27年度

(市社会課)

区 分	貸 付 金			回 收 金			利 息
	口 数	金 額	一口当り 貸付金額	口 数	金 額	一口当り 回収金額	
昭和 27年12月	1,570	1,185,255	754	2,574	1,936,257	752	203,196
28年 1月	1,068	797,860	747	911	711,540	781	83,037
2	1,324	972,730	734	1,375	983,745	715	154,066
3	1,438	1,078,790	750	1,342	1,037,070	772	125,432

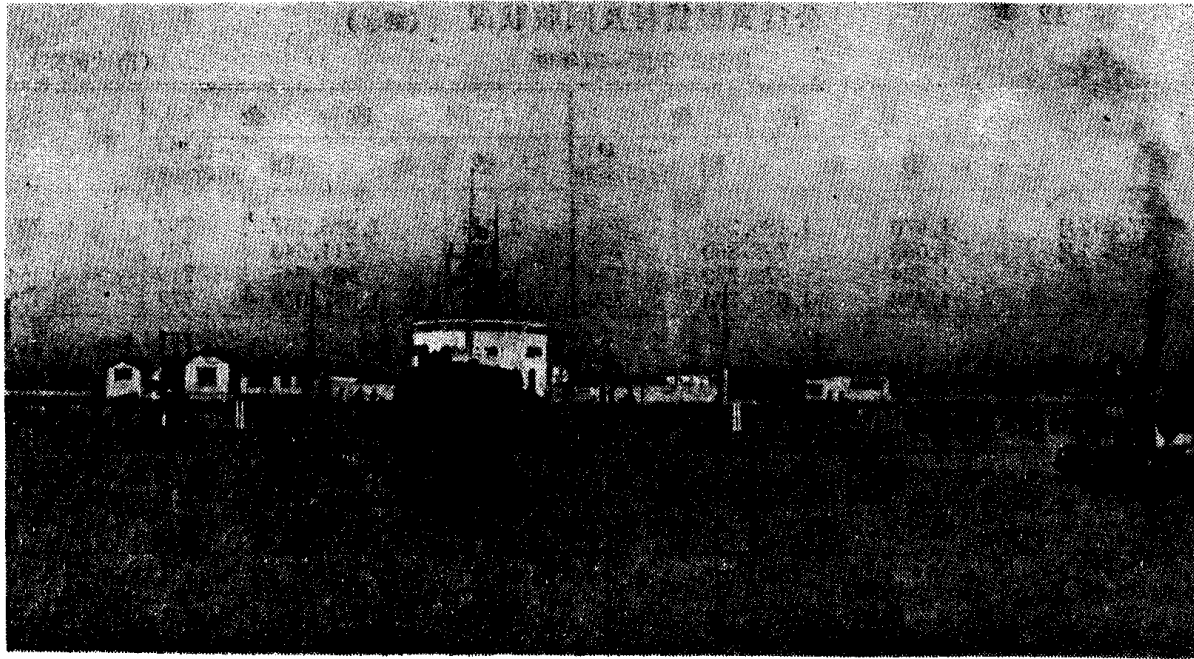
第 23 表

公益質屋市民1人当り利用状況

昭和25年度～27年度

(市庶務課)

区 分	貸 付 金		回 收 金	
	口 数	金 額	口 数	金 額
昭和 25年度	0,052	39	0,045	34
26 "	0,097	76	0,082	66
27年4月	0,007	58	0,007	57
5	0,008	63	0,008	65
6	0,007	59	0,007	55
7	0,008	61	0,007	59
8	0,007	58	0,007	57
9	0,008	76	0,008	65
10	0,008	68	0,009	77
11	0,007	55	0,008	66
12	0,007	60	0,001	99
28年 1月	0,005	41	0,004	36
2	0,006	49	0,006	50
3	0,007	55	0,006	53



出船入船に賑う三池港

5 貿易

貿易の概況

輸出入貿易の内容は土地の産業構成に呼應して左右されるものである。本市における産業構成は石炭を中心とする炭鉄業や化学肥料並びに染料等の化学工業の割合が大きいためこれらの生産品が輸出品の大部分を占めてゐる。輸入品についてみると、硫化鉄、工業塩、無煙炭等の化学工業の原料が多い。終戦後我が国の輸出貿易の発展につれて、大牟田市の輸出状況においても躍進の跡頭著なものがある。三池港は主として外国貿易を行い大牟田港においては内国取引が盛んである。

第24表

三池港輸出入貨物

昭和22年~27年

(三池税関支署)

区 分	輸 出		輸 入	
	数 量	価 格	数 量	価 格
昭和22年	307,879	256,778	72,687	72,654
23	389,852	1,266,100	49,009	119,334
24	287,740	1,152,174	24,047	111,161
25	127,570	676,135	11,279	53,761
26	46,335	752,942	72,449	1,559,834
27	103,681	1,147,335	57,007	645,495

第25表

昭和27年輸出貨物

(三池税関支署)

区 分	数 量	価 格	主 要 積 出 国
硫 石	27,824	677,834	フィリッピン、印度、台湾、韓国 コカテア、佛印、韓国
安 炭	75,857	469,501	
計	103,681	1,147,335	

第26表

昭和27年輸入貨物

(三池税関支署)

区 分	数 量	価 格	主 要 積 出 国
米	3,923	249,069	タイ国、台湾 米国、カラダ スペイン、台湾、印度
硫 化 鉄 鉍	25,422	224,578	
塩	21,564	110,914	
石油	3,963	37,420	米国
無 煙 炭	2,100	22,945	佛印 米国 米国
自 動 車	5	538	
木 材	30	31	
計	57,007	645,495	

第27表

昭和27年移出入貨物

(三池港務所)

区 分	移 入		移 出		
	数 量	価 格	移 出	数 量	価 格
硫 化 鉄 鉱	7,409	...	石 炭	469,237	...
無煙炭(石炭含む)	100,853	...	コ ー ク ス	34,661	...
オイル、コークス	6,314	...	パ イ ラ イ ト	9,020	...
セ メ ン ト	155	...	シ ン ダ ー		...
粘 土	638	...	ク レ オ ソ ー ト 油	902	...
そ の 他	102	...			
計	115,471	...	計	513,820	

註 移入の無煙炭(石炭含む)は炭券ストによる他炭の三池港揚荷である。

大 牟 田 港

第28表

移 出 入 貨 物

昭和22年度~27年度

(市土木課)

区 分	移 出		移 入	
	数 量	価 格	数 量	価 格
昭 和 22 年	16,165	58,927	947,275	3,526,484
23	44,362	612,675,529	139,934	187,065,076
24	2,120	44,626,500	96,258	226,245,589
25	15,877	151,583,388	84,478	155,897,084
26	3,496	102,077,932	105,625	1,114,844,105
27	4,978	123,530,000	46,944	156,767,701

第29表

昭和27年移出貨物

(市土木課)

區 分	数 量	価 格	主 要 仕 向 港
磷 礦 油	81	5,670,000	木津川
セ メ ン ト	566	4,811,000	福 浦
	215	...	島原、牛深、大井道、井牟田
肥 鉛 料	25	2,750,000	木津川
	4,091	110,299,000	有家、大訖間、島原、三角、早津江
計	4,978	123,530,000	志岐、福江、板引、一丁田、寺井

第30表

昭和27年移入貨物

(市土木課)

区 分	数 量	格 価	主 要 仕 出 港
薬 土	394	3,640,000	日比港
木 獲	27,187	...	天草、八代、大川、若津
	18,072	70,726,332	... (天草、佐敷、鹿児島、芝岡、田之浦
	1,321	82,401,369	(水俣、四国
計	46,944	156,767,701	

第五編 交 通

- 1 道 路
- 2 國 鉄
- 3 私 鉄
- 4 バスその他
- 5 船 舶
- 6 通 信
- 7 報 道

第五編 交 通

陸 上 運 輸 の 概 況

鹿兒島本線は大牟田市の中央を南北に走り、大牟田駅は、明治24年築町に設置され、同44年不知火町に移転した。第二次大戦末期の昭和20年7月の空襲により焼失しその後再建計画が進められ昭和25年7月竣工なり、炭都玄關にふさわしくスマートな近代建築の偉容を誇示してゐる

明治29年三井鉱山株式会社専用鉄道の接續工事が竣工し、石炭及び工業原料その他製品の運輸に至大なる利便を与え、港湾と相呼應して炭都としての大牟田の発展を推進した。

大正11年7月金百万円を以て大牟田電気軌道会社が創立され、爾後工事に着手し、昭和2年12月旭町四山道間4.6キロにのみ単線運転でその開通を見るに至つた。逐年道路は改善、拡張、新設され、自動車、トラック、バス等の文化のスピード機関は進歩発達し、遂に昭和13年11月には九州鉄道株式会社の電車（福岡—久留米）が栄町まで開通を見たのである。これにより市内（外）の運輸機関は一應整備せる観を呈し、鉱工業の隆盛と港湾の施設とは更に市並びに近接町村の繁栄を促し、人口は此処に蟠集して鉱工業都市として飛躍の隆昌と繁榮を遂げつつあつたのであるが今次大戦末期の空襲により殆んど市の街地は烏有に帰し、各運輸機関も大打撃を蒙りその損害は少なからざるものがあつた。産業経済の基幹であり、文化の尺度と云はれる道路は戦時中の酷使により荒廢の極に達し晴天には砂塵、雨天には泥濘となり市民各位に多大の御迷惑をおかけしたのであるが、27年に至り漸く築町—不知火町間のメインストリートの舗装完成し、逐次整備の段階にある。又戦後自動車交通の発達は目覚ましく、桜町、勝立、黒崎、築港等の市内各線の外、遠く南関、山鹿、久留米及び高瀬方面等近接市町村間に張られている定期往復の自動車網があり、戦前を遙かに凌駕している現状である更にタクシーの活動となり、昭和10年当時の70台をオーバーした實情にあり市民の足としてその快適とスピードにより運輸界の王者たらんとしている。然し昭和2年12月開通し長年市民の足として親しまれていた電車が27年1月廢止されたのは一抹の淋しさを感じる。

1 道 路

第1表

道路延長調

(市土木課)

(昭和27.12月末)

区 分	路線数	主要延長	主要延長内訳			幅 員 別 内 訳				
			道	路	橋 梁	7.5米以上	7.5~5.5	5.5~4.5	4.5~3.6	3.6米未満
本 市	22	74,965.80	74,067.80	898.00	1,849.65	19,747.70	3,240.10	7,575.90	6,960.80	37,441.30
道 市	361	392,520.90	390,671.25	1,849.65	23,980.00	28,694.00	57,999.70	59,125.50	222,723.70	
計	383	467,486.70	464,739.05	2,747.65	43,727.70	31,934.10	65,573.60	66,086.30	260,165.00	

第2表

舗装道路区分別調

(市土木課)

(昭和27.12月末)

区 分	高級舗装道路		簡易舗装道路		計	砂利道	合 計	舗装の歩合
	セメント系	瀝青系	セメント系	瀝青系				
本 市	2,337.00	8,975.00	...	1,408.00	12,720.00	62,245.80	74,965.80	17%
道 市	3,876.20	5,144.00	2,034.90	853.00	11,908.10	380,612.80	392,520.90	3%
計	6,213.20	14,119.00	2,034.90	2,261.00	24,628.10	442,858.60	467,486.70	5%

第3表

橋 梁 数

(市土木)

(昭和27.12月末)

区 分	石コンクリート橋	鋼 橋	木 橋	計
本 市	84	1	24	109
道 市	183	...	63	246
計	267	1	87	355

2 國 鐵

第4表

昭和22年~27年大牟田駅乗降客及手荷物調

(大牟田駅)

區 分	乗車旅客数	降車旅客数	手 荷 物		小 荷 物	
			発 送	到 着	発 送	到 着
昭和22年	3,739,751	3,595,563
23	4,585,612	4,536,732	12,567	20,338	12,046	96,066

第4表 国鉄昭和22年～27年大牟田駅乗降及小荷物調 (続) (大牟田駅)

区分	乗車旅客数	降車旅客数	手荷物		小荷物	
			発送	到着	発送	到着
24	3,343,480	3,268,675	9,335	12,941	15,597	115,354
25	3,682,360	3,617,118	9,905	11,515	24,089	160,472
26	4,602,248	4,533,003	11,456	12,028	33,678	185,552
27	3,619,162	3,573,424	11,940	13,273	46,909	203,513
1月	381,701	376,078	1,156	1,047	3,131	13,193
2	323,022	319,340	910	1,024	2,169	14,084
3	326,515	321,241	1,116	1,251	2,562	16,339
4	330,570	328,736	1,303	1,195	2,856	17,191
5	320,299	316,847	901	996	2,888	17,572
6	272,287	271,740	681	892	2,870	16,878
7	282,244	287,015	750	1,097	3,640	17,858
8	315,583	312,476	1,026	1,062	3,417	16,542
9	278,144	277,416	1,172	1,121	3,150	17,587
10	274,552	271,951	1,135	1,170	3,564	19,543
11	266,909	255,293	1,051	1,206	2,871	16,680
12	238,336	235,291	739	1,212	3,791	20,046

第5表 昭和22年～27年銀水駅乗降客及手荷物調 (銀水駅)

区分	乗車旅客数	降車旅客数	手荷物		小荷物	
			発送	到着	発送	到着
昭和22年	424,057	392,479	2,451	2,514	1,384	6,815
23	371,158	344,746	1,768	2,127	4,251	7,290
24	295,421	271,084	1,165	1,034	2,921	9,060
25	336,539	319,879	883	820	2,336	9,084
26	372,173	359,719	946	2,120	805	3,138
27	273,765	270,019	6,361	8,666	2,391	12,009
1月	34,070	32,991	2,196	52	146	896
2	29,173	29,024	1,534	71	123	780
3	31,314	30,954	1,903	87	161	906
4	34,005	33,491	111	79	161	1,023
5	27,454	27,963	90	51	123	938
6	15,231	14,925	47	55	195	932
7	16,525	15,940	62	78	404	967
8	18,402	17,741	62	74	292	1,067
9	15,414	15,182	109	70	244	1,125
10	18,567	18,199	102	92	212	1,112
11	16,950	16,980	78	81	165	1,167
12	16,660	16,626	67	76	165	1,096

第6表 昭和22年～27年国鉄貨物取扱数 大牟田駅 (大牟田駅)

区分	発送				到着			
	小口扱		車扱		小口扱		車扱	
	件数	数量	件数	数量	件数	数量	件数	数量
昭和22年	21,227	4,637,924	17,730	370,863	43,580	2,815,053	19,528	334,955
23	21,625	4,785,676	18,229	353,552	50,881	9,528,863	23,946	416,844
24	9,469	1,791	30,362	650,509	20,049	3,445	24,438	420,302
25	6,743	1,528	34,948	716,282	19,976	3,527	25,980	464,369
26	6,726	1,606	49,483	923,738	25,655	4,476	26,444	454,136
27	17,589	3,420	44,931	833,425	41,246	6,782	29,194	531,037
1月	522	102	4,268	66,669	1,874	304	2,034	34,087
2	472	116	4,747	72,908	2,135	368	2,186	37,253
3	584	113	5,184	84,899	2,391	405	2,656	47,477
4	626	137	4,661	88,814	2,251	363	2,617	47,872
5	627	134	3,646	69,685	2,478	389	2,419	42,910
6	609	138	3,758	75,104	2,273	411	2,343	39,731
7	602	127	3,909	75,027	2,375	407	2,061	37,555
8	592	156	3,356	63,500	2,472	420	2,324	43,090
9	1,830	388	3,986	73,293	3,999	711	2,203	41,632
10	2,167	414	3,555	63,014	4,337	698	2,436	42,538
11	1,893	313	2,459	37,435	4,091	642	2,335	43,730
12	2,254	400	2,751	45,141	4,820	716	2,681	53,616

第7表

昭和22年~27年国鉄貨物取扱數

銀水駅

(銀水駅)

區分	發				到			
	小口扱		車扱		小口扱		車扱	
	件数	数量	件数	数量	件数	数量	件数	数量
昭和22年	5,142	2,104,651	621	7,821	5,214	862,130	412	6,214
23	4,414	1,321,320	650	8,685	4,159	667,308	391	5,680
24	1,864	537,031	725	9,690	1,824	280,600	505	7,856
25	1,104	293,165	616	8,496	1,187	198,789	378	5,721
26	823	225,402	443	6,266	1,412	218,492	828	12,013
27	1,905	385,235	275	3,816	2,411	305,117	737	12,366
1月	48	11,011	48	816	100	10,504	70	988
2	45	9,260	28	473	122	17,719	51	779
3	59	10,973	44	774	135	14,562	66	871
4	98	14,475	29	391	113	16,864	31	447
5	131	21,938	10	160	117	14,385	49	722
6	159	43,486	25	330	109	11,817	68	957
7	141	30,980	14	175	123	11,582	58	928
8	191	65,612	39	546	118	15,400	62	1,216
9	253	46,227	30	410	291	38,434	52	949
10	204	34,294	16	260	295	43,601	53	891
11	170	20,953	27	367	238	24,510	108	1,705
12	179	27,316	31	454	304	34,337	108	2,083

第8表

昭和27年国鉄主要貨物調

大牟田駅

(大牟田駅)

發		送		到		着	
品名	数量	主なる仕向地		品名	数量	主なる積出地	
石炭	303,943	中部、関西、中国、四国、九州一円		米	5,556	熊本、福岡県輸入米(門司博多)	
ークス	108,730	東北、北陸、關東、東海、中部		介炭	3,732	長崎、下関、戸畑	
肥料	196,188	関西、中国、四国、九州一円		魚木	6,051	熊本、鹿児島	
工業薬品	60,276	東北、北陸、關東、東海、關西		薪	1,602	" "	
		中国、四国、中部、九州一円		坑木木材	46,784	中国、九州一円	
セメント	11,696	北海道、仙台、東京、横浜、金		炭	81,020	筑豊附近	
機械車輛	11,310	次、名古屋、富山、大阪、京都		セメント	17,188	八代、津久見	
礦々物	43,357	神戸、九州一円		礦物	165,862	日影、三峰、阿具根	
金属屑	17,915	九州一円		石炭	54,969	船尾、向石	
		北海道、北九州		砂	5,046	川尻、船尾	
		西八幡					
		西八幡、小倉、大阪					

第9表

昭和27年国鉄主要貨物

銀水駅

(銀水駅)

發		送		到		着	
品名	数量	主なる仕向地		品名	数量	主なる積出地	
麦	235	羽犬塚、久留米		米	2,995	門司(外国米)	
肥料	385	関西方面		炭	617	羽犬塚、久留米	
石炭	1,529	若松、戸畑		木炭	105	多良木	
薬品屑	465	大阪方面、東京、名古屋		肥料	830	宮地、波野、多良木	
		戸畑 西八幡		セメント	670	門司	
	1,137				330	刈田	

3 私 鐵

第10表

昭和27年西日本鉄道乗降客数

大牟田駅

(西日本鉄道)

區分	乗客数		降客数		區分	乗客数		降客数	
	一般	定期	一般	定期		一般	定期	一般	定期
1月	81,211	83,134	75,311	83,262	4月	78,751	83,244	74,086	83,083
2月	72,954	74,567	66,723	74,169	5月	89,892	83,021	77,597	83,120
3月	108,035	71,718	98,219	71,193	6月	61,343	81,326	56,710	81,315

第10表

昭和27年西日本鉄道乗降客数(続)

大牟田駅

(西日本鉄道)

区分	乗客数		降客数		区分	乗客数		降客数	
	一般	定期	一般	定期		一般	定期	一般	定期
7月	82,399	82,394	66,449	82,400	11月	72,921	68,992	58,210	68,900
8月	72,150	72,142	81,536	72,112	12月	74,530	67,884	63,756	67,880
9月	83,100	74,004	82,882	74,125	計	961,645	926,214	883,117	925,339
10月	84,359	83,788	81,638	83,780					

第11表

榮町駅

(西日本鉄道)

区分	乗客数		降客数		区分	乗客数		降客数	
	一般	定期	一般	定期		一般	定期	一般	定期
1月	73,657	103,368	73,788	103,355	8月	77,381	88,948	77,459	88,940
2月	65,907	80,401	66,355	80,200	9月	66,472	96,130	66,300	96,121
3月	79,131	86,061	71,452	86,050	10月	75,527	103,483	58,424	103,480
4月	71,423	100,436	71,738	100,500	11月	58,181	90,757	59,791	90,850
5月	74,681	97,875	74,694	97,885	12月	62,719	92,827	62,838	92,830
6月	57,989	101,765	53,146	101,770	計	777,848	1,141,543	796,577	1,141,431
7月	64,780	99,492	60,592	99,450					

第12表

銀水駅

(西日本鉄道)

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
乗客	86,192	73,391	86,822	85,739	84,532	80,668	83,474	80,561	79,955	84,051	67,091	63,522
降客	86,254	73,352	86,791	85,754	84,514	80,652	83,442	80,485	79,918	84,079	67,061	63,509

第13表

東甘木駅

(西日本鉄道)

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
乗客	14,220	15,921	15,400	15,001	16,291	15,150	10,112	14,290	15,520	16,210	17,218	16,829
降客	14,300	15,932	15,321	15,200	16,100	15,400	9,844	14,500	15,412	16,007	17,024	17,527

第14表

倉永駅

(西日本鉄道)

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
乗客	48,148	39,766	41,223	46,313	46,883	43,923	45,100	44,608	43,769	46,266	41,946	44,710
降客	48,136	39,821	41,218	46,362	46,770	43,914	45,125	44,597	43,746	46,290	41,903	44,674

第15表

渡瀬駅

(西日本鉄道)

区分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
乗客	380,568	32,274	32,691	36,684	38,208	34,397	36,744	35,792	34,288	36,701	28,518	28,491
降客	39,035	32,314	32,659	36,718	38,165	34,290	36,732	35,840	34,271	36,687	28,564	28,359

4 バスその他

第16表

市内西鉄バス

(西鉄大牟田営業所)

路線名	起 点	終 点	経 由 地	料 程
南 關 線	大牟田駅前	南 關 町	草木、三池、上内、中尾	17.00
桜 町 線	〃	桜 町	勝立、玉川、教楽木、賢木、落合	16.7
〃	〃	桜 倉	上官町、一部橋	4.2
〃	〃	〃	桜町にて分岐、倉掛	5.
勝 立 線	〃	三 川 町 五 丁 目	〃 〃 三川町五丁目	6.0
黒 崎 線	〃	勝 崎 立	上官町、暖溜、早鐘	5.3
築 港 線	〃	築 港 棧 橋	榮町、明治町、大黒町、手鎌	5.8
山 鹿 線	〃	〃	三川町、浪花町	5.7
久 留 米 線	〃	山 鹿 町	教楽木、坂下、江田	43.2
市 内 線	三 池 町	国 鉄 久 留 米 駅 前	瀬高、船小屋、羽犬塚	44.2
〃	〃	〃	東新町、大牟田駅前、三川、四つ山	9.7
〃	通 池 町	荒 尾 駅 前	草木、東新町、大牟田、駅前、三川、四山	10.6
海 水 浴 場 線	諏 訪 橋	四 つ 山 町	東方町、大正町、三川町	5.8
		海 水 浴 場	新港町	3.0

第 17 表

昭和27年西鉄バス輸送調

(西鉄大牟田営業所)

区分	車輛数	従業員数	乗客数	運 賃	一 日 平 均		
					運轉車輛数	乗 客 数	運 賃
1月	62	250	993,854	8,604,073	55	31,815	274,324
2	62	242	807,241	7,899,119	53	28,810	282,147
3	62	241	845,701	7,985,528	53	27,250	257,597
4	62	240	907,237	8,325,323	55	30,241	277,510
5	61	239	868,255	8,048,415	57	27,985	260,603
6	61	238	783,733	7,439,950	56	26,124	247,998
7	61	238	949,180	8,528,509	55	30,610	275,113
8	61	238	1,054,611	10,052,995	58	34,210	324,290
9	61	238	870,256	8,400,449	53	29,009	280,149
10	61	236	993,868	8,602,558	55	32,100	288,501
11	61	235	824,283	8,135,429	56	27,466	271,180
12	61	235	865,537	8,551,429	58	27,895	275,850

第 18 表

産 交 バ ス

(産交バス大牟田出張所)

路線名	起 点	終 点	経 由 地	程 程
産業線(山手)	立願寺(高瀬)	大牟田 駅	水小屋、金山、野原 本村、荒尾駅、四つ山	26.1km
腹赤線(海岸)	高 瀬	"	大野役場前、大野下駅 清源寺、長洲駅、牛水、荒尾駅、四つ山	32.1
大牟田 線	山 鹿	"	東郷、江田、坂下、庄山 高田、上官町	43.0

第 19 表

昭和27年産交バス輸送調

(産交バス大牟田出張所)

区分	車輛数	従業員数	乗客数	運 賃	一 日 平 均		
					運轉車 数	乗 客 数	運 賃
1月	—	2	3,766	149,410	4	1,215	4,819
2	—	2	2,407	96,100	4	830	3,313
3	—	2	2,781	113,910	4	897	3,674
4	—	2	3,372	136,575	4	1,124	4,552
5	—	2	3,145	125,510	4	1,015	4,048
6	—	2	2,344	95,525	4	771	3,184
7	—	2	3,023	116,470	4	975	3,757
8	—	2	4,267	157,275	4	1,377	5,073
9	—	2	2,728	107,825	4	910	3,594
10	—	2	3,473	143,630	4	1,120	4,633
11	—	2	3,005	128,550	4	1,001	4,285
12	—	2	3,968	159,190	4	1,280	5,135

海上運輸の概況

産業文化の発達を求め良港の施設は産業文化の発達を助成する。よつて海上交通の重要性も此所にあり本市に於ける海上交通機関は三池港並に大牟田港であつて三池港を遠く世界文化との接点とするならば大牟田港は近く國內の諸港に通ずる門戸と言えよう。

1 三 池 港

市の西南端有明海上はるかに突出せる二條の突堤こそ石炭の補給港として本邦に誇る世界的な築港三池港である。本港は全く人工による港で明治35年着工以來明治41年の完成に至るまで約6年の歳月と巨大の資料により竣工同年4月6日勅令第75号を以て開港場に指定された。港は幅20米の閘門によつて内港と船渠とに区劃されて汽船は此の狭い閘門を曳船し曳船され船渠に出入する、船渠には東岸に1万噸級の汽船三隻を同時に横付けし得る全長4百米の繫船壁と南岸に普通貨物の荷役に使用する長さ90米の鉄製棧橋がある。汽船は繫船岸と石炭を積込むので積込の迅速を期するためにトンネル棧橋貯炭設備と毎時480噸の積込能力を有する三池式船積機の設備がある。之れによつて良炭を廉価に且迅速と供給し得るようになつている。三池港の海上輸送は之を契機として劃期的發展を遂げ船舶陸續として三池港に集り外国船の來港も漸次増加の一途たどり石炭積出港としての三池港はその面目を一新した。しかるに当港が1万噸より巨大なる船舶の船渠入港は不可能なるため専ら大型船石炭積込用として大正15年4月内港東岸に全長91米の繫船壁築造工事に着手し

昭和2年5月竣工したこれによつて1万噸級より巨大の船舶も容易に接岸して荷役できるようになつた、かくして西日本における開港場としての面目を益々發揮して内地は勿論遠く支那、南洋、北米、歐洲各国との交易が一層盛んになつた。滿洲事變以來本邦における化学工業の發達は急激に躍進し三池港の背後に三池炭を原料とする三池重工業地帯の出現を招來しその原料及び製品の取扱は驚異的な増加を來たすに至り石炭積出港としてのみならず雜貨港としての大規模な設備改善をなすべく昭和9年10月内港北側に雜貨岸壁の構築を着手同12年10月竣工更に昭和26年4月に重要港灣の指定をうけ石炭積出とともに雜貨の取扱量も増加の一途をたどりつつある。

2 大牟田港 大牟田港は昭和7年県告示を以て県費支弁港灣に編入されて地方産業開發上大いに囑望された。しかし狭く且つ浅い大牟田川の川口の利用した港であるために干潮時は僅かに三百噸内外の船舶の出入を得るのみであるが出入は繁く九州沿岸に素より全国各地との交易に活躍している。本港に三池開港前迄は大牟田隨一の石炭積出港としてその繁栄を誇つたが今日も尙長崎、島原、瀬戸内海沿岸への石炭の移出及工業原料、日常生活物資の交易は多く本港を通して行はれている。大正10年川口より約730米の南方に木造柱建の荷揚場が設備され荷役の利便を講ぜられたがその規模は狭少であつた。その後都市の發展につれて移入出額も漸次増加し出入船舶数も千数百隻に達した、かくて港の隆盛につれた船舶は輻輳を加へるに至り適當なる船溜場と埠頭の設備によつて工業品及本地方の需給關係を充す雜貨の吞吐を便ならしめて地方商工發達のため昭和9年多額の費用を投じ県営五ヶ年繼續事業として本港改修に着手した大牟田川川口左岸の地は市の中核に連續して鹿児島本線の駅に近く位置最も適當なるため左岸の三井埋立地域内に29,3000平方メートルの土地を区劃して千噸以下の汽船の碇泊し得る埠頭及帆船、漁船等の船溜場の築設計画を樹立され斯くて昭和14年完成の予定であつたが恰も滿洲事變勃發の影響により昭和24年略ぼ完成に至りたるもいまだ陸上施設の不備、殊に道路棧橋、上屋倉庫等の設備の緊要にせまられ目下之れが建設計画中でありこれら施設の完備と相俟つて躍進するであらう。

第20表 昭和21年～27年三池島原間渡船乗降調 (島原観光汽船)

區分	22年	23年	24年	25年	26年	27年
乗客数	82,882	56,058	62,084	60,916	65,525	77,070
降客数	87,648	66,468	69,636	64,858	69,617	79,389

第21表 昭和27年三池～島原間清船月別乗降人員數調 (島原観光汽船)

區分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
乗客数	3,774	2,901	3,907	7,854	16,097	5,215	4,575	7,693	6,864	11,199	6,860	3,136	77,070
降客数	4,081	3,774	4,801	5,799	12,228	5,309	4,990	7,486	7,468	12,244	7,864	3,345	79,389

第22表 昭和22年～27年諸車調 (市稅務課)

区分	自動車		牛馬車		自転車		人力車	荷車	自動車	靈柩	消防	被牽引
	乗用	貨物	乗用	荷積	自動	通常	營業用	自家用	三輪車	自動車	自動車	車
昭和22年	71	156	—	320	4	11,441	6	5,100	101	4	—	—
23	88	185	—	362	5	10,010	—	5,009	120	5	13	9
24	110	202	—	183	—	19,759	—	4,828	256	5	32	1
25	110	186	—	231	—	14,701	—	4,670	256	6	19	—
26	130	239	—	225	—	24,115	—	4,844	336	5	19	—
27	106	253	—	230	156	28,921	—	5,420	339	3	19	—

5 船 舶

第23表 昭和27年三池港入港船舶調 (海運局)

區分	100噸未滿	100	500	1,000	5,000	10,000	外國船		計
		～500	～1,000	～5,000	～10,000	1,000～5,000	5,000噸以上		
汽船	—	25	369	181	28	—	24	23	650
機帆船	—	10,389	311,755	398,682	136,588	—	130,776	149,636	1,147,827
その他	1,077	617	—	—	—	—	—	—	1,694
	47,997	75,150	—	—	—	—	—	—	123,147
	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1,077	643	369	181	28	—	24	23	2,344
	47,997	85,539	311,755	398,682	136,588	—	130,776	149,636	1,279,974

第24表

昭和27年大牟田港入港船舶調

(市土木課)

區分		5吨 ~ 20吨	20吨 ~ 100吨	100吨 ~ 500吨	計
機帆船	舟数	1,224	1,018	171	2,413
	吨数	19,549	19,549	29,395	99,412
帆船	舟数	229	229	—	269
	吨数	3,493	3,493	—	5,189
その他	舟数	—	—	—	—
	吨数	—	—	—	—
計	舟数	1,453	1,453	171	2,682
	吨数	23,042	52,164	29,395	104,601

第25表

三池港入港船舶調

(海運局)

區分	汽船		機帆船		合計	
	舟数	吨数	舟数	吨数	舟数	吨数
昭和22年	315	803,723	1,032	80,238	1,347	883,961
23	273	804,211	1,693	122,721	1,966	926,932
24	396	652,187	615	42,048	1,011	694,235
25	453	726,725	1,195	59,508	1,648	786,233
26	463	1,113,187	1,679	108,118	2,142	1,221,305
27	650	1,147,827	1,694	123,147	2,344	1,270,974
1月	71	130,046	122	7,656	193	137,702
2	50	102,233	139	9,324	189	111,557
3	74	127,654	163	11,256	237	138,910
4	65	121,485	149	11,250	214	132,735
5	74	160,538	181	11,496	255	172,034
6	58	83,708	116	8,290	174	91,998
7	62	108,199	126	8,514	188	116,713
8	47	77,548	139	8,628	186	86,176
9	57	105,235	127	7,398	184	112,633
10	29	58,039	96	6,319	125	64,358
11	31	27,966	132	14,751	163	42,717
12	32	45,176	204	18,265	236	63,441

第26表

大牟田港入港船舶調

(市土木課)

區分	機帆船		帆船		合計	
	舟数	吨数	舟数	吨数	舟数	吨数
昭和22年	937	136,174	—	—	937	136,174
23	1,155	105,688	—	—	1,155	105,688
24	1,190	73,300	—	—	1,190	73,300
25	4,812	127,858	—	—	4,812	127,858
26	8,409	168,626	—	—	8,409	168,626
27	2,413	99,412	269	5,189	2,682	104,601
1月	244	12,969	18	418	262	13,387
2	215	8,466	25	375	240	8,841
3	284	14,888	47	1,181	331	16,069
4	249	12,339	38	755	287	13,094
5	343	15,732	31	615	374	16,347
6	290	12,238	16	310	306	12,548
7	152	3,393	8	175	160	3,568
8	232	6,001	28	420	260	6,421
9	179	5,371	21	335	200	5,706
10	104	3,381	27	430	131	3,811
11	37	966	4	60	41	1,026
12	84	3,668	6	115	90	3,783

註 昭和22年~26年迄は機帆船に帆船も含む

第27表

在籍船舶調

(S27.12末)

(海運局)

區分	階級別	舟数	吨数
汽船	5吨 ~ 200吨	13	457
	5吨 ~ 20吨	17	279
機帆船(含帆船)	20吨 ~ 100吨	13	697
	100吨以上	13	2,439
計	—	56	3,872

6 通 信

第 28 表

昭和22年~27年小包郵便

(大牟田郵便局)

区 分	引 受 数			配 達 数		
	普 通	書留その他	計	普 通	書留その他	計
昭和 22 年	4,745	5,441	10,186	24,820	42,840	67,660
23	2,920	6,884	9,804	11,680	57,032	68,712
24	10,825	9,984	20,809	22,347	39,772	62,119
25	12,612	15,368	27,980	24,975	39,079	64,054
26	14,433	16,483	30,916	40,796	41,481	82,277
27	14,846	16,807	31,653	50,874	36,219	82,093
4 月	1,747	1,562	3,309	3,525	2,311	5,836
5	847	993	1,840	4,005	2,421	6,426
6	787	1,576	2,363	4,010	2,379	6,389
7	965	1,731	2,696	4,337	3,488	7,825
8	1,327	711	2,038	4,619	3,715	8,334
9	884	1,548	2,432	3,775	3,267	7,042
10	936	1,681	2,617	3,861	2,487	6,348
11	1,903	1,631	3,534	3,560	3,205	6,765
12	2,396	2,221	4,617	6,034	4,309	10,343
28年 1	1,086	1,629	2,715	4,668	3,417	8,085
2	902	772	1,674	4,004	2,383	6,387
3	1,066	752	1,818	4,476	2,837	7,313

第 29 表

昭和22年~27年電信発着数

(電報局)

区 分	発 信			着 信			内 外 中 継
	内 国	外 国	計	内 国	外 国	計	
昭和 22 年	131,845	106	131,951	136,185	185	136,370	60,765
23	135,685	133	135,818	140,812	257	141,069	52,242
24	139,718	140	139,858	147,574	188	147,762	51,439
25	142,177	135	142,312	148,792	202	148,994	48,736
26	156,821	157	156,978	165,294	208	165,502	50,430
27	141,764	151	141,915	147,245	190	147,435	43,127
1 月	11,480	9	11,489	11,429	9	11,438	3,225
2	11,179	7	11,186	11,391	8	11,399	3,361
3	12,904	22	12,926	13,612	16	13,628	4,347
4	12,269	11	12,280	13,377	19	13,396	4,103
5	11,674	10	11,684	12,110	13	12,123	3,877
6	10,099	5	10,104	10,703	11	10,714	2,877
7	12,063	15	12,078	12,124	18	12,142	3,324
8	11,401	9	11,410	12,076	15	12,091	3,324
9	11,819	8	11,827	11,513	23	11,536	3,501
10	12,368	15	12,383	13,018	15	13,033	3,900
11	10,029	22	10,051	10,891	18	10,909	3,208
12	14,479	18	14,497	15,001	25	15,026	4,080

第 30 表

昭和22年~27年電話加入者及び市外通話料

(電話局)

区 分	22 年	23 年	24 年	25 年	26 年	27 年
加 入 者 数	1,195	1,463	1,610	2,146	2,419	2,633
市 外 通 話 料	—	10,552,298円	20,721,335円	28,319,311円	39,517,819円	45,883,140円

7 報 道

第 31 表

昭和23年~27年月別ラジオ聴取調

(福岡放送局)

区 分	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月
昭和 23年	6,297	6,366	6,466	6,645	7,282	7,412	7,677	8,061	8,206	8,406	8,465	8,481
24	8,642	9,161	9,825	9,936	10,050	10,493	10,711	10,925	11,139
25	12,867	12,884	12,933
26	12,992	13,151	13,173	13,205	13,222	13,661	13,785	13,877	14,132	14,290	14,357	14,821
27	14,959	15,230	15,347	15,520	16,009	16,284	16,590	17,091	17,022	17,232	17,377	17,402

第 32 表

新 聞 及 び 放 送

(順不同)

名 称	區 分	名 称	區 分	名 称	區 分
西日本新聞社大牟田支局	日刊	筑後日日新聞社大牟田支局	日刊	社会公論新聞社	旬刊
朝日新聞	"	夕刊フクニチ大牟田支局	"	やよひ新聞	旬刊
毎日	"	大牟田毎日新聞本社	"	菰原商事放送部	毎日
熊本日日	"	大牟田日日新聞本社	"		

第六編 地方財政

- 1 一般會計
- 2 特別會計
- 3 地方債
- 4 財 產

第六編 地方財政

財政の概況

戦後占領治下に培われた民主主義の理想に副い新憲法のもとに行われた地方制度の改革は全体としてはわが国地方自治の発展の上に劃期的な意義をもつたものであり、ようやく軌過に乗って来た地方自治の自主化は確かに飛躍的な進歩であつたがその基盤となる地方財政はこれが確立を企図して行われた数回の改革にもかかわらず社会経済情勢の變化と地方自治体の個有事務は法律命令等による国の委任事務の増加による地方負担額の増加にともない財政需要は著しく増嵩を來たすに至つたがこれに対応する歳入財源は極度に窮迫を告げ全国的に所謂赤字財政團體の増加する傾向にある實情である。

以上のような地方財政の一般的情勢のもとにおいて戦災の瘡痍は未だ癒えず復興途上にある本市は極めて苦しい財政の運営を續けているのである。殊に朝鮮動乱後の異常な好況状態が鎮靜して調整過程にあると申されている最近の産業活動の状況と昨年十月から六十日に亘つて行われた未曾有の炭労ストによつて市財政は甚大なる打撃を受け。更に給與ベース改訂等による人件費の増嵩又は市の義務負担に属する経費の累増に伴い一層事態の困難が予想されるので昭和28年度の予算編成にあつては社会経済事情を充分に考慮し見込み得る財源の限度を勘案して財政規模を策定し歳出面に於ては一般経費の節約に努め重要にして緊急を要する経費に重点を指向し極力予算の膨脹を抑制するとともに歳入面においては収入のすべてに適正な補促に努め財源の確保を図り予算を計上したのである。

昭和28年度予算の総額は一般会計九億八千八百十六万円、特別会計四億三千一万三千五百五十円総額十四億千八百七十七万四千五百五十円となり前年度の当初予算と比較しますれば一億百六十万六千二百五十円の増額となり昭和28年度予算の主なるものは道路、橋梁、河川、下水道等一般土木関係事業費、戦災復興土木事業費、失業対策事業費、小中学校増改築費、市民館建設費、公益住宅、養老院等建設並に生活保護等社会労働施設費、保健衛生費、農業土木事業費、上水道拡張事業費等にある。

次に予算の費途について見てみると総予算中人件費は四億二千五十万八千四百七十五円で総額の29.7%にあたり物件費一億八千五百八十六万五千五百五十七円で13.1%、工事費は三億六千六百五十七万九千四百七十七円で25.8%その他の行政費が四億四千五百二十一万四千二百円で31.4%となつている。更に一般会計においては前年度当初の予算と比較すると一億二千四百四十五万四千二百円の増額で12.8%の増となりこれが財源としては総予算の71%を自主的財源に求めその90%が市税であり、歳入総額に対する市税の割合は63.9%となつている。

国、県費並びに市債による支出財源は29%となつている。市としては市民の福利増進のために早急に解決しなければならぬ事業は山積しこれが解決には多額の経費を必要とするのであるが当局としては予算の編成当初から執行を通じて常に健全財政の確立をめざし極力冗費の節減はもちろん事業の施行に当つてもその緊急重要度並びに事業効果等を勘案し収入の適正なる確保を図りもつて現実の財政規模に即應した自主財政の運営に最大の努力を傾注したいと念願している次第である。

1 一般会計

昭和28年度当初予算

第1表

歳

入

(市財政課)

費目	28年度予算額	%	前年度予算額	%	前年度に対する倍率
市地方財 税	631,536,858	63.9	587,598,880	67.1	1.074
地 方 財 政 平 衡 交 付 金	10,000,000	1.0	10,000,000	1.1	1.000
公 益 企 業 及 財 産 收 入	14,651,823	1.5	21,120,857	2.4	0.693
使 用 料 及 手 数 料	14,267,899	1.5	14,818,371	1.7	0.962
国 庫 支 出 金	159,485,948	16.1	136,278,980	15.6	1.170
県 支 出 金	7,019,678	0.7	6,206,796	0.7	1.130
寄 附 金	1	—	1	—	1.000
繰 越 収 入 債	200,000	—	200,000	0.1	1.000
雑 市 債	40,698,793	4.1	11,532,915	1.3	3.528
歳 入 合 計	110,300,000	11.2	87,950,000	10.0	1.254
歳 入 合 計	988,161,000	100	875,706,800	100	1.128



(財政課職員の執務振り)

歳 出 (市財政課)

費 目	28年度予算額	%	前年度予算額	%	前年度に対する倍率
議市警士 役 会 所 費 費 費 費	22,021,105	2.2	17,212,298	2.0	1.279
消 防	146,413,854	14.8	123,631,805	14.1	1.184
木 道	145,792,567	14.8	118,533,695	13.5	1.229
育 幼 育 幼 費 費 費 費	32,935,702	3.3	38,471,777	4.4	0.856
社 会 及 育 幼 費 費 費 費	183,967,151	18.6	159,360,607	18.2	1.154
保 健 業 營 衛 施 設 費 費 費 費	142,410,577	14.4	108,587,349	12.4	1.311
産 業 經 済 生 活 費 費 費 費	75,317,616	7.6	71,862,940	8.2	1.048
復 失 財 統 業 對 策 費 費 費 費	25,341,702	2.6	43,670,844	5.0	0.580
計 調 査	53,350,766	5.4	66,088,710	7.5	0.807
	80,561,354	8.2	60,043,132	6.9	1.341
	3,435,169	0.3	3,874,597	0.4	0.886
	655,925	0.1	822,634	0.1	0.797
選 公 諸 子 支 備 出 費 費 費 費	4,311,702	0.4	2,727,612	0.3	1.580
	30,606,572	3.1	19,954,031	2.3	1.533
	36,461,238	3.7	33,840,769	3.9	1.078
	4,578,000	0.5	7,024,000	0.8	0.651
歳 出 合 計	988,161,000	100	875,706,800	100	1.128

第 2 表 市 税 内 訳 (市財政課)

区 分	昭和28年度予算額	%	前年度予算額	%	前年度に対する比率
市 普 通 民 算 税 税 税 税	631,536,858	100	587,598,880	100	1.070
市 間 定 資 算 税	631,026,858	99.92	587,088,880	99.92	1.075
自 荷 電 氣 車 車 税 税 税 税	183,120,000	29.00	201,448,000	34.29	0.909
廣 告 人 税 税 税 税	342,800,000	54.28	286,514,000	48.76	1.196
旧 法 依 存 税 税 税 税	6,015,200	0.95	5,603,200	0.95	1.073
	840,600	0.13	852,800	0.15	0.985
	29,471,850	4.67	24,735,880	4.21	1.191
	68,779,200	10.89	67,141,600	11.43	1.024
	—	—	409,000	0.07	—
	—	—	384,000	0.06	—
	510,000	0.08	510,000	0.08	1.000

第 3 表 累 年 別 市 財 政 計 数 表 (市財政課)

区 分	入		歳 出						独 立 会 計		記 事	
	金 額	増 額 比 率	金 額	増 額 比 率	金 額	増 額 比 率	合 計	金 額	増 額 比 率	金 額	金 額	人 口
22	115,243	1.243	43,085	2.634	56,280	2.262	99,365	1.079	1,629	1,582	166,480	35,500
23	388,572	4.191	332,128	5.166	179,687	34,875
24	534,524	5.765	505,791	7.868	191,177	40,168
25	674,406	674,275	...	215,276	185,402	191,316	40,705
26	852,576	813,610	...	383,851	367,297	193,463	41,425
27	1,038,112	990,203	...	336,545	308,026	196,369	41,682

第 4 表 累 年 別 決 算 表

區 分	歳 入 (市財政課)											
	22年度		23		24		25		26		27	
	金 額	%	金 額	%	金 額	%	金 額	%	金 額	%	金 額	%
市 公 營 企 業 及 び 財 産 收 入	36,143	31	188,952	49	320,870	60.0	407,029	60.4	609,081	71.4	721,059	69.5
分 担 金 及 び 負 担 金	214	0	856	0	9,722	1.8	13,047	1.9	17,202	2.0	12,463	1.1
使 用 料 及 び 手 数 料 金	7,990	7	23,381	6	5,956	1.1	7,171	1.1	9,938	1.2	15,152	1.5
交 付 庫 所 出 金	24,346	21	52,697	13	57,406	10.8	89,927	13.3	132,631	15.5	151,759	14.6

第4表

累年別決算表(続)

歳入 (市財政課)

区	分	22年度		23		24		25		26		27	
		金額	%	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%
県団寄財線	支出	6,250	5	13,964	3	17,736	3.3	12,112	1.8	14,443	1.7	11,372	1.1
	補助
	金入金	520	0	1,252	...	17,623	3.3	5	0
	金入金	444	0
繰雜市地	越收	6,727	2	15,876	4	56,440	10.6	30,033	4.5	82	0	38,898	3.8
	入金	4,131	2	15,612	4	20,821	3.9	35,344	5.2	21,588	2.5	30,862	3.0
	傷金	28,477	25	75,850	20	27,947	5.2	53,626	8.0	45,090	5.3	46,900	4.5
	交付金	16,517	2.4	2,000	0.2	9,642	0.9
翌年度繰上	9,600	1.4	
計		115,242	100	388,572	100	534,521	100	674,406	100	852,576	100	1,038,112	100

註 23年度より「公営企業及び財産収入」に費目變更

歳出 (市財政課)

区	分	22年度		23		24		25		26		27	
		金額	%	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%	金額	%
神議役土教	社会所木育	1,106	1.1	3,744	1.1	8,387	1.7	10,314	1.5	17,792	2.2	21,680	2.2
	費費費費費	15,439	15.5	53,591	16.1	63,564	12.6	90,319	13.4	125,170	15.4	146,956	14.8
	費費費費費	1,534	1.6	27,567	8.3	27,454	5.4	30,991	4.6	37,702	4.6	64,655	6.5
	費費費費費	11,046	11.1	83,215	25.1	154,024	30.4	182,318	27.0	152,966	18.8	172,124	17.4
保社産警地	健及業察方	10,859	10.9	37,420	11.3	26,422	5.2	46,375	6.9	59,015	7.3	78,140	7.9
	衛勞働施設	9,390	9.5	24,450	7.4	39,440	7.8	52,169	7.7	78,462	9.6	103,423	10.5
	生濟防興	2,522	2.5	7,570	2.3	8,681	1.7	33,405	5.0	41,459	5.1	44,528	4.5
	費費費費費	631	0	44,253	13.3	70,586	14.0	90,339	13.4	113,753	14.0	146,632	14.8
選統財手公	計	556	0	1,156	0	1,361	0.3	3,163	0.5	3,861	0.5	5,182	0.5
	查	248	0	396	0	580	0.1	1,370	0.2	375	0	632	0.1
	費費費費費	426	0	687	0	2,041	0.4	2,680	0.4	3,583	0.4	3,841	0.4
	費費費費費	1,964	2.0	8,677	2.6	10,991	2.2	20,634	3.1	17,439	2.1	24,465	2.4
寄補都復地	市下	2	0
	市下	573	0
	市下	37,837	39.1	29,474	8.9	32,007	6.3	38,585	5.7	56,289	6.9	59,681	6.0
	市下	356	0
役災都簡	市下	178	0
	市下	1,210	1.1
	市下	17	0
	市下	297	0
諸失戰予	支業災	2,496	2.5	7,512	2.3	53,189	10.5	33,675	5.0	53,678	6.6	51,574	5.5
	出對復備	1,535	0.3	31,635	4.7	52,066	6.5	63,690	6.5
	金策旧
	費費費費費
計		99,365	100	332,128	100	505,785	100	674,275	100	813,610	100	990,203	100

第5表

昭和27年店市税徴収成績調

(市收税課)

区	分	予算額	調定済額	収入済額		収入歩合
				前月迄収入済額	本月分収入済額	
市普	通民資産税	685,405,880	796,913,153	706,694,117	14,364,394	90.4
	市固定資産税	684,895,880	774,339,535	703,146,265	14,089,162	92.6
	市固定資産税	247,248,000	288,119,697	252,328,880	5,827,543	89.6
	市固定資産税	339,314,400	374,111,376	343,271,128	6,339,878	93.4
市荷	自働車	5,603,200	6,638,747	5,028,368	43,881	76.4
	自働車	852,800	1,103,300	842,787	7,920	77.1

第5表

昭和27年度市税徴収成績調 (続)

(市收税課)

区 分	予 算 額	調 定 済 額	收 入 済 額			收 入 歩 合
			前月迄収入済額	本月分収入済額	計	
5 電気ガス税	24,735,880	38,479,435	35,808,060	1,850,012	37,658,072	97.8
6 鉱産税	67,141,600	65,886,980	65,867,042	19,928	65,886,970	99.9
7 広告税
8 接客人税
旧法に依る税	510,000	22,573,618	3,547,852	275,232	3,823,084	16.9
① 過年度分税	10,000	824,650	643,400	960	644,360	78.1
② 県滞納税	10,000	824,650	643,400	960	644,360	78.1
③ 県滞納税	500,000	21,748,968	2,904,452	274,272	3,178,724	14.6
④ 県滞納税	400,000	19,719,846	2,705,820	260,547	2,966,367	15.0
⑤ 県滞納税	100,000	2,029,122	198,632	13,725	212,357	10.4

區 分	収入 未済額	予算に対する調定済額の増△減		予算に対する収入済額の増△減	
		金 額	歩 合	金 額	歩 合
市 普 通 税	75,854,641	111,507,273	11.6	35,652,631	10.5
1 市 民 税	57,104,107	89,443,655	11.3	32,339,547	10.4
2 市 定 資 産 税	29,963,273	40,871,697	11.6	10,908,423	10.4
3 自 荷 車 税	1,566,498	1,035,547	11.8	△ 530,951	90.5
4 電 氣 山 車 税	252,593	250,500	12.9	△ 2,093	99.8
5 電 氣 山 車 税	821,363	13,743,555	15.5	△ 12,922,192	15.2
6 電 氣 山 車 税	10	△ 1,254,620	98.1	△ 1,254,630	98.1
7 廣 告 税
8 接 客 人 税
① 旧法に依る税	18,750,534	22,063,618	...	3,313,084	...
② 過年度分税	180,290	814,650	...	634,360	...
③ 県滞納税	180,290	814,650	...	634,360	...
④ 県滞納税	18,570,244	21,248,968	...	2,678,724	...
⑤ 県滞納税	16,753,479	19,319,846	...	2,566,367	...
⑥ 県滞納税	1,816,765	1,929,122	...	112,357	...

2 特別会計

第6表

昭和28年度予算市立病院

歳

入

(市財政課)

区 分	28年度予算額	%	前年度予算額	%	前年度に対する比率
使 用 料	20,100,550	82.84	13,183,867	77.17	1.524
繰 入 金	3,100,000	12.78	3,168,000	18.55	0.978
繰 上 金	1,000,000	4.12	699,000	4.09	1.430
雑 収	63,450	0.26	33,133	0.19	1.915
合 計	24,264,000	100	17,084,000	100	1.420

歳

出

(市財政課)

區 分	28年度予算額	%	前年度予算額	%	前年度に対する比率
病 院 費	23,908,926	98.54	16,738,518	97.98	1.428
公 予 備 費	325,000	1.34	325,000	1.90	1.000
予 備 費	30,074	0.12	20,482	0.12	1.468
合 計	24,264,000	100	17,084,000	100	1.420

第7表

公 益 質 屋

歳

入

(市財政課)

區 分	28年度予算額	%	前年度予算額	%	前年度に対する比率
貸 付 金 支 出	7,440,000	82.26	7,256,238	82.60	1.025
繰 上 金
繰 入 金	1,230,000	13.60	952,000	10.84	1.292

第7表 公益質屋(続)

			歳入		(市財政課)		
區	分		28年度予算額	%	前年度予算額	%	前年度に対する比率
繰繰市 合	越收	金入債	360,000	3.98	560,000	6.37	0.642
			15,000	0.16	16,762	0.19	0.894
		
計			9,045,000	100	8,785,000	100	1.029

			歳出		(市財政課)		
区	分		28年度予算額	%	前年度予算額	%	前年度に対する比率
公公予 合	益質屋 債備費費	費	7,886,679	87.19	7,628,188	86.83	1.033
		費	1,151,702	12.74	1,151,702	13.11	1.000
		費	6,619	0.07	5,110	0.06	1.295
計			9,045,000	100	8,785,000	100	1.029

第8表 国民健康保険

			歳入		(市財政課)		
区	分		28年度予算額	%	前年度予算額	%	前年度に対する比率
国使国県 繰繰市合	民健康及保 用庫支出	料	24,301,000	65.69	23,201,000	74.10	1.047
		金	100,000	0.27	100,000	0.32	1.000
		金	5,086,570	13.75	3,743,040	11.96	1.358
		金	706,130	1.91	114,000	0.36	6.194
繰繰市合	入越收	金	6,730,000	18.19	4,035,000	12.89	1.667
		入	100	0	70,000	0.22	0.014
		入	69,950	0.19	46,960	0.15	1.489
		計	36,993,750	100	31,310,000	100	1.181

			歳出		(市財政課)		
区	分		28年度予算額	%	前年度予算額	%	前年度に対する比率
事保保諸予 合	險給務 支施出	費	8,910,787	24.09	7,002,942	22.37	1.272
		費	26,350,000	71.23	21,000,000	67.07	1.254
		費	829,217	2.24	755,086	2.41	1.098
		費	727,200	1.96	2,391,240	7.64	0.304
		費	176,546	0.48	160,732	0.51	1.098
		計	36,993,750	100	31,310,000	100	1.181

第9表 競馬費

			歳入		(市財政課)		
區	分		28年度予算額	%	前年度予算額	%	前年度に対する比率
競繰市 合	馬事業 支越收	業	90,382,300	99.89	90,456,000	100	0.999
		業	100,000	0.10	1,000	0	100.000
		業	1,000	0.01	1,000	0	1.00
計			90,483,300	100	90,458,000	100	1.000

			歳出		(市財政課)		
区	分		28年度予算額	%	前年度予算額	%	前年度に対する比率
競諸予 合	馬支事 備出	業	83,647,300	92.44	81,935,400	90.58	1.020
		業	5,300,000	5.86	8,180,000	9.04	0.647
		業	1,536,000	1.70	342,600	0.38	4.483
計			90,483,300	100	90,458,000	100	1.000

第 10 表 競 輪 費

区 分		歳 入		(市財政課)		
		28年度予算額	%	前年度予算額	%	前年度に対する比率
入車券	場券	600,000	0.38	1,200,000	0.63	0.500
勝者	投票	160,000,000	99.55	190,000,000	99.35	0.842
雑	事故	20,100	0.01	43,100	0.02	0.466
雑	越	1,000	0	300	0	3.333
料	入金	100,000	0.06	100	0	100.000
合	計	160,721,100	100	191,243,500	100	0.840

区 分		歳 出		(市財政課)		
		28年度予算額	%	前年度予算額	%	前年度に対する比率
国交	庫	6,080,000	3.78	7,500,000	3.92	0.810
競	納	4,800,000	2.99	5,700,000	2.98	0.842
競	付	1,776,333	1.10	2,913,880	1.52	0.609
払	場	21,307,220	13.26	21,863,990	11.43	0.974
	開	120,000,000	74.66	142,500,000	74.52	0.841
	催	20,000	0.02	20,000	0.01	1.000
勝者	出	2,000,000	1.24	10,000,000	5.23	0.500
雑	補	4,000,000	2.49
予	足	737,547	0.46	745,630	0.39	0.989
合	計	160,721,100	100	191,243,500	100	0.840

第 11 表 競 馬・競 輪 事 業 (市競馬競輪係)

区 分	開 催 月 日	入場人員	買上総額	収益金総額
S.24年 第一回	福間 6月1.2.4.5.9.10日	17,343	47,376,600	7,500,000
S.25年 { 第一回	入幡 2月26.27.28.3月3.4.5	10,407	21,968,800	400,000
{ 第一回	9月22.23.24.29.30. 10月1日	33,436	60,829,100	10,500,000
S.26年 { 第一回	久留米 9月2.3.4.7.8.9	33,131	89,597,100	9,000,000
{ 第一回	3月31 4月1.2.3.7.8	28,007	74,902,700	1,380,000
S.27年 { 第一回	入幡 2月2.3.4.8.9.10	24,124	84,228,400	3,951,000
{ 第二回	12月12.13.14.19.20.21	17,792	71,753,300	2,861,000
{ 第三回	7月27.28.29 8月3.4.5	28,359	84,628,900	5,000,000

第 12 表 水 道 事 業

区 分		歳 入		(市財政課)	
		28年度予算額	%	前年度予算額	%
水	道	75,473,865	69.56	15,600,333	36.09
資	業	33,032,135	30.44	27,621,161	63.91
合	計	108,506,000	100	43,221,494	100

区 分		歳 出		(市財政課)	
		28年度予算額	%	前年度予算額	%
水	道	72,525,879	66.84	19,993,286	46.26
建	設	32,734,000	30.16	22,041,527	51.00
企	業	2,946,121	2.72	886,681	2.05
予	備	300,000	0.28	300,000	0.69
合	計	108,506,000	100	43,221,494	100

註 この予算は昭和27年8月1日法律 第292号(地方公営企業法)の施行に依り水道事業会計の第一事業年度の3月1日から3月31日までの予算である。

第 13 表

特別会計累年別決算表

(市財政課)

区 分	22 年 度		2 3		2 4		2 5		2 6		2 7	
	歳入	歳出	歳入	歳出	歳入	歳出	歳入	歳出	歳入	歳出	歳入	歳出
	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円	千円
公 益 質 屋 院	196	203	923	736	4,349	2,402	16,007	3,796	8,158	7,544	8,464	7,554
市 立 水 道	1,433	1,411	4,470	3,834	13,651	13,378	95,746	14,762	29,244	23,978	26,201	23,377
競 馬 競 輪	63,674	45,392	6,614	72,098	78,078	70,797	105,353	81,912
競 民 健 康 保 險	69,734	61,504	62,141	61,634	90,720	90,269	85,586	85,243
競 民 健 康 保 險	682	607	21,199	19,548	30,998	29,385	37,417	36,913
競 民 健 康 保 險	13,569	13,564	146,653	145,324	73,524	73,027
合 計	1,629	1,614	5,393	4,570	162,090	123,283	215,276	185,402	383,851	367,297	336,545	308,026

3 地 方 債

第 14 表

地方債目的別現在高

(市財政課)

区 分	26年度未現在高	27年度発行高	27年度償還額	差引現在高
	円	円	円	円
教 育 費	94,434,746.59	11,400,000	3,023,325.74	102,811,420.85
警 察 費	1,034,873.15	...	68,357.15	966,516.00
保 險 費	415,077.19	...	38,594.19	376,483.00
普 通 土 木 費	3,515,541.98	1,000,000	1,208.98	4,514,333.00
社 会 及 勞 働 施 設 費	50,857,489.28	13,000,000	2,519,456.28	61,338,033.00
災 害 復 復 費	10,802,677.96	2,700,000	1,139,937.96	12,362,750.00
戦 災 復 復 費	45,431,961.26	10,800,000	2,004,574.26	54,227,387.00
之 小 計	1,472,197.03	8,000,000	638,413.03	8,433,784.00
	207,564,564.44	46,900,000	9,433,857.59	245,030,706.85
上 水 道 事 業 費	81,880,129.99	17,200,000	1,791,943.99	97,288,186.00
公 益 質 屋 院 費	3,320,357.00	...	724,538.00	2,595,819.00
市 立 健 康 保 險 費	5,000,000.00	5,000,000.00
国 民 健 康 保 險 費	...	1,220,000	...	1,220,000.00
合 計	297,765,051.43	65,320,000	11,950,339.59	351,134,711.85

4 財 産

第 15 表

市 有 財 産

(市財政課)

区 分	有価証券	予金及現金	貸付金	土地価格	建物価格	その他財 産価格	計
	円	円	円	円	円	円	円
行 政 財 産	...	15,000,000.00	...	35,847,177	728,304,581	74,952,801	854,104,559.00
基 本 財 産	426,900	1,526,524	1,953,424.00
持 別 基 本 財 産	...	928,413.38	928,413.38
企 業 財 産	6,000,000	525,612	21,245,629	40,585,983	68,357,224.00
合 計	426,900	15,928,413.38	6,000,000	37,899,313	749,550,210	115,538,784	925,543,620.38

第七編 行政

- 1 執行機關
- 2 議決機關
- 3 選舉

第七編 行 政

市 政 の 概 況

新憲法のもと、地方自治法の精神に則り、車の車輪の如き執行機関と議決機関の緊密なる連繋と19万市民の協力により、地方自治の強化と、市発展のため種々の重要懸案山積する中に就中、布財政の確立、戦災学校の復興、道路並びに下水の整備、農業並びに中小企業の振興、社会労働施設の強化等を本年度施政の重点にとり上げこれが実現につとめている。

1. 執 行 機 関

執行機関は議決機関の決定した意思に従つて、これを執行する機関である。一般行政事務の執行機関としては市長のほか次に掲げる特別の事項をつかさどる行政機関がある。即ち地方自治法で定める選挙管理委員会、監査委員、公安委員会、公平委員会、教育委員会及び農業委員会、それから地方税法の定めによる固定資産評価審査委員会である。

市 長

市長は市の行政を統轄し市を代表する市の最高理事者であつて、市民によつて直接選挙、その任期は4ケ年である。市長は市の自治事務のほか、法令によつてその権限を委ねられた国の事務をも管理執行する職権を有している現市長田中忠蔵氏は公選による第2回目の第九代大牟田市長として昭和22年6月3日無競争投票で当選し引継ぎ、昭和26年4月23日の選挙により再任され現在に至つている。

補 助 機 関

市長の補助機関として、助役、収入役その他多数の補助職員が置かれている。

助役は市長を補佐し市長に支障がある場合その職務を代理するもので、市議会の同意を得て市長が選任する。任期は4ケ年である。現助役山田亀一氏は昭和22年10月10日選任せられ昭和26年10月15日に再任されたものである。

収入役は金銭の出納その他会計事務をつかさどり助役と同じく市長が市議会の同意を得て選任する。任期は市長助役と同じく4ケ年である。現収入役猿渡清一郎氏は昭和25年2月22日選任せられ現在に及んでいる。

2. 議 決 機 関

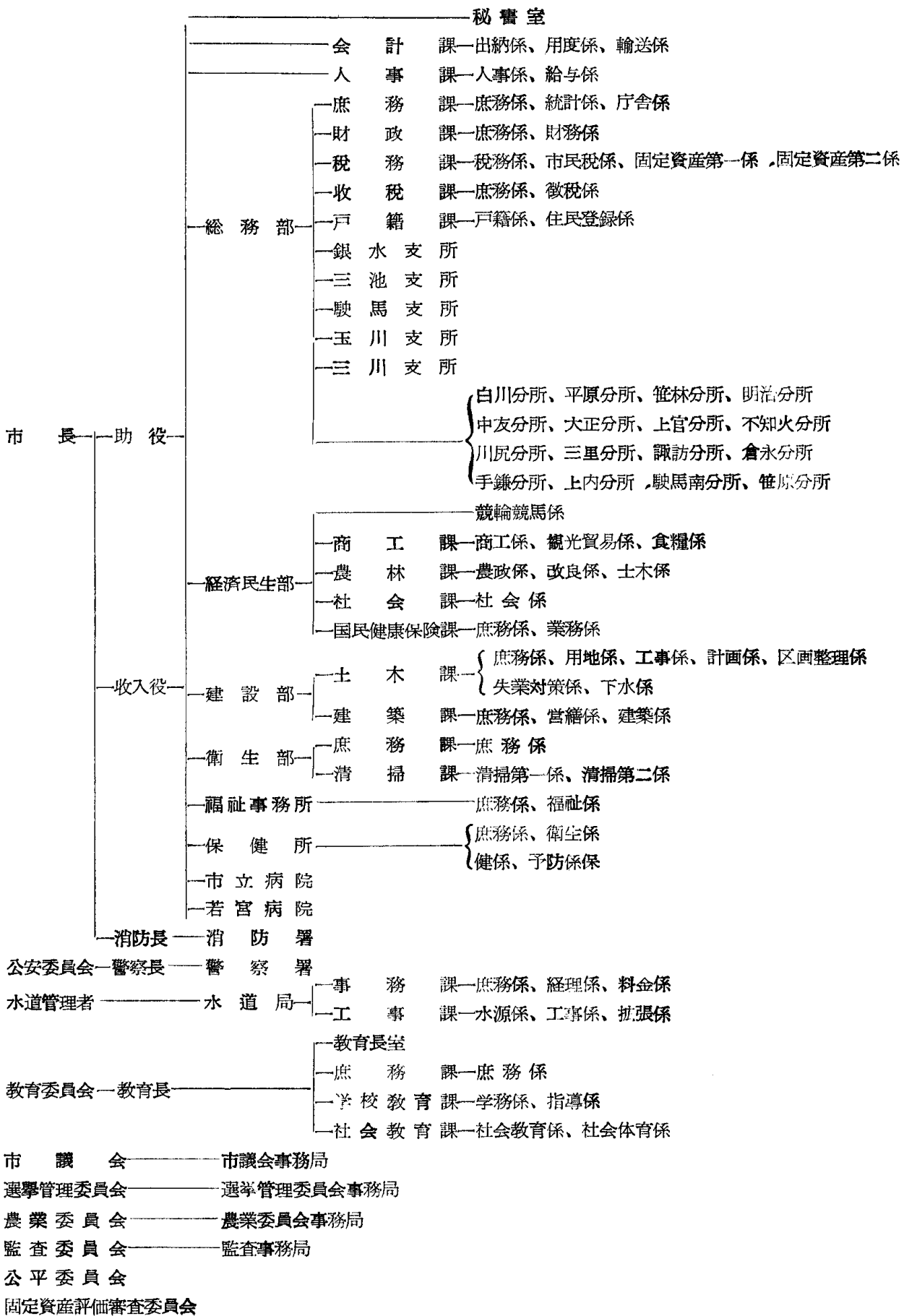
議決機関即ち市議会は本市の人口が20万以内であるので地方自治法の定めにより、定員40名で現在の議員は昭和26年4月23日の選挙によつたものである。然し現在は死亡により二名の欠員を生じ、実員38名となつている。会議は定例会の規程を以て3月、6月、9月、12月の4回と定め、必要に應じ、臨時会が招集されている。又最近に於ける行政の複雑化と専門化に対処して周到且能率的な議会運営を期するため次の六分科で常任委員会を設けている。常任委員会の分掌は執行部の部課を基準に定めている。即ち、総務、文教、厚生、経済、復興（建設関係）及び治安の各委員会である。なお必要に應じて特定な問題について特別委員会を設け又は全員協議会を開催して市政の円滑なる運営に當つている。

1 執行機關

第 1 表

行政機構

昭和28年4月現在



歴 代 三 役

第 2 表

市 長

(市秘書室)

区分	氏 名	就 任	退 任	在任期間	区分	氏 名	就 任	退 任	在任期間
初代	巖谷 忠順	大正 6. 7. 3	大正 10. 7. 2	4年0ヶ月	6代	田中 修	昭和 17. 1. 23	昭和 21. 1. 22	4年0月
2代	岩井敬太郎	" 11. 3. 23	昭和 4. 8. 10	7"5"	7代	荒未万寿夫	" 21. 1. 31	" 22. 4. 2	1"3"
3代	奥村長作	昭和 4. 11. 23	" 8. 11. 22	4"0"	8代	"	" 22. 4. 7	" 22. 4. 18	11"
4代	前田 慎	" 9. 5. 4	" 12. 12. 4	3"7"	9代	田中 忠蔵	" 22. 6. 4	" 26. 3. 29	3"9"
5代	田中 修	" 13. 1. 23	" 17. 1. 22	4"0"	10代	"	" 26. 4. 26	現 在	

註 8代以降は公選による。

第 3 表

助 役

(市秘書室)

区分	氏 名	就 任	退 任	在任期間	区分	氏 名	就 任	退 任	在任期間
初代	宇野 誠	大正 6.	大正 7.	1年0ヶ月	6代	中富鉄之助	昭和 13. 2. 1	昭和 17. 2. 4	4年 0月
2代	吉田 斎	" 7. 11. 7	" 11. 11. 6	4"0"	7代	"	" 17. 2. 5	" 21. 2. 4	4"0"
3代	竹尾 英敏	" 11. 11. 30	" 15. 11. 29	4"0"	8代	田中 忠蔵	" 21. 3. 8	" 22. 5. 17	1"2"
4代	鷲塚 正人	昭和 2. 5. 14	昭和 6. 5. 15	4"0"	9代	山田 亀一	" 22. 10. 10	" 26. 10. 2	4"0"
5代	井上秀太郎	" 7. 1. 15	" 12. 12. 14	5"11"	10代	"	" 26. 10. 15	現 在	

第 4 表

收 入 役

(市秘書室)

区分	氏 名	就 任	退 任	在任期間	区分	氏 名	就 任	退 任	在任期間
初代	大坪虎次郎	6代	井形政太郎	昭和 11. 1. 22	昭和 15. 1. 21	4年 0月
2代	森 四郎	大正 8. 2. 26	大正 12. 2. 25	4年0ヶ月	7代	"	" 15. 1. 22	" 19. 1. 23	4"0"
3代	"	" 12. 5. 14	昭和 2. 3. 29	3"10"	8代	"	" 19. 1. 24	" 23. 1. 23	4"0"
4代	"	昭和 2. 5. 14	" 6. 5. 13	4"0"	9代	"	" 23. 1. 23	" 25. 1. 6	2"0"
5代	"	" 6. 7. 18	" 10. 7. 17	4"0"	10代	猿渡清一郎	" 25. 2. 22	現 在	

第 5 表

吏 員 定 員 数

(警察及消防別掲)

昭 和 28. 4 現 在

(市人事課)

吏 員			そ の 他 職 員				合 計
事務吏員	技術吏員	計	雇 員		備 人		
			事務雇員	技術雇員	事務員	作業員	
465	143	608	154	68	117	293	1,240

第 6 表

吏員年令別本給額調 (実員数)

(警察、消防を除く)

昭和28年4月現在

区 分	人 員	総 額	平 均 額	区 分	人 員	総 額	平 均 額		
年	18	2	11,000	5,500	年	40	26	377,150	14,505
	19	9	55,600	6,177		41	20	293,550	14,677
	20	22	133,050	6,047		42	34	461,000	13,558
	21	32	217,400	6,793		43	26	389,700	14,988
	22	65	476,150	7,325		44	33	472,250	14,310
	23	46	386,350	8,398		45	44	623,250	14,164
	24	46	409,550	8,903		46	27	456,550	16,909
	25	45	408,700	9,082		47	19	241,000	12,689
	26	36	361,100	10,030		48	25	338,650	13,546
	27	49	492,450	10,050		49	24	343,500	14,312
令	28	37	392,950	10,620	令	50	31	400,200	12,909
	29	33	372,100	11,275		51	27	406,050	15,038
	30	21	240,200	11,438		52	18	255,000	14,166
	31	23	319,000	13,859		53	23	353,500	15,369
	32	24	281,900	11,745		54	21	322,450	15,354
	33	23	292,400	12,713		55	2	68,000	34,000
	34	16	209,350	13,084		56	1	26,200	26,200
	35	19	238,750	12,565		57	—	—	—
	36	26	368,650	14,178		58	1	30,600	30,600
	37	28	316,850	11,316		59	1	33,200	33,200
別	38	24	336,450	14,018	計	1,055	12,570,350	11,915	
	39	26	358,500	13,788					

第7表

市職員実態調査

(警察、消防職員を除く) 昭和28.5末現在

(市人事課)

区分	人員	比率又は平均	区分	人員	比率又は平均
平均勤続年数	一一	5.2年	學歷	428	40.5%
平均扶養家族数	2,364	35.17年	旧中、新卒	460	43.6%
學歷	20	2.2人	高小、新中	704	66.7%
大、高、専	147	1.9%	世帯主	351	33.3%
短大、高専		14.0%	非世帯		

2 議決機関

第8表

市議会の組織

昭和28年8月1日現在

議長	副議長	議会事務局	常任委員会 (監査委員、教育委員を含む)				
			区分	委員長	副委員長	委員	計
		庶務係	総務委員会	1	1	4	6
		議事係	厚生	1	1	4	6
		調査係	文教	1	1	5	6
			復興	1	1	5	7
			経済	1	1	3	5
			治安	1	1	3	5
			監査委員	1	1	1	1
			教育	1	1	1	1

註 経済委員及び監査委員1名欠員

第9表

歴代議長

(市庶務課)

区分	氏名	就任	退任	区分	氏名	就任	退任
初代	福森	大正6.5.12	大正7.3.19	7代	鶴 惣 市	昭和12.6.1	昭和17.5.20
2	井 福三郎	" 7.4.23	" 10.4.30	8	" " "	" 17.6.20	" 22.2.14
3	吉田卯三	" 10.5.16	" 14.4.20	9	江上 平	" 22.2.22	" 22.4.29
4	白田久喜	" 14.5.8	昭和4.4.30	10	藤津 潔	" 22.5.24	" 24.6.30
5	白平	昭和4.5.11	" 8.4.30	11	坂井 又 雄	" 24.6.30	" 26.4.29
6	"	" 8.5.11	" 12.4.30	12	境 又 雄	" 26.5.10	現 在

第10表

歴代副議長

(市庶務課)

区分	氏名	就任	退任	区分	氏名	就任	退任
初代	吉田	大正9.5.12	大正10.4.30	8代	吉古 永 節 治	昭和12.6.1	昭和17.5.20
2	浜田	" 10.5.16	" 12.12.17	9	賀喜 太 郎	" 17.6.22	" 22.2.13
3	平山	" 13.3.27	" 14.4.30	10	古賀 常 吉	" 22.2.20	" 22.4.29
4	大水道	" 14.5.8	昭和4.4.30	11	古賀 又 雄	" 22.5.24	" 24.6.30
5	水町	昭和4.5.11	" 7.12.13	12	坂井 倉 斗	" 24.6.30	" 26.4.26
6	佛 七	" 7.12.19	" 8.4.30	13	加 倉 広	" 26.5.10	現 在
7	"	" 8.5.11	" 12.4.30				

第11表

現市議会議員

昭和28年8月1日現在

(市議会事務局)

議席番号	氏名	役職名	所属政党名	議席番号	氏名	役職名	所属政党名
1	堺山 親末	文教委員	—	21	境田 中吉	議員	改進黨
2	森 口	教員	—	22	田末 留政	委員	—
3	森 田善	総務委員	—	23	大加 廣	委員	—
4	堀 田善	復興委員	—	24	川原 繁斗	議長	—
5	江崎 善	復興委員	—	25	大加 廣	副議長	—
6	久欠 久	—	—	26	中川 原 文	委員	日本社会党
7	久欠 種	—	—	27	小古 生喜	委員	—
8	樋口 種	文教委員	—	28	古賀 一猛	委員	—
9	西古 源	文教委員	—	29	羽門 勝	委員	—
10	古賀 常	文教委員	—	30	羽門 二	委員	—
11	野塚 岸	復興委員	—	31	稻宮 津	委員	—
12	塚 辰	復興委員	—	32	宮崎 晶利	委員	—
13	垣 辰一	復興委員	—	33	江上 未	委員	自由党
14	梅川 崎	復興委員	—	34	山 中	委員	—
15	川 崎	復興委員	—	35	猿 渡	委員	—
16	古本 初	教育委員	—	36	高古 又	委員	—
17	本 常	教育委員	—	37	古賀 田	委員	—
18	古 常	教育委員	—	38	古賀 口	委員	—
19	朝 常	教育委員	—	39	坂 原	委員	—
20	松 常	教育委員	日本社会党	40	境田 中吉	議員	—

第 12 表

昭和27年本会議開催状況

(市議会事務局)

会 議 会 数			会 議 日 数	提 出 案 件 数	議 決 数
定 例 会	臨 時 会	計			
4	9	13	37	123	123

第 13 表

昭和27年委員会協議會開催状況

(市議会事務局)

區 分	単独で 開催 された 回数	他の委員 会と合同 で開催 された回数	計	區 分	単独で 開催 された 回数	他の委員 会と合同 で開催 された回数	計
常任委員会	総務委員会	66	5	71	3	—	3
	厚生委員会	22	1	23	2	—	2
	文教委員会	28	4	32	2	—	2
	復興委員会	40	5	45	2	—	2
	経済安	38	5	43	15	—	15
	計	26	—	26			
	計	220	20	240	22	—	22
					17	—	17

第 14 表

昭和27年市議会審議事項

(市議会事務局)

議決 月日	議案 番号	件 名	議決 月日	議案 番号	件 名
2.29	1	右京中学校外一校及び社会保険病院病棟増築 工事請負契約締結の件	3.24	24	橋口町、久保田町線特別鉱害道路復旧工事請 負契約締結の件
"	2	賃貸住宅新築工事請負契約締結の件	"	25	図書館新築工事請負契約締結の件
"	3	専決処分の件(小浜町地内特別鉱害復旧下水 道工事)	3.30	26	大牟田市公民館条例中改正条例制定の件
"	4	大牟田市長、助役及び収入役の給料額並びに 旅費額支給方法条例中改正条例制定の件	"	27	大牟田市警察基本条例中改正条例制定の件
"	5	大牟田市職員の給与に関する条例中改正条例 制定の件	"	82	大牟田市職員定数条例中改正条例制定の件
"	6	大牟田市吏員退職料及び遺族扶助料条例臨時 特例中改正条例制定の件	"	29	大牟田市農業委員会業務列中改正条例制定の件
"	7	大牟田市議会議員報酬及び費用弁償額並びに その支給方法条例中改正条例制定の件	"	30	大牟田市選挙管理委員、選挙長、投票管理者 開票管理者、選挙立合人、投票立合人及び開 票立合人の報酬並びに費用弁償条例中改正条 例制定の件
"	8	大牟田市公安委員報酬及び費用弁償条例中改 正条例制定の件	"	31	大牟田市保健所使用料及び手数料条例中改正 条例制定の件
"	9	大牟田市監査委員条例制定の件	"	32	大牟田市火葬場使用料条例中改正条例制定の 件
"	10	大牟田市公民館条例中改正条例制定の件	"	33	大牟田市若宮病院使用料条例制定の件
"	11	昭和26年度分の固定資産税に関する臨時措置 条例制定の件	"	34	大牟田市手数料条例中改正条例制定の件
"	12	大牟田市営住宅使用料に関する件	"	35	起債及び償還方法の件
"	13	起債及び償還方法の件(県営工事地方分担金 充当分)	"	36	一時借入金の件
"	14	起債議決変更の件(六、三制学校建築費外四 件)	"	37	大牟田市水道条例制定の件
"	15	"(水道拡張費外二件)	"	38	大牟田市国民健康保険条例中改正条例制定の 件
"	16	"(上水道鉱害復旧事業費)	"	39	大牟田市立病院使用料条例制定の件
"	17	昭和26年度福岡縣大牟田市歳入歳出追加更生 予算	"	40	昭和27年度福岡縣大牟田市歳入歳出予算
"	18	昭和26年度福岡縣大牟田市上水道歳入歳出追 加更正予算	"	41	昭和27年度福岡縣大牟田市上水道歳入歳出予 算
"	19	昭和26年度福岡縣大牟田市国民健康保険歳入 歳出追加更正予算	"	42	昭和27年度福岡縣大牟田市国民健康保険歳入 歳出予算
"	20	昭和26年度福岡縣大牟田市立病院歳入歳出追 加更正予算	"	43	昭和27年度福岡縣大牟田市立病院歳入歳出予 算
"	21	昭和26年度福岡縣大牟田市公益質屋歳入歳出 追加更正予算	"	44	昭和27年度福岡縣大牟田市公益質屋歳入歳出 予算
"	22	大牟田市収入役代理者選任の件	"	45	昭和27年度福岡縣大牟田市競輪歳入歳出予算
"	23	大牟田市国民健康保険選管協議会委員補欠委 嘱の件	"	46	昭和27年度福岡縣大牟田市競馬歳入歳出予算
"	臨時 議決	1 人権擁護委員推薦の件	3.24	47	昭和25年度歳入歳出決算認定の件
"	"	1 町の区域並に名称変更に関し意見答申の件	"	48	起債議決変更の件
"	"	2 大牟田市議会委員会条例中改正条例制定の件 監査委員の監査報告	3.30	49	昭和26年度福岡縣大牟田市歳入歳出追加更正 予算
"	"		3.24	50	五月橋拡張幅工事請負契約締結の件
"	"		"	51	起債及び償還方法等の件
"	"		"	52	昭和26年度福岡縣大牟田市歳入歳出追加予算
"	"		3.30	53	賃貸住宅新築工事請負契約締結の件

第 14 表

昭昭27年市議會審議事項 (統)

(市議會事務局)

議決 月日	議案 番号	件 名	議決 月日	議案 番号	件 名
3.30	54	不動産買収に関する契約締結の件		89	昭和27年度福岡県大牟田市上水道歳入歳出追加更正予算
"	55	自動車購入契約締結の件	"	90	昭和27年度福岡県大牟田市国民健康保険歳入歳出追加予算
"	56	大牟田市監査委員選任の件	"	91	昭和27年度福岡県大牟田市立病院歳入歳出追加予算
"	57	大牟田市長、助役及び収入役の給料額並びに旅費額支給方法條例中改正條例制定の件	"	92	昭和27年度福岡県大牟田市公益質屋歳入歳出追加予算
"	58	大牟田市職員の旅費に関する條例中改正條例制定の件	"	93	三池小学校分教場敷地工事請負契約締結の件
6.6	59	専決処分	"	94	松原中学校増築工事請負契約締結の件
"	60	大牟田市手数料條例中改正條例制定の件	"	95	大牟田市固定資産評価審査委員会委員選任の件
"	61	起債議決変更の件	"	96	大牟田市議会委員会條例中改正條例制定の件
"	62	昭和27年度福岡県大牟田市歳入歳出追加更正予算	"	97	大牟田市教育委員選挙の件
"	63	昭和27年度福岡県大牟田市上水道歳入歳出追加予算	10.28	98	大牟田市教育委員会委員報酬及び費用弁償條例制定の件
"	64	昭和27年度福岡県大牟田市立病院歳入歳出追加予算	"	99	大牟田市教育委員会教育長給与條例制定の件
"	65	大牟田市国民健康保険運営協議会委員補欠委嘱の件	11.4	100	大牟田市職員定数條例中改正條例制定の件
"	66	大牟田市公安委員会の委員選任の件	"	101	昭和27年度福岡県大牟田市歳入歳出追加更正予算
9.18	67	専決処分	"	102	一時借入金
"	68	公営住宅新築工事請負契約締結の件	"	103	専決処分
"	69	大牟田市議会定例会條例廢止條例制定の件	"	104	公営住宅新築工事請負契約締結の件
"	70	大牟田市印鑑登録及び証明に関する條例中改正條例制定の件	12.23	105	大牟田市営住宅使用料に関する件
"	71	大牟田市警察基本條例中改正條例制定の件	"	106	大牟田市公民館條例中改正條例制定の件
"	72	大牟田市自動車運轉免許並に原動機付自動車運轉許可に関する手数料條例制定の件	"	107	溜池公用廢止の件
"	73	大牟田市国民健康保険運営協議会委員補欠委嘱の件	12.23	108	請負契約議決變更の件
"	74	昭和27年度福岡県大牟田市歳入歳出追加予算	"	109	大牟田市職員定数條例中改正條例制定の件
18.30	75	橋中学校外一校増築工事請負契約締結の件	"	110	大牟田市水道企業基本計画設定の件
"	76	大牟田市自転車競走実施條例中改正條例制定の件	"	111	大牟田市水道企業の契約の方法の特例に関する條例制定の件
"	77	大牟田市自転車競走勝者投票及払戻條例中改正條例制定の件	"	112	市長の承認を受けて取得及び処分をなすべき大牟田市水道企業資産に関する條例制定の件
"	78	大牟田市自転車競走出場選手の手当支給並びに傷害補償條例中改正條例制定の件	"	113	大牟田市水道企業の業務状況の報告に関する條例制定の件
"	79	大牟田市営競輪場入場者及び入場料並びに場内取締條例中改正條例制定の件	"	114	大牟田市水道企業職員で労働組合を結成し又はこれに加入することができない者の範囲を定める條例制定の件
"	80	競輪施行に関する件	"	115	昭和27年度福岡県大牟田市歳入歳出追加更正予算
"	81	大牟田市公営住宅使用料に関する件	"	116	昭和27年度福岡県大牟田市国民健康保険歳入歳出追加予算
"	82	大牟田市議会の議決又は住民の一般投票に付すべき財産營造物又は議会の議決に付すべき契約に関する條例中改正條例制定の件	"	117	昭和27年度福岡県大牟田市立病院歳入歳出追加予算
"	83	大牟田市水道企業の組織に関する條例制定の件	"	118	昭和27年度福岡県大牟田市公益質屋歳入歳出追加予算
"	84	大牟田市水道條例中改正條例制定の件	"	119	昭和27年度(1月~3月)福岡県大牟田市上水道事業会計予算
"	85	大牟田市役所部課設置條例中改正條例制定の件	"		
"	86	大牟田市職員の給与に関する條例中改正條例制定の件	"		
"	87	起債議決變更の件	"		
"	88	昭和27年度福岡県大牟田市歳入歳出追加更正予算	"		

3 選 舉

選 舉 の 概 況

地方自治法の改正に伴つて、昭和22年1月22日本市選挙管理委員会が発足して以来20数回の大小の各選挙を施行したが、疎開者の復帰、旧軍人の復員、外地よりの引揚や各種産業の振興等により人口の増加が著しく、有権者の数も昭和21年の78,187人に対し、昭和27年に於ては101,066人に達している。その間の各選挙の平均した投票実績を見ると選挙の種類によつてそれぞれ異なるが、これを大別すると国会議員の選挙67%、県関係選挙51%、市関係選挙73%となる。この現象は全国的に共通しているが、従来本市は住民の特殊形態によつて選挙の関心が一般的にうすいと言はれていたが近來公明選挙運動の活発化に伴い漸次これが向上しつつある。

第 15 表 各種選挙状況 (市選管事務局)

區 分	執行年月日	当日の有権者数	投票者数	棄権者数	投票率
市長選挙	昭和22. 4. 5
市知事	" "	79,913	53,737	26,176	0.672
地方参議院議員	" 4.20	82,356	54,773	27,583	0.665
全衆議院議員	" "	82,356	54,773	27,583	0.665
衆議院議員	" 4.25	82,317	58,427	23,890	0.710
県議会議員	" 4.30	80,844	66,594	14,250	0.824
市議会議員	" "	80,844	66,594	14,250	0.824
市議会議員補欠	" 6. 3
県議会議員補欠	" 23. 9. 5	82,380	48,727	33,653	0.591
県教育委員	" 10. 5	82,471	33,601	48,870	0.407
衆議院議員	" 24. 1.23	91,362	64,761	26,601	0.709
最高裁判官国民審査	" "	91,362	64,761	26,601	0.709
県議会議員補欠	" 8.10	89,091	36,609	52,482	0.411
市農地委員補欠	" 8.13	10,407	6,235	4,172	0.599
地方参議院議員補欠	" 25. 1.17	94,477	40,179	54,298	0.425
参議院議員	" 6. 4	95,599	67,208	28,391	0.703
漁業調整委員	" 8.15	576	459	117	0.797
教育委員	" 11.10	93,070	22,615	70,455	0.243
市議会議員	" 26. 4.23	98,195	90,296	7,899	0.920
市議会議員	" "	98,195	90,296	7,899	0.920
県知事	" 4.30	98,193	61,832	36,361	0.630
県議会議員	" "	98,193	61,832	36,361	0.630
県農業委員	" 7.20	11,150	8,956	2,184	0.804
漁業調整委員	" 27. 8.13	1,183	1,051	122	0.897
衆議院議員	" 10. 1	99,892	73,954	25,938	0.740
最高裁判官国民審査	" "	99,892	73,912	25,980	0.740
教育委員	" 10. 5	95,319	43,759	51,560	0.459
教育委員	" "	95,319	43,732	51,587	0.459
衆議院議員	" 28. 4.19	102,278	71,873	30,405	0.703
衆議院議員	" 4.24	102,267	60,048	42,219	0.587

註 昭和22.4.5執行の市長選挙は無投票による。
昭和22.6.3

第 16 表 基本選挙人名簿登載人員 (市選管事務局)

昭和27年12月20日

投票區	投 票 所	男	女	計
1	倉上手 永内 小 学 校	1,305	1,520	2,825
2	" " " " " "	787	840	1,627
3	" " " " " "	2,260	2,531	4,791
4	池 高 等 学 校	1,316	1,512	2,828
5	水 小 学 校	1,341	1,578	2,919
6	三平 池 野 料 杜 宅 講 堂	1,629	1,942	3,571
7	" " " " " "	1,839	1,869	3,708
8	野 治友 小 学 校	2,668	3,030	5,698
9	中大 正 " " " "	2,407	2,968	5,375
10	" " " " " "	2,795	3,070	5,865
11	白平 川 野 料 杜 宅 講 堂	2,963	3,290	6,253
12	笹三 原 林 " " " "	2,563	2,859	5,422
13	" " " " " "	1,427	1,731	3,158
14	池 南 高 等 学 校	1,920	2,113	4,033
15	知 火 小 学 校	1,536	1,792	3,328
16	諏川 訪 野 料 杜 宅 講 堂	1,832	1,902	3,734
17	三三四 川 里 " " " "	1,903	2,148	4,051
18	" " " " " "	1,869	2,234	4,103
19	" " " " " "	2,175	2,471	4,646
20	山 坑 杜 宅 講 堂	1,239	1,277	2,516
21	大宮 田 市 役 所 駛 馬 支 所	1,722	1,882	3,604
22	白勝 井 立 杜 宅 保 講 育 園 堂	1,352	1,478	2,830
23	" " " " " "	1,362	1,435	2,797
24	" " " " " "	2,149	2,150	4,299
25	駛笹 馬 南 小 学 校	1,061	1,246	2,307
26	大上 原 市 役 所 玉 川 支 所	1,211	1,336	2,547
27	" " " " " "	838	905	1,743
28	" " " " " "	234	254	488
	計	47,703	53,363	101,066

第 17 表 昭和28年4月19日執行衆議院議員選挙政黨派別得票 (市選管事務局)

区 分	候補者数	得票数	得票率	區 分	候補者数	得票数	得票率
自由党(吉田派)	2	8,345	0.117	日本共産党	1	1,865	0.026
改進黨	2	28,739	0.404	諸所派	1	747	0.011
日本社会党左派	1	27,491	0.387	無所屬	1	351	0.005
日本社会党右派	1	3,521	0.050				

第 18 表 昭和28年執行衆議院議員選挙投票状況 (市選管事務局)

投票区	投票所	当日の有権者数			投票者数			投票率		
		男	女	計	男	女	計	男	女	平均
1	倉永小学校	1,318	1,552	2,870	1,067	882	1,949	0.81	0.59	0.68
2	上手内	788	837	1,625	639	596	1,235	0.81	0.71	0.76
3	鎌	2,268	2,535	4,803	1,714	1,550	3,264	0.76	0.61	0.68
4	三池高等学校	1,338	1,526	2,864	1,090	1,079	2,169	0.81	0.71	0.76
5	銀水小学校	1,348	1,590	2,938	1,038	1,027	2,065	0.77	0.65	0.70
6	三池	1,657	1,972	3,629	1,235	1,262	2,497	0.75	0.64	0.69
7	平野染料社宅講堂	1,858	1,879	3,737	1,434	1,253	2,687	0.77	0.67	0.72
8	明治小学校	2,707	3,050	5,757	2,062	2,004	4,066	0.76	0.66	0.71
9	中大友	2,445	3,013	5,458	1,803	1,932	3,735	0.74	0.64	0.68
10	大正	2,853	3,123	5,976	2,115	1,981	4,096	0.74	0.63	0.69
11	白川	2,992	3,323	6,315	2,235	2,038	4,273	0.75	0.61	0.68
12	平原	2,582	2,881	5,463	1,851	1,689	3,540	0.72	0.59	0.65
13	笹林	1,458	1,760	3,218	1,078	1,151	2,229	0.74	0.65	0.69
14	三池南高等学校	1,959	2,150	4,109	1,380	1,314	2,694	0.70	0.61	0.66
15	不知火小学校	1,592	1,854	3,446	1,220	1,275	2,495	0.77	0.69	0.72
16	諏訪	1,864	1,929	3,793	1,473	1,300	2,773	0.79	0.67	0.73
17	川尻	1,932	2,189	4,121	1,514	1,358	2,872	0.78	0.62	0.70
18	三川	1,905	2,267	4,172	1,385	1,445	2,830	0.73	0.64	0.68
19	三山	2,204	2,504	4,708	1,662	1,418	3,080	0.75	0.57	0.65
20	四山社宅講堂	1,254	1,280	2,534	1,176	935	2,110	0.94	0.73	0.83
21	大牟田市役所 駿馬支所	1,736	1,896	3,632	1,299	1,264	2,563	0.75	0.67	0.71
22	宮原社宅講堂	1,351	1,480	2,831	1,041	1,035	2,076	0.77	0.70	0.73
23	白井社宅保育園	1,372	1,456	2,828	1,171	1,038	2,269	0.85	0.75	0.80
24	勝立社宅講堂	2,164	2,157	4,321	1,833	1,665	3,498	0.85	0.77	0.81
25	駿馬南小学校	1,079	1,258	2,337	778	763	1,541	0.72	0.61	0.66
26	笹原	1,223	1,336	2,559	909	813	1,722	0.74	0.61	0.67
27	大牟田市役所 玉川支所	834	905	1,739	593	513	1,106	0.71	0.57	0.64
28	上内小学校 四箇分教場	236	259	495	210	228	438	0.89	0.88	0.88
	計	48,317	53,961	102,278	37,005	34,868	71,873	0.766	0.646	0.703

第八編 司法及び警察

- 1 司 法
- 2 警 察

第八編 司法及び警察

1 司法

第1表

司法機関

昭和28年3月末

(市庶務課)

名 称	所在地	判事	判事補	検事	副検事	書記官	書記官補	事務官	属員	計
福岡法務局	大牟田出張所	—	—	—	—	—	1	1	3	5286
福岡地方検察庁	三池出張所	—	—	—	—	—	—	1	1	
大牟田区検察庁	大牟田支部	—	—	1	—	—	—	4	3	1073
福岡地方裁判所	大牟田支部	—	—	—	—	—	—	2	2	
大牟田簡易裁判所	大牟田支部	1	—	—	—	—	6	1	2	(1)3
福岡家庭裁判所	大牟田支部	(1)	—	—	—	—	3	1	1	

註()内は兼務

第2表

昭和27年登記件数

(福岡法務局 大牟田出張所 三池出張所)

区 分	登 記			登記以外の事件			
	件 数	筆 数	登記税	謄抄本交付	閲 覧	手 数 料	
不動産	土地	4,683	11,457	5,368,876	1,658	767	48,500
	船舶	4,182	7,783	7,765,288	2,742	141	57,660
	財	22	28	102,383	55	1	1,120
	計	96	96	3,241,860	167	—	3,340
商 業	合名	12	—	47,200	425	—	8,500
	合資	8	—	26,500	319	—	6,380
	有限	484	—	719,152	4,209	—	84,180
	支店	58	—	184,690	1,036	—	20,720
計	—	—	—	35	—	700	
その他	655	—	5,000	1,415	—	28,300	
計	10,200	19,364	17,460,949	12,061	909	259,400	

第3表

民事訴訟

(大牟田簡易裁判所)

區 分	訴訟事件			調停事件			督促事件			計		
	受理	既済	未済	受理	既済	未済	受理	既済	未済	受理	既済	未済
昭和23年	13	9	4	41	38	3	12	12	—	66	59	7
24	21	15	6	43	36	7	42	42	—	106	93	13
25	17	10	7	91	72	19	151	151	—	259	233	26
26	77	46	31	115	105	10	183	183	—	375	334	41
27	125	101	24	90	82	8	361	361	—	576	544	32

第4表

民事訴訟

(福岡地方裁判所大牟田市部)

区 分	控訴審(支部)			調停事件			その他の事件			計		
	受理	既済	未済	受理	既済	未済	受理	既済	未済	受理	既済	未済
昭和24年	27	7	20	—	—	—	12	6	6	39	13	26
25	215	107	108	—	—	—	254	202	52	469	309	160
26	242	152	90	—	—	—	284	231	53	526	383	143
27	252	148	104	1	—	1	557	440	117	810	588	222

第5表

刑事訴訟

(大牟田簡易裁判所)

区 分	第 一 審						その他の事件			計		
	刑 法 犯			特 別 法 犯			受理	既済	未済	受理	既済	未済
	受理	既済	未済	受理	既済	未済						
昭和23年	183	178	5	5	4	1	1,778	1,778	—	1,966	1,960	6
24	177	156	21	20	20	—	2,131	2,131	—	2,328	2,307	21
25	221	196	25	10	10	—	2,364	2,364	—	2,595	2,570	25
26	327	316	11	18	16	2	2,677	2,677	—	3,022	3,009	13
27	269	241	28	26	25	1	2,714	2,713	1	3,009	2,979	30

第 6 表 刑 事 訴 訟 (福岡地方裁判所大牟田支部)

区 分	第 一 審						そ の 他 の 事 件			計		
	刑 法 犯			特 別 法 犯			受 理	既 済	未 済	受 理	既 済	未 済
	受 理	既 済	未 済	受 理	既 済	未 済						
昭和24年	37	24	13	7	6	1	88	88	—	132	118	14
25	273	219	54	44	28	16	514	514	—	831	761	70
26	194	164	30	109	83	26	190	190	—	493	437	56
27	176	129	47	128	120	8	209	209	—	513	458	55

第 7 表 検 察 官 處 理 事 件 (福岡地方裁判所大牟田支部)

区 分	大 牟 田 区 検 察 廳					福 岡 地 方 検 察 廳 大 牟 田 支 部				
	起 訴	不 起 訴	中 止	移 送	計	起 訴	不 起 訴	中 止	移 送	計
昭 和 2 3 年	1,218	692	88	560	2,558	—	—	—	—	—
2 4 年	1,426	1,629	109	942	4,106	40	96	8	55	199
2 5 年	969	1,790	69	668	3,496	235	572	43	274	1,124
2 6 年	1,126	1,179	107	562	2,974	186	436	32	262	916
2 7 年	1,608	1,362	70	574	3,614	211	414	31	247	903
27年内の訳	刑 法 犯 387	法 濟 犯 616	刑 法 犯 39	刑 法 犯 114	刑 法 犯 1,156	刑 法 犯 114	刑 法 犯 360	刑 法 犯 20	刑 法 犯 179	刑 法 犯 673
	刑 法 犯 188	刑 法 犯 96	刑 法 犯 7	刑 法 犯 57	刑 法 犯 348	刑 法 犯 —	刑 法 犯 —	刑 法 犯 —	刑 法 犯 —	刑 法 犯 —
	刑 法 犯 1,033	刑 法 犯 650	刑 法 犯 24	刑 法 犯 403	刑 法 犯 2,110	刑 法 犯 97	刑 法 犯 54	刑 法 犯 11	刑 法 犯 68	刑 法 犯 230

第 8 表 昭 和 27 年 取 扱 事 件 (大牟田区検察庁)

区 分	受 理				受 理 合 計	既 済				中 止	他 廳 の 之 へ 検 送 察 致	既 済 計	未 済	
	旧 受	新 受	受	計		起 訴 公 請 判 求	不 起 訴 猶 予	不 起 訴 其 他	既 済					
刑 法 犯	失 傷 業 務 上 過 失 致 死 傷 其 他 の 過 失 傷 害 の 罪	—	1	11	12	12	—	6	4	—	—	10	2	
	火 害 業 務 上 過 失 致 死 傷 其 他 の 過 失 傷 害 の 罪	—	83	66	149	149	—	95	30	9	6	149	—	
	窃 盜	1	5	2	7	8	—	8	—	—	—	8	—	
	詐 恐 横 領 罪	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	欺 喝 領 罪	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
特 別 法 犯	物 関 係 の 刑 法 犯	2	13	30	43	43	—	23	8	3	9	43	—	
	其 他 の 刑 法 犯	—	12	57	69	71	5	—	34	16	2	63	8	
	計	—	49	68	117	117	—	57	29	12	11	7	116	1
	計	3	214	966	1,180	1,183	221	166	554	62	39	114	1,156	27
	計	8	397	2,059	2,456	2,464	—	1,221	603	143	31	460	2,458	6
合 計	11	611	3,025	3,636	3,647	221	1,387	1,157	205	70	574	3,614	33	

第 9 表 昭 和 27 年 取 扱 事 件 (福岡地方検察廳大牟田支部)

区 分	受 理				受 理 合 計	既 済				中 止	他 廳 の 之 へ 検 送 察 致	既 済 計	未 済		
	旧 受	新 受	受	計		起 訴 公 請 判 求	不 起 訴 猶 予	不 起 訴 其 他	既 済						
刑 法 犯	失 傷 業 務 上 過 失 致 死 傷 其 他 の 過 失 傷 害 の 罪	—	—	11	180	191	191	22	—	60	6	2	96	185	5
	火 害 業 務 上 過 失 致 死 傷 其 他 の 過 失 傷 害 の 罪	—	—	5	25	30	30	1	—	5	7	—	7	20	10
	窃 盜	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	詐 恐 横 領 罪	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	欺 喝 領 罪	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特 別 法 犯	物 関 係 の 刑 法 犯	3	32	228	260	263	263	45	—	88	60	17	31	241	22
	其 他 の 刑 法 犯	—	3	24	27	27	27	9	—	12	3	—	3	27	—
	計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	計	3	20	156	176	179	179	14	—	49	67	1	37	168	11
	計	6	90	625	715	721	721	114	—	217	143	20	179	673	48

第 9 表

昭和 27 年 取 扱 事 件 (続) (福岡地方検察庁大牟田支部)

區 分	受 理				受理合計	起 訴				中 止	他 庁 へ の 検 察 致 送	既 済 計	未 済
	旧 受	新 受	そ の 他	計		起 訴 公 判 求	起 訴 略 令 式 命 求	不 起 訴 猶 予	不 起 訴 そ の 他				
特別法犯	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
道路交通取締法	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
臨時物資需給調整法	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
食糧管理法	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
地方公共団体の条例	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他特別法	7	20	211	231	238	97	—	26	28	11	68	230	8
計	7	20	211	231	238	97	—	26	28	11	68	230	8
合 計	13	110	836	946	959	211	—	243	171	31	247	903	56

第 10 表

家 事 調 停 事 件

(福岡家庭裁判所大牟田支部)

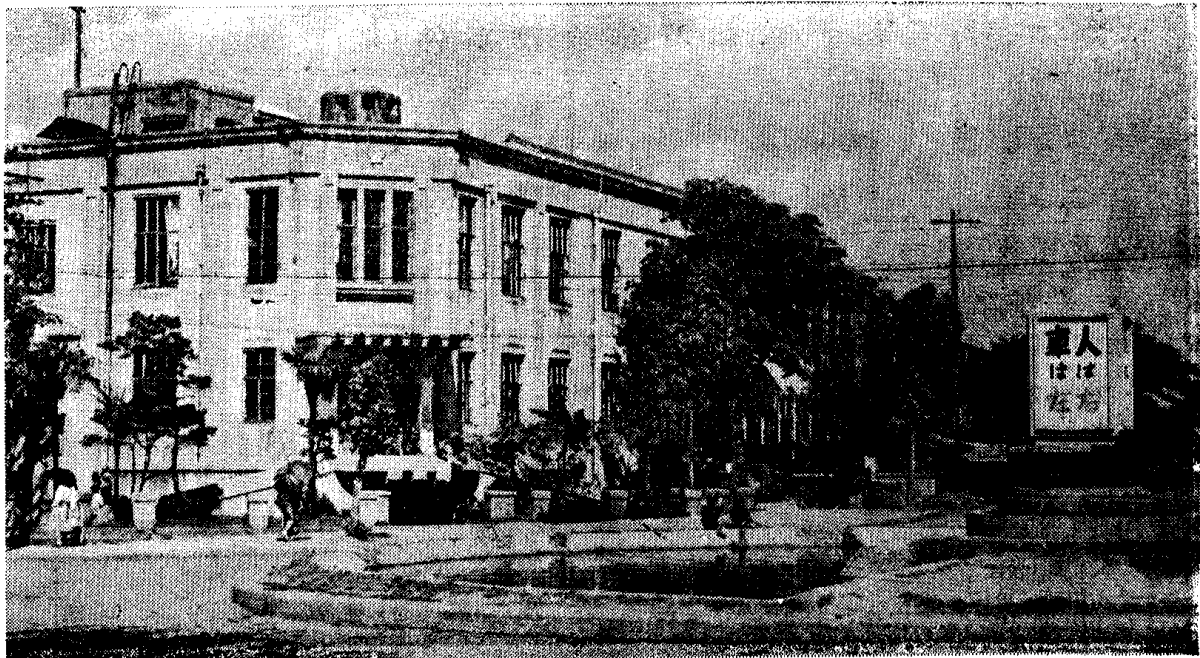
区 分	夫 婦 の 他 の 扶 助 関 係 處 分		居 住 の 協 力 関 係 處 分		そ の 力 関 係 處 分		財 産 関 係 處 分		遺 産 関 係 處 分		離 婚		離 縁		婚 約 不 履 行 に 基 づ いた 慰 謝 料		家 事 審 判 法 第 2 條 に 掲 げ る 事 項		そ の 他		計			
	既 済	未 済	既 済	未 済	既 済	未 済	既 済	未 済	既 済	未 済	既 済	未 済	既 済	未 済	既 済	未 済	既 済	未 済	既 済	未 済	既 済	未 済	既 済	未 済
昭和24年	1	—	1	—	—	—	1	—	—	—	3	7	—	—	2	3	—	1	2	3	9	15	—	—
25	2	—	2	—	—	—	1	—	—	45	14	—	—	13	—	3	2	52	6	118	25	—	—	
26	5	—	1	—	—	—	4	—	—	52	7	—	—	3	—	13	1	40	2	120	11	—	—	
27	4	—	1	—	—	—	2	—	—	36	3	—	—	5	1	11	6	23	1	82	16	—	—	

第 11 表

昭和27年審判事件處理状況

(福岡家庭裁判所大牟田支部)

区 分	旧 受	新 受			計	既 済	未 済
		男 从	女 从	双 方 从			
禁治產者の宣告	—	—	—	—	—	—	—
產者治產の宣告	—	—	—	—	—	—	—
不在失子の宣告	—	—	—	—	—	—	—
養子の縁の許	—	—	—	—	—	—	—
離別代理の選任	—	—	—	—	—	—	—
財産管理の喪失	—	—	—	—	—	—	—
親権管理の任	—	—	—	—	—	—	—
後見人保佐人の選任	—	—	—	—	—	—	—
後見人保佐人の解任	—	—	—	—	—	—	—
財産目録の調整	—	—	—	—	—	—	—
相續の承認放棄の期間の延長	—	—	—	—	—	—	—
子の監護者の指選	—	—	—	—	—	—	—
相續財産の管理の放棄	—	—	—	—	—	—	—
遺言の確	—	—	—	—	—	—	—
遺言執行者の任	—	—	—	—	—	—	—
遺言執行者の放棄	—	—	—	—	—	—	—
遺言執行者の同居及び協	—	—	—	—	—	—	—
財產分與の指	—	—	—	—	—	—	—
親権養定	—	—	—	—	—	—	—
推定	—	—	—	—	—	—	—
氏名就戸	—	—	—	—	—	—	—
の籍	—	—	—	—	—	—	—
の變更	—	—	—	—	—	—	—
の籍	—	—	—	—	—	—	—
の訂	—	—	—	—	—	—	—
の正	—	—	—	—	—	—	—
計	29	186	196	107	489	488	30



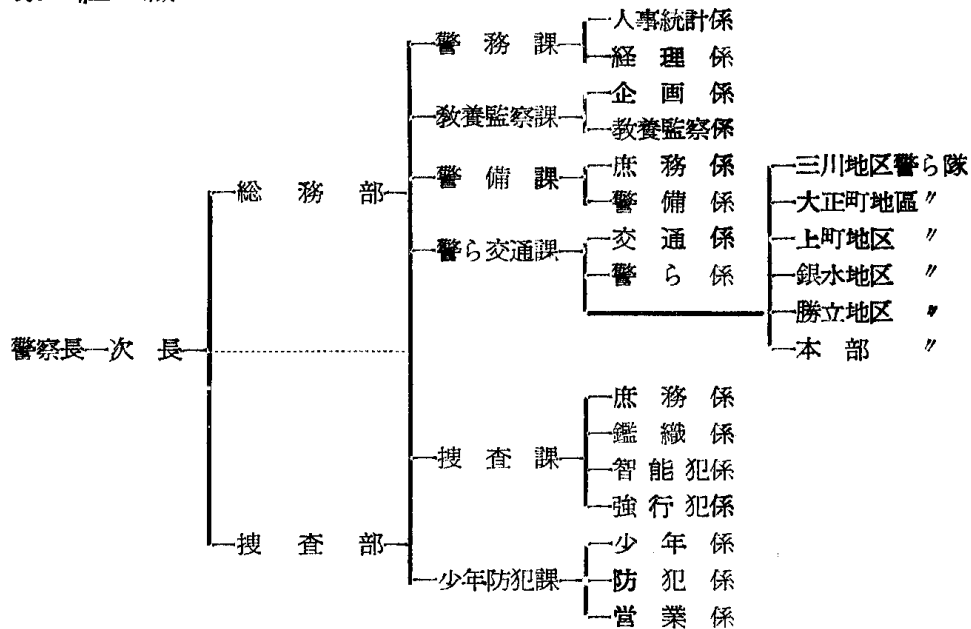
大 平 出 警 察 署

2 警 察

警 察 の 概 況

昭和23年、自治体警察として発足して4年、困難な諸情勢のもとで民主警察の具現と、治安につとめてきたが、昭和27年においては、一部の左翼尖鋭分子によるメーデー事件、その他国内各地に續発した暴力事件の余波をうけてか、本市においても、銀水地区警ら隊派出所の爆破事件を初め、市長公舎の投石事件その他数回に亘るこの種の暴力事件の発生をみた外、江崎市襲殺害事件、暴力団の検挙等、相当多事な年ではあつたが、公安委員会の管理のもとに、警察力の強化と勤務制度の改善を図り、眞に旧套を脱皮した民主警察の具現につとめ、治安の保全に挺身しつつある。

警 察 組 織



第 12 表

警 察 職 員 定 員 數

昭 和 28 年 3 月 末

(市警察署)

警 察 吏 員							そ の 他 の 職 員											合 計		
警視正	警視	警部	警部補	巡査部長	巡査	計	通譯	書記生	書記	保健婦	電話	交換手	自動車	運転手	電工	給仕	小使		掃除婦	計
1	3	6	16	30	(2)	(2)	1	2	18	1	6	2	1	2	3	2	38			317

註 () 内は婦人警察、官の数を示す。

第 13 表 派出所駐在所轄区域及び配置人員 昭和28年5月1日 (市警察署)

警ら隊名	派出所駐在所名	所在地	管轄町名	配置人員		
				警部補	巡査部長	計
本警ら隊	—	警察署内	不知火町三丁目、昭和町、宝坂町二丁目、正山町、浄眞町	—	2	2
	三川町派出所	三川町二丁目	諏訪町一、二丁目、小川町、三川町一、二、三、四丁目、高西港町一、二丁目、汐屋町、姫島町、入船町砂町、上屋敷町、加納町一、二丁目、新港町港、務所社宅、新港町三川坑社宅	1	210	13
	三里町 "	三里町二丁目	浪花町、早米来町二、三丁目三川町五丁目、三里町一、二丁目船津町一、二、三、四丁目、天満町一、二丁目、四つ山社宅	—	8	8
	天領町 "	天領町一丁目	白金町、片平町、田畑町、入江町、若宮町、延命寺町、山下町、右京町、天領町一、二、三丁目、諏訪町三丁目	—	4	4
	南大正町 "	大正町四丁目	久保田町、大正町四、五、六丁目、本町四、五、六丁目、松原町一、二丁目、小浜町、小浜町電化社宅同三川坑南北社宅、同九電社宅、同戦災住宅	—	6	6
三川地区警ら隊	水上 "	新港町	三池港一円	—	1	1
	大正町 "	大正町一丁目	新地町、西浜田町、本浜田町、中浜田町南浜田町、新浜田町、磯町、住吉町、大浜町、須鼻町、中島町浜町、中友町、橋口町、魚町、大正町一、二、三丁目、本町一、二、三丁目古町西有明町	1	210	13
	横須 "	明治町二丁目	明治町一、二、三丁目、椿黒町、大黒町一、二、三、四丁目、城町一、二丁目、中町一、二丁目、恵比須町一、二丁目、健老町、天神町一、二丁目、北磯町、新開町、初島	—	6	6
	五月橋 "	栄町一丁目	佐古町、谷町、一本町、山上町、東泉町、泉町、常盤町、築町、栄町一、二丁目、京町、旭町一、二、三丁目、東新町一、二、三、四丁目、柿園町一、二、三、四丁目、日の出町一、二、三、四丁目	—	6	6
大正町地区警ら隊	通町 "	通町一丁目	鳥塚町、通町一、二丁目、瓦町、八尻町、亀甲町、八本町、平原町、龜谷町、龍湖瀬町、長溝町の一部大浦町の一部、稻荷町	—	6	6
	暖溜 "	上官町三丁目	上官町三、四丁目暖溜、高畑、権現堂、宮山町、七浦町、大浦町の一部、西宮浦町、浅牟田町、焼石	1	28	11
	上町 "	上町三丁目	出雲町、松浦町、上町一、二、三丁目、曙町、眞導寺町、花園町、上官町一、三丁目一の浦町、宮坂町	—	6	6
	駅前 "	不知火町一丁目	宝坂町一丁目、笹林町、大高町、不知火町一、二丁目、原山町、有明町、元町	—	4	4
上官通地区警ら隊	大牟田駅 "	"	大牟田駅構内	—	2	2
	西米生 "	大字 西米生	川尻、川尻白金、西米生、一丁玉西米生白川、宮の原	—	4	4
	銀水 "	大字 草木	草木上、草木中、草木下、田隈、白川上、白川中、白川北、白川南、草木銀水社宅、七夕社宅、市営住宅、田崎社宅	1	26	9
	三池 "	大字 三池	大字新町、大字今山、大字歴木、大字三池、平野山社宅、鷹取社宅大谷社宅	—	4	4
	手鎌 "	大字 唐船	大字手鎌、大字唐船、大字甘木、大字岬	—	4	4
銀水地区警ら隊	久福木駐在所	大字 塚 76の1	大字久福木、大字宮部、大字橋、大字白金	—	1	1
	倉永 "	大字 倉水	大字倉永、大字吉野、大字宮崎	—	1	1
	上内 "	大字 上内	大字上内、大字岩本、大字四箇	—	1	1
	藤田派出所	大字藤田沖田	桜町、本村、三郎天、沖田、神田、西神田、洗場、東上神田、馬込、本川尻、東米生の一部	—	14	5
	野添 "	大字東米生1829	白井社宅、野添社宅、東米生、萩尾	—	2	2
勝立地区警ら隊	勝立 "	大字西米生1859	月見ヶ丘社宅、馬渡社宅、通松社宅、朝日ヶ丘社宅上高田中原、下高田、大砂社宅、早鐘、早鐘社宅、青無塚社宅、天道社宅、上池谷、下池谷、宮前社宅紅葉ヶ丘社宅、東谷社宅、白井原染料、合成、東庄社宅	1	6	7
	櫟野駐在所	大字勝立433	大字櫟野、大字教楽木、大字勝立の一部	—	1	1

第 14 表 昭和23~27年刑法犯市内発生検挙状況 (市警察署)

區分	23年		24年		25年		26年		27年	
	発生	検挙	発生	検挙	発生	検挙	発生	検挙	発生	検挙
公務執行妨害罪	3	3	2	2	10	10	4	4	2	2
逃犯入蔵罪	—	—	—	—	—	—	1	1	—	—
放火罪	—	—	—	—	3	3	1	1	—	—
失火罪	13	13	8	8	12	12	9	9	12	12

第 14 表

昭和23年～27年刑法犯市内発生検挙状況(続)

(市警察署)

区 分	23年		24年		25年		26年		27年	
	発生	検挙	発生	検挙	発生	検挙	発生	検挙	発生	検挙
往來を妨害する罪	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—
居住を偽造の罪	6	6	15	15	8	8	12	12	19	19
文書偽造の罪	8	8	98	98	28	28	7	7	7	11
印章偽造の罪	—	—	—	—	1	1	—	—	—	—
偽証の罪	2	2	—	—	—	—	1	1	—	—
偽告の罪	1	1	—	—	1	1	—	—	—	—
偽い報告の罪	1	1	1	1	2	2	1	1	—	—
強迫の罪	—	—	—	—	—	—	6	6	—	—
普通賭博の罪	56	56	20	20	14	14	4	4	7	8
常習賭博の罪	85	85	—	—	—	—	—	—	—	—
禮拜場所濫用	1	1	1	1	—	—	—	—	—	—
職權濫用	33	33	26	26	2	2	—	—	—	—
職務賄賂	6	6	31	31	14	14	14	14	5	5
殺人	11	11	3	4	5	5	11	11	11	11
え殺殺自傷	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—
殺人	2	12	5	5	4	4	5	5	4	4
自傷	2	2	—	—	—	—	1	1	—	—
傷害	4	2	—	—	—	—	—	—	—	—
傷害	64	64	78	90	148	148	122	122	206	207
傷害	1	1	—	—	2	2	4	4	—	—
傷害	4	4	22	22	88	88	67	68	95	99
傷害	20	20	6	6	20	20	17	17	26	26
傷害	2	2	2	2	2	2	1	1	7	7
傷害	—	—	—	—	—	—	1	1	2	2
脅略	4	4	6	6	11	11	4	4	7	7
脅略	—	—	—	—	1	1	4	4	—	—
脅略	1	1	3	3	5	3	2	2	—	—
脅略	—	—	1	1	—	—	—	—	—	—
脅略	5160	2,333	5,451	3,493	4,932	3,760	5,655	3,874	4,755	3,681
強盗	—	—	—	—	1	1	—	1	—	—
強盗	3	2	5	6	3	2	2	2	1	1
強盗	2	2	2	2	—	—	—	—	—	—
強盗	20	13	22	20	15	14	7	4	3	4
強盗	588	588	975	1,056	1,085	1,129	678	648	502	560
背恐	1	1	12	12	—	—	—	—	—	—
背恐	154	164	74	75	329	329	136	145	96	96
背恐	135	135	132	158	161	174	103	108	116	122
背恐	9	9	83	104	68	68	30	31	45	46
背恐	3	3	15	28	2	2	—	—	—	—
財物	442	442	243	342	367	445	313	344	359	392
財物	9	9	7	7	1	1	—	—	2	2
財物	8	8	9	9	25	25	4	4	10	10
計	6,876	4,051	7,370	5,666	7,374	6,333	7,239	5,473	6,301	5,336

第 15 表

昭和27年刑法犯罪市内発生検挙月別及び検挙人員數

()内は窃盗犯の発生検挙及び検挙人員を示す。

(市警察署)

區 分	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
発生件數	571 (431)	475 (354)	558 (478)	429 (318)	384 (274)	560 (426)	432 (329)	547 (414)	459 (355)	532 (387)	692 (529)	662 (460)	6,301 (4,755)
検挙件數	434 (281)	452 (312)	405 (307)	362 (241)	263 (154)	481 (335)	342 (241)	625 (463)	377 (274)	418 (266)	603 (434)	574 (373)	5,336 (3,681)
検挙人員	156 (96)	168 (100)	150 (102)	147 (77)	162 (88)	169 (102)	163 (74)	177 (89)	117 (62)	121 (48)	174 (90)	136 (82)	1,840 (1,010)

第18表 昭和27年犯罪原因別調(続) (市警察署)

区 分	自暴自棄		家庭不和	貧困	失業	事業失敗	利益争	食欲	懶惰	遊蕩	虚榮	驕奢	誘惑	賣名	義侠	公憤
	自暴	自棄														
恐	1	—	—	2	2	—	—	1	4	5	—	—	—	—	—	—
窃盗	9	—	—	119	17	—	—	84	5	94	12	—	—	5	—	—
	8	—	5	174	31	—	—	60	6	77	4	—	—	—	—	—
詐欺	—	—	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	11	—	1	45	9	8	—	23	3	26	2	—	—	—	—	—
横賭	—	—	—	16	5	5	—	6	2	10	2	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	5	—	3	26	2	1	12	42	—	13	—	—	—	—	—	2
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	34	13	383	66	14	22	217	20	230	20	—	—	1	12	10	708
區 分	憤恚	怨恨	痴嫉	情妬	社会呪咀	病苦	精神異状	迷信	性癖	悪戯酒興	出来心	その他	生理異状	過失	その他	計
殺強	4	5	5	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	19
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
強暴	18	2	—	—	—	—	8	—	—	—	—	—	—	—	—	3
	67	26	—	—	—	—	—	4	7	4	—	—	—	—	—	10
恐	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	49
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	246
窃盗	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	4
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
詐欺	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
横賭	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	89	3	5	—	—	—	9	—	148	55	198	8	1	54	88	1,440

第19表 昭和27年青少年犯罪者数 (市警察署)

区 分	大学生		高校生		中学生		小学生		工員		事務員		商業		農業		漁業		日傭労働者		無職		その他		計		
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
	殺強	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
強暴	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
恐	—	—	11	—	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
窃盗	—	—	10	—	11	2	17	4	23	—	—	1	10	1	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	3	1	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
詐横	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	6	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	—	—	23	—	126	2	18	7	33	—	1	1	16	1	3	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

第20表 昭和24年~27年交通事故数 (市警察署)

區 分	昭和24年	昭和25年	昭和26年	昭和27年
発生件数	—	1 5	3 3	—
死傷者	—	5	4	—
	—	2 5	2 4	—
			3 9	7 3
			3	1 4
			4 4	5 6

第21表 昭和27年交通事故数 (市警察署)

區 分	トラックによる	乗用自動車による	バスによる	汽車による	電車による	荷馬車による	自転車による	計
発生件数	42	5	10	5	4	4	3	73
死傷者	9	1	—	1	2	1	—	14
	33	4	7	4	2	3	3	56

第 22 表

昭和27年交通事故被害者男女年令別調

(市警察署)

区分	1~5才		6~10才		11~15才		16~20才		21~25才		26~30才		31~40才		41~50才		51~60才		61~70才		70才以上		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女		
死者	2	2	1	—	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1	9
傷者	8	2	2	—	4	1	7	2	7	1	2	2	4	1	—	—	—	—	—	—	—	—	1	41
計	10	4	3	—	4	1	7	2	8	1	2	2	8	2	4	1	—	—	—	—	—	—	2	50

第 23 表

昭和 27 年 交通 事故 原因 調

(市警察署)

區	分	發生件数	區	分	發生件数	
被害者の側	總數	49	加害者の側	總數	51	
	車進路自交路	6		酌左ハ合優	運 転 当 行 当 規	2
	の行即転又上	3		右ル手綱先順	適 履 不 適 無	7
	直の中歩車又上	6		折手綱先順	不 操 不 位	9
	直の行右点	2		不 操 不 位	通 摘 注 不 完	6
	前車及右点	2		運 轉 不 適 無	行 当 意 全	2
	直り右側遊	4		行 当 意 全	行 当 意 全	1
	後飛び側遊	1		右 追 踏 制	無 最 徐 仮 定	10
	横飛横通	1		越 切 動	免 速 行 睡 員	2
	断り臥行立戯	6		無 最 徐 仮 定	高 速 行 睡 員	2
	陥行き注意乗	1		無 最 徐 仮 定	外	2
	歩注人	1		無 最 徐 仮 定	外	2
	話視全業他	1		無 最 徐 仮 定	外	7

第 24 表

昭和 27 年 時 間 別 交 通 事 故 数

(市警察署)

区 分	0~7時	7~10時	10~12時	12~14時	14~16時	16~18時	18~20時	20~24時	計
發生件数	1	11	17	13	11	11	7	2	73

第 25 表

地 区 別 交 通 事 故 数

(市警察署)

区 分	三川地區	大正町地區	上官通地區	銀水地區	勝立地區	計
發生件数		16	20	12	23	73
死者		2	1	2	9	14
傷者		9	17	10	2	56

第 26 表

昭和24年~26年經濟違反数

(市警察署)

區 分	昭 和 2 4 年				昭 和 2 5 年			
	檢 査		送 局		檢 査		送 局	
	件 数	人 員	件 数	人 員	件 数	人 員	件 数	人 員
食糧管理法違反	749	753	734	739	566	575	549	558
食糧緊急措置令	3	3	3	3	14	14	13	13
物価統制令	493	495	493	495	158	158	137	137
臨時物資需給調整法	231	235	231	238	25	25	25	25
専賣法	(29)	(26)	(6)	(6)	(9)	(9)	(9)	(9)
その他の諸法令	34	35	24	24	46	46	28	28
計	1,510	1,521	1,485	1,499	809	818	752	761
区 分	昭 和 2 6 年				昭 和 2 7 年			
	檢 査		送 局		檢 査		送 局	
	件 数	人 員	件 数	人 員	件 数	人 員	件 数	人 員
食糧管理法違反	293	296	275	278	58	61	58	61
食糧緊急措置令	2	2	2	2	—	—	—	—
物価統制令	2	2	2	2	—	—	—	—
臨時物資需給調整法	1	1	1	1	—	—	—	—
専賣法	(4)	(4)	(4)	(4)	—	—	—	—
その他の諸法令	19	19	19	19	2	4	2	4
計	317	320	299	302	60	65	60	65

註 専賣法違反は専賣局(公社)に事件移牒につき計に記入せず。

第 27 表

昭和24年~27年遺失物拾得物調

(市警察署)

區 分	貨 幣	物 品		件 数	金 額
		物件点数	價 格		
昭和24年	遺失物 247,179 00	2,175	159,750 00	1,847	406,929 00
	拾得物 269,289 64	1,513	125,004 10	473	394,293 74
25年	遺失物 489,375 00	2,305	213,549 00	1,974	702,924 00
	拾得物 410,978 41	1,206	128,639 38	454	539,617 79
26年	遺失物 713,627 35	1,431	256,369 00	753	969,996 35
	拾得物 692,403 36	422	303,598 25	352	996,001 61
27年	遺失物 984,745 36	1,327	263,853 00	2,191	1,248,598 26
	拾得物 1,270,845 19	653	157,849 60	1,110	1,428,694 79

第 28 表

昭和 27 年自殺者数

(市警察署)

区 分	既 遂			未 遂		
	男	女	計	男	女	計
所 為 別						
總 數	10	9	19	—	—	—
縊入刃銃	3	1	4	—	—	—
又 水物は	—	—	—	—	—	—
又 火薬に	1	—	1	—	—	—
毒鉄高そ	1	7	8	—	—	—
物道所	4	1	5	—	—	—
又よ	—	—	—	—	—	—
ははりの	—	—	—	—	—	—
劇軌飛	—	—	—	—	—	—
薬道降	—	—	—	—	—	—
にり	—	—	—	—	—	—
てて他	—	—	—	—	—	—
原 因 別						
總 數	10	9	19	—	—	—
精神病貧	—	1	1	—	—	—
前非を悔い	3	1	4	—	—	—
家庭又は親族の不和により	3	1	4	—	—	—
將來業務私失淫	—	—	—	—	—	—
の又恣逸	—	—	—	—	—	—
事失はに放	—	2	2	—	—	—
を敗はに放	—	—	—	—	—	—
苦に憂い	—	—	—	—	—	—
慮よ	—	—	—	—	—	—
りてり未	—	—	—	—	—	—
りり	3	3	6	—	—	—
よ	—	—	—	—	—	—
に	1	—	1	—	—	—

第 29 表

警察取締營業者数

(イ) 風俗營業者

(市警察署)

区 分	料亭	カフェ	料理店	キヤバレー	ダンスホール	ダンス教習所	遊 技 場						計	
							玉突	麻雀	射的	パチンコ	卓球	ビンゴゲーム		その他遊技場
昭和 26 年	42	2	286	4	4	—	2	10	—	41	—	5	—	396
27 年	93	2	342	3	4	—	2	11	—	148	—	1	2	548

(ロ) 古物商質屋外

(市警察署)

区 分	古物商	古物行商	露 店	せり賣	市場主	質 屋	計
昭和 26 年	539	421	—	—	1	117	1,078
27 年	307	192	8	—	2	126	635

第九編 消 防

1 消 防

第九編 消 防

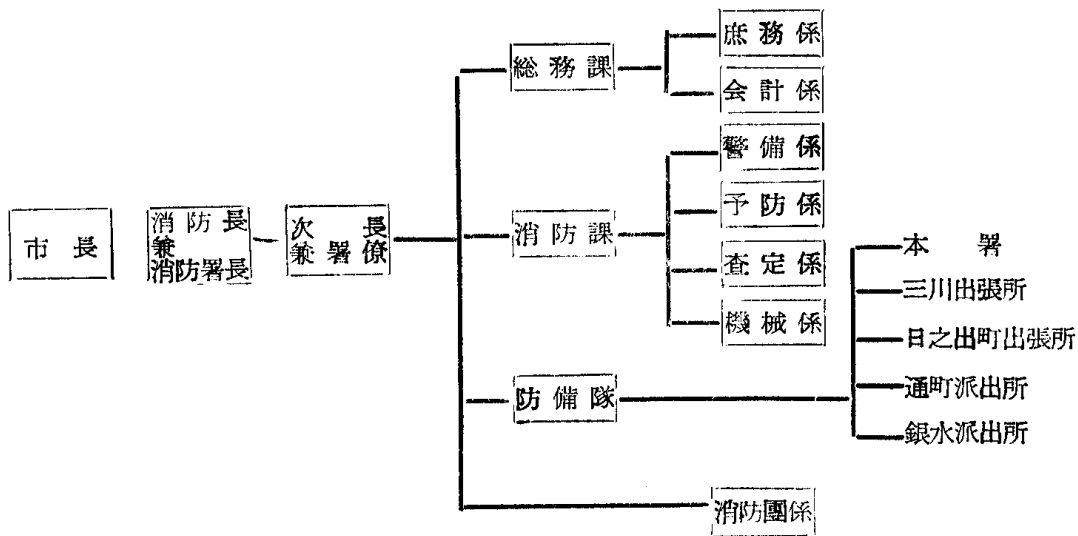
消 防 の 概 況

本市の消防は昭和23年 3月自治体に移管され市民の消防として新たに発足せるもので本署の外に 2出張所と 1派出所を設置している。消防職員は 103名消防自動車10台（内 1台は消防団に配置）の他に司令車 1台と宣傳車並に運搬車を各 1台宛消防団に於ては19分團定員 905名自動車 9台 3輪車 1台手挽ガソリン 4台、小型東発ポンプ23台を装備しているが自動車ポンプの過半数は老朽化し通信施設水利施設の不備と相俟つて消防力は稍々弱体である。一方消防対象物たる建築物は終戦後濫造された粗悪な木造建物が今尙多数残存し火災の発生率が非常に高く昭和27年中81件に及ぶ火災が発生しているが幸にして地理的に気象條件に恵まれているため大火又は大洪水等の発生は見えていない、併し火災発生の原因が大部分失火で占めているので特に火災予防の徹底に全力を集中すると同時に施設の改善車輛の整備方を図り職員及び団員の教養訓練を行い消防業務の効果を最大限に發揮して災害の局限防止に多大の努力を払いつつある。



放水演習

消防本部及び消防署機構



第 1 表 消防本部及び消防署人員配置表（定員）

昭和 27 年末

（市消防署）

区 分	消 防 吏 員					そ の 他 の 吏 員			合 計
	消防長	司 令	司令補	士 長	消防士	書 記	雇 員	備 入	
消 防 本 部	1	1	5	2	8	1	2	2	22
消 防 署	—	—	2	8	44	—	—	—	54
{ 本 署	—	—	—	4	16	—	—	—	20
{ 三 川 出 張 所	—	—	—	2	8	—	—	—	10
{ 通 町 派 出 所	—	—	—	—	2	—	—	—	2
{ 銀 水 派 出 所	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	1	1	7	16	78	1	2	2	108

第2表

消 防 団

昭和27年末

(市消防署)

區 分	消 防 団 員									計
	団 長	副 団 長	本 部 長	分 団 長	副 分 団 長	部 長	班 長	団 員		
本 部 団	1	2	2	—	—	—	—	—	—	5
分 部 計	—	—	—	19	19	50	95	717	—	900
計	1	2	2	19	19	50	95	717	—	905

第3表

消 防 設 備

昭和27年末

(市消防署)

區 分	自動車ポンプ		三輪車 ポンプ	手挽瓦斯 備ポンプ	小型動力 ポンプ	腕 用 ポンプ	水 管 運搬車	司令車	火見槽	警 鐘
	タンク車	普通車								
消防本部	2	4	—	—	2	—	2	1	—	—
出張所	1	2	—	—	1	—	—	—	—	—
派出所	—	10	1	4	16	13	—	—	64	64
計	3	16	1	4	19	13	2	1	64	64

第4表

消 防 水 利

昭和27年末

(市消防署)

區 分	消 火 栓		貯 水 槽		海 水	井 水	プ ール	マ ン ホ ール	池 水	河 川
	公 設	私 設	公 設	私 設						
個 数	704	494	33	249	8	2	2	3	26	22

第5表

特 殊 消 防 対 象 物

昭和27年末

(市消防署)

區 分	公 衆 の 集 合 す る 場 所											多 数 の 者 の 勤 務 す る 場 所										
	興 行 場	ダンスホール	マ ー ケ ッ ト	百 貨 店	共 同 住 宅	集 団 住 宅	病 院	医 院	学 校				社 寺	教 会	官 公 署	会 社	工 場	鉱 山	危 険 物 製 造 所	危 険 物 貯 蔵 所	危 険 物 取 扱 所	小 車 取 扱 場
個 所	17	7	17	1	22	70	13	127	8	10	21	26	8	5	18	74	10	4	17	101	23	16

第6表

危 険 物 製 造 所 等 設 置 数

昭和27年末

(市消防署)

区 分	製 造 所	貯 蔵 庫	屋 外 槽	屋 内 槽	地 下 槽	置 場	給 油 場	取 扱 場	移 動 槽	映 写 室	計
個 数	17	51	18	7	4	22	16	10	1	16	162

第7表

危 険 物 取 扱 主 任 者 映 寫 技 術 者 有 資 格 者 数

昭和27年末

(市消防署)

区 分	取 扱 主 任 者		映 写 技 術 者			
	甲 種 免 許 証	乙 種 免 許 証	一 等 免 許 証	二 級 甲 種 免 許 証		
附 当 者 数	—	73	—	78	24	27

第 8 表

昭和 27 年中建築物

月別	業態別 件数 面積 m ²	專用住宅	併用住宅	倉庫	工場 作業場	車庫	料理 飲食店	旅館	事務所 官公廳	学 校	病 院
合計	288 16,665	267 18,003	65 6,361	66 14,720	11 1,106	16 1,495	11 1,437	30 4,386	20 9,212	13 4,467	
27年 1月	15 1,096	13 813	5 791	6 507	1 35	1 135	2 376	—	2 528	2 3,028	
2	19 977	20 1,559	4 277	8 573	1 139	3 245	2 249	4 556	—	1 66	
3	33 2,127	30 2,105	12 1,452	4 238	2 62	1 221	—	4 259	—	1 101	
4	19 958	20 1,232	5 326	2 409	1 33	2 157	—	4 1,030	1 311	—	
5	20 999	25 1,830	4 557	6 1,874	2 198	3 211	3 365	5 943	—	2 61	
6	28 1,707	25 2,011	1 45	1 33	1 50	2 234	1 142	—	1 69	1 341	
7	25 1,600	20 1,561	1 12	8 7,655	1 139	—	2 207	2 147	2 418	1 189	
8	27 1,646	24 2,078	7 1,488	5 587	—	1 148	1 98	4 716	6 3,716	1 55	
9	34 2,004	24 1,521	6 349	7 1,048	2 450	2 94	—	—	5 1,899	—	
10	23 1,304	31 1,932	7 261	9 692	—	1 50	—	2 244	1 554	2 161	
11	23 1,064	23 1,385	7 306	4 183	—	—	—	2 98	2 1,717	1 40	
12	22 1,183	12 776	6 497	6 501	—	—	—	3 393	—	1 425	

第 9 表

昭和22年~27年火災覺知別

(市消防署)

区 分	望 楼	火 災 專用電話	加入電話	警察電話	駐込通報	鎮 火 後報	炭鈦電話	計
昭和 22 年	13	1	21	—	1	10	1	47
23	6	5	23	1	2	—	—	37
24	9	9	17	—	—	2	4	41
25	10	9	7	2	2	15	—	45
26	8	10	18	3	1	13	2	55
27	12	17	14	7	7	21	3	81

同意事務處理狀況

(市消防署)

遊 戲 場	店 舖	貯 藏 庫	寺 院 、 教 會	ア共 パ同 1住 ト宅	集 團 住 宅	公 衆 浴 場	そ の 他	計
17 4,597	20 1,135	3 102	6 949	8 6,641	17 10,248	5 468	14 1,304	877 104,096
—	—	1	—	—	1	—	—	49
—	—	33	—	—	157	—	—	7,499
—	1	—	—	1	2	—	2	68
—	30	—	—	1,025	1,783	—	135	7,614
1 943	1 14	—	1 128	1 141	—	—	3 190	94 7,981
1 991	1 24	—	1 78	—	2 482	—	1 17	60 6,048
3 513	3 406	—	—	—	2 600	1 13	—	79 8,570
—	2 159	—	1 312	1	1 221	1 179	—	67 5,503
1 970	—	—	1 97	—	4 2,702	1 24	—	69 15,721
1 86	1 58	—	—	1 1,984	1 91	—	4 486	84 13,237
6 630	3 107	2 69	2 334	2 1,988	—	1 191	2 93	98 10,777
3 371	2 143	—	—	1 177	2 1,219	—	—	84 7,108
—	4 75	—	—	—	1 884	1 61	1 350	69 6,163
1 93	2 119	—	—	1 1,270	1 2,109	—	1 33	56 7,819

第 10 表

昭和22年~27年火災発生損害調

(市消防署)

区 分	総 額		建 物 火 災		山 林 原 野 火 災		船 舶 車 輛 及 び そ の 他 の 火 災	
	件数	損 害 額 円	件数	損 害 額 円	件数	損 害 額 円	件数	損 害 額 円
昭 和 2 2 年	47	3,238,247	34	3,138,997	9	51,250	4	48,000
2 3	37	12,619,240	28	12,425,440	7	191,600	2	2,200
2 4	41	16,602,766	33	16,244,866	4	30,700	4	327,200
2 5	45	9,706,752	42	9,661,352	2	45,000	1	400
2 6	55	9,723,200	48	9,700,300	4	15,500	3	7,400
2 7	81	9,723,850	63	9,016,350	11	153,200	7	554,300
計	306	61,614,055	248	60,187,305	37	487,250	21	939,500

第 11 表

昭和22年～27年中時刻別火災発生件数

(市消防署)

區 分	時刻																				計				
	〇時	一	二	三	四	五	六	七	八	九	十	十一	十二	十三	十四	十五	十六	十七	十八	十九		二十	二十一	二十二	二十三
昭和22	1	2	—	2	—	2	2	2	1	1	2	4	4	1	3	1	5	1	3	3	2	2	2	1	47
23	2	2	1	—	3	—	—	—	3	3	1	2	2	3	2	2	1	1	—	2	2	3	2	—	37
24	1	1	2	1	3	—	2	—	2	2	5	2	4	2	2	2	1	1	2	1	1	2	1	1	41
25	—	3	3	—	2	—	1	—	2	1	2	2	1	3	5	5	2	2	4	2	1	3	1	—	45
26	2	1	1	—	1	—	—	—	—	3	4	5	5	3	—	3	4	1	5	3	2	5	2	5	55
27	2	1	4	3	2	1	5	—	—	4	5	6	4	7	3	6	4	3	1	4	3	5	2	6	81

第 12 表

6ヶ年間火災統計表

(市消防署)

區 分	各 年 別						合 計	平 均	
	22年	23	24	25	26	27			
件 数	計	47	37	41	45	55	81	306	51.0
	原因別	44	32	38	40	53	74	281	46.8
	火災の他	—	—	—	2	2	2	6	1.0
家 屋	延焼	2	5	2	3	—	3	15	2.5
	不明	1	—	1	—	—	—	4	0.6
	焼失	10	7	7	9	5	1	39	6.5
上掲中	延焼	32	25	30	23	41	43	194	32.3
	焼失	5	5	4	13	9	37	73	12.1
	焼失坪数	16棟 7	13棟 14	14棟 10	9棟 20	7棟 21	7棟 12	66棟 84	11.0 14.0
屋 外	住宅	17	11	15	9	7	8	67	11.1
	非住宅	3	1	7	4	3	6	24	4.0
	焼失坪数	667坪	589坪	1,038坪	562坪	520坪	413坪	3,789坪	631.5
屋 外	世帯	12戸 3	108戸 5	17戸 12	13戸 12	8戸 12	8戸 6	166戸 50	27.6 8.3
	山林	9	7	4	2	4	11	37	6.1
	原野	98町歩 4	50 2	83町歩 4	3町歩 1	3.7町歩 1	32.4町歩 7	195.4町歩 19	32.5 3.1
屋 外	火災	3人 7	— 2	— 1	3人 13	— 11	4人 16	10人 50	1.6 8.3
	損 害 額	円						61,614,055	10,269,008

第 13 表

昭和22年～27年月別火災発生件数

(市消防署)

區 分	各 月 別												合計	平 均
	1月	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
昭和22年	6	5	5	5	3	4	—	—	1	4	6	8	47	3.9
23	3	—	4	4	2	5	3	5	—	3	7	1	37	3.0
24	5	4	5	7	2	2	2	4	1	3	2	4	41	3.4
25	7	2	3	5	6	4	3	2	4	4	1	4	45	3.7
26	2	7	6	5	1	2	1	8	4	3	7	9	55	4.5
27	11	9	15	9	2	3	2	3	2	3	13	9	81	6.7
平 均	5.6	4.5	6.3	5.8	2.6	3.3	1.8	3.6	2	3.3	6	5.8	51.0	4.2

第14表

昭和22年～27年原因別火災

(市消防署)

區分	失火																			落不明	放火	合計												
	使用火の不始末							煙突		電氣		油	乾	製造釜の過熱	育	機	自	業	火				フ	瓦	煙	弄	そ							
	焚	取	こ	火	火	か	燈	マ	ス	ロ	飛	過	破	漏	電	電	類	油	乾				製造釜の過熱	育	機	自	業	火	フ	瓦	煙	弄	そ	
昭和22年	6	3	1	2	3			1	2	2	1	7	1	2									1					9	4	45	2	47		
23	4	3			1	1			3			4	1	1				4		4	1		1				4	2	2	32	5	37		
24	5	5						1	2	5	2	3		1								1	3			2	5	3	38	1	2	41		
25	2	5			2	1			4	8	1	2	1	4	1												3	5	1	40	3	2	45	
26	5	7	1	1					2	7	3	1	4	1	1	5	2	1	1	2	1	1	1	1	1	1	5	1	53		2	55		
27	7	5	1	1	1	1			4	3	6	3	3		8						1	1			1	2	15	10	2	75	1	3	2	81
計	29	28	2	2	2	6	3	2	11	32	14	5	23	3	22	1	1	2	4	2	1	4	5	2	2	8	43	21	42	83	215	6	366	

第十編 教育及び文化

- 1 教 育
- 2 公 民 館
- 3 圖 書 館
- 4 宗 教
- 5 社 会 事 業

第十編 教育及び文化

教育の概況

戦災により学校施設の大半を焼失し、その後お寺や浴場、焼残りの民家等を借りての分散教育、小、中学校の相住ひ、或は最近まで引続いていた二部授業等幾多の不自由と困難とをつぶさに経験しながら大牟田の子供達は育つて来た。痛々しかつた焼跡にも美しい近代的な校舎が次々と建設され、子供達もその伸び伸びとたくましい姿態を運動場一杯に躍動させている。これらの子供達の精神や肉体に敗戦の諸因子がどのような影響を来しているか測り知り難いが今の子供達はともかく元気で幸福さうだ。終戦後八ヶ年大牟田の子供達はどの様に増加したであらうか。学校施設はどの様に復興したであらうか。子供達の体位はどの様な成績率を示しているであらうか。

小学校の児童数は戦前の最高は23,663人(昭和19年)戦後の最低が19,152人(昭和21年)である。現在数が25,562人であるから最高の年度に比較して約2,000名の増加最低年度に比較しての増加は約6,500人、33%の増加率を示している。中学校について概観してみると昭和22年4月より所謂6・3制の義務教育の実施により、昭和22年に一中から六中までが新設されたのであるが、次いで24年には七中から九中までの新設を見た。25年4月には今迄のナンバーによる小中学校の校名を一斉に現在の校名に改め、26年には延命中学校が新設されるに至つた。

学校校舎の復興状態については、罹災学校18校、焼失した校舎坪数約20,830坪、戦後新しく建設された坪数は約26,000坪である。これらの校舎建築(敷地費を含む)に費された市費が43,700万円に達する。これは終戦より引続き市は平均1ヶ年に歳出の14%を学校建設のために充てたことになる。

かくも急速な復興ができたのは教育復興を市政の重点に置いて市長を始め市議会及び市民の一致協力した賜である。然しなおバラック校舎の改築、講堂の建設等残された課題は山積している。

昭和27年11月1日より教育委員会が発足し、教育に関する事務は一切市長から移管されたのであるが、今日の市財源の窮迫の中でこれらの難問題を処理していくには今迄以上の各方面の協力が要請せられる。児童の体位は昭和22年及び23年が食糧事情の影響で最も悪く、その後漸次恢復して昭和27年度においては戦前の最高水準昭和11年の全国平均に上達しているが、27年度の全国平均には僅かに劣つている。座高の低いのも目につくが、疾病状態もトラホーム、虫歯等何れも全国平均より悪く、特にツ反應陽性転化が非常に早いのが目立つている。体力も体位と同様良好とは云えない。今後市民の生活水準の向上を計ると共に栄養や体育への関心衛生思想の普及宣傳等がもつと考えられねばならないと思う。

高等学校は公立5、私立3校の設置となつている。その外幼稚園は私立6校、保育所が市営1校、民生委員会営1校、私営17校となつている。



モデルスクール右京中学の理科室

第1表

昭和22年度—27年度学校調

(市教委事務局)

区 分	年 度	学 校 数	学 級 数	教 員 数	児 童、生 徒、学 生 数		
					男	女	計
小 学 校	昭和22年	19	427	484	11,137	10,996	22,183
	23	20	449	535	11,953	11,871	23,824
	24	21	494	613	12,246	12,041	24,287
	25	21	509	604	12,479	12,253	24,732
	26	21	512	608	13,249	12,761	26,010
	27 4月末	21	518	593	13,032	12,530	25,562
中 学 校	22	6	112	112	3,140	2,768	5,908
	23	9	108	174	4,268	3,758	8,026
	24	9	215	326	5,360	4,916	10,276
	25	9	217	330	5,619	5,379	10,998
	26	10	217	347	5,502	5,446	10,948
	27 4月末	11	225	349	5,592	5,455	11,047
高 等 学 校	22	8	100	185	3,364	2,070	5,434
	23	8	84	187	2,832	1,738	4,570
	24	7	102	246	2,843	1,061	3,904
	25
	26	7	136	283	4,598	1,505	6,103
	27 4月末	8	153	346	7,485

第2表

小 學 校

昭和27年4月末

(市教委事務局)

区 分	所 在 地	設立年月日	電 話	教員数	学級数	児 童 数			
						男	女	計	
平白明上笹	原小学校	大牟田市平原町321	昭23. 9. 30	2,442	28	25	678	609	1,287
	川治官林	大字上白川	昭22. 5. 4	2,246	36	31	797	792	1,589
	明上	明治町2丁目29	明39. 6. 5	2,163	31	27	732	710	1,442
	笹	宮坂町1	大2. 7. 1	2,160	25	20	479	486	965
	笹	笹林町26	明33. 6. 29	2,162	20	19	363	352	715
不知中	火友	不知火町2丁目41	大12. 4. 4	2,403	22	18	462	433	895
	大	中友町26	昭24. 4. 1	3,721	27	24	648	605	1,253
	大	大正町5丁目17	昭21. 3. 31	2,479	33	29	741	726	1,467
	大	諏訪町1丁目	昭20. 4. 1	6,265	25	22	507	456	963
三三三	川里	加納上屋敷町	昭8. 9. 1	6,186	28	25	670	634	1,304
	三	三里町1丁目715	明43. 1. 7	6,153	36	32	812	816	1,628
	三	西米生160	明45. 4	3,544	33	29	752	685	1,437
	三	川尻117	明7. 4	4,071	35	33	856	773	1,629
	三	西米生1,110	明42. 2. 20	2,350	37	34	867	899	1,766
玉銀手倉三上	川水	大字襟野	明25. 8	4,441	17	15	306	338	644
	水	大字田隈233	明9. 8	4,096	31	28	754	676	1,430
	手	大字唐船字下地	明8.	4,074	29	25	581	541	1,122
	倉	大字倉永1,335	明12. 5	3,628	16	13	304	319	623
	三	大字新町280	明5. 9	4,092	44	39	991	961	1,952
	上	大字上内1,575	明8. 3	4,196	17	17	274	273	547
計	21	—	—	593	518	13,032	12,530	25,562	

第3表

中 学 校

昭和27年4月末

(市教委事務局)

区 分	所 在 地	設立年月日	電 話	教員数	学級数	生 徒 数			
						男	女	計	
白松右船	光原中学校	大牟田市榛黒町30	昭22. 4. 1	4,072	37	25	621	599	1,220
	京	大正町5丁目27	"	2,088	42	28	735	707	1,442
	津	右京町1	"	3,410	25	17	408	383	791
米生勝橋	生立木	船津町185	24. 4. 1	6,296	38	26	627	610	1,237
	勝	大字東米生2963	22	2,632	39	26	656	665	1,321
	橋	大字西米生1780	22. 4. 1	2,339	32	22	524	497	1,021
	橋	大字歴木1150	"	2,329	42	29	729	733	1,462
甘木延明	木命	大字橋677	"	3,892	27	18	454	397	851
	延	大字甘木876	24. 4. 1	2,074	25	17	411	400	811
	明	昭和町214	26. 4. 1	2,075	26	17	427	380	807
計	11	—	—	349	229	5,592	5,455	11,047	

註 明光学園中学校は私立

第4表

高 等 学 校

昭和27年4月末

(市庶務課)

區 分	所 在 地	公 私 別	設立年月日	敷地坪数	教 官 数	学 級 数	学 生 数	
							全 定	計
三池高等学校	大牟田市大字草木1,020	公	大6. 2. 14	11,097	49	2	全定	1,281
大牟田南	大字川尻19	"	昭2. 3. 9	7,418	17	11	全定	486
大牟田北	大字甘木109	"	大元 11. 28	2,400	52	28	全定	1,430
三池北	大字吉野1,407	"	明40. 6. 24	7,985	18	12	全定	559
三池南	上官町4丁目77	"	明11. 4. 1	14,018	33	16	全定	812
不知火女子	上官町1丁目	私	明3. 5. 1	3,200	22	9	全定	430
大牟田工業	大字草木	"	大9. 10. 1	8,963	7	4	全定	110
明光学園	倉永170	"	昭27. 2. 18	5,668	47	12	全定	621
計	8	—	—	60,749	21	39	全定	5,835
							全定	1,650

第 5 表

昭和22年—27年学令児童数

(市教委事務局)

区 分	年	別					
		22年	23年	24年	25年	26年	27年
就 学	男女計	2,201	2,338	2,146	2,131	2,387	12,931
	男	2,084	2,284	2,050	2,049	2,201	12,380
	女	4,285	4,622	4,196	4,180	4,588	25,311
未 就 学	男女計	23	23	29	17	21	72
	男	21	15	21	14	25	111
	女	44	38	50	31	46	183

第 6 表

昭和27年度計測検査平均表

() 内の数字は26年度

(市教委事務局)

区 分	6 才	7 才	8 才	9 才	10 才	11 才	12 才	13 才	14 才	
身 長 (cm)	男 {	109.2 (108.7)	113.9 (113.8)	118.6 (118.5)	123.5 (123.3)	127.7 (127.2)	132.0 (131.7)	136.7 (137.0)	142.2 (141.7)	148.6 (147.3)
	女 {	108.3 (108.4)	113.5 (113.0)	117.9 (117.9)	122.8 (122.5)	127.0 (127.2)	132.8 (131.8)	138.2 (138.8)	143.3 (143.7)	147.3 (147.7)
体 重 (kg)	男 {	18.7 (18.8)	20.3 (20.3)	22.2 (22.6)	24.5 (24.3)	26.3 (26.6)	29.1 (28.3)	31.8 (31.9)	35.8 (36.2)	41.4 (40.2)
	女 {	18.1 (17.9)	19.8 (19.7)	21.8 (21.8)	23.7 (23.7)	26.0 (26.2)	29.2 (28.5)	33.1 (32.5)	37.7 (37.6)	42.0 (41.2)
胸 囲 (cm)	男 {	56.3 (56.3)	58.1 (58.3)	59.7 (60.1)	61.9 (61.7)	63.4 (63.7)	65.4 (65.2)	66.0 (66.5)	69.7 (69.4)	74.2 (72.8)
	女 {	54.7 (55.0)	56.3 (56.6)	58.0 (58.2)	60.0 (59.8)	62.0 (61.9)	64.3 (64.2)	66.4 (66.8)	71.0 (70.5)	75.1 (73.1)
坐 高 (cm)	男 {	61.5 (62.0)	63.8 (64.4)	66.2 (66.6)	68.5 (68.6)	70.3 (70.3)	72.1 (72.1)	74.3 (73.0)	77.2 (76.6)	80.2 (79.9)
	女 {	61.0 (61.2)	63.8 (63.6)	65.8 (65.8)	68.0 (68.0)	70.3 (70.1)	72.6 (72.4)	75.6 (73.8)	78.5 (77.5)	80.9 (79.7)

第 7 表

中高学生卒業後の進路状況

昭和28年3月末現在

(市庶務課)

区 分	中 学 校			高 等 学 校				
	計	男	女	計	男	女		
卒業者総数	3,538	1,855	1,683	1,580	1,062	518		
上級学校入学者	2,185	1,223	962	375	247	128		
就職決定者	796	472	324	395	308	87		
産 業 分 類 別	農業	13	10	3	13	13	—	
	農林水産	—	—	—	—	—	—	
	産 設	7	7	—	—	—	—	
	建設	67	67	—	81	80	1	
	製 造	16	15	1	14	14	—	
	食 料 製 品	食料	44	25	19	8	7	1
		繊維	20	4	16	2	2	—
		紙化	42	36	6	3	3	—
		印刷	36	16	20	4	4	—
		学 校	25	23	2	25	24	1
	機 械 設 備	機械	18	18	—	4	4	—
		輸送	26	25	1	15	15	—
		専門	24	22	2	13	13	—
		その他	2	0	1	12	12	—
卸 小 賣 業	74	46	28	10	8	2		
卸 小 賣 業	40	24	16	34	13	21		
計	167	76	91	47	23	24		

第7表

中高学生卒業後の進路状況(続)

昭和28年3月末現在

(市庶務課)

区 分	中 学 校			高 等 学 校		
	計	男	女	計	男	女
金融及保険業	8	—	8	38	26	12
不動産業	—	—	—	1	1	—
運輸通信業	6	2	4	1	1	—
公益サービス業	58	14	44	19	9	10
公務	4	—	4	26	19	7
その他の産業	99	41	58	25	17	8
家事従事者 未定又は不詳	557	160	397	810	497	303

第8表

小學校の校地及び校舎

昭和27年4月末

校地の坪数には中庭等の坪数を含む

(市教委事務局)

区 分	校 地 坪	校 舎 坪	運 動 場 坪	教 室 数	児 童 一 人 当 り	
					校 舎 坪	運 動 場 坪
三三里小学校	3,860	1,249	1,042	33	0.79	0.66
川尻	3,686	1,053	1,044	28	0.80	0.80
川尻	4,154	666	1,216	20	0.74	1.36
諏訪	5,813	997	2,473	24	1.04	2.57
馬南	5,681	1,066	1,840	33	0.74	1.29
馬北	3,915	1,184	506	34	0.74	0.31
笹原	7,775	1,501	4,123	35	0.71	2.33
玉川	5,069	782	713	19	1.22	1.11
上川	5,102	754	1,691	20	0.78	1.76
不知火	3,639	568	1,591	18	0.64	1.78
笹林	4,176	617	1,152	16	0.87	1.63
大正	5,995	952	1,050	28	0.65	0.72
中友	6,367	3,117	3,250	24	2.50	2.65
明白	4,367	1,107	1,527	28	0.78	1.07
白川	7,985	1,022	3,185	32	0.65	2.01
平原	4,881	1,242	1,840	34	0.97	1.43
三池	4,472	1,193	1,663	35	0.62	0.70
銀水	5,798	1,144	1,935	28	0.80	1.36
上内	2,814	437	1,326	15	0.80	2.42
倉永	3,668	647	1,344	14	1.04	2.16
手鎌	4,108	920	1,082	25	0.82	0.97

第9表

中学校の校地及び校舎

昭和27年4月末

(市教委事務局)

區 分	校 地 坪	校 舎 坪	運 動 場 坪	教 室 数	生 徒 一 人 当 り	
					校 舎 坪	運 動 場 坪
船津中学校	7,899	1,211	3,850	26	0.98	3.11
右京	5,701	961	1,250	22	1.21	1.58
米生	8,114	1,217	3,621	29	0.92	2.74
勝立	10,183	891	3,375	21	0.87	3.31
延命	6,958	700	2,400	19	0.87	2.97
松原	5,520	1,033	1,375	30	0.72	0.95
白光	6,553	1,300	4,890	26	1.08	3.09
歴木	9,133	1,406	3,780	22	0.96	3.30
橘	5,887	880	2,880	16	1.04	3.38
甘木	11,422	890	2,860	19	1.09	3.52

第10表

小中学校教職員年齢別人員

昭和27年5月末

(市教委事務局)

区 分	小 学 校			中 学 校			
	計	男	女	計	男	女	
年	2 0 才未満	40	9	31	6	1	5
	2 1	57	27	30	6	4	2
	2 2	41	15	26	18	9	9
	2 3	43	16	27	17	12	5
	2 4	47	15	32	16	12	4
	2 5	45	20	25	23	16	7
	2 6	35	7	28	25	25	—
	2 7	28	10	18	13	9	4
	2 8	26	14	12	18	16	2
	2 9	13	8	5	7	6	1
令	3 0	17	3	14	11	8	3
	3 1	15	6	9	9	6	3
	3 2	5	2	3	7	5	2
	3 3	12	6	6	6	6	—
	3 4	8	5	3	8	7	1
	3 5	10	7	3	6	6	—
	3 6	11	3	8	10	6	4
	3 7	8	7	1	7	7	—
	3 8	9	5	4	10	7	3
	3 9	8	5	3	7	6	1
別	4 0	15	10	5	17	14	3
	4 1	10	5	5	11	10	1
	4 2	19	10	9	9	7	2
	4 3	24	14	10	6	6	—
	4 4	13	9	4	5	5	—
	4 5	18	12	6	12	10	2
	4 6	7	5	2	11	11	—
	4 7	12	9	3	5	4	1
	4 8	10	6	4	6	5	1
	4 9	11	8	3	2	2	—
計	5 0	4	3	1	8	8	—
	5 1	2	2	—	7	7	—
	5 2	3	2	1	2	2	—
	5 3	5	5	—	2	2	—
	5 4	4	4	—	5	5	—
	5 5	2	2	—	4	4	—
	5 6	1	1	—	4	4	—
	5 7	2	2	—	2	2	—
	5 8	1	1	—	4	4	—
	5 9	—	—	—	4	4	—
6 0	2	2	—	—	—	—	
計	643	302	341	356	290	66	

第11表

教職員職名別人員

昭和27年5月末

(市教委事務局)

區 分	校長	教 諭	助 教	講 師	事務	計
中 学 校	1 0	304 {男 231 女 73}	7 {男 3 女 4}	20 {男 17 女 3}	15	356 {男 276 女 80}
小 学 校	2 1	560 {男 204 女 356}	42 {男 3 女 29}	—	20	643 {男 524 女 475}
計	3 1	864 {男 345 女 429}	49 {男 6 女 43}	20 {男 17 女 3}	35	999 {男 524 女 475}

2 公 民 館

公民館の概況

社会教育は戦後の混乱せる状態の中に自主的に協力し合つてお互いの社会環境の浄化に当らねばならないと云う市民の自覚によつて公民館運動が急速に促進されこれが社会教育の中心となつている。

本市公民館は発足以来三年になつた 2 カ年は殆んど各校區の支館の結成と市民に対する啓蒙に過ぎなかつたが昭和 27 年より支館の本格的活動により分館の結成急速に増加市民の利用も関心も深まつてきた。

第 12 表

支館分館結成數及び分館施設數

(昭和 28 年 7 月 現在)

(市教委事務局)

支 館 名	分 館 數	分館施設數	支 館 名	分 館 數	分館施設數
白平 明中大上	10 13 14 4 3 —	4 11 11 1 — —	三馬 駛馬 笹玉高	11 12 13 14 13 7	2 — 3 1 6 3
笹不川 諏三	— 1 3 5 13	— — 2 — 2	三池 銀水 手鎌 倉永 上内	11 10 8 2 5	6 4 0 3 1
川原治友正官 林火尻訪川					
			計	185	59

運 營 状 況

巡回映画、リクレーションを主体とした公民館運営は27年度から成人講座技術講習、講演等によつて本格的運営になつて各支館行事の充実につとめた。最近になつて支館は主として学級形態をとつた青年学級、婦人学級、成人学級の形をとり継続的長期教養の運営に移行し短期の講演講習は分館に主力をおき市民全部福利に浴する様になつた。

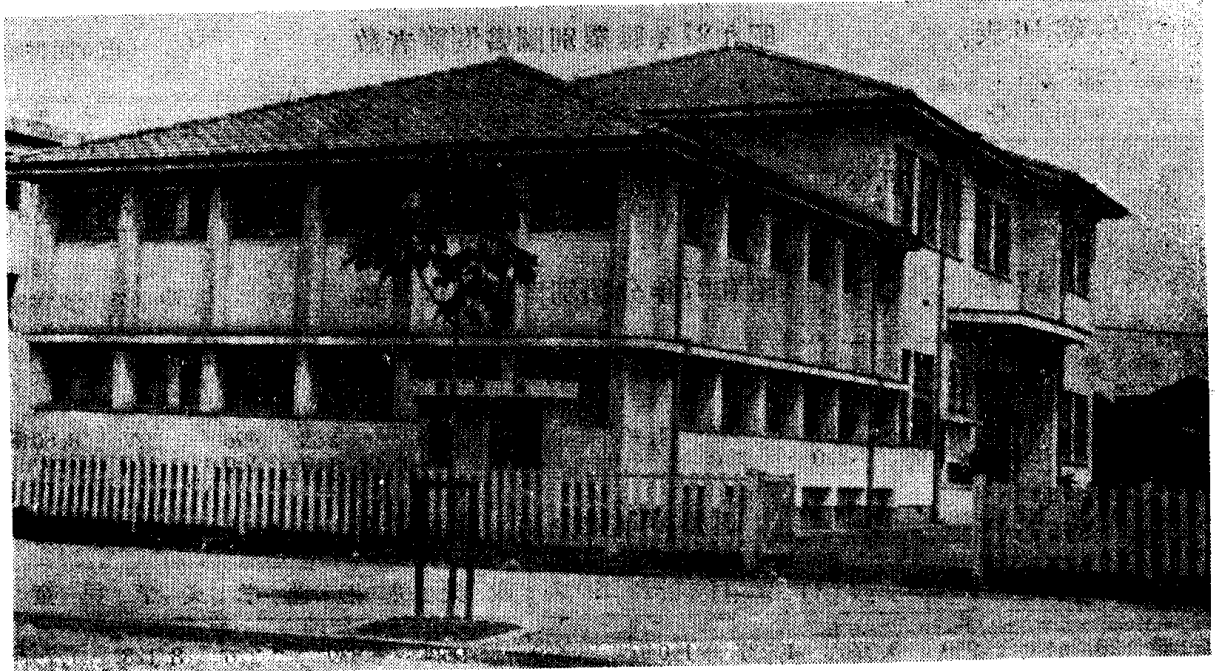
第 13 表

昭和 27 年中の行事と実績

(各支館の合計分)

(市教委事務局)

会 議			講 演 講 座 講 習		学 級		体 育 レ ク リ エ シ ョ ン			そ の 他				
会名	回数	人員	名 称	回数	人員	学級名	回数	人員	名 称	回数	人員			
審議会	208	4,734	成人講座	346	26,531	青年学級	21	971	卓球	10	381	映画	163	47,881
			料理講習	137	6,970					野球	36			
役員会	136	1,964	洋裁	87	3,066	婦人学級	134	8,767	バレー	22	1,490	幻燈	64	6,005
			華道	226	7,602					競技	20			
その他	259	9,982	書道	95	1,577	祭典	155	9,738	ダンス	33	1,196	運動会	22	31,822
			謡曲	150	3,165					盆踊	19			
			茶の湯	95	1,683	文化祭	20	10,472	レクリエーション	95	1,325			
			手芸	66	2,366	成年祭	18	2,533	ハイキング					
			衛生	28	2,252									
計	603	16,680		1,230	55,162		38	13,005		235	23,545		249	15,708



市立図書館

3 圖書館

圖書館の概況

終戦を契機として新憲法が制定され新たに文化国家としての理念の基に再発足をし従来の狭隘なる視野より世界的視野へと飛躍すべき必要性が生じて来た。

世界的視野の拡大には必然的に一般大衆の知識の向上の必要性に鑑みその一端として適当な時期に適当な場所で愉快に知識の糧を求め得る施設が必要でありここにおいて図書館の問題がクローズアップされてくるのである。さいわい戦後欧米諸国の影響により着々と図書館の充実をみ、従来の消極的図書館運営方針より積極的図書館運営へと移行し又新図書館法の公布により運営方針も一段と飛躍的進歩を遂げつつある。

本市に於ても新図書館法の公布と同時に着々とその内容の充実と活動とに勤め昭和27年8月に新館の落成をみ蔵書(昭和27年末20,264冊で9.6人に対して1冊の割合となつている。)の充実を努力しつつある。が未だ開館の日なほ浅く市民に充分な利用を提供する段階に至っていないが、益々利用価値の向上に努めている次第である。第14表より昭和27年の閲覧者を職業別にみれば学生が全体の64%を示し第2位が鉱業及び無職関係者となつている。第13表の月別の閲覧状況をみれば読書シーズンの9月及10月は増加の傾向をみせ特に10月は他の月の3.4倍の増加率をみせている。第15表閲覧書の割合は児童書籍が全体の58%を示し次に文学書籍24%がその主なものとなつている。

第14表 圖書館 (市立図書館)

名 称	所 在 地	蔵 書 数	館 員	設立年月日
大牟田 市立図書館	大牟田市有明町52	21,058	15	昭和24年9月1日

第15表 昭和27年月別閱者數 (市立図書館)

區 分	月 別												
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
男	館内	727	876	638	865	588	813	883	1,877	2,222	3,403	2,516	2,813
	館外	971	1,267	523	818	972	1,607	839	—	411	1,529	1,270	1,811
女	館内	124	62	97	90	98	179	266	884	583	874	957	877
	館外	78	134	46	108	128	173	111	—	69	257	192	317
計	館内	851	938	735	955	686	992	1,149	2,761	2,805	4,277	3,473	3,690
	館外	1,049	1,401	569	926	1,100	1,780	950	—	480	1,786	1,462	2,128

第16表

昭和27年職業別圖書閲覧者数

(市立図書館)

区分	学生	公務自由業	農業	水産業	鉱業	工業	商業	交通業	その他業	無職	
総比率	19,884 64.0	2,265 7.0	126 0.0	— —	— —	3,709 12.0	14 0.0	276 1.0	33 0.0	1,245 4.0	3,642 12.0

第17表

昭和27年分類別圖書閲覧冊数

(市立図書館)

区分	総数	総記	精神科学	歴史科学	社会科学	自然科学	工業	産業	美術	語学	文学	児童
閲覧冊数	36,973	1,090	681	557	1,482	843	742	368	496	377	8,801	21,536
比率%	100	3.0	2.0	2.0	4.0	2.0	2.0	1.0	1.0	1.0	24.0	58.0

第18表

昭和27年末分類別図書冊数

(市立図書館)

区分	総数	総記	社会	哲学	自然科学	工芸	産業	美術	語学	文学	児童	歴史
冊数	20,264	950	3,375	1,237	1,046	539	950	829	226	8,128	1,757	1,227
比率%	100	5.0	17.0	6.0	5.0	3.0	4.0	4.0	1.0	40.0	9.0	6.0

4 宗 教

宗 教 の 概 況

戦前においては既成宗教(特に神道は建国精神との関係により)国家の手厚い保護のもとに育成され平穩の内に大過なく過してきたが、ここに敗戦という未曾有の現実面に遭遇し一大転換を余儀なくするに至つた。然るに年と共に民政が安定するに従い漸次その健全化のきざしを見せ祭事儀式等旧に復しつつある。

一方仏教の方はその性質上神道程の痛手は蒙らなかつたが信教の自由は大戦終末までのような名目的でなく各流派の教義に則り宗教本来の大愛に基き世界共同の平和に殉すべき時期は到来した。

本市に於ける施設の状況は昭和26年調によれば神社は161社で無格社(81)村社(43)境内神社(33)の順となり県社は一社となつている。寺院は53で宗派別にみるとその内真宗が62%を占め、教会の設立数は36となつている。新興宗教はみるべき発生状況は呈していない。

第19表

神 社

昭和27年

(市庶務課)

(元)区分	県社	村社	郷社	無格社	境外無格社	境内神社	計
神社数	1	43	2	81	1	33	161
信徒数	7,864	10,403	1,467	11,687	22	65	31,508

第20表

寺 院

(市庶務課)

區分	真宗木邊派	真宗大谷派	真宗願寺派	黄ばく派	曹洞派	真言宗	日蓮宗	浄土宗	天台宗	計
寺院数	(1) 5	(5) 20	(2) 7	7	5	(2) 4	(2) 1	3	1	(12) 53
槽家数	(300) 735	(710) 3,138	(280) 1,306	205	317	(130) 120	(241) 120	300	11	(1,661) 31,508
信徒数	—	200	85	30	—	—	100	30	—	(380) 445

()の数字は教会説教場等

第21表

教 会 結 社

(市庶務課)

區分	金光教	天理教	神理教	大成教	卸岳教	扶桑教	P.C.I	キリスト教
教会数	3	16	3	3	3	1	1	6

5 社会事業

社会事業の概況

「すべて国民は健康で最低限度の生活を営む権利を有する」と規定する新憲法の理念に基き昭和21年10月生活保護法の施行をみ、その後昭和25年5月に生活保護法が公布され、更に昭和26年3月に社会福祉事業法の制定公布がなされ一應社会福祉行政の体系も法的基礎が確立された。

第二次世界大戦の結果未曾有の戦禍にみまわれ終戦となるや、ここに社会経済の混乱と疲弊を現出するに至つた。然も経済界の不況に伴い企業の整理は多数の失業者を出すに至り老令者、未亡人、遺族等の生活能力に乏しいものは勿論のことこれ等失業を契機とする生活の窮迫化に伴う要保護者は逐次増加しつつある状況である。勿論これ等要保護者に対し今日まで種々な対策が施されてきたが必ずしも充分とは云い得ない実状であり今後社会保障制度の確立と共にこれら社会的施策の一段の強化が期待される。

本市の生活保護対象者は年々増加の傾向にあつて昭和27年の生活保護世帯は延13,144世帯で昭和24年と比較して8,851世帯の増加となつている。ここに社会福祉事業の重要性を窺うことができる。

福祉事業施設としては母子寮、延命寮、保育所と三つの施設を擁し、更に昭和28年度から二年継続新規事業として総工費12,472,900円(その内土地買収関係1,100,000円)を投じ100名収容可能な養老院建設に着手している。又身体障害者福祉事業も段々と軌道に乗り安全杖、補装具等の交付修理を受けるものも多数に及んでいる。

公益貸屋の利用度も高い傾向をみせ運轉資金も充分とは云い得ないができる限り一般市民の利用に供しようよう努めている現況である。

第21表 社会事業施設

昭和27年12月末

(市社会課)

区 分	所在地	施設内容	設立年月日	現在收容人員	組 織
母子寮 延命寮 保育所	小浜町44 同 上 鳥 塚 町	扶養者のない母子 孤 独 の 老 者 2才以上就学迄の子	昭和15. 4. 1	7 0	市 立
			15. 4. 1	3 0	
			23. 7. 1	8 1	

第22表

授産状況

昭和27年12年末

(市社会課)

區 分	所在地	職員数	作 業 人 員		
			男	女	計
大牟田共同作業所 和洋裁部 竹工部	有明町 小浜町44	3	—	3 0	3 0
			2 0	—	2 0

第23表

家庭授産生業資金借入調

昭和28年3月末

(市社会課)

区 分	軍手製造	靴下製造	美容業	養鶏豚業	薬加工業	洋裁業	その他	計	金 額	
									千円	
昭和24年	借入申込数	1 7	6	5	2	1	1 0	5	4 6	1,840
	借入数	1 3	3	4	2	1	4	3	3 0	960
25年	借入申込数	5	—	4	7	3	1 0	8	3 7	1,541
	借入数	—	—	4	3	1	1	2	1 1	487
26年	借入申込数	1	—	6	1 4	9	2 1	1 3 0	1 8 1	8,873
	借入数	—	—	—	2	1	2	9	1 4	320
27年	借入申込数	1	—	1	8	3	5	3 3	5 1	2,443
	借入数	1	—	1	3	1	1	1 0	1 7	444
計	借入申込数	2 4	6	1 6	3 1	1 6	4 6	1 7 6	3 1 5	14,697
	借入数	1 4	3	9	1 0	4	8	2 4	7 2	2,211

第24表

生活保護法による取扱数

昭和24年～27年

(市社会課)

区分	生活保護			行路病人			
	受給世帯	受給人員	金額	救護者	病人	変死	退去旅費 給與者
昭和24年	4,293	12,102	8,389,848	1	3	8	201
25	6,665	19,087	12,792,477	—	—	—	—
26	10,722	31,880	28,761,736	—	—	—	—
27	13,144	39,551	45,243,152	—	—	—	79

区分	生活扶助			教育扶助			住宅扶助			医療扶助		
	世帯数	人員	金額	世帯数	人員	金額	世帯数	人員	金額	世帯数	人員	金額
昭和24年	3,840	11,712	5,311,552	—	—	—	—	—	—	958	1,080	2,889,436
25	5,805	17,820	8,957,523	1,534	3,264	415,751	414	1,367	18,371	1,276	1,427	3,204,581
26	8,592	28,451	16,693,446	4,769	9,838	2,400,833	2,854	9,870	340,171	3,082	3,543	9,049,799
27	10,116	35,066	22,847,181	5,532	10,853	3,289,398	3,248	12,106	781,440	4,674	5,656	17,946,209

区分	生業扶助			出産扶助			葬祭扶助		
	世帯数	人員	金額	世帯数	人員	金額	世帯数	人員	金額
昭和24年	45	48	84,000	16	16	12,021	77	77	92,839
25	18	18	40,000	19	19	28,166	84	84	128,075
26	8	8	23,000	64	64	89,322	91	91	164,365
27	9	9	34,650	66	66	106,233	132	132	238,041

第25表

共同募金実績

昭和27年12月末

(市社会課)

区分	目標額	募 金 実 績					
		総 額	割合	街頭募金	割合	戸別その他募金	割合
昭和24年	4,170,000	4,003,711	96.0%	187,178	4.6%	3,822,533	91.4%
25	2,980,000	1,719,876	57.7%	332,651	11.6%	1,387,225	46.1%
26	3,200,000	2,208,747	69.0%	331,001	10.3%	1,877,746	58.7%

第26表

身体障害者

昭和27年12月末

(市社会課)

区分	総数	18才未満		50才未満		50才以上	
		男	女	男	女	男	女
全	151	—	—	86	8	44	13
強い弱視	35	—	—	17	—	15	3
聾	67	13	2	32	11	8	1
深い難聴	14	1	—	4	4	5	—
肢体不自由	308	3	—	173	25	97	10
中枢神経機能障害	64	2	1	42	6	12	1

第27表

公益質屋実績総括表

(市社会課)

区分	貸 付		弁 済		利 子	貸付金月末高
	口数	金額	口数	金額		
昭和27年4月	1,485	1,139,390	1,422	1,102,520	118,252	4,933,536
5	1,589	1,232,950	1,640	1,270,529	155,770	4,895,957
6	1,496	1,151,120	1,376	1,079,870	124,665	4,967,207
7	1,593	1,200,780	1,486	1,145,030	144,989	5,022,957

第27表

公益質屋実績総括表(続)

(市社会課)

區 分	貸 付		弁 済		利 子	貸付額月末高
	口 数	金 額	口 数	金 額		
8	1,494	1,138,890	1,459	1,121,900	141,884	5,039,947
9	1,589	1,214,810	1,654	1,274,220	158,689	4,980,537
10	1,733	1,337,240	1,946	1,503,755	202,476	4,814,022
11	1,459	1,068,840	1,686	1,288,720	160,370	4,594,142
12	1,570	1,185,255	2,574	1,936,257	203,196	3,843,140
昭和28年1月	1,068	797,860	911	711,540	83,037	3,929,460
2	1,324	972,730	1,375	983,745	154,056	3,918,445
3	1,438	1,078,790	1,342	1,037,070	125,432	3,960,165
合 計	17,838	13,518,655	18,871	14,455,156	1,772,826	

第28表

公益質屋職業別貸付及び弁済状況

昭和28年3月末

(市社会課)

区 分	貸 付		弁 済	
	口 数	金 額	口 数	金 額
勞 働 者	12,677	8,240,955	13,823	10,283,184
俸 給 生 活 者	1,800	1,528,000	1,804	1,534,225
商 工 業 者	1,459	1,248,250	1,328	1,148,200
農 漁 業 者	73	6,405	85	70,400
そ の 他	1,830	1,410,470	1,831	1,413,517

第29表

入 質 物 種 類

昭和28年3月末

(市社会課)

区 分	債 券		衣 類		装 身 具		家 具		そ の 他		計	
	口数	点数	口数	点数	口数	点数	口数	点数	口数	点数	口 数	点 数
一本町公益質屋	—	—	5,301	11,201	72	73	3	3	—	—	5,376	11,277
諏訪町 "	—	—	5,638	11,411	—	—	—	—	303	304	5,941	11,715
駛馬町 "	—	—	3,699	7,851	24	25	3	3	3	3	3,729	7,893
明治町 "	—	—	3,954	4,681	70	73	—	—	46	49	4,080	4,803
合 計	—	—	18,602	35,154	166	172	6	6	352	356	19,126	35,688

第30表

靈柩車校區別利用状況

昭和28年3月末

(市社会課)

区 分	昭 和 2 6 年 度					昭 和 2 7 年 度					合 計
	一 般		保 護 者		件 数	一 般		保 護 者		件 数	
	片 道	往 復	片 道	往 復		片 道	往 復	片 道	往 復		
白川校区	16	19	2	1	38	24	26	11	—	61	99
" "	9	10	—	—	19	12	15	5	—	32	51
平原林	14	11	1	—	26	4	4	4	1	13	39
明 治	12	14	—	—	26	19	33	3	—	55	81
中大友	12	6	3	—	31	13	15	6	—	34	65
大 友	17	17	2	—	36	18	14	9	—	41	77
上 官	11	7	5	—	23	14	4	5	—	23	46
不 知 火	3	3	—	—	6	8	1	—	—	9	15
三川川	10	10	4	—	24	10	7	3	—	20	44
三 里	6	5	6	—	17	14	11	10	—	35	52
三 尻	10	3	2	—	15	7	1	2	—	10	25
諏 訪	6	6	—	—	12	8	1	1	—	10	22

第30表

靈柩車校區別利用狀況(続)

昭和28年3月末

(市社会課)

区 分	昭和26年度					昭和27年度					合 計
	一 般		保 護 者		件 数	一 般		保 護 者		件 数	
	片道	往復	片道	往復		片道	往復	片道	往復		
笹原ノ	14	6	—	—	20	10	13	2	—	25	45
馬北ノ	7	5	3	—	15	24	2	9	—	35	50
駛馬ノ	9	6	1	—	16	16	6	—	—	22	38
玉南川ノ	—	—	—	—	—	6	16	2	—	24	24
三池ノ	15	24	2	—	43	21	26	6	—	53	96
銀水ノ	11	17	4	—	30	19	16	1	—	36	66
手鎌ノ	4	13	1	—	18	13	26	3	—	42	60
倉求ノ	4	3	—	—	7	11	2	—	—	13	20
上市内ノ	5	1	—	2	8	—	—	1	—	1	9
市外ノ	10	1	—	—	11	5	—	—	—	5	16
計	205	197	36	3	441	276	239	83	1	599	1,043

第31表

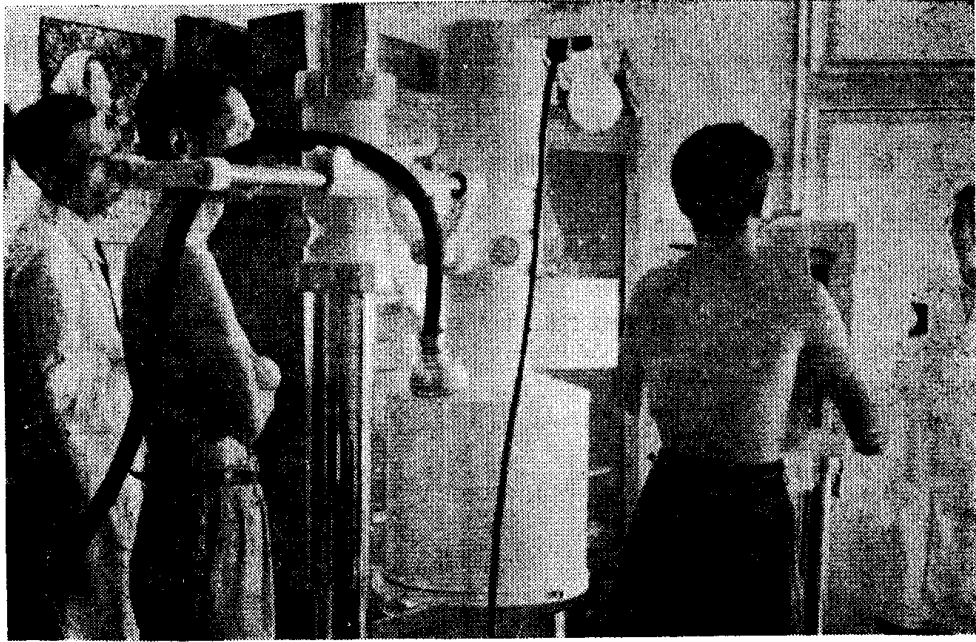
戦災者及び復員者調

(市社会課)

区 分	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年	計
復員者数	5,695	1,900	987	359	165	24	3	—	9,133
引揚者数	—	12,303	4,265	1,411	26	4	—	—	18,009
計	5,695	14,203	5,252	1,779	191	28	3	—	27,142
戦死者	—	—	—	4,149	73	98	199	—	4,519
傷病者	—	—	—	373	1	—	—	—	374
未復員者	—	—	—	357	313	316	319	269	269

第十一編 保 健 衛 生

- 1 医 療
- 2 清 掃
- 3 國民健康保險



吏員のレントゲン撮影

第十一編 保 健 衛 生

1 医 療

保 健 の 概 況

今日の衛生行政部門の主眼は申すまでもなく結核と急性傳染病である。近年における公衆衛生施策の進展は目覚ましい成果を挙げつつあり大部分の傳染病は年と共に減少の一路を辿っている。

まづ結核であるが結核は従来又現在においても日本人の健康を最も脅ひやかす疾病である。本市においても常に死因の第1位を占めており、昭和27年の総死亡数1,747人に対する結核死亡の割合は223人で12.7%に当っているといふことは100人の死亡者の中13人までは結核による死亡であることを意味する。しかもその大部分は生産年齢層に属する青年層に属する青壯年であることを思えばおのずからその重要さがうかがえるであらう。結核の死亡率は逐年驚異的な下降を示し結核対策の前途に一縷の光明を与えているのであるが果して死亡の減少が新患者の減少を意味しているかは甚だ疑問であるが年々1,500人程度が新患者として届出されているのであるがこれは勿論重複や再発の患者も含まれており純然たる新患者とは云い難いが少くとも本市には3,000人の患者がいるものと推計している。その中の病院、療養所に收容されている者は僅かに600人であり、残りの2,400人の中間割割は当然隔離して療養しなければならない人々であるが施設や経済的な事情の為に止むなく野放しにされている実状であり眞に寒心に堪えない。

次に急性傳染病であるが赤痢を除いては殆んど逼窮の状態であり日本脳炎、チフス猩紅熱が余燼を保つ程度に発生している。ジフテリアが年間30名程度の発生を見て年少者の脅威となつているがこれも予防接種の普及徹底に努めたならば漸次下火になるものと期待している。

さて赤痢であるが終戦以来急激に減少して昭和24年には人口10万に対する罹災率18と云う赤痢の統計初まつて以来の最底を示したのであるが25年に至り依然急増の気配を呈し本市においても71名の患者を見て以来引き続き26年は799と飛躍的な増加を見るに至つた27年の患者数は689名でやや峠を越したの紐があるが、前途尙樂觀を許されない状況である。

傳染病との闘いにおいて油断は常に大敵である。我々は常に傳染の危険に晒されていることを忘れてはならない。保健所としても患者の隔離、消毒などの直接的な予防面に並行して食品衛生環境衛生に対する指導と取締りの強化更には市民の衛生思想の向上と云ふ間接的な部分にも惜しみない努力を傾けて万全を期したい念願である。切に市民各位の御協力を御願ひしたい。最後に特につけ加えたい事は従来国民生活の一つの盲点としてとかく問題に附せられてきた食生活の改善ということである。栄養とは贅沢ということではない。栄養こそは予防医学の基礎であり保健生活の推進力であることを銘記して戴きたい。幸いに近來婦人層の栄養に対する認識と熱意は非常なものがあり公民館、婦人会等よりの栄養講習会の申込みが引きも切らない有様で眞に喜びに堪えない。しかしここで一言苦言を呈するならば寄生虫に対する主婦連中の関心の案外薄いと云うことである。栄養と寄生虫とは両々相俟つべきものであり、分け隔てをすべき性質のものではない。市民の寄生虫卵保有率70%と云う数字は軽視すべきではない、栄養に対する熱意と同様これを阻害する寄生虫に対しても今一段の関心を望みたい。

第 1 表

保健衛生機関及び従事者

昭和 27 年 12 月末

(市保健所)

病 院	国 立	市 立	個 人	社会福祉法人	隔 離 病 舎	計		
	1	2	6	1	—		10	
医 療 従 事 者	医 師	歯科医	薬剤師	保健婦	助産婦	看護婦	鍼灸按摩	計
	2 2 5	7 3	1 4 4	2 9	1 5 1	2 9 0	8 6	9 9 8

第 2 表

医 師 分 布 状 況

昭和 27 年 12 月末

(市保健所)

区 分	医 師						歯 科 医 師						
	衛生指導	診療所開設者	病院勤務	その他	計	一人当世帯	一人当人口	診療所開設者	病院勤務	その他	計	一人当世帯	一人当人口
白平	—	6	9	1	16	163	768	7	—	—	7	373	1,756
川原	—	6	1	—	7	314	1,468	3	—	—	3	733	3,426
原林	—	8	5	—	13	98	452	7	4	—	11	116	535
治友	—	4	2	—	6	397	1,803	2	—	—	2	1,192	5,411
明中	—	10	3	—	13	177	796	5	—	—	5	461	2,070
大上	—	6	3	1	10	247	1,146	6	—	—	6	412	1,910
知	—	7	1	—	8	222	981	5	—	—	5	355	1,570
正官	—	6	10	1	24	64	272	7	—	2	9	171	725
火川	—	5	8	—	13	184	792	3	1	—	4	599	2,575
尻	—	1	38	—	39	40	180	1	—	—	1	1,555	7,018
三誠	—	10	2	—	12	215	971	5	—	—	5	516	2,330
倉手	—	2	—	—	2	811	3,674	—	—	—	—	—	—
上	—	4	9	—	13	74	387	—	—	—	—	—	—
銀三	—	3	—	—	3	599	2,967	1	—	—	1	1,796	8,903
馬	—	2	—	—	2	350	1,996	—	—	—	—	—	—
水池	—	4	4	—	8	276	1,396	3	—	—	3	737	3,722
北南	—	4	4	—	8	357	1,775	2	—	1	3	952	4,734
原川	—	7	5	—	12	219	1,015	4	—	—	4	657	3,050
馬	—	3	3	—	6	347	1,695	1	—	—	1	2,079	10,174
笹玉	—	—	7	—	7	371	1,815	2	—	—	2	1,297	6,354
合 計	7	101	114	3	225	184	866	65	5	3	73	568	2,670

第 3 表

病 院 調

昭和 27 年 12 月末

(市保健所)

区 分	所 在 地	院 長 名	設 立 年 月	種 別	専 門 科 目	収 容 能 力	医 師	看 護 婦	そ の 他
国立療養所	銀水園 大字橋1044	長岡 研二	昭和19年 5月	国立	結 核	470	10	63	9
大牟田市立 病院	不知火町3丁目	二宮 秀夫	" 25年 8月	市立	内科、外科、耳鼻咽喉科、産婦人科、レントゲン科、小児科、	84	10	26	3
" 若宮病院	若宮町105	井上 生二	" 7年 5月	市立	法定傳染病	69	2	3	1
三池鋳業所 病院	天領町100	源 龍眼	" 22年 3月	個人	総 合	227 (35)	(81)	(134)	
" 山の上分院	山の上町7	相川 春雄	" 23年10月	"	"	89			
" 勝立分院	大字西米生	菊田 裕	" 25年 5月	"	内科、小児科、皮膚泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、レントゲン科	23	7	18	19
大牟田 保 養 院	大字川尻144	蓮沢 孝義	" 26年 6月	"	小児科、神経科、精神科、内科	40	1	2	4
木 下 病 院	三川町4丁目35	木下 榮	" 26年 7月	"	内科外科呼吸器及泌尿器科性病科	20	3	2	4
村尾産婦人科病院	古町25	村尾 信逸	" 2年 3月	"	産婦人科	20	2	5	1
済生会大牟田病院	大字田隈810	水武 良矩	" 8年 3月	法人	総 合 (歯科除く)	76	4	10	2

註 大牟田市立病院院長名は8月1日現在で掲載した。

第 4 表

昭和27年月別市立病院患者取扱数

毎月の新患の取扱数のみを掲載した。

(市立病院)

区 分	内 科		外 科		耳 鼻 科		産 婦 人 科		小 児 科	
	外 来 者	入 院 者	外 来 者	入 院 者	外 来 者	入 院 者	外 来 者	入 院 者	外 来 者	入 院 者
昭和27年 1 月	802	467	759	574	572	44	333	97	290	33
2	799	365	941	651	742	29	389	126	267	38
3	1,139	389	1,062	654	676	71	442	182	332	63
4	1,388	594	910	742	813	147	455	219	426	107
5	1,421	552	808	996	724	61	478	213	408	103
6	1,489	608	653	924	833	76	602	129	391	129
7	1,642	677	949	1,091	1,107	180	574	154	469	114
8	1,649	606	987	980	1,607	116	695	250	502	74
9	1,672	714	893	989	1,093	125	758	181	517	55
10	1,574	824	947	1,057	894	94	546	260	576	4
11	1,385	756	868	805	738	57	607	163	537	30
12	1,121	781	805	672	672	35	439	192	566	24
合 計	16,081	7,333	10,582	10,135	10,471	1,035	6,318	2,166	5,281	774

區 分	眼 科		皮膚泌尿器科		總 計		合 計
	外 来 者	入 院 者	外 来 者	入 院 者	外 来 者	入 院 者	
昭和27年 1 月	—	—	—	—	2,756	1,215	3,971
2	—	—	—	—	3,138	1,209	4,347
3	—	—	—	—	3,651	1,359	5,010
4	178	—	232	5	4,402	1,814	6,216
5	375	—	462	33	4,676	1,958	6,634
6	358	13	622	56	4,948	1,935	6,883
7	606	47	844	69	6,191	2,332	8,523
8	676	66	872	28	6,988	2,120	9,108
9	671	10	603	58	6,207	2,132	8,339
10	505	10	531	122	5,573	2,371	7,944
11	500	4	414	50	5,049	1,865	6,914
12	397	49	470	11	4,470	1,764	6,234
合 計	4,266	199	5,050	432	58,049	22,074	80,123

第 5 表

昭和24年～27年結核患者発生及び死亡

(市保健所)

區分	男				女				合 計			
	発 生	死 亡	死亡総数	同比率	発 生	死 亡	死亡総数	同比率	発 生	死 亡	死亡総数	同比率
昭和24年	823	215	1,101	19.5	543	144	941	15.2	1,366	359	2,042	17.6
25	...	186	148	334
26	857	156	993	15.7	642	119	896	11.6	1,499	275	1,889	14.6
27	846	124	905	13.7	592	99	842	11.8	1,438	223	1,747	12.8
1月	71	9	89	10.1	50	4	91	4.4	121	13	180	7.2
2	50	14	86	16.3	44	8	72	11.1	94	22	158	13.9
3	53	16	90	13.7	39	8	75	10.7	92	24	165	14.5
4	67	4	86	5.9	45	6	73	8.2	112	10	141	7.1
5	49	11	68	16.2	36	12	70	17.1	85	23	138	16.7
6	74	14	66	21.2	43	12	52	23.1	117	26	118	22.0
7	63	16	76	21.1	57	11	75	14.7	120	27	151	17.9
8	94	10	68	14.7	76	7	66	10.6	170	17	134	12.7
9	90	10	59	16.9	62	5	69	7.2	152	15	128	11.7
10	95	10	81	12.3	62	8	82	9.8	157	18	163	11.0
11	76	4	71	5.6	53	11	57	19.3	129	15	128	11.7
12	64	6	83	7.2	25	7	60	11.7	89	13	143	9.1

第 6 表

昭和27年結核患者年令別発生死亡数

昭和27年12月末

(市保健所)

區分	年 令 別													計	
	0~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60以上		不詳
男 発生	15	25	25	67	142	136	86	86	77	55	56	22	54	—	846
男 死亡	2	—	2	6	6	13	16	21	8	12	9	11	18	—	124

第 6 表

昭和27年結核患者年令別発生死亡数 (続)

昭和27年12月末

(市保健所)

区 分	年 令 別														計
	0~4	5~9	10~14	15~19	20~24	25~29	30~34	35~39	40~44	45~49	50~54	55~59	60以上	不詳	
女 発生	22	30	35	67	77	139	87	40	28	18	13	14	15	7	592 99
女 死亡	10	3	—	12	16	16	10	7	5	4	4	2	10	—	
計 発生	37	55	60	134	219	275	173	126	105	73	69	36	69	7	1,438 223
計 死亡	12	3	2	18	22	29	26	28	13	16	13	13	28	—	
比率 発生	2.6	3.8	4.2	9.3	15.2	19.1	12.0	8.8	7.3	5.1	4.8	2.5	4.8	0.5	100.0 100.0
比率 死亡	5.4	1.3	0.8	8.1	9.9	1.3	11.7	12.6	5.8	7.2	5.8	5.8	12.6	—	

第 7 表

昭和27年主要病種別死亡数

(市保健所)

区 分	全結核	下痢腸炎 2才未 満以上	腸炎 2才 以上	癌及悪 性腫瘍	頭蓋内 血管の 損傷	気管 支炎	肺炎	腎炎	先天性 弱 質	老衰	不慮 の 傷害	心臓性 疾 患	胃潰瘍	その他 の全死 因	計
男	124	25	31	78	82	24	46	32	41	36	67	66	41	212	905
女	99	10	47	82	90	19	43	47	38	77	20	66	17	187	842
計	223	35	78	160	172	43	89	79	79	113	87	132	58	399	1,747

第 8 表

昭和27年乳児死亡者原因調

(市保健所)

病 名	下痢腸炎 腸潰瘍	先天性 弱 質	早 産	乳児固有 の疾患	肺 炎	気管支炎	麻 疹	脚 気	百日咳	その他 の死 因	計
死亡数	23	79	2	13	29	6	5	3	3	49	212

第 9 表

昭和22年~27年法定傳染病発生及び死亡数

(市保健所)

区 分	赤 痢		腸チフス		パラチフス		デフテリヤ		疫 痢		日本脳炎		流 脳		猩紅熱		合 計	
	発生	死亡	発生	死亡	発生	死亡	発生	死亡	発生	死亡	発生	死亡	発生	死亡	発生	死亡	発生	死亡
昭和22年	35	7	42	6	2	1	137	10	—	—	1	—	3	—	220	24
23	28	15	12	2	3	—	49	6	1	—	1	—	—	—	94	23
24	22	11	9	3	7	—	41	4	3	2	2	—	1	—	85	20
25	171	46	10	1	9	1	59	5	10	2	—	—	2	—	261	55
26	799	86	6	—	1	—	34	2	207	76	6	3	1	1	24	1	1,078	169
27	551	6	2	—	1	—	33	1	138	49	4	1	1	—	2	—	732	57
1月	47	—	—	—	—	—	4	1	2	2	—	—	—	—	—	—	53	3
2	52	—	—	—	—	—	2	—	11	7	—	—	—	—	1	—	66	7
3	58	1	—	—	—	—	2	—	7	2	—	—	—	—	—	—	67	3
4	27	1	—	—	—	—	6	—	13	4	—	—	—	—	—	—	46	5
5	31	—	—	—	—	—	—	—	7	2	—	—	1	—	—	—	40	2
6	46	—	—	—	—	—	—	—	13	1	—	—	—	—	—	—	59	1
7	71	—	1	—	—	—	—	—	24	7	—	—	—	—	—	—	96	7
8	89	3	—	—	—	—	2	—	24	10	3	1	—	—	—	—	118	14
9	64	1	1	—	—	—	3	—	15	4	—	—	—	—	—	—	83	5
10	29	—	—	—	1	—	1	—	11	4	1	—	—	—	—	—	43	4
11	22	—	—	—	—	—	4	—	6	4	—	—	—	—	—	—	32	4
12	15	—	—	—	—	—	9	—	5	2	—	—	—	—	—	—	29	2

第 10 表

昭和27年性病者月別発生状況

(市保健所)

区 分	梅 毒		淋 病		軟性下疳		第四性病		果 計		合 計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
昭和27年1月	25	17	30	34	2	—	—	—	57	51	108
2	5	17	4	48	1	—	—	—	10	65	75
3	15	17	16	60	2	—	—	—	33	77	110
4	9	5	20	55	2	1	—	—	31	61	92

第10表

昭和27年性病患者月別発生状況(続)

(市保健所)

区 分	梅 毒		淋 病		軟性下疳		第四性病		累 計		合 計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
5	19	6	18	48	4	—	—	—	41	54	95
6	14	8	4	65	1	1	—	—	19	74	93
7	16	6	26	90	1	1	—	—	43	97	140
8	11	28	19	42	6	1	—	—	36	71	107
9	6	2	17	43	5	—	—	—	28	45	73
10	16	2	18	85	7	—	—	—	41	87	128
11	21	11	24	67	6	3	—	—	51	81	132
12	2	12	13	57	3	2	—	—	18	71	89
合 計	159	131	209	694	40	9	—	—	408	834	1,242

第11表

昭和27年性病患者年令別発生状況

(市保健所)

區 分	梅 毒		淋 病		軟性下疳		第四性病		男 女 計		合 計
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	
患者総数	159	131	209	694	40	9	—	—	408	834	1,242
10才未満	7	8	—	—	—	—	—	—	7	8	15
11～15	1	—	—	—	—	—	—	—	1	—	1
16～20	17	12	19	272	12	3	—	—	48	287	335
21～25	44	32	90	300	17	6	—	—	151	338	489
26～30	22	35	48	97	6	—	—	—	76	132	208
31～35	14	21	18	18	3	—	—	—	35	39	74
36～40	17	7	15	6	—	—	—	—	32	13	45
41～45	9	5	4	—	—	—	—	—	13	5	18
46～50	9	2	6	1	—	—	—	—	15	3	18
51～55	6	2	—	—	—	—	—	—	6	2	8
56～60	—	1	—	—	—	—	—	—	—	1	1
60才以上	7	3	—	—	—	—	—	—	7	3	10
不詳	6	3	9	—	2	—	—	—	17	3	20

第12表

昭和27年職業別性病患者発生状況

(市保健所)

区 分	会社員	工 員	官公吏	農 業	商 業	飲 業	船 員	工 業	従業婦	無 職	土建業	不 詳	その他	計
梅 毒	38	40	4	—	5	26	6	—	44	104	2	9	12	290
淋 病	68	45	17	—	2	37	10	3	671	35	1	10	4	903
軟性下疳	17	12	—	1	—	6	—	—	7	3	—	1	2	49
第四性病	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
計	123	97	21	1	7	69	16	3	722	142	3	20	18	1,242

第13表

出 産 状 況

昭和27年12月末

(市保健所)

区 分	年 令 別	年 令								
		15～19	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50才以上	
出生數	男	60	620	965	651	330	92	4	1	
	女	50	619	894	621	311	85	4	1	

第14表

妊婦検査

(市保健所)

区分	血清検査		レントゲン検査	
	人員	陽性	人員	要精検
昭和27年 1月	449	8	447	13
2	416	11	411	13
3	398	15	336	13
4	376	11	372	10
5	445	9	430	17
6	441	14	426	19
7	494	11	486	13
8	381	9	378	7
9	513	12	525	14
10	433	22	433	16
11	325	18	388	21
12	389	13	376	13
計	5,160	153	5,008	159

第15表

保健所取扱業者

昭和27年12月末

(市保健所)

飲食業	食品製造業	食品販賣業	旅館	湯屋業	理髪理容業	クリニック所	興業者	弊獣処理業	乳処理業	食肉販賣業	食肉製造業	その他
889	261	227	61	113	272	31	8	1	7	55	2	13

第16表

昭和27年予防接種状況

(市保健所)

区分	総数	腸チフス パラチフス	痘瘡	ジフテリア	百日咳	結核 B C G
接種対象	194,000	154,000	17,000	13,000	10,000	...
接種完了	134,870	93,173	14,121	17,086	7,169	3,321

第17表

ツベルクリン反応検査状況

(市保健所)

接種者数	陽性	疑陽性	陰性	反応受検者数	B, C, G 接種者数
66,751	39,612	4,569	17,635	61,816	19,190

註 B, C, G接種者は陰性及び疑陽性のもの

2 清掃

清掃の概況

本市各戸から排出される塵芥及び尿尿の量は逐年人口の累増によるものと昼間人口の量をも見込み膨大なものでこれと衛生的又都市美化の面からみても完全処理を目的に諸般の企画検討を要し清掃施設の増強を図らねばならない過程にある状況である。市民の周辺から汚物を撤去する所謂清掃事業に対し安全な効果的なしかも経済的な方法による本市の規模に適應した施策の樹立に邁進している。

27年度に於ける處理概況は次の通りである。

1. 塵芥處理 蒐集地域内世帯数24,864戸より排出される1日の量62,160kg(1戸平均2.5kgとして)と推定して従来之が65%程度処理をしていたが本年度は74%の処理をなし9%の向上を見ている。
2. 汚泥處理 35kmに及ぶ下水溝と路線の二部の道路側溝の汚泥の浚渫を重点的に実施し二ヶ月に一巡するを目的としてきた。
3. 駆除作業 傳染病予防法 第十六條にもとづき傳染病の媒介をなす鼠族昆虫類の撲滅をはかり夏期に蚊蠅の駆除を行い冬期に鼠駆除を実施し併せて市民の文化水準の向上の為指導啓蒙に当り懇談会幻燈会を催しこれに加え染料平野山社宅を始め計六ヶ所の環境衛生模範地区を指定して大体所期の成果を得た。

4. 尿尿処理 事業は26年度に再開されたのであるが器材人員に制限され市内汲取区域内の戸数 20,347戸の内申込により処理戸数8,495戸の汲取処理を実施し23~25日に一巡するよう計画実施した。

第18表

清掃従業者及び器具數

昭和27年12月末

(市清掃課)

監督並に 監視吏員	自動車 運転手	馬車人夫	清掃夫	焼却場人夫	公共便所掃除夫	下水道掃除夫	計
10	7	10	90	4	2	9	132
自動車	馬車	焼却炉	荷車	リヤーカー			
7	10	4基連結	25(塵芥)	35(尿尿)			

註 自動車7台は塵芥用2台と尿尿車用5台

第19表

汚物搬出延車及び人員數

昭和27年12月末

(市清掃課)

区 分	塵 芥			汚 泥			尿 尿	
	焼却 kg	埋立 kg	延人員	埋立 kg	浚渫量 m ²	延人員	延車数 台	延人員
總 計	4,335,245	10,737,579	11,760	2,836,782	18,164	1,735	3,064	11,228
自動車	789,500	930,300	2,788	1,361,000	—	136	3,064	11,228
馬車	656,333	7,022,316	3,157	—	—	—	—	—
リヤーカー・荷車	2,889,412	2,884,963	5,815	1,475,782	18,164	1,735	—	—

註 トラック1台に100桶運搬

第20表

汚物搬出量及び塵芥焼却數

昭和27年12月末

(市清掃課)

區 分	塵 芥		汚 泥		尿 尿	
	一日平均 搬出重量	延重量 kg	一日平均 搬出重量	延重量 kg	一日平均 搬出重量 台	延重量 kg
總 計	49,031	15,072,824	9,451	2,836,782	160	48,160
自動車	5,732	1,719,800	4,532	1,361,000	160	48,60
馬車	24,395	7,678,649	—	—	—	—
リヤーカー 荷車	18,914	5,674,375	4,919	1,475,782	—	—

3 国民健康保険

国保の概況

本市は昭和19年4月1日普通健康保険組合の設立により本事業を始めたのであるが戦時下の世相の困乱により、組合員の移動甚だしく昭和20、21両年度においては加入者の激減を来し事業も極度の不振の為に中止せざるを得ない状態に至つたが本事業の性質が社会福祉施策の特異性に鑑みこれが立直りに全力をあげて奮闘したものである。

昭和22年度に至り医療費の高騰に逢着したが幸に大牟田医師会有志の発起による大牟田社会保険推進連盟が組織され、保険診療の趣旨徹底を期することになつたので未加入者の自発的加入申込により、漸く一機望みを見出し昭和22年7月国民健康保険法の一部が改正せられたのを契機として昭和25年4月1日を期し市営事業として発足した。因みに昭和27年度においては通常国保事業の山といはれたのであるが本市の場合もその意にたがわず長期に亘る炭労、電産の争議に関連し、保険料徴収面に及ぼす影響も少なからず困難を来し、反面給付については受診率の大巾上昇により赤字財政に悩まされ、苦難の年ではあつたが、保険料の値上給付範囲の縮小等、保険運営の目的に逆行するが如き手段を講ぜずして昭和28年を迎えたことは将来の事業運営に多大の試煉であつた。本年度は政府においても社会保障制度の根幹たる本事業の重要性と運営の困難性を認められ第16特別国会において療養給付費に対する助成交付金制度の実施をみたるは保険者多年の宿望がある程度達成されたこととなり将来の事業運営面に多大の結果をもたらすと同時に社会保険制度の強化推進に一大光明を見出したのである。

第 21 表

国民健康保険療養給付状況

昭和 28 年 3 月 末

(市国民健康保険課)

区 分	件 数	給 付 額	診 療 日 数	一件当り平均 診 療 費	一件一日当り 平均 診 療 費	一件当り 平均日数	受 診 率
一般 診 療	81,432	51,693,669	608,109	634.81	85.09	7.46	157.65 %
歯科 診 療	10,789	7,101,089	44,461	658.18	159.75	4.12	20.88
計	92,221	58,794,758	652,570	637.54	90.18	7.07	178.54

第 22 表

昭和27年度国民健康保険収納状況

(市国民健康保険課)

区 分	調 定 総 額	收 納 総 額	未 收 額	收 納 率
保 險 料				
現 年 度	23,330,000	19,181,580	4,148,420	82.2 %
過 年 度 繰 越	4,959,791	776,663	4,183,128	15.7
計	28,289,791	19,958,243	8,331,548	70.5

第十二編 労働及び住宅

- 1 労働
- 2 住宅

第十二編 労働及び住宅

1 労働

労働の概況

終戦後一時は経済恐慌の危機到来をも流布されたインフレも、昭和23年ドッジ財政の実施以来、昭和25年頃より一應安定期に入るとともに、各種産業は経営の合理化に乗り出し、資本の蓄積、雇用量の縮少、人員整理等を行つて来たのであるが本市における雇用状況は昭和22年度73.5%求職に対する（就職歩合）を最高に昭和25年度13.8%、同26年17.5%と急激に減少して示されている。朝鮮動乱が休戦状態に入った昭和27年度における労働市場の状況は9月化学工業部門の大量解雇となつたため、著しく失業者の増加を見その影響は極めて大なるものがあつた。昭和27年度における求人主として中小企業者からのもので毎月あまり変化はなく1月乃至3月が他の月よりいくらか上まわつているのは新規学校卒業生の求人があるためで一般的に低調であり市内各事業所共に門戸をとざし一般就職は殆んど困難な状態にある。

第1表 昭和21年度～27年度職業紹介状況 (公共職業安定所)

区分	求 人			求 職			就 職			求職に対する就職歩合		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
昭和21年	8,719	1,391	10,110	7,438	1,081	8,519	4,351	392	4,743	58.5	36.3	55.7
22	8,161	1,137	9,298	7,477	594	8,071	5,696	236	5,932	76.2	39.7	73.5
23	4,933	1,306	6,239	4,270	1,088	5,358	2,990	620	3,610	70.0	57.0	67.4
24	5,730	1,689	7,419	8,515	3,730	12,245	5,340	1,182	6,522	62.7	31.7	53.3
25	1,417	1,386	2,803	8,622	4,344	12,966	937	856	1,793	10.9	19.7	13.8
26	1,606	1,446	3,052	7,536	3,711	11,247	1,172	793	1,965	15.6	21.4	17.5
27年 4月	138	111	249	637	350	987	198	79	277	31.1	22.6	28.1
5	93	148	241	616	361	977	129	96	225	20.9	26.6	23.0
6	127	105	232	601	360	961	59	55	114	9.8	15.3	11.9
7	195	134	329	885	458	1,343	190	57	247	21.5	12.4	18.4
8	121	95	216	520	296	816	57	50	107	10.9	16.9	13.1
9	121	97	218	1,204	422	1,626	86	61	147	7.1	14.4	9.0
10	130	120	250	510	299	809	47	66	113	9.2	22.1	13.9
11	122	116	238	553	254	807	64	67	131	11.6	26.4	16.2
12	86	103	189	359	198	557	65	49	114	18.1	24.7	20.4
28年 1月	268	229	497	688	298	986	77	44	121	11.2	14.8	12.3
2	421	121	542	864	461	1,325	107	73	180	12.4	15.8	13.6
3	254	135	389	802	379	1,181	304	102	406	37.9	26.9	34.4
計	2,076	1,514	3,590	8,239	4,136	12,375	1,383	799	2,182	16.8	19.3	17.6

第2表 日雇労働者 (公共職業安定所)

区分	求 人			求 職			就 職			求職に対する就職歩合		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
昭和27年												
4月	15,101	14,582	29,683	21,456	19,563	41,019	14,952	14,470	29,422	69.7	73.9	71.7
5	16,182	15,511	31,693	24,109	23,067	47,176	16,085	15,455	31,540	66.7	67.0	66.8
6	15,612	13,838	29,450	27,431	23,895	51,326	15,563	13,821	29,384	56.7	57.8	57.2
7	19,045	16,684	35,729	25,631	23,387	49,018	18,990	16,656	35,646	74.1	71.2	72.7
8	17,872	16,582	34,454	24,484	21,090	45,574	17,841	16,568	34,409	72.9	78.6	75.5
9	16,427	14,587	31,014	24,860	22,215	47,075	16,368	14,549	30,917	65.8	65.5	65.7
10	17,462	15,168	32,630	25,307	22,442	47,749	17,418	15,128	32,546	68.8	67.4	68.2
11	17,240	13,291	30,531	23,881	20,313	44,194	17,224	13,279	30,503	72.1	65.4	69.0
12	24,793	20,892	45,685	26,112	21,707	47,819	24,788	20,889	45,677	94.9	96.2	95.5
28, 1	20,095	16,209	36,304	26,886	23,115	50,001	20,075	16,193	36,268	74.7	70.0	72.5
2	19,796	15,924	35,720	25,683	21,265	46,948	19,796	15,922	35,718	77.1	74.9	76.1
3	24,422	21,716	46,138	26,529	24,278	50,807	24,232	21,693	45,925	91.3	89.3	90.4
合計	224,047	194,984	419,031	302,369	266,337	568,706	223,332	194,623	417,955	73.9	73.1	73.5

第 3 表

昭和27年度産業分類別就職状況

(労政事務所)

區 分	昭 和 2 7 年 月 別												計	
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3		
農 業	男女計	1	4	1	—	—	—	—	2	—	1	—	—	9
		1	4	2	—	—	—	—	2	—	1	—	—	10
林 業	男女計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
鉱 業	男女計	16	1	2	—	—	4	—	—	—	28	—	—	51
		16	1	2	—	—	5	—	—	—	28	—	—	52
建 設 業	男女計	13	11	7	7	6	21	4	2	12	16	25	23	147
		2	5	4	5	2	4	2	7	1	3	2	2	39
製 造 工 業	男女計	97	65	15	122	17	21	14	33	21	21	32	203	661
		18	37	18	16	15	15	17	28	11	16	36	50	277
卸 賣 及 び 小 賣 業	男女計	50	40	20	41	20	28	18	21	27	10	30	53	358
		23	20	16	25	16	13	18	14	21	17	23	27	233
金 融 及 び 保 險 業	男女計	1	1	1	1	2	2	1	—	1	—	1	—	11
		4	4	2	1	2	1	8	4	5	—	2	1	34
不 動 産 業	男女計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
運 輸 通 信 及 び そ の 他 公 益 事 業	男女計	8	2	9	16	3	6	2	1	3	—	9	6	65
		—	1	1	2	—	1	3	—	—	1	2	2	13
サ ビ ー ス 業	男女計	12	5	4	3	9	4	8	3	1	1	10	19	79
		31	29	13	8	15	26	18	14	11	7	8	20	200
公 務	男女計	—	—	—	—	—	—	—	2	—	—	—	—	2
		1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1
分 類 不 能 の 業	男女計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合 計	男女計	198	129	59	190	57	86	47	64	65	77	107	304	1,383
		79	96	55	57	50	61	66	67	49	44	73	102	799
	277	225	114	247	107	147	113	131	114	121	180	406	2,182	

第 4 表

失 業 保 険 受 給 者

(市保険所)

区 分	初 回 受 給 者 数			給 付 延 人 員 (失 業 週 数)			給 付 金 額		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
昭和25年度	5,131	1,981	7,112	101,890	41,363	143,253	118,172,662	24,851,057	143,033,719
26	2,084	717	2,801	76,250	30,559	106,809	103,556,002	21,667,599	125,223,601
27	2,631	896	3,527	65,637	23,618	89,255	96,720,595	18,988,755	115,709,350

第 5 表

労 働 組 合 調 (昭和27年末)

市内に主なる事務所を設置するもののみ。

(労政事務所)

區 分	組 合 数	組 合 員 数		
		男	女	計
国 地 方 家 公 務 公 務 (教 育)	3	58	8	66
	2	754	455	1,209

第5表

労働組合調(統) 昭和27年末
市内に主たる事務所を設置するもののみ

(労政事務所)

区	分	組合数	組合員数		
			男	女	計
石化 第金	炭素	2	640	141	781
	一次金属	2	19,677	1,048	20,725
	属製品	9	9,521	844	10,365
	鋳工製造	1	2,029	174	2,203
	製造業	1	64	8	72
食糧 御運	品及び	1	8	—	8
	製造業	2	57	107	164
	サービス	3	200	66	266
	供給	6	1,436	97	1,533
	業体	1	5	3	8
鉄道 通水分	道及び	2	441	9	450
	通信	3	387	138	525
	衛生	2	170	19	189
	生産業	1	550	650	1,200
計		41	35,997	3,767	39,764

第6表

労働組合連合団体

昭和27年12月末

(労政事務所)

名	称	所在地	構成団体	組合人員
大牟田	地方労働組合評議会	大牟田市有明町48	17	36,128
大牟田	市教職員組合	〃 笹林町	2	1,209
大牟田	市役所職員組合連合会	〃 有明町36	4	970
国鉄	労働組合大牟田支部	〃 有明町	4	800
日本自治	団体労働組合総連合福岡県連合会	〃 有明町36	9	6,646

第7表

労働争議発生件数

昭和27年12月末

(労政事務所)

区	分	公務	石炭業	化学業	電業	金業	運送	食品業	商業	教育	団体	機器工	金業	計
月	昭和27年1月	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	3	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	4	—	—	3	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	5	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	6	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	7	—	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	8	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	9	—	1	2	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	10	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	11	—	—	—	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	12	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
要求項目	賃金増額	—	2	4	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	労働協約	—	4	4	—	2	—	—	—	—	—	—	—	—
	雑給与	—	—	1	1	1	—	—	—	—	—	—	—	—
	退職金制度改正	—	2	2	—	1	—	—	—	—	—	—	—	—

2 住 宅

住宅の概況

本市における住宅は終戦前の昭和19年2月現在約36,000千戸を有し人口17萬9千であつたが昭和20年の戦災及び疎

開により1万戸を失い終戦当時は約26,000千戸となつたのである。その後県、会社、市民の努力により約8500戸の復興を見るに至り市においても鋭意住宅復興に努め昭和27年度までに1300有余を建設いたしたのである。

然るに昨年6月頃の住宅状況をみても住宅に34,500有余戸に対し人口198,000有余にして住宅戸数においては昭和19年の戸数に到達したのであるが人は既に20,000人の増加を見ているのであつて昭和19年当時の住宅1戸5名の比率にいたしても既に4000有余戸の住宅不足の状況にありその上終戦後急造された住宅は市営住宅を始め一般個人住宅においても狭少なものが多くなお立地条件その他により使用困難の状況にありこれ等を総合すれば現在5000有余戸の住宅が不足しているものと思はれる。

市においては毎年百有余戸を国庫補助を受け建設しつつあるのであるが早急に且つ恒久的な住宅建設対策樹立を関係当局に懇望しつつある。

第8表 居住住宅数

昭和23年8月住宅調査

(市庶務課)

区 分	全 市		内 訳				
	戸数	%	旧 市	内	新 市	内	
居住住宅総数(戸)	30,951	%	17,107	%	13,404	%	
種 類	専用住宅(%)	28,281	91.4	15,368	89.8	12,913	96.3
	併用住宅(%)	2,670	8.6	2,179	10.2	491	3.7
所有区分	持家(%)	13,013	42.0	6,701	38.2	6,312	47.1
	借家(%)	8,035	26.0	5,921	33.7	2,114	15.8
	借与家(%)	9,903	32.0	4,925	28.1	4,978	37.1
建築時期	戦前(%)	20,923	67.6	11,050	63.0	9,873	73.7
	戦時(%)	2,965	9.6	759	4.5	2,170	16.2
	戦後(%)	7,063	22.8	5,702	32.5	1,361	10.1
居住人員	総人口(人)	179,687		100,987		78,700	
	居住人員(%)	173,208	96.4	96,676	95.7	76,532	97.2
	その他の人員(%)	6,479	3.6	4,311	4.3	216	2.8
	一戸当居住人員(%)	5.60		5.51		5.71	
畳 数	総敷数(枚)	406,122.0		24,857.5		213,264.5	
	一戸当敷数(%)	14.87		14.07		15.91	
	一戸当平均(%)	2.66		2.55		2.79	
戦後建築住宅の所有区分	持家(戸)	3,479	49.3	2,849	50.0	630	46.3
	借家(%)	1,681	23.8	1,596	28.0	85	6.2
	借与住宅(%)	1,903	26.9	1,257	22.0	646	47.5

第9表 年度別市営住宅調

(市社会課)

区 分	第一種住宅		第二種住宅		引揚者住宅		その他の住宅		計
	戸数	家賃	戸数	家賃	戸数	家賃	戸数	家賃	
昭和20年度	—	—	394	90	—	—	—	—	394
22	360	上 300 下 200	—	—	—	—	—	—	360
23	60	500	—	—	—	—	—	—	60
24	120	750	—	—	22	上 200 下 100	—	—	142
25	147	800	—	—	15	400	7	上 500 下 400	169
26	90	900	10	650	6	上 500 下 450	—	—	106
27	93	2,300 1,100	20	650	5	500	—	—	118
計	870		424		48		7		1,349

註 昭和21年度は建設されなかつた。

第10表

市營住宅一覽表

昭和28年3月末

(市社会課)

区 分	戦災住宅		庶民住宅		賃貸住宅		無縁故者住宅		計
	戸数	家賃	戸数	家賃	戸数	家賃	戸数	家賃	
昭和21年	394	25	—	—	—	—	—	—	394
22	394	50	360	上級 240 下級 120	—	—	—	—	754
23	394	50	360	〃	60	500	—	—	814
24	394	90	360	上級 300 下級 200	120	500	—	—	874
25	395	90	360	〃	154	500	27	100	962
26	395	90	360	〃	280	700	27	100	1,062
27	395	90	360	〃	393	{ 特耐2,300 木造1,100 二種650	27	100	1,175

第11表

市營住宅建設状況

(市社会課)

区 分	戸数	建坪	畳敷数	建築場所	竣工年月	構 造
総 数	1,349	8984.19	12,642.50			
昭和20年	137	856.25	1,233	小浜町82(元青校跡)	昭和21. 9.13	木造瓦葺平家二戸建
〃	117	731.25	1,053	〃 88(元八校跡)	〃	〃
〃	29	181.25	261	大字西米生556 一部橋横	〃	木杉皮平家 一〃
昭和22.9 住宅営団より	54	337.50	486	小浜町77(九電敷地)		〃 二〃
〃	28	175.00	252	新地町51		〃
〃	29	217.50	261	〃		木造二階建 38〃
昭和22年	152	720.00	1,596	〃	22. 3.21	〃 16〃
〃	32	168.00	336	〃	23. 3.31	〃 12〃
〃	36	189.00	378	〃	〃	〃 4〃
〃	4	21.00	42	〃	〃	〃 8〃
〃	16	84.00	168	〃	〃	〃 12〃
〃	12	63.00	126	新地町1	〃	〃 10〃
〃	10	52.50	105	〃	〃	〃 6〃
〃	12	63.00	126	中町1丁目33	〃	〃 8〃
〃	8	42.00	84	八尻町2丁目33	〃	〃 6〃
〃	6	31.50	63	〃	〃	〃 8〃
〃	8	42.00	84	亀谷町51	〃	木造瓦葺平家二階建12戸建
〃	12	63.00	126	若宮町87	〃	〃 8〃
〃	16	84.00	168	〃	〃	〃 12〃
〃	36	189.00	378	右京町40	〃	木造瓦葺平家 2〃
昭和23年	52	520.00	546	龍湖瀬町22	24. 3.31	〃
〃	4	40.00	42	新地町1	〃	〃
〃	2	20.00	21	小浜町82(元青校跡)	〃	〃
〃	2	20.00	21	小浜町88(元八校跡)	〃	〃
昭和24年	120	1200.00	1,260	大字白銀777	25. 3.31	木造瓦葺平家引揚者住宅
〃	17	112.00	170	大字橋1,022	〃	〃
〃	5	42.85	82.50	大字新町468	〃	木造瓦葺平家1戸建及2戸建
昭和25年	15	112.50	135	大字橋1,022	〃	〃
〃	5	38.00	45	小浜町88	26. 3.31	〃
〃	2	15.20	18	大字白川378	〃	〃
〃	9	90.00	108	大字白銀777	〃	〃
〃	90	900.00	1,080	大字白川378	〃	〃
〃	44	440.00	528	小浜町88	〃	〃
〃	4	40.00	48	小浜町82	〃	〃
昭和26年	32	320.00	384	大字白川373	27. 3.31	〃
〃	19	190.00	228	大字白川450	〃	〃
〃	10	100.00	120	明治町2丁目45	〃	〃
〃	10	80.00	90	鳥塚町130	〃	〃
〃	13	138.58	136.50	松原町2丁目36	〃	〃
〃	16	170.56	168	大字吉野914	〃	〃
〃	5	36.25	37.50	鳥塚町	〃	〃
〃	1	10.0	10.50	三池	〃	〃

第11表

市營住宅建設状況(続)

(市社会課)

区分	戸数	建坪	畳敷数	建築場所	竣工年月	構造
昭和27年	18	189.00	189	西浜田町109	27.12	〃
〃	20	233.00	180	小浜町17	〃	〃
〃	56	588.00	588	大字吉野914	28.4.30	〃
〃	6	63.00	63	小浜町17	28.5.15	〃
〃	3	31.50	32	明治町2丁目45	28.5.15	〃
〃	2	21.00	21	白川373	28.5.15	〃
〃	8	55.68	84	川尻263	28.5.15	特殊耐構造2階付1棟四戸建
〃	5	37.50	37.50	橋	28.5.15	木瓦平一戸建及二戸建

第12表

校 区 別 建 物

昭和27年12月末

(市税務課)

区 分	棟 数	坪 数	評 価 額
總 數	27,692	916,513	8,079,626,108
白 川	1,383	32,634	188,331,702
笹 林	895	20,873	197,334,427
明 治	1,207	25,391	147,978,153
中 友	1,456	31,680	280,282,028
上 官	1,014	20,184	113,533,898
平 原	1,220	27,510	150,793,882
不 知 火	898	21,982	184,125,179
大 正	736	16,264	135,495,730
川 尻	834	23,099	146,138,132
諏 訪	219	5,272	28,851,982
三 川	1,235	31,639	189,587,412
三 里	894	21,303	115,654,704
駿 馬 南	799	19,458	72,870,296
駿 馬 北	1,141	24,475	101,969,546
笹 原	296	6,969	22,074,673
玉 川	652	18,942	50,086,989
三 池	1,320	36,533	121,662,752
銀 水	1,206	38,724	148,443,895
倉 永	747	21,638	69,063,389
手 鎌	1,216	32,213	91,479,367
上 内	638	22,842	58,061,998
法 人	7,686	416,877	5,465,805,974

註 法人全校区に点在する。

第12表

建物の種類構造別 昭和27年12月末

(福岡県12市比較表)

(市庶務課)

区 分	木 造 家 屋		区 分	木 造 以 外 の 家 屋		
	棟 数	坪 数		棟 数	坪 数	
大 牟 田 市	総 数	27,210	786,966	総 数	482	129,547
	住 店 家	19,064	454,201	住 店 家	—	—
	舖 兼 住 宅 舖 家	2,979	73,612	店 工 倉 種 家	19	6,037
	店 農 家	806	37,491	舖 場 庫 屋	352	114,476
	農 家	2,132	83,260	倉 種 家	103	7,623
福 岡 市	工 倉 種 家	1,087	70,099	舖 場 庫 屋	6	1,405
	場 庫 屋	573	37,776	総 数	97	55,771
	家 屋	569	30,527	住 店 家	9	3,675
	総 数	54,936	1,677,660	舖 兼 住 宅 舖 家	25	10,944
	住 店 家	38,050	976,592	店 工 倉 種 家	9	16,926
若 松 市	舖 兼 住 宅 舖 家	5,822	169,734	舖 場 庫 屋	5	484
	店 農 家	1,998	55,390	倉 種 家	49	23,742
	農 家	4,875	162,783	工 倉 種 家	1,117	122,670
	場 庫 屋	843	45,275	家 屋	2,226	145,216
	家 屋	2,226	145,216	総 数	12,807	385,953
八 幡 市	住 店 家	8,461	207,531	住 店 家	—	—
	舖 兼 住 宅 舖 家	1,173	36,397	舖 兼 住 宅 舖 家	8	1,860
	店 農 家	298	21,137	店 工 倉 種 家	171	27,456
	農 家	1,357	56,838	舖 場 庫 屋	55	4,037
	場 庫 屋	311	11,073	倉 種 家	1	280
戸 畑 市	倉 種 家	137	8,310	工 倉 種 家	1,070	44,667
	総 数	28,390	777,290	家 屋	311	11,073
	住 店 家	20,056	401,760	舖 兼 住 宅 舖 家	892	29,077
	舖 兼 住 宅 舖 家	4,329	111,153	店 農 家	223	30,284
	店 農 家	684	30,894	農 家	1,564	58,527
直 方 市	農 家	1,564	58,527	場 庫 屋	642	115,595
	場 庫 屋	892	29,077	家 屋	892	29,077
	家 屋	223	30,284	総 数	16,413	347,388
	総 数	16,413	347,388	住 店 家	12,968	211,752
	住 店 家	12,968	211,752	舖 兼 住 宅 舖 家	2,247	57,295
飯 塚 市	舖 兼 住 宅 舖 家	180	8,887	店 工 倉 種 家	203	97,029
	店 農 家	—	—	舖 場 庫 屋	11	2,549
	店 農 家	—	—	倉 種 家	—	—
	場 庫 屋	692	60,268	工 倉 種 家	692	60,268
	家 屋	281	6,835	家 屋	281	6,835
飯 塚 市	倉 種 家	45	2,501	倉 種 家	45	2,501
	総 数	12,638	300,323	総 数	221	111,004
	住 店 家	5,288	136,521	住 店 家	5	11,023
	舖 兼 住 宅 舖 家	1,220	39,159	舖 兼 住 宅 舖 家	2	403
	店 農 家	222	4,841	店 工 倉 種 家	203	97,029
飯 塚 市	農 家	4,966	84,440	舖 場 庫 屋	11	2,549
	場 庫 屋	500	22,127	倉 種 家	—	—
	家 屋	365	8,394	工 倉 種 家	—	—
	総 数	12,638	300,323	家 屋	12	782
	住 店 家	5,288	136,521	住 店 家	—	—
飯 塚 市	舖 兼 住 宅 舖 家	1,220	39,159	舖 兼 住 宅 舖 家	1	25
	店 農 家	222	4,841	店 工 倉 種 家	3	130
	農 家	4,966	84,440	舖 場 庫 屋	3	53
	場 庫 屋	500	22,127	倉 種 家	3	572
	家 屋	365	8,394	工 倉 種 家	—	—
飯 塚 市	倉 種 家	77	4,839	倉 種 家	77	4,839
	総 数	6,956	230,581	総 数	3	674
	住 店 家	3,892	104,015	住 店 家	—	—
	舖 兼 住 宅 舖 家	1,708	58,448	舖 兼 住 宅 舖 家	2	354
	店 農 家	272	15,724	店 工 倉 種 家	—	—
飯 塚 市	農 家	471	15,927	舖 場 庫 屋	—	—
	場 庫 屋	230	18,274	倉 種 家	1	320
	家 屋	257	7,739	工 倉 種 家	—	—
	総 数	6,956	230,581	家 屋	—	—
	住 店 家	3,892	104,015	住 店 家	—	—

第12表

建物の種類構造別 (続) 昭和27年12月末

福岡県12市比較

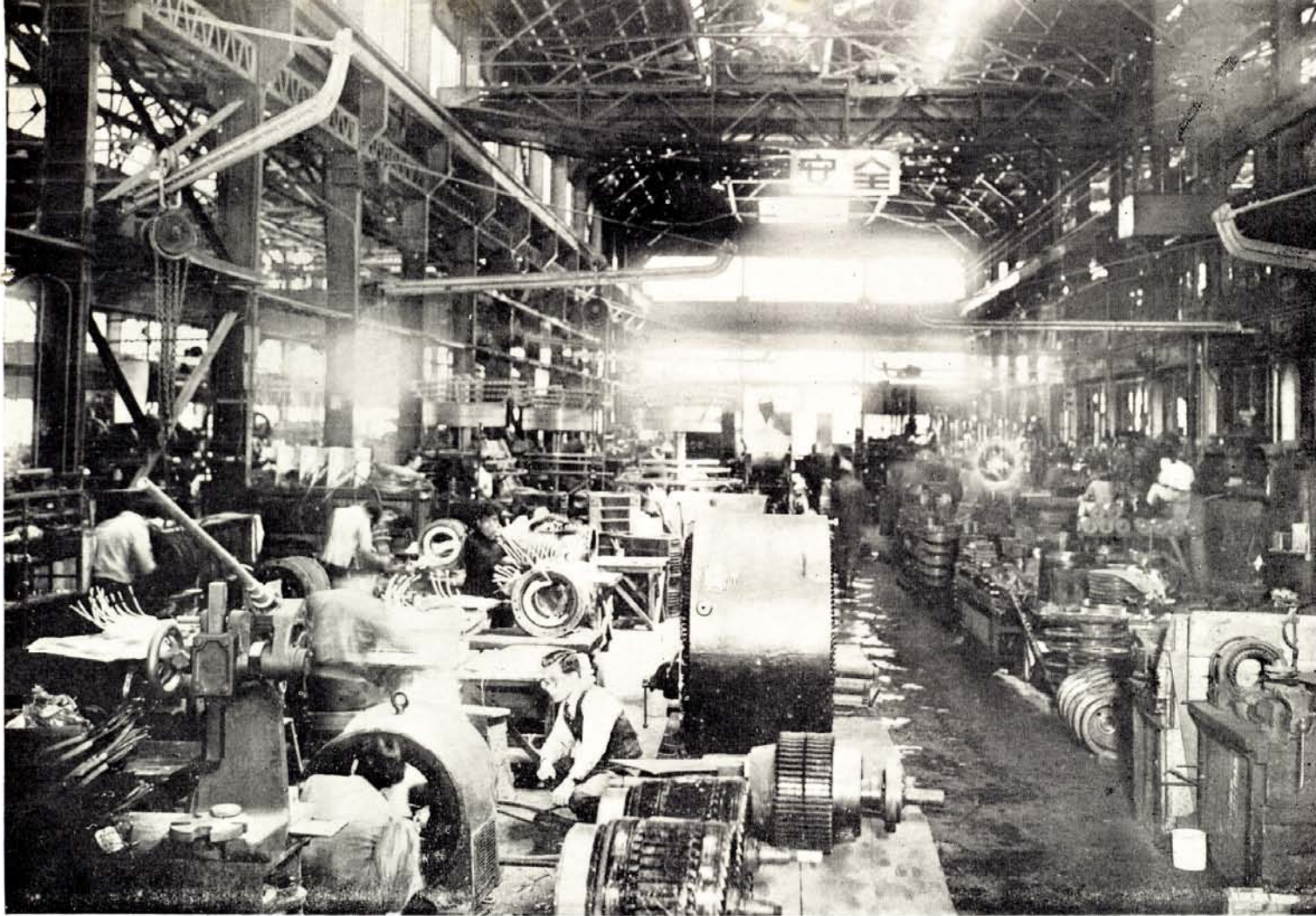
(市庶務課)

区 分	木 造 家 屋		區 分	木 造 以 外 の 家 屋		
	棟 数	坪 数		棟 数	坪 数	
久留米市	総 数	16,029	553,817	総 数	55	42,239
	住店 兼 家	8,169	217,522	住店 兼 家	3	814
	店 舖 兼 宅 舖	3,297	120,836	店 舖 兼 宅 舖	15	6,089
	店 農 家	365	14,623	店 農 家	18	30,508
	農 家	3,183	125,520	農 家	14	3,735
小倉市	工倉 場	379	38,766	工倉 場	5	1,093
	倉 種 家 庫 屋	269	16,301	倉 種 家 庫 屋		
	倉 種 家 庫 屋	367	20,249	倉 種 家 庫 屋		
	総 数	39,247	923,761	総 数	232	59,710
	住店 兼 家	20,556	440,523	住店 兼 家	85	2,865
門司市	店 舖 兼 宅 舖	1,915	31,257	店 舖 兼 宅 舖	41	8,627
	店 農 家	3,559	123,659	店 農 家	70	45,150
	農 家	11,939	197,945	農 家	29	1,340
	工倉 場	365	86,974	工倉 場	7	1,728
	倉 種 家 庫 屋	437	16,953	倉 種 家 庫 屋		
田川市	倉 種 家 庫 屋	476	26,450	倉 種 家 庫 屋		
	総 数	18,190	457,826	総 数	56	63,755
	住店 兼 家	11,561	256,332	住店 兼 家	—	—
	店 舖 兼 宅 舖	1,367	32,517	店 舖 兼 宅 舖	15	5,235
	店 農 家	1,363	43,624	店 農 家	22	55,264
柳川市	農 家	2,691	47,294	農 家	19	8,206
	工倉 場	366	46,480	工倉 場	—	—
	倉 種 家 庫 屋	367	24,052	倉 種 家 庫 屋		
	倉 種 家 庫 屋	475	7,527	倉 種 家 庫 屋		
	総 数	9,514	306,812	総 数	54	6,822
久留米市	住店 兼 家	5,707	156,445	住店 兼 家	—	—
	店 舖 兼 宅 舖	699	41,126	店 舖 兼 宅 舖	—	—
	店 農 家	133	11,162	店 農 家	41	5,203
	農 家	2,071	67,287	農 家	13	1,619
	工倉 場	536	20,613	工倉 場	—	—
柳川市	倉 種 家 庫 屋	338	7,521	倉 種 家 庫 屋		
	倉 種 家 庫 屋	30	2,558	倉 種 家 庫 屋		
	総 数	4,704	157,178	総 数	—	—
	住店 兼 家	1,412	44,819	住店 兼 家	—	—
	店 舖 兼 宅 舖	653	29,559	店 舖 兼 宅 舖	—	—
柳川市	店 農 家	23	557	店 農 家	—	—
	農 家	2,299	69,849	農 家	—	—
	工倉 場	127	5,945	工倉 場	—	—
	倉 種 家 庫 屋	129	2,878	倉 種 家 庫 屋	—	—
	倉 種 家 庫 屋	61	3,571	倉 種 家 庫 屋	—	—

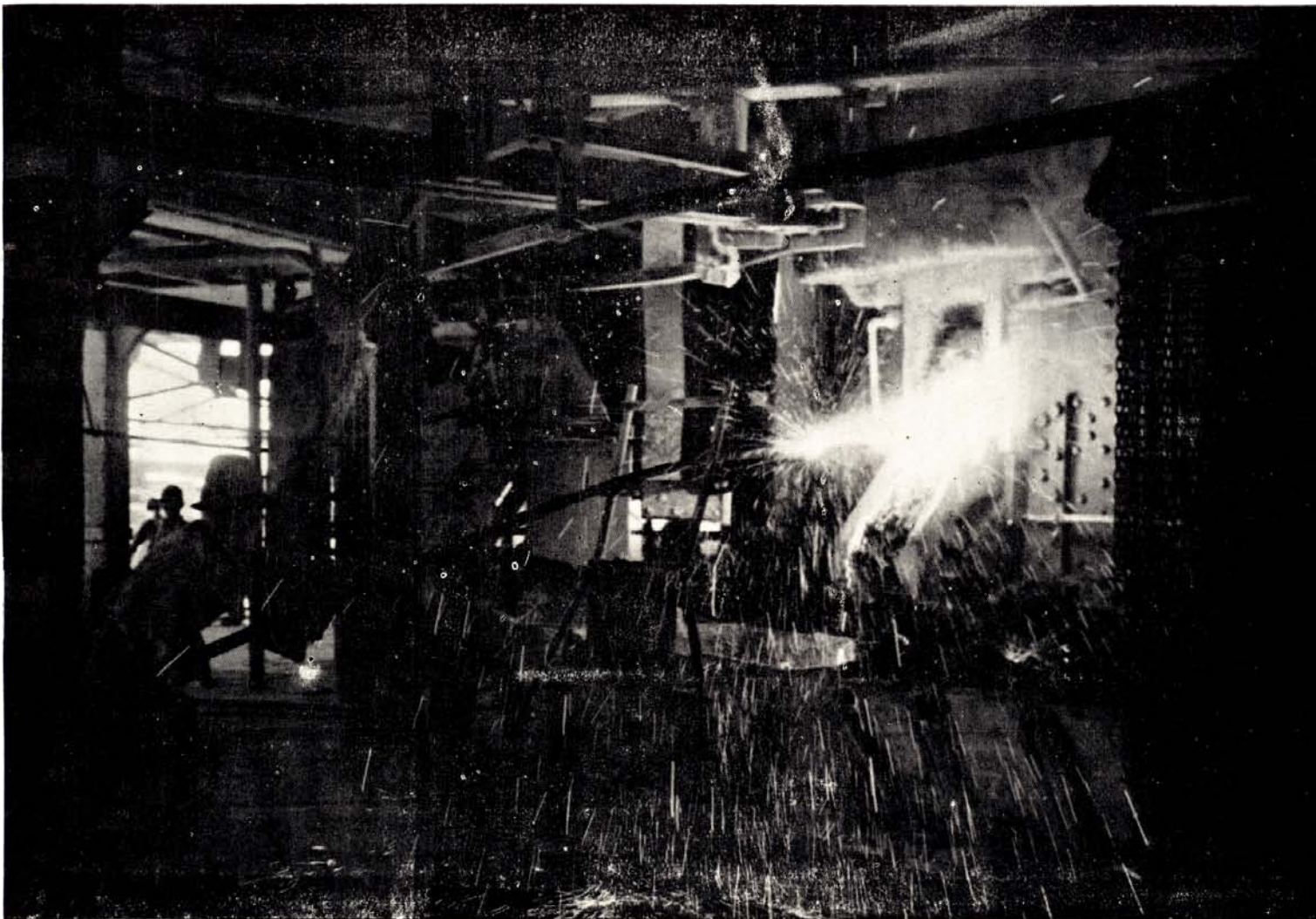
註 門司市の分は27年1月1日現在調

第十三編 觀 光

- 1 產 業 觀 光
- 2 一 般 觀 光
- 3 年 中 行 事
- 4 事 業 所 案 內



電機工場（三池製作所）



カーバイト取り出し（電化大牟田工場）



普 光 寺

第十三編 觀 光

1 産 業 觀 光

区 分	所 在 地	距 離 大牟田駅より	交 通 及 び 所 要 時 間		
			乗 合 バ ス	徒 歩	
三 井 鋳 山 〃 〃 〃 〃	三 川 鋳 四 山 鋳 宮 浦 鋳 三 池 鋳 三 池 鋳 池 製 作 所	西 港 町 四 山 町 宮 山 町 新 旭 港 町 旭 港 町	2 軒	10分	4分
			4	15	15
			1	5	10
			3	10	6
			1	7	10
三 井 化 学	三 池 染 料 工 業 所	浅 牟 田 町	15	5	10
東 洋 高 圧 〃 電 氣 化 学 三 三 井 州 九	大 浦 工 場 横 須 田 工 場 大 牟 田 池 製 煉 電 所 三 池 製 煉 電 所	三 坑 町 新 開 〃 西 米 生 浅 牟 田 町 新 港 町	2	7	15
			3	5	30
電 氣 化 学 三 三 井 州 九	大 浦 工 場 横 須 田 工 場 大 牟 田 池 製 煉 電 所 三 池 製 煉 電 所	三 坑 町 新 開 〃 西 米 生 浅 牟 田 町 新 港 町	2	5	20
			2	10	15
			1.5	5	7
			4	15	15

2 一 般 觀 光

区 分	所 在 地	距 離 大牟田駅より	交 通 及 び 所 要 時 間		事 蹟
			乗 合 バ ス	徒 歩	
延 命 公 園	昭 和 町	2軒	5分	15分	自然林の常緑に包まれた丘陵で面積約6万坪公認グラウンド、野球場、レスリング場、動物園、児童遊園等の近代的設備を網羅した大公園で昭和10年2月風致地区に指定された。園内桜樹多く桜の名所として知られ、その頂上は炭都の絶好の展望台を形成している。
黒 崎 公 園	大 字 岬	5.5軒	30分	60分	市の北西部、有明海に突出する黒崎岬の先端にあり、山海の景勝を共に満喫することのできる南筑後唯一の名勝地で白砂の中に巨奇石が散在した有明海を望んでそびえたつ松の緑も美しい、山上よりは筑後平野の遠望が展げ玉垂宮や黒崎澄道記の碑塔等の史蹟も多く花時には全山桜の名所として遊覧客相続き、昭和25年縣立矢部川公園の地域に編入され園内施設の増強に依る観光價値の飛躍的増大が期待されている。
笹 林 公 園	笹 林 町	0.2軒	不要	3分	市中心部にあり、小公園で音楽堂、三池炭鋳創業記念碑等があり桜並木の雅趣も豊かな小憩に好適を極めている。
普 光 寺	三 池 今 山	7.5軒	15分	1.30分	市の東部三池山の中腹にあり、人皇第五十二代嵯峨天皇の御宇三位中納言師親公の開墓、寺齡千百年に及ぶ古刹本尊は千手觀世音菩薩であつて寺宝に傳教大師自作の薬師如来を始め仁王尊像、毘沙門天像不動明王像、大日如来並に開山自作の慈覺大師像等がある。就中境内の臥龍梅は樹齡七百年と傳へられ天下の名木紅梅として普くその名を知られている。寺苑一帯は白梅千数百本を算え、林泉の美極まるどころなく、二千余坪に及ぶこの広地は普光公園として開放せられ内外観光客の観覽の的となつている。又近くには高田行宮跡、刀匠三池典太光世の屋敷跡がある。
法 雲 寺 (十八羅漢)	倉 永	5.5軒	電車10分 バス15分	70分	法雲寺本尊釈迦牟尼佛の脇佛として安置されている。十八羅漢は貞享三年唐匠遊君亨の彫像で刀法の妙技神に迫り、生氣躍動するの観がある。又永祿七年の大地蔵塔がある。

区 分	所 在 地	距 離 大牟田駅より	交通及び所要時間		事 蹟
			乗合バス	徒 歩	
萩尾穴観音	東 米 生	5軒	15分	20分	元祿五年八年当時の奉行中村伊右門によつて再興されたもので岩窟内に観世音菩薩の石体を安置してある。この穴観音こそは考古学上の貴重な資料であつて、二玄室及び羨道より成り、奥玄室には棚があつて、その下には朱の壁画が見られる筑後掘指の古墳である。
不 知 火	有 明 海	2軒		20分	本市地先有明海々上に陰曆七月十五日及び大晦日に出現し古来神祕な存在として幾多の傳説と学理的推究の蹟を残しているが依然としてその実体は千古の謎として深いヴェールに包まれている。
三 池 港海水浴場	新 港 町	5軒	20分		新港町の地先有明海の海浜にある白砂の灘で埋立地と三池港の突堤に抱まれた波靜かに眺望絶佳の海水浴場である。
潮 干 狩	有 明 海	2-3軒	黒崎公園 海水浴場	参照	市の西方有明海の沿岸一帯は全国有為の潮干狩の好適地で、名産、たいらぎ、あげまき、あさり、めくわじや、みろく貝を始めその種類実に数十種に及んでいる。
大間山 ハイキング コース	三池公園 (南登山口)	6軒	15分	10分	最近新に設定されたもので、三池公園→大間山→一本松高地→上内峠に至る変化に富んだ行程 6軒の一般コースである。大間山の山頂及び一本松高地上よりの雄大な眺望、中間地点湖畔の情趣はハイカーの快い疲労を払拭して余すところない、特にコースの両端が定期運行バスに結合しているために利用者にとっては頗る至便である。(道路標記完備)
	上内峠 (北登山口)	11軒	30分	20分	
甘木山ハイ キングコース	西鉄倉永駅 (東登山口)	5軒	電車10分 バス15分	登山口 到着	市内西鉄倉永駅→法雲寺(十八羅漢)→法雲院殿基所→龍首山→甘木山丘陵→黒崎公園に至る行程 4軒の軽コースであるが眺望広濶、史蹟の散在、交通至便は本コースの特色であり、梅、椿、竹林、桜等の樹種多く雅趣捨て難いものがある。(本年度内に道路標設置)
	黒崎公園 (西登山口)	5.5軒	バス30分	" "	
三池山ハイ キングコース	教楽木 (南登山口)	7軒	40分		教楽木バス停留所→奥院→三池山頂→三池権現→八角目峠→三池公園に至る行程 6軒の健脚向重コース、三池山は海拔 389米幾多の傳説に富む靈峰で、中腹には普光公園や八角目古墳等があり眺望の雄大は各コース中の随一である。(本年度内に道路標設置)
	三池公園 (北登山口)	4軒	15分		
高取山ハイ キングコース	櫛 野 (南登山口)	5軒	35分		櫛野(玉川支所前)→峠→鷹取山→龍湖瀬池に至る行程 4軒の軽コース。 鷹取山の西方中腹丘陵は今を去る 480年の昔土農傳治左衛門の石炭発見の由緒の地で西方一帯は所謂本市の中心市街地区を形成し山頂よりの近代的市街美の鳥瞰は本コース中最大の魅力である。 (本年度内に道標設置)
	龍湖瀬池 (北登山口)	2.5軒	7分	15分	

3 年 中 行 事

行 事	期 日	行 事	期 日
春季虚空藏祭	(旧) 2月 13日	九州都市對抗陸上競技大会	7月 上旬
春季馳馬天満宮祭	2月 25日	大牟田・三池祇園祭	7月 13日
春季市金比羅祭	3月 1日	精霊流し・花火大会	8月 15日
春季都二十市例祭	3月 10日	秋季虚空藏祭	9月 13日
大牟田神社園祭	3月 20日	秋季金比羅祭	10月 10日
	5月 上旬	秋の二十日市	10月 20日
	5月 16日	秋季馳馬天満宮祭	10月 25日
	(旧) 6月 13日	恵比須市	11月 中旬

市内主要事業所案内

三井鉱山株式会社三池鉱業所

沿革 今を去る四百八十年前足利時代文明年間稲荷村の一農夫、稲荷山に於て柴を刈り枯葉を集めて暖を取つたその時黒色の岩片が燃焼するのを見、『燃ゆる石』として珍重したと伝えられる。これが当炭鉱発見の初めである。その後土地の者が自由に掘つた時代もあつたと思われるが、やがて稲荷山の開坑を見、徳川の中享保年間に平野山嘉永年間に生山が開掘され領主などの私営が行われて居た。この三山に当地方の名を冠して三池炭山といつたのが三池炭鉱の名称の起りである。明治6年官有となり同年大浦斜坑、同15年七浦堅坑、同30年宮浦堅坑を開鑿し、産出額は年を逐つて増加した。明治22年1月、三井家がこれを譲り受け、同27年勝立堅坑、同31年万田堅坑、大正12年四山堅坑を開き、鋭意設備の改善と事業の拡張とに努めた結果、長足の進歩を遂げた。更に昭和12年9月三川斜坑の開鑿を開始し、同15年10月から出炭を見るに至つたが、三川鉱は特にその近代的諸装置の充実や規模の雄大を以て開え機械化のモデル、マインとなつて居る現在、稼行中のものは宮浦、万田、四山、三川、大浦の5坑で他は廃坑となつて居る。目下勝立坑も復活準備中である。

炭層及炭質 炭層は大牟田郡中に介在し、上層、本層、盤下層など9層あるが稼行に堪ゆるものは右の三層のみである。本層は全鉱区に発達している主要炭層であつて高層1.5m乃至7.6mに達し平均2.4m余(約8尺)なので三池8尺層の名がある走向は南40度、東傾斜は南西5度半で、層中に他の岩石層を挟介していない。上層は鉱区のはゞ中央部より北部にのみ存し本層の上部80米内外の位置にあり、層厚約1.6米(5尺)で多少の「夾み」を持つ盤下層は、露頭附近の東部に本層の下部1乃至5m内外の位置にあり、層厚1.5m乃至5m内外の位置にあり層厚1.5mである。右の三層は全区域に亘り同所に存する事は稀で本層単一又は本層と上層、或は本層と盤下層と二層といふ風に区域により賦存状態が異つている。推定埋藏量約138,000,000吨である。炭質は特異の淡赭色を帯び強粘結性で長火焰、発熱量高く、ガス分に富み且つ夾雑物が少いので汽罐用やガス並びにコークス製造用に適し、特に鍛冶用炭としては性能全国にその比をみない品質は本層、盤下層の順位となる。

三井鉱山株式会社三池製作所

沿革 明治15年工部省三池鉱山局附屬の製作課として大牟田村字横須に創設した炭鉱用機械の修理に従事当時建坪51坪従業者28名であつた明治22年三池炭鉱と共に三井家の経営に移り同28年現在の地に移転すると共に工場を開拡張して炭鉱用諸機械の製作に着手した。明治42年三池港に隣接して四山分工場を設置して船舶用諸機械の修繕製作開始明治44年には電気工場を拡張して電動機並に一般電気諸機械の修理製作に従事し又化学工場用諸機械の修理製作を始めた。大正8年歐州大戦以来一般工鉱業界の発展に伴つて工場を逐次拡張し優秀な工作機械試験機等を増設した昭和12年渡瀬工場の設置計画をして昭和16年に完成した。

主要製品 製品としては炭鉱及鉱山用諸機械、化学工業用諸機械、電気諸機器、船舶用諸機器等特殊な機械の製作を特色としているがなかでもコールカッター・タービンポンプ、切羽積込機、電動ホイスト、ギヤードモータ、電動主票生産品 ポンプ、捲上機、送風機、切炭機、切羽積機、鉄柱、カッペ、コンベヤ、その他

三井鉱山株式会社三池港務所

沿革 明治6年三池炭山は官營となり更に明治22年1月之が経営は三井に移譲された当時三池炭は大牟田港より小型帆船により運送されていたが該港は干流の差5米半に及ぶ遠浅の瀉地たる有明海に臨み潮満時と雖も汽船の出入を許さぬのみならず頗る狭隘にして且上流より下流する泥土砂洗積量夥しく不利なる条件下にあつた 又大牟田港に於て積載した帆船は遠く口ノ津港、長崎港に運航の上再び汽船に積替へるの不便があり殊に年々の出炭量の増加は大牟田港の積出能力をはるかに凌駕し海外輸送に重大なる支障を齎らす結果を招来した。依つて潮の満干の差に左右されること容易に且つ経済的に直接船積し得る港湾の要が痛感せられるに至り三池港の人工築港計畫が立案せられ明治35年11月となく工事に着手し約六星霜の年月と巨萬の資材を以て明治41年3月竣工同年4月6日勅令第75号を以て開港場に指定された。三池炭の海上輸送は之を契機として画期的発展を遂げ三池港の面目を一新した。然るに当港に於て1万噸より巨大なる船舶の船渠への入港は不可能なるため専ら大型船石炭積込用として大正15年4月内港東岸に全長91米の繫船壁築造工事に着手し昭和2年5月竣工した。満州事變以来化学工業は急激に発達し三池港の背後地に三池炭を原料とする三池重工業地帯の出現を招来し、その原料及び製品等の取扱ひは驚異的な増加を来すに至り石炭積出港としてのみでなく雜貨港としての工石炭積出と共に雜貨の取扱量も増加の一途を辿り現在に至れり。

主な取扱貨物

石炭、コークス及び塩、米、麦等の食糧、硫安、木材、薬品等の諸雜貨並びに硫化鉄鉱、亜鉛鉱等の諸鉱石

主な施設

外港 三池港突堤灯台を中心とする半径2,700米の円周の一弧内の水域(但し被覆内港域を除く)水深10米以上、1万噸級以上の船舶10隻碇泊可能である。

航路 延長各々約1,800米の南北両突堤内の細長い水域、水深7.3米以上、北突堤突端に三池港突堤灯台がある。

内港 500,000平方米、水深9.5~10.7米

船渠 135,000平方米、水門操作により、常時8.5米以上の水深、水門の幅員は20米

三井化学工業株式会社三池染料工業所

沿革 明治25年三池炭鉱の一所屬事業所として三池焦煤工場を以て横須浜にビーハイプ式コークス炉を増築し、コークス製造を開始したのが当所の始まりである。その後明治35年に下里に石炭水洗工場並びにビーハイプ式コークス炉を築造し、同38年には更に之を拡張してコークス年産四万トンに達したが、需要の激増に対処する為大正2年新たに大牟田市焼石町にコッパー式副産物採取コークス炉を築造し同年に硫安工場及びタール蒸溜工場を設置し其後大正6年迄に引続きナフタリン工場、ベンゾール工場、並びにコッパー式コークス炉の拡張を行い、昭和10年には三池式コークス炉を拡張、更に同14年には両炉を拡張して今日に及んでいる。一方之と並行して大正2年亜鉛鉱を原料とする硫酸工場を設置して硫酸の自給を図り、更に翌大正3年欧州大戦勃発を契機として予定計画中の染料中間物の製造に着手した。即ち大正5年にアニリン染料及びパラトロアニリン等の染料中間体、酸性染料、直接染料の名染料工業所並びに酸硝、塩酸等の無機薬品工場を大正6年には合成石炭酸工場及びアルカリ工場を又大正7年には、食塩電解工場、発煙硫酸工場、硫化染料工場を設立し染料工場の拡張と同時に原料薬品の自給をも図るに至つた而して同年8月に三池染料工業所と改称し、昭和7年人造鹽工場、同11年ミケスレン高級染料工場を昭和12年アヅ染料工場を夫々設立し昭和16年4月には三井鉱山より分離し資本金8千万円の三井化学工業株式会社三池染料工業所として独立出発し日本化学工業の分野に一大貢献をなして来た。

終戦後国内衛生状態の悪化に鑑み医薬品生産の復興拡充が行はれたが次いで戦時中極度の圧迫を受けた繊維工業が輸出産業の花形として重要産業に指定されるに及んで同23年春関連産業として染料工業も同様の取扱を受け当所も輸出向繊維加工用染料の増産を計画し大いに其の発展を期待したのであるが其の後国際状況の變化と共に坐折を余儀なくされ今日に及んでいる。

主要生産品 コークス及びその副産物、合成染料、医薬品及びその中間体、農業薬品、合成樹脂及び可塑剤、工業薬品、その他

三井金属株式会社三池製煉所

沿革 当三池製煉所は、当所岐阜県所在三井神岡鉱業所附屬三池亜鉛製煉所として発足し、前後数年間にわたる「デスグラツツ」法に依る乾式亜鉛蒸溜法の研究完成を見たので明治45年3月頃より起業準備に取掛り工場敷地を三池（現在大牟田市）に定め同年7月1日本工事に着手した。爾来鋭意工事の進捗に努め大正3年8月一部の試運転を遂行翌年1月1日より営業を開始その後大正5年1月1日より独立製煉所となり大正7年8月15日名称を現在の「三共製煉所」と呼称することとなつた。更に昭和10年5月1日三成鉱業株式会社彦島製煉所を合併当所彦島工場として発足其の後同工場は昭和21年9月25日彦島製煉所として独立発足する事となつた。其の後工場の拡張と之に関連する事業設備の増設による幾多変遷を経て昭和25年5月1日三池鉱山株式会社の金属部門は企業再建整備法により第二会社として神岡鉱業株式会社を設立新発足をし当所はその一事業所として進展したのであるが、昭和27年2月 神岡鉱業株式会社を三井金属株式会社と改称した。

整型蒸溜建設計画について 当三池製煉所の蒸溜亜鉛製煉設備は水平式であるため多数の熟練工を必要とする。然るに曩に米国に於て完成を見たる整型蒸溜法は独り米国に於ける亜鉛製煉技術界は劃期的革命をもたらすのみならず欧州に於ても之が普及を見つつある現状である。本法の特長は極度の機械化のため人件費の節減と高採収率による低コスト生産が可能であることであり従つて海外市場に於ける競争力を強めるものである。ここに於て目下当所銀水工場用地に鋭意之が建設中にして昭和28年7月より四基操業を開始し、昭和29年6月八基に増炉する予定であり八基完成すれば亜鉛地金約12,000T/年生産されることになる。

主要生産品 蒸溜亜鉛地金(M.M.C) 蒸溜亜鉛末、電気亜鉛地金(E.M.C) 金属カドミウム98%硫酸、亜鉛板、一号亜鉛華、耐火煉瓦、その他

電気化学工業株式会社大牟田工場

沿革 電化大牟田工場は大正5年3月空中窒素固定法による石灰窒素の製造を目的として、大牟田河口五万一千余坪の埋立地に起工、同10月カーバイト、同12月石灰窒素の製造を開始した。当時は未だ石灰窒素肥料の真価が一般農村に認識されていなかったたのでその一部を原料として所謂変成硫安を製造し、又その際に生ずるブロー滓を利用して大正7年よりポルトランドセメントの製造を開始した。大正14年12月大淀川第一発電所（最大出力15,000KW）が竣工し、同時に角型電炉三基を増設した。その電極にはノルウェー国デットノルスク会社の特許ゼーデルバック（自焼連続）式電極を我が国で初めて使用した。当時の電気炉はすべてアーク式のものであり、電力の効率が、著しく悪いので昭和4年、前記デットノルスク会社よに技師を招聘し、当工場の技術陣との苦心研究の末、抵抗式電炉の操業に成功した。その結果カーバイトの製造能率と、その品位は著しく向上した。それで当時としては東洋一を誇る15,000KWの最進式超大型カーバイト用電炉を建設し昭和6年1月その操業を開始した。昭和6年9月大淀川第二発電所（最大出力30,000KW）が完成し自家発電の体制が確立した。昭和8年電化式窒化炉（自己反応熱用、連続操業式）三十基尙窒素ガスは最初硫安工場の廃ガスを精製、使用していたが肥料工場の増設により不足をきたしたので昭和7年、四百五十立方メートル、次いで同12年9百立方メートルのクロード式空気液化による窒素ガス製造機を増設し逐次その数を増した昭和10年カーボンランダム（炭化硅素）製造に於て電気炉による工業化に成功し、「デンカランダム」の名で市販し同13年よりメタリックシリコン（金属硅素）を大型電炉によつて開設した。又17年より電化シリサイド（硅化石灰）同18年よりアセチレンブラックの製造に夫々着手した。

尙ブラックは翌19年日産5トンの新工場を建設した、同16年電力国家管理法により、前記大淀川両発電所（出力45,000KW）は日本発送電株式会社で強制出資を余儀なくせられ同社より従来の受電実績年平均電力24,000KWを

電気化学工業株式会社大牟田工場 (続)

受電することになった。然しながら戦局の進展に伴い受電量は遞減し終戦以来僅かに10,000KW前後に減じ、電力問題は当工場最大の隘路になった。之より先石灰窒素肥料に対する認識が昂まつて来たのでその製造に主力を注ぎ昭和18年に硫安製造を休止した。同20年6月及び8月、三回にわたる空襲により、工作工場、倉庫浴場等被災し、或いは焼失したが、主要部門は幸にも戦災を免れたので食料増産の国家的要請に應え、終戦後直ちに生産を開始した。同22年末に至り被災施設も略々復旧し且つ新たに毎時九百立方メートルのクロード式窒素ガス製造機を増設した。目下石灰窒素の生産を主とし其の他粒状石灰窒素、配合肥料、アセチレンブラックを製造、同27年よりポルトランドセメントの製造をも再開している。

主要製品 石灰窒素、カーバイト、アセチレンブラック、ポルトランドセメント、その他

東洋高圧工業株式会社大牟田工業所

沿革 昭和4年三井鉱山内に臨時窒素工場建設部が設置され、同5年より原料たるコークス炉瓦斯と硫酸との入手上大浦工場と横須工場の建設に着手し、同6年三池窒素工業株式会社が創立され、年産三万六千トンの三井硫安工場が誕生するに至った。その後硫安の重要性は農業政策の一環として取上げられるに及び、需要も逐次増大し、三池窒素の硫安生産も順調の一路をたどり、品質としても又美しく針状結晶の中性21%窒素含有の世界に誇る製品を生産するに至った。昭和6年当時クロード法の米国に於ける実施者たるデュボン社においてコークスより直接アンモニアを製造する方法を発見し、所期の成果を挙げていたのに着目し、デュボン社の特許権買収に乗出し飛躍的發展を期した同8年4月三井鉱山本店に於て、東洋高圧株式会社の創立総会が開催され、5月より工事に着手し、10年6月に竣工、最初の硫安生産を見た。もともと同社と三池窒素とは隣接し原料ガスの製法を異にする外、同社の工程は殆んど同一であり、地理的、技術的、資本的に密接な関連があり、12年2月には両社は合併し、大牟田工業所として発足した。以来13年10月には、下関市合成工業株式会社(現在の彦島工業所)を合併し、硫安の外に有機合成品系の事業に進出し更に北海道砂川に硫安工場の建設に着手し、戦時中の悪条件を克服し、昭和21年より操業を開始した。又17年には大船工業所を建設し、尿素系樹能工業の開拓に乗り出した。戦時中大牟田工業所は、前後三回にわたる戦災を被り硫安工場中有数の被害を受けたが、工場中心部のアンモニア合成工場は殆んど被害を受けなかつたので、20年末には一部運転を開始するに至った。しかしながら操業開始以来殊に戦時中の酷使による設備の老朽化と補修の不備による荒廃は漸やく顕著となり生産に及ぼす影響は大きかつた。戦後石炭、電力、肥料等の基幹産業の復興が重要課題となりその一環として当所もG. H. Q. 及び政府より援助を受け設備の復旧補修に努めたため生産は飛躍的に増大し戦前を凌駕するに至り昭和27年3月には創業以来の最大生産量(硫安換算28,834トン)を挙げた、反無硫酸肥料たる尿素は欧米では戦前より用いられているが、我が国では当社北海道工業所が昭和23年始めて大量生産に成功し、当所にて昭和25年末より生産を開始した、当初は農家の要望に應ずるため昭和27年12月本邦初めての粒状尿素の製造に成功し尿素肥料の先覚者として斯界の注視の的となつている。

概況 東洋高圧大牟田工業所は大浦工場と横須工場に分かれて居り大浦工場ではアンモニア、メタノールを製造し、アンモニアを約4km離れた横須工場にパイプで送り硫安、尿素、硝酸等を製造して居る。

当所硫安は品質が優秀であり、特に結晶が大で遊離水及水分は僅少で戦前は「三井硫安」として国内はもとより国外迄もその名は響いたが現在では丸つばめ印の硫安として内外に宣傳され国内に於ては関東地区まで出荷して居り、国外向としてはアメリカ、印度、台湾等迄輸出されている。屑素は無酸肥料である為、多年連用しても土地を酸化させる虞れは全くない新肥料で窒素分は硫安の2倍以上(窒素分46%、硫安は21%)の肥効があり速効性にして永續性があり短期間のうちに全国に普及し遠くフィリッピン、ハワイ等迄も輸出され好評を得ている。

三池合成工業株式会社三池工場

沿革 当社は昭和21年7月1日日本人造石油株式会社が主たる発起人となり、同社の一事業所たる三池工場を母体として設立されたものであるが、當工場は昭和12年三井鉱山株式会社がフィッシャー法による人造石油合成の爲め建設したもので、工場の歴史はその時に始まる。昭和12年三井鉱山株式会社がフィッシャー法による人造石油のパイロット工場として設立した。昭和16年4月三井鉱山株式会社の化学部門が分離独立し三井化学工業株式会社が設立されたので当工場は同社に所属することになった。

昭和18年11月三池石油合成株式会社として三井化学工業株式会社より分離独立した。昭和19年10月我国に於けるフィッシャー法による人造石油会社は全部一社に統合され、日本人造石油株式会社が設立され、当工場はその三池事業所となつた。

昭和20年8月終戦により日本人造石油株式会社は、人造石油の製造を中止するに至り、日本人造石油株式会社の第二会社として資本金1千万円を以て当社が設立され硫安増産の国家的要請に應えるべく事業を転換し、石炭を原料とする乾溜工業を主体としてコークス及硫安原料用分解ガスの生産を目的とすると共に各種化学工業品を製造するに至つた。

事業の概況 当社は石炭乾溜によるコークス、硫安製造用原料ガス並にタール、ベンゾール系製品の製造、販賣を主たる業務とする外人造石油製造時代の施設を改装整備して各種化学製品の製造に従事している。

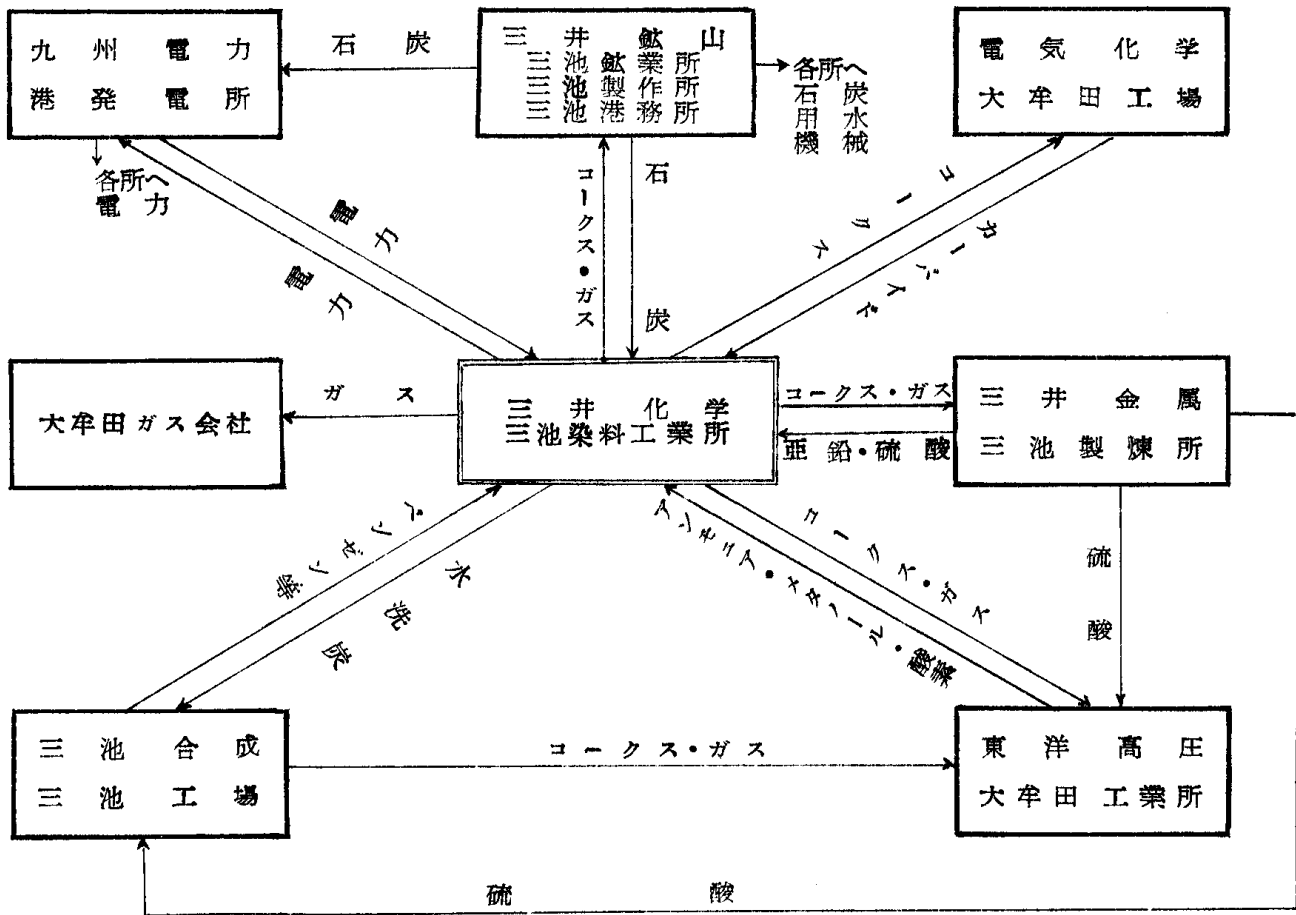
主要生産品目 コークス、硫安製造用原料ガス、副生硫安、硫曹、タール系製品(石炭酸、クレゾールキシレノール、ナフタリン、クレオソート油、アントラセン、ピッチ)ベンゾール系製品(ベンゾール、トリオール、キシロール、ソルベントナフサ、ピリジン)無水フタル酸、カーボンブラック(三池カーボン20号)尿素系合成樹能塗料(ミケラック)ソープレソープ(ミケソープ)

九州電力株式会社港発電所

沿革 当発電所は昭和6年9月三井三池炭鉄の自家用として7,000KW タービン二台と36トンボイラー二台の極小規模の設備で創立せられた。その目的は三池炭鉄の粗炭を使用し湧水の多い同鉄に安全確実な電力を豊富に供給するためであつた。然るにその後大牟田地区各産業の急速な発達に伴い電力の需要が急角度に上昇するので之に対応して4 期に亘り増設を重ねられ現在設備容量141,000KW迄増大した。その間会社も数回變り昭和26年5月電気事業再編成会によつて現在の九州電力株式会社となつた。

目下熱効率向上のため老朽した汽罐設備の入替工事实施中であるが明年(昭和29年)1月にはその第一期工事が竣功することになつている。

三池地区各事業所関連圖



附 錄

1 名 簿 編

- 1 官 公 署
- 2 議 員
- 3 委 員 会
- 4 教 育
- 5 運 輸 通 信
- 6 銀 行
- 7 新 聞 社
- 8 主 要 事 業 所
- 9 会 社
- 10 團 体

2 昭和27年市政日誌

附 錄
1 名 簿 編

官 公 署

昭和28年5月1日

市役所水道局各事務局分は8月1日現在掲載

(順不同)

名 称	所 在 地	電話番号	役 職 名	氏 名
大 牟 田 市 役 所	大牟田市有明町36番地	4 2 2 1	市長	藏一郎 潜一
		4 1 0 1	入室課	忠亀清一 和
		4 1 1 7	秘書課	永司田川田
			課課課課課	吉赤原小吉
			人総庶財稅	渡野村越
			稅籍民政專	猿平中島
			收戶經社福	馬池跡運倉
			商農國民建土	場辺部尾田
			工林健康保	方賀藤方賀口
			課課課課課	戸永野原末
	4 1 0 3	課課課課課	二東井堀益	
	4228 夜	課課課課課	高前猿運	
	4 1 1 7	課課課課課	永伊西池山	
	4 1 0 4	課課課課課	新井横米石松	
	3 9 9 4	課課課課課	川 浜原行	
	6 2 3 8	課課課課課	下堤小柳三	
	3 1 7 1	課課課課課		
大 牟 田 市 立 病 院	大 牟 田 市 不 知 火 町	4 1 0 7	市長	宮 上 田
大牟田市教育委員会事務局	大 牟 田 市 役 所 内	3 1 1 8	院務課	秀菊生次
		6 3 0 4	院務課	瑞 五 三 誌
		3 9 3 5	院務課	田原渡尾
水 道 局	"	4 2 2 1	課課課課課	吉藤 虎
大牟田市選挙管理委員会事務局	"	4 1 0 9	課課課課課	永伊西池山
大牟田市農地委員会事務局	"	4 1 1 0	課課課課課	刃本 龍松
大牟田市議会事務局	"	4 1 0 5	課課課課課	光 二 季
大牟田市監査事務局	"	2 0 0 7	課課課課課	村村山村橋尾
大牟田市警察署	大 牟 田 市 不 知 火 町 3 丁 目	3201~3202	署次長	新井横米石松
			兼務課	川 浜原行
			兼務課	下堤小柳三
			兼務課	
大 牟 田 市 消 防 署	大 牟 田 市 淨 真 町	3 3 4 1	署長	守一也 朗登

市議會議員名簿

昭和28年8月1日

(職席番号順)

議席	氏名	職名	党派別所属	年齢	職業	住所
1	堺山親末	義松清治雄	無所属	46	無職	大牟田市大字草木1037
2	口崎	親末	無所属	68	無職	〃 139
3	森堀江	員	無所属	48	無職	本浜田町15
4	口崎	員	無所属	34	無職	大字草木羽山318
5	口崎	員	無所属	37	無職	平原町103
6	久欠樋西古	員	無所属	49	無職	松原町1丁目2
7	口山賀	員	無所属	54	無職	大字橋628の1
8	口山賀	員	無所属	59	無職	栄町1丁目2
9	野塚垣梅川	員	無所属	53	無職	大字宮崎1
10	口脇原崎口	員	無所属	61	無職	〃 川尻848
11	岩辰一五	員	無所属	41	無職	〃 西米生1~192
12	口脇原崎口	員	無所属	47	無職	不知火町2丁目135
13	口脇原崎口	員	無所属	50	無職	東米生2064
14	古本古朝松	員	無所属	43	無職	左古町4
15	賀村賀岡本	員	無所属	66	無職	大字藤田431
16	初常英恵	員	無所属	44	無職	右京町44
17	賀村賀岡本	員	無所属	47	無職	宮山町42
18	賀村賀岡本	員	無所属	40	無職	四つ山町58
19	賀村賀岡本	員	無所属	40	無職	四つ山町58
20	賀村賀岡本	員	無所属	40	無職	四つ山町58
21	境田末大加	員	無所属	55	無職	不知火町3丁目214
22	中吉楠倉	員	無所属	52	無職	七浦町123
23	中吉楠倉	員	無所属	44	無職	右京町55
24	中吉楠倉	員	無所属	44	無職	小浜町64
25	中吉楠倉	員	無所属	54	無職	大字手鎌1240
26	川原文生喜寛	員	無所属	53	無職	通町1丁目47
27	川原文生喜寛	員	無所属	47	無職	大字歴木1・551・1
28	川原文生喜寛	員	無所属	46	無職	三里町2丁目96
29	川原文生喜寛	員	無所属	46	無職	浄真町128
30	川原文生喜寛	員	無所属	39	無職	白金町81
31	稻宮江山猿	員	無所属	46	無職	〃 165
32	津崎上中渡	員	無所属	56	無職	大字久福木26
33	津崎上中渡	員	無所属	67	無職	正山町20
34	津崎上中渡	員	無所属	58	無職	小川町156
35	津崎上中渡	員	無所属	60	無職	不知火町2丁目1
36	高古坂梶戸	員	無所属	50	無職	西有明町10~1
37	田賀口原上	員	無所属	38	無職	本町2丁目37
38	田賀口原上	員	無所属	55	無職	港町19
39	田賀口原上	員	無所属	47	無職	三川町3丁目73
40	田賀口原上	員	無所属	40	無職	大字草木434

(3) 委員会

昭和28年5月1日

監査委員のみ8月1日現在で掲載

名称	所在地	電話番号	役職名	氏名
教育委員会	大牟田市役所内	3935	委員長	藤黒米三古
			委員	津田倉島賀
			委員	源喜一太郎
			委員	勇利初
			委員	潔潔喜信男
選挙管理委員会	大牟田市役所内		委員長	川水川島中
			委員	崎町口越山
			委員	源喜一太郎
			委員	勝義博
			委員	吾郎孝巧
公安委員会	大牟田市警察署内		委員長	村黒猿
			委員	尾田渡
			委員	信元富
			委員	逸彦雄
監査委員	大牟田市役所内			

(3) 委 員 会 (続)

昭和28年5月1日

監査委員会のみ8月日現在で掲載

名 称	所 在 地	電話番号	役 職 名	氏 名
区 画 整 理 委 員 会	大 牟 田 市 役 所 内		長 長 員	勝樹信藏
			員 員	彦吉郎郎吉
			委 員	透雄次徹三
			副 委	尚利万
			員	輝末代吉猪
			員	賀木畑吉
			員	村仏三
			員	武 義登喜
			員	吉境龍今蓮
			員	尾井崎 彰
			員	尾井崎 野
			員	蓮福梅森上
			員	山石古西河
			員	内丸賀山畑
			員	田本河藤上
農 業 委 員 会	大 牟 田 市 役 所 内	4 1 1 0	長 長 員	登郎郎郎平一
			員 員	勘喜久太
			委 員	達新竹仁
			副 委	佐吉小橋
			員	境吉井松渡
			員	藤田川本
			員	田上尾猿
			員	本永井山上
			員	塚徳坂西井
			員	末古清有中
			員	藤賀水仍島
			員	大伊田梅百
			員	藪藤中崎武
			員	龍江松西江
			員	塚奥古
民 生 委 員 会	大 牟 田 市 役 所 内		常 務 委 員	雄郎男夫一
			員 員	人次平一一
			員 員	善清寅精貞
			員 員	口村原島
			員 員	水鎌永

(3) 委 員 会

昭和28年5月1日

監査委員会のみ8月旧現在で掲載

名 称	所 在 地	電話番号	役 職 名	氏 名
民生委員会	大牟田市役所内		不知火原 笹諏三三 上三玉川 駒馬	性雄住良治 邊山畑岡本 渡小川松山 木藤中坂田 義又里五松 庭好島井中 常定 精三 次郎 樽敦男雄

(4) 教 育

昭和28年5月1日

名 称	所 在 地	電話番号	役 職 名	氏 名
福岡縣立三池高等学校	大牟田市大字草木1020	2 1 7 2	校 長	重紫白江大
〃大牟田北高等学校	〃 甘木109	2 2 6 2	〃	藤垣土崎塚
〃大牟田南高等学校	〃 川尻19	3 5 1 0	〃	市之丞
〃三池北高等学校	〃 吉野1407	3 4 7 9	〃	益秀喜茂
〃三池南高等学校	〃 上官町4丁目77	2 1 7 0	〃	大 専
大牟田工業高等学校	〃 大字 草木852	2 5 2 3	〃	養中安稻中
大牟田女子高等学校	〃 上官町1丁目17	2 3 4 4	〃	老根元員島
大牟田市立右京中学校	〃 右京町1	3 4 1 0	〃	鎌節 秀四
大牟田市立松原中学校	〃 大正町5丁目27	2 0 8 8	〃	河野好園津藤
米生	〃 大字東米生字池の平2963	2 6 3 2	〃	原宮 田崎
勝立	〃 大字西米生畝割1780	2 3 3 9	〃	岡島藤江田
歴木	〃 大字歴木字東浦1150	2 3 2 9	〃	本 井上籠
橋津	〃 大字橋677	3 8 9 2	〃	田 鍋川 清
船光	〃 船津町185	6 2 9 6	〃	田菊徳坂古
白	〃 椿黒町30	4 0 7 2	〃	大島野橋杉
甘木	〃 大字甘木876	2 0 7 4	〃	北猿大塚猿
延命	〃 昭和町214	2 0 7 9	〃	古田 賀中
大牟田市立白川小学校	〃 大字白川242~3	2 2 4 6	〃	種 藏
〃 平原	〃 平原町321	2 4 4 2	〃	木本 平次辰
〃 笹林	〃 笹林町26	2 1 6 2	〃	原渡山本渡
〃 明治	〃 明治町2丁目29	2 1 6 3	〃	廣 喜次茂代学
〃 大正	〃 大正町5丁目4	2 4 7 9	〃	鶴真 龜千
〃 中友	〃 中友町26	3 7 2 1	〃	幸 一壽
〃 上官	〃 宮坂町1	2 1 6 0	〃	
〃 諏訪	〃 諏訪町2丁目111	6 2 6 5	〃	
〃 不知火	〃 不知火町1丁目41	2 4 0 3	〃	
〃 三川	〃 上屋敷町2丁目32	6 1 8 6	〃	
〃 川尻	〃 天領町1丁目145~1	6 1 5 2	〃	
〃 三銀	〃 三里町1丁目715	6 1 5 3	〃	
〃 倉水	〃 大字田隈字玉口232	4 0 9 6	〃	
〃 永池	〃 大字倉永字池の浦1335	3 6 2 8	〃	
〃 三	〃 大字新町字陣屋280	4 0 9 2	〃	
〃 上手	〃 大字上内字宮前157	4 1 9 6	〃	
〃 鎌川	〃 大字唐船丁地394	4 0 7 4	〃	
〃 南	〃 大字櫛野字庄原2623	4 4 4 1	〃	
〃 馬北	〃 大字西米生160	3 5 4 4	〃	
〃 馬	〃 大字川尻117	4 0 7 1	〃	
〃 原	〃 大字西米生1972	2 3 5 0	〃	
〃 高取	〃 大字歴木字平野山	一	〃	

公民館運営審議会委員

代表名	氏名	住所	職業	電話
学校代表 (高等学校)	友成友次	大牟田北高等学校	高等学校長	北高 2172
中学校	稲員鎌造	正山町 1 3 0	中学校長	松原中 2088
小学校	徳永誠	大字宮崎 2 0 8 2	小学校長	諏訪中 6265
各団体代表 (大地評)	坂井魁	大字吉野 9 4 4	教員組合長	笹林小 2162
"(農協)	湯村元昭	大字三池 6 5 4	農業	三池農協 3794
"(体協)	鶴惣市	白金町	大和産業社長	大和産業 2908
"(商工会)	小川力平	大正町 2 丁目 2 4	瓦斯会社長	2829
"(PTA)	諸岡保夫	曙町	ミシン販賣業	2803
"(婦人会)	田中ユキ	宝坂町 2 丁目	無職	—
学識経験者	池末純一	中町 2 丁目 4 3	会社監査役	2923
"	境千丈	大字四箇 4 3	農業	—
市議会代表	樋口種樹	松原町 1 丁目 2	無職	—
"	古賀治	本町 2 丁目 3 7	薬商	3530
"	松本勇	四つ山町 5 8	会社員	—

公民館支館長主事一覽

支館名	結成年月	支館長氏名	主事氏名	支館事務所	電話
白川	27. 7. 6	古賀雄平	片田勇男	白川小学校	2246
平明	26. 9. 9	賀田忠軍	田藤義房	川原小学校	2442
中大	26. 6. 26	末中純一	大近藤年	明中大	2163
	25. 6. 10	池田福	原青		3721
	26. 7. 9				2479
上笹	25. 12. 3	上野敏雄	松浦義盛	上笹官分所	—
笹不知	27. 1. 20	野形太	伊波仁	不知火小	2162
川尻	25. 12. 24	渡政義	黒織早	川尻分所	2403
諏訪	26. 11. 3	畑政里	江田正勝	第三分所	—
	26. 7. 1				6187
三三	26. 12. 15	渡柳武雄	羽江光	三三川小	6186
駛馬	26. 5. 4	小江貞次	飲渡健	駛馬支所	6153
笹	26. 5. 13	島山	斐田勝弘	馬南小	4104
	26. 9. 8			原分所	3544
	26. 11. 15				—
玉高	26. 9. 9	中島敦吉	西村福倉	玉川小	4441
三銀	28. 6. 1	荒樺愛次	鶴大見	三池小	3994
手	26. 7. 15	清深九	大井田	銀手小	4096
	26. 9. 10				4074
	26. 4. 1				—
倉上	26. 3. 6	伊藤蟠龍	德西永山	倉上	3628
	25. 11. 1				4196

(5) 運輸通信

昭和28年5月1日

名称	所在地	電話番号	役職名	氏名
国鉄大牟田駅	大牟田市不知火町	2154	長役	内宮大亀小
銀水駅	" 草木	3480	助長	田原坪崎川
熊本管理局大牟田保線區	" 有明町	2902	助保線區長	兵真広一
				藏男雄郎進

(5) 運輸通信 (続き)

昭和 28 年 5 月 1 日

名	称	所 在 地	電 話	役 職 名	氏 名
大西 大牟田	室貨物 栄町 栄町	大牟田市不知火町	2 4 1 2	貨物主任	木下 正 雄 滝原 善 四 佐宮 太 正 宮木 政 人
		大牟田市栄町	3 4 8 1	庶務助役	
				移動助役	
西 鉄	大 牟 田 駅	大牟田市久保田町		旅客助役	進夫春男雄
西鉄市内線大牟田	運輸事務所	白金町	3 4 0 2	営業所長	富士 芳由雄
西鉄	自動車運輸課			営業主	岡崎 塚子村
大 牟 田	郵便局	不知火町2丁目72	2 2 0 0	局長	賀野 畑口
				課長	古内 川江堺
				課長	森戸 杉增徳
				課長	島野 田永
				局長	永小 蓮井仁
上 官	町 郵便局	大牟田市上町二丁目	3 1 8 7	局長	武 正倉
勝 立	馬橋	大字勝立	3 1 7 3		實 夫 雄 丸 一 鶴 貞 ツ
駛 馬	街 鎌	川尻	3 1 8 1		
手		藤田	3 1 9 1		
		手鎌	3 1 9 3		
銀 倉	水 永	草木	3 1 8 5		
倉 西	永 永	倉永	4 5 4 2		
浜 田	田 田	西浜田町	4 4 4 2		
旭 明	治 明	旭町三丁目	3 1 8 9		
		明治町二丁目			
不 知 火	町 町 町	浄真町	3 1 9 0		
七 浦	里 里	宮山町	3 1 8 2		
通 三	白 井	通町二丁目	3 1 8 8		
		浪花町	6 0 9 2		
		大字東米生	3 1 8 4		
三 川	町 池	三川町一丁目	6 0 9 1	局長	野 樺 口 伊 三 郎
三 大 牟 田	電 話 局	大字三池	4 1 9 4		野 樺 口 伊 三 郎
		不知火町一丁目	2 7 0 0	局長	野 樺 口 伊 三 郎
				課長	野 樺 口 伊 三 郎
				課長	野 樺 口 伊 三 郎
				課長	野 樺 口 伊 三 郎
大 牟 田	電 報 局	大牟田市不知火町	2 3 0 1	局長	野 樺 口 伊 三 郎
				課長	野 樺 口 伊 三 郎
				課長	野 樺 口 伊 三 郎
				課長	野 樺 口 伊 三 郎

(6) 銀行

昭和 28 年 5 月 1 日

(順不同)

名	稱	所 在 地	電 話	役 職 名	氏 名
帝 國 銀 行	大 牟 田 支 店	大牟田市旭町1丁目2	3204	支店長	酒 筒 小 安 江
		旭町1丁目1	3209		
		不知火町1丁目	3211~3215		
		三川町2丁目	6076		
銀 行	大 牟 田 支 店	旭町1丁目2	4211~4213		村 山 形 出 口
		三池新町44	3696		
		築町	3311~3213		
		築町39	4241		
協 肥 筑 西 福	大 牟 田 支 店	築町	4081		田 中 山
		西有明町20	3371~3374		
		不知火町1丁目	3058		
		大高町	3153		
熊 九 長	本 州 崎	築町	2258		原 島 村
		大正町2丁目21	3643		
和 銀 行	大 牟 田 支 店	旭町1丁目2	3204		景 潤 敏 一 興
		旭町1丁目1	3209		
		不知火町1丁目	3211~3215		
		三川町2丁目	6076		
銀 行	大 牟 田 支 店	旭町1丁目2	4211~4213		米 次 宏 郎
		三池新町44	3696		
		築町	3311~3213		
		築町39	4241		
本 州 崎	大 牟 田 支 店	西有明町20	3371~3374		政 定 友
		不知火町1丁目	3058		
		大高町	3153		
		築町	2258		
熊 九 長	本 州 崎	大正町2丁目21	3643		七 猛

(6) 銀行 (続き)

昭和28年5月1日

(順不同)

名 称	所 在 地	電話番号	役 職 名	氏 名
正金後大牟田信用金庫	大牟田市旭町3丁目26 " 本町2丁目44 " 有明町45	4246~4247 2702 3305~3306	支店長 " 理事	染井晴登 石坂哲 石橋興 雄一郎

(7) 新聞社

昭和28年5月1日

(順不同)

名 称	所 在 地	電 話	代 表 者	
			役 職 名	氏 名
毎日新聞社大牟田支局	大 高 町	2 8 1 0	支 局 長	今 宮 城 崎 佳 男 杉 崎 本 政 之 西 溝 東 香 郎 西 東 五 末 春
西日本新聞社	"	3 3 1 5	"	"
朝日新聞社	"	2 9 6 9	"	"
夕刊フクニチ新聞社	曙 町	2 5 0 5	"	"
熊本日日新聞社	新 地 町	2 2 7 5	"	"
大牟田日日新聞社	"	2 3 8 3	社 長	伊 藤 藤 英 治 郎 金 沢 茂 茂
大牟田毎日新聞社	小 浜 町 2 5	2 0 8 0	"	"
筑後日日新聞社大牟田支局	小 東 新 町	—	"	"
やよひ新聞社	松 浦 町	4 4 3 5	"	坂 田 武 一 末 安 健 次
社会公論新聞社	本 町 5 丁 目	—	"	"

(8) 主要事業所

昭和28年5月1日

名 称	所 在 地	電 話	代 表 者	
			役 職 名	氏 名
三井鉱山株式会社三池鉱業所	原 山 町 170	3 2 3 1	所 長	川 上 龜 郎 森 賀 二 夫 平 賀 秀 一 森 和 榮 渡 辺 和 氣
" 三池製作所	旭 町 2 丁 目 33	2 1 5 8	"	"
" 三池港務所	新 港 町 1	6 2 8 5	"	"
三井化学工業株式会社三池染料工業所	浅 牟 田 町	3 2 6 1	"	"
東洋高压工業株式会社大牟田工業所	三 坑 町 8	3281~5	"	"
電気化学工業株式会社大牟田工場	新 開 町 1	2 0 5 5	工 場 長	高 橋 三 郎 武 藤 文 圃 中 藤 三 重 後 藤 隆
三井金属鉱業株式会社三池製煉所	浅 牟 田 町 3~1	2 2 1 4	工 所 長	"
三池合成工業株式会社大牟田工場	西 米 生 2230	3 2 8 6	工 場 長	"
九州電力株式会社港発電所	新 港 町 1	3 4 1 4	工 所 長	"

(9) 会社 (主要事業所別掲)

株 式 会 社 昭和28年3月31日 (いろは順)

名 称	所 在 地	資本金は 又出資金	設 立 年 月 日	營 業 種 目	代表者氏名	電 話	従 業 員 数		
							男	女	計
伊藤工業株式会社	草 木 366	6,000,000	昭 23. 12. 24	精製用砥石製造	伊藤英治郎	3531 2755	23	15	38
今村食品工業株式会社	三 川 町 5 丁 目 15	1,600,000	22. 8	漬物佃煮製造卸業	今村 要	6054 6330	15	10	25
日興動力工業株式会社	正 山 町 5 0	600,000	26. 4. 2	建 設 業	小林 義雄	3587	103	7	110
日本タイレート株式会社	不知火町3丁目145	190,000	22 3. 18	セメント瓦製造賣	宮本 春生	—	12	3	15
筑後地方青果株式会社	京 町 4 3	2,600,000	23. 7. 27	青 果 市 場	小柳政一	2386 2502 3926	21	4	25
筑邦銀行大牟田支店	築 町	100,000,000	27. 12. 20	銀 行 業	井形政太郎	4081	10	3	13
株式会社緒方組	諏訪町1丁目184	500,000	24. 11. 1	土 木 建 築 請 負 業	緒方吉太郎	2623	42	8	50
和興産業株式会社	東新町4丁目	1,000,000	24. 7. 1	鋼 染 油 製 造 業	橋本 七藏	2053	6	—	6
甲斐田益三商店	本 町 6 丁 目 40	2,000,000	23. 7. 21	金 属 回 收 業	甲斐田 十一郎	3195	9	6	15

(9) 会 社 (続) (主要事業所別掲)

株 式 会 社 昭 和 2 8 年 3 月 3 1 日 (いろは順)

名 称	所 在 地	資 本 金 又 出 資 金	設 立 年 月 日	営 業 種 目	代 表 者 氏 名	電 話	従 業 員 数		
							男	女	計
大和冷凍興業株式会社	柿園町2丁目36	500,000	大正14.7.6	製氷冷凍冷蔵 物品販賣業	鶴 惣一	3381 3382	18	1	19
大福商事株式会社	有明町26	300,000	昭21.12	物品販賣業	友清 健兒	4008 2008	25	8	33
株式会社 だいふく	"	500,000	27.3.24	食料品工業	"	4010	16	13	29
株式会社 竹中工務店	不知火町1丁目	...	12.9	建 築 業	大牟田出張 所長新野京次郎	2764	55	14	69
大一産業株式会社	汐屋町60	400,000	24.12	製氷冷凍土建請 負セメント瓦建 具家具製造販賣	藤吉 春雪	2995	24	17	41
大陽商事株式会社	諏訪2丁目	500,000	25.7.1	砂利砂採取販賣業	難波 静一	6045 4514	4	1	5
株式会社 長崎相互銀行 大牟田支店	大正町2丁目21	...	25.6.1	金 融 業	山村 猛夫	3643	17	5	22
株式会社 永山工務店	大字白川73	195,000	22.10.1	土建請負石材採取	永山 虎吉	3068	18	11	29
内外食糧株式会社	上官町4丁目1	1,500,000	26.6.1	製麵製パン業	中原恒太郎	2240	8	6	14
大牟田瓦斯株式会社	大正町2丁目24	13,384,000	大正7.2.18	瓦斯供給販賣	小川 力平	2166	22	2	24
大牟田運送株式会社	下知火町1丁目	1,500,000	昭2.10.5	通 運 業	陣内 武八	2002	127	8	135
大牟田鹿田 タクシー株式会社	不知火町1丁目	2,999,000	13.11.26	旅 客 運 輸 業	二又駒四郎	2349	41	10	51
大牟田食品化学 工業株式会社	日の出町2丁目	1,400,000	25.7.11	固型人工甘味剤	加納 福美	2789	5	48	53
株式会社 草野組	西有明町	1,000,000	23.10.11	土木建築請負業	草野 進	3384	10	3	13
株式会社 熊本相互銀行 大牟田支店	大高町9	70,000,000	23.10	相 互 銀 行 業	田原 饒	3153	13	2	15
株式会社九州相互銀行	築 町 2 3	200,000,000	15.8.1	相 互 銀 行 業	中島 七郎	2258	10	8	18
山恵産業株式会社	大字田隈	195,000	24.9.26	製 材 業	松尾 繁雄	2916	10	—	10
株式会社 松 屋	本 町 1 丁 目 24	500,000	11.9.25	百 貨 店 業	宮村 勝夫	3271	92	150	242
株式会社 正金相互銀行	旭 町 3 丁 目 26	80,000,000	26.6.4	金 融 業	染井 晴登	4246	13	10	23
株式会社 山口鉄工所	大字草木139	1,500,000	24.2.26	鉄 工 業	山口 末松	3413 4078	85	4	89
昌栄林業株式会社	明治町3丁目39	1,000,000	25.5.20	坑木生産及販賣	中村 辰藏	3838	9	1	10
株式会社 福岡銀行 大牟田支店	不知火町1丁目82	550,000,000	20.4.1	金 融 業	筒井潤一郎	3211	36	14	50
" 三川支店	三川町2丁目1	550,000,000	20.4.1	"	小柳 敏夫	6076	9	5	14
株式会社 福岡相互銀行 大牟田支店	不知火町一丁目	130,000,000	大正13.6	銀 行 業	山口 友雄	3058	16	4	20
株式会社 遠藤本店	旭 町 2 丁 目 2	150,000	昭25.11.20	衣 料 品 小 賣 業	遠藤茂太郎	3162 3255	7	20	27
円仏産業株式会社	不知火町1丁目	100,000	8.7.25	製材業並坑木製 産 販 賣 業	円仏 琢美	~ 3257	45	—	45
株式会社 帝国銀行 大牟田支店	旭 町 1 丁 目 2	200,000,000	23.10	銀 行 業	酒匂 景一	3204	40	22	62
旭産業株式会社	有明町1の2	50,000,000	大正10.2.1	機 械 工 具 販 賣 業	中河原敬祥	2497	9	4	13
京町自動車工業株式会社	京 町 3 3	800,000	昭21.4	各種自動車建設機 械デイズルエンジン 修理業	前原 武雄	2936	43	1	44
協和銀行大牟田支店	築 町 2 5	200,000,000	20.5.15	普 通 銀 行 業 務	中村 栄次	3311	10	35	45
三池林産株式会社	一の浦町12	1,000,000	26.2.28	製 箱	黒田 房吉	2532	10	1	11
三池海運株式会社	中友町12	1,200,000	24.10.1	海 運 業	田中 時政	3325	8	1	9
株式会社 水口組	本 町 6 丁 目 76	450,000	19.5.4	建 設 業	水口 直市	2152	110	10	120
肥筑石炭株式会社	大高町23	2,500,000	24.8.17	燃料及機械器具 販 賣 業	中河原敬祥	3331	35	11	46
株式会社 肥後銀行 大牟田支店	築 町 3 9	15,000,000	26.10.1	金 融 業	村山 宏	4241	13	5	18
株式会社 東鉄工所	住吉町8	500,000	25.4.1	鉄 工 業	遠藤 正造	2743	10	1	11
株式会社 肥後相互銀行 大牟田支店	本 町 2 丁 目 44	...	24.1.14	貸 付 預 金 業 務	石坂 哲雄	3635	17	5	22
株式会社 瀬 口 組	大 字 草 木	150,000	26.6.4	土木建築業製材業	瀬口 作松	2527	45	5	50

合 資 会 社 昭 和 2 8 年 3 月 3 1 日 (いろは順)

名 称	所 在 地	資 本 金 又 出 資 金	設 年 立 月 日	營 業 種 目	代 表 者 氏 名	電 話	従 業 者 数		
							男	女	計
合資会社 大牟田製材所	本 町 6 丁 目	167,000	昭 20.12.27	製 材 業	水口 和市	2152	6	1	7
合資会社 田村旅館	有 明 町 2 7	420,000	23. 5.29	旅 館	田村 あさ	3575	1	3	4
合資会社 中原金物店	本 町 1 丁 目 3	800,000	25. 3. 1	金 物 販 賣 業	中原 平吾	2252	8	3	11
村上印刷合資会社	東 新 町 2 丁 目	500,000	23. 1.13	印 刷 業	村上 峰	3474	—	8	8
三池通運合資会社	大 字 草 木	1,000,000	22. 9. 1	通 運 事 業	金子 一喜	3497	15	2	17
合名会社 石蔵屋呉服店	築 町 1 3	500,000	24. 2.15	衣 料 品 販 賣	城崎 清助	2056	7	5	12
合名会社 紅しげパン工場	白 金 町 216	230,000	23.11. 8	食 料 品 製 造 業	古賀 繁	2480	11	3	14
だるまわた合名会社	明 治 町 1 丁 目 38	10,000,000	8. 4.15	製 綿 業	大賀 茂吉	4256	17	53	70
正木工業合名会社	花 園 町 9	500,000	25. 1. 4	工 事 設 計 施 工 業 機 械 器 具 販 賣 業	正木 寿	2092	21	1	22
合名会社 マルナガ醤油	諏 訪 町 2 丁 目	500,000	11. 3. 1	味 噌 醬 油 製 造 業 販 賣 業	久原 藤次郎	6113	10	16	26
合名会社 興陽電気工業社	上 官 町 1 丁 目 59 の 1	350,000	23.10. 1	電 気 工 事 請 負	畑中 文雄	3110	5	—	5
合名会社 執行商店	南 浜 田 町	1,500,000	12. 1.10	石 炭 コークス 木 炭 販 賣 煉 炭 豆 炭 製 造	執行 種文	3387	84	49	133
合名会社 樋口商店	本 町 1 丁 目 17	900,000	22. 2.18	紙 製 品 卸 業	樋口 寿之	2721	6	3	9
合名会社 善徳丸商店	本 町 6 丁 目 68	1,000,000	26. 5.26	セメント 並 建 築 材 料	森崎 善喜	2595	8	4	12
スズヤ合名会社	有 明 町 7	500,000	11. 1. 6	和 洋 楽 器 蓄 音 器 ラヂオレコード	古賀 基樹	3127	2	2	4

有 限 会 社 昭 和 2 8 年 3 月 3 1 日

名 称	所 在 地	資 本 金 又 出 資 金	設 年 立 月 日	營 業 種 目	代 表 者 氏 名	電 話	従 業 員 数		
							男	女	計
有限会社 西山鉄工所	白 金 町 5 6	300,000	昭 24. 9. 1	鋳 山 機 械 製 作	西山 悟	2318	13	1	14
〃 西川組	本 町 6 丁 目	1,500,000	23. 2.21	土 木 建 築 業	西川 良雄	3567	39	4	43
〃 西田木材店	本 町 6 丁 目 81	500,000	24. 7. 4	木 材 販 賣 製 材 業	西田 渡	3152	7	1	8
〃 日新建設工業所	東 新 町 4 丁 目	500,000	23.11.17	土 木 建 築 業	泉 豊	2582	65	21	86
〃 鷹島屋呉服店	魚 町	140,000	25. 9.12	衣 料 品 小 賣	古賀 末松	2877	2	7	9
中尾自動車工業有限会社	一 の 浦 町 9	400,000	23. 7.30	自 動 車 修 理 鉄 工 業	中尾 鉄夫	2726	16	2	18
有限会社 中島物産商社	有 明 町 3 3	320,000	22. 4. 1	物 品 販 賣 業	中島 亀次	3335	7	2	9
大牟田鉄屑有限会社	不 知 火 町 2 丁 目	1,250,000	22.12.12	古 鋼 鉄 並 に 古 機 械 類 販 買	海崎 五郎	2564	45	7	52
有限会社 松本良一商店	宮 山 町 5 7	550,000	26. 2.23	金 屬 回 收 並 販 賣	松本 良一	2047	5	4	9
〃 松延商店	中 島 町 2 3	700,000	22.11. 1	木 材 販 賣 業	松延 栄	3065	3	1	4
〃 鳳来軒	本 町 1 丁 目	600,000	26. 3.27	製 パ ン 工 業	金森 寅男	2263	14	13	27
〃 小柳蒲団店	三 川 町 5 丁 目	300,000	24.10.16	寝 具 製 造 販 賣 業	小柳 泰助	6234	5	3	8
〃 江口薬局	築 町 1 6	500,000	23. 1.12	医 薬 品 卸 小 賣	江口 健策	2850	13	5	18
大牟田窯業所	甘 木 2 2 8	223,000	14.10.14	陶 器 製 造 販 賣	円仏 末吉	—	11	10	21

(10) 團 体

大 牟 田 市 消 防 團 昭 和 2 8 年 5 月 1 日

区	分	職 名	氏 名	住 所	電 話
本	部	團 長	宮 崎 利 貞	大 字 久 福 木 26	3797取次
		副 團 長	黒 濱 4 丁	字 濱 4 丁	3594
		本 部	大 黒 濱 4 丁	字 濱 4 丁	2018
		分 團	大 黒 濱 4 丁	字 濱 4 丁	2015
		分 團	大 黒 濱 4 丁	字 濱 4 丁	2502
		分 團	大 黒 濱 4 丁	字 濱 4 丁	2788
		分 團	大 黒 濱 4 丁	字 濱 4 丁	2035
		分 團	大 黒 濱 4 丁	字 濱 4 丁	2804
		分 團	大 黒 濱 4 丁	字 濱 4 丁	3433
		分 團	大 黒 濱 4 丁	字 濱 4 丁	2502
白 笹 明 中 上	川 林 治 友 官	分 團	分 團	分 團	分 團
平 不 大 三 川	原 火 正 川 尻	分 團	分 團	分 團	分 團
三 銀 三 上 倉	里 水 池 内 永	分 團	分 團	分 團	分 團
手 駛 駿 玉	鎌 南 北 川	分 團	分 團	分 團	分 團
	馬 馬	分 團	分 團	分 團	分 團

政 黨 協 會 團 体

昭 和 2 8 年 5 月 1 日

名 称	所 在 地	代 表 者
全 日 本 海 員 組 合 大 牟 田 支 部	三 大 川 町 5 丁 目 291	德 伊 植 中 山
日 本 農 民 組 合 大 牟 田 支 部	川 字 黒 濱 4 丁 目 1006	安 藤 田 村 本
日 本 農 民 組 合 大 牟 田 支 部	大 牟 田 支 部	市 芳 一 善 昭
日 本 農 民 組 合 大 牟 田 支 部	大 牟 田 支 部	平 郎 二 郎 二
日 本 農 民 組 合 大 牟 田 支 部	大 牟 田 支 部	盛 郎 嘉 吾 藏
日 本 農 民 組 合 大 牟 田 支 部	大 牟 田 支 部	德 市 治 半 森
日 本 農 民 組 合 大 牟 田 支 部	大 牟 田 支 部	宮 谷 上 倉
日 本 農 民 組 合 大 牟 田 支 部	大 牟 田 支 部	鄭 小 細 井 小
日 本 農 民 組 合 大 牟 田 支 部	大 牟 田 支 部	中 數 宮 田 田
日 本 農 民 組 合 大 牟 田 支 部	大 牟 田 支 部	田 大 小 山 森
日 本 農 民 組 合 大 牟 田 支 部	大 牟 田 支 部	脩 市 守 收
日 本 農 民 組 合 大 牟 田 支 部	大 牟 田 支 部	二 重 郎 人 藏

団 体

名 称	所 在 地	電 話	代 表 者	
			役 職 名	氏 名
商 工 會 議 所	大 牟 田 市 有 明 町	3 2 5 1	頭 頭 小 江 古 梅 川	平 平 一 郎
			副 會 務 專 理	力 栄 龜
			專 理	川 上 賀 野 上
			專 理	森 井 原 梶 金
			專 理	上 賀 原 森
			專 理	義 健 隼 寅
			專 理	栄 巧 吉 太 男

團 体 (統)

名 称	所 在 地	電 話	代 表 者	
			職名	氏 名
大 牟 田 市 婦 人 会	大 牟 田 市 教 育 課 内		理 事	栄 曉 一 藏 郎
銀 水 農 業 協 同 組 合	大 字 田 限 768	3 5 0 1	監 事	次 伸 文 修 勇
上 内 唐 三 駛 玉	岩 本 唐 三 西 櫟		會 長	一 藏 治 之 藏
大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	右 京 町 2 丁 目	3 5 8 5	會 副 長	繁 キ 子 枝 夫
大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	早 米 来 町 2 丁 目 91		會 副 長	智 ュ 三 靜 繁
大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	本 患 比 須 火 知 町 1 5 の 2 9	2 7 7 6		次 一 昭 藏 吉
大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	旭 京 町 3 丁 目 26	4 1 6 8		一 吉 吉 助 松
大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	中 有 友 明 町 4 8	3 8 1 6		五 郎 吉 助 松
大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	不 知 火 町 3 丁 目	3 6 3 8		初 惠 彌 竹 養
大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	2 0 9 7		一 次 一 吉 吉 郎
大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	2 3 4 0		廣 村 廣
大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	2 3 4 8		巖 平 治 田 治
大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	3 5 6 9		郎 市 亮 三 造
大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	6 1 8 4		計 郎 慈 三 郎
大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	6 1 8 4		一 茂 太
大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	3 4 9 5		吉 治 祥 太 泉
大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	3 5 2 1		之 男 郎 雄 助
大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	4 0 2 9		円 一 泉
大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	3 9 2 4		
大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	2 9 0 7		
大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	2 7 3 9		
大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	3 7 6 3		
大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	2 9 3 3		
大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	6 0 6 9		
大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	4 5 9 6		
大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	2 6 7 6		
大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	一		
大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	2 9 3 3		
大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	2 2 5 5		
大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	2 1 0 8		
大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	3 7 8 8		
大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	3 7 6 3		
大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	2 1 9 2		
大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	6 3 3 9		
大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	2 6 3 6		
大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	2 6 4 9		
大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	大 牟 田 畜 産 業 協 同 組 合	2 8 9 1		

団 体 (統)

名 称	所 在 地	電 話	代 表 者		
			役職名	氏 名	名
大牟田製綿工業組合 ●建築左官材料組合 福岡縣家具工業協同組合 大牟田	大正町1丁目59番3 島町4丁目2番3 新町2丁目2番0	2161 3509 3028 3570 2422	組合長	河西藤外坂	藏次雄熊記
和表看紙	柿園町2丁目2番1 大木三川	2957 一一一 2042	〃	田青龍小深	司茂藏次吉
小間物化粧品商業組合 大地田地区工業組合 大地田時計商組 大地田	上旭町1丁目10番7 西東有米新町1丁目1番	2433 2990取次 3924 3127	〃	原松吉田古	吉之都三樹
写真師協會大牟田支部 福岡縣移民生業品組合 大地田	築山東栄上の町1丁目1番 濱燃町2丁目13番9 正町2丁目1番	2873 3034 一一一 2730 3433 2728 3861取次 2507	〃	田渡佐古田	續枝平吉一
印刷祭連合師會 日理美容連盟	小常大正町3里	2507	〃	西吉山三若	郎実郎枝
旅館業組合 大地田浴質興遊	有治川町1丁目1番2 明三丁目7番	2960 一一一 6068 3301 2967	〃	高井梶林山	雄夫太一郎
南部遊技場組 三川川特殊料理店	三白本三姫川町3丁目4番4 金町4丁目8番9 川町4丁目1番6	3688 2664取次 6391 6123	〃	益小佐小西	二光郎穂治
商店街連合會 大地田川島	明川町1丁目5番1 有三港曙亀甲町6番4	3251 6234 一一一 2057 3733 2174	〃	梅小大坂牧中	一二市登明一

商 店 街 昭和28年5月1日

名 称	所 在 地	電 話	代 表 者		
			役職名	氏 名	名
通東多旭栄 町新び町	通東旭栄町1丁目1番3 2番2 1番	4055 4168 3758	組合長	木前石林東	繁一男直造
築銀新あかさ	町座商店街商店 通商店協同組合	3059 2121 2253 2378 3690	〃	重龍田江小	男己松一高
新大地私山	大西三町正浜川町1丁目1番2 2丁目4番5	3584 3779 3594 6061取次 6023	〃	松国黒島東	則品潔郎男
通東多旭栄	町新び町	4055	〃	下田橋	彦金正作
築銀新あかさ	町座商店街商店	3059	〃	富中崎宮	庸辰俊春光
新大地私山	大西三町	3584	〃	尾方田山	重 繁 三

勞 働 組 合 昭 和 2 8 年 5 月 1 日

組 合 名	所 在 地	代 表 者 氏 名	設 立 年 月 日
三池炭 鈦 勞 働 組 合	大牟田市不知火町2丁目76	宮村 川 陸 男	21. 2
三池炭 鈦 職 大 牟 田 支 部	大牟田 坂 町 2 丁 目 86	村松 原 本 正 博	21. 3
三池炭 鈦 高 圧 勞 働 組 合	大牟田 開 坑 町 1 8	小椋 岸 雪 哲 義 松 也	26. 9
三池炭 鈦 現 務 員 高 勞 會	大牟田 田 町 3 0	坂 植 梨 田 溜	22. 6
電氣化學工業(株)大牟田工場 勞 働 組 合	西 浜 田 町 3 0	細 谷 川 崎 二 嘉 久 博	26. 8
三池炭 鈦 現 務 員 高 勞 會	南 浜 田 町 2 8	小 黒 崎 久 博	23. 5
執行商店 勞 働 組 合	南 浜 田 町 2 8	小 黒 崎 久 博	22. 12
三池合 成 所 勞 働 組 合	西 米 生 2. 230	管 中 原 村 房	22. 9
三池製 煉 所 勞 働 組 合	西 米 生 町 3 ~ 1	中 高 原 村 森 司	27. 10
三池製 煉 所 勞 働 組 合	西 米 生 町 2 ~ 3 3	中 高 原 村 森 司	23. 9
三池製 煉 所 勞 働 組 合	西 米 生 町 2 ~ 3 3	中 高 原 村 森 司	25. 5
三池製 煉 所 勞 働 組 合	西 米 生 町 2 ~ 3 3	中 高 原 村 森 司	22. 7
三池製 煉 所 勞 働 組 合	西 米 生 町 2 ~ 3 3	中 高 原 村 森 司	22. 6
三池製 煉 所 勞 働 組 合	西 米 生 町 2 ~ 3 3	中 高 原 村 森 司	24. 12
三池製 煉 所 勞 働 組 合	西 米 生 町 2 ~ 3 3	中 高 原 村 森 司	23. 12
三池製 煉 所 勞 働 組 合	西 米 生 町 2 ~ 3 3	中 高 原 村 森 司	25. 11
三池製 煉 所 勞 働 組 合	西 米 生 町 2 ~ 3 3	中 高 原 村 森 司	24. 2
三池製 煉 所 勞 働 組 合	西 米 生 町 2 ~ 3 3	中 高 原 村 森 司	24. 1
三池製 煉 所 勞 働 組 合	西 米 生 町 2 ~ 3 3	中 高 原 村 森 司	22. 5
三池製 煉 所 勞 働 組 合	西 米 生 町 2 ~ 3 3	中 高 原 村 森 司	21. 3
三池製 煉 所 勞 働 組 合	西 米 生 町 2 ~ 3 3	中 高 原 村 森 司	22. 5
三池製 煉 所 勞 働 組 合	西 米 生 町 2 ~ 3 3	中 高 原 村 森 司	25. 8
三池製 煉 所 勞 働 組 合	西 米 生 町 2 ~ 3 3	中 高 原 村 森 司	25. 7
三池製 煉 所 勞 働 組 合	西 米 生 町 2 ~ 3 3	中 高 原 村 森 司	24. 8
三池製 煉 所 勞 働 組 合	西 米 生 町 2 ~ 3 3	中 高 原 村 森 司	24. 4
三池製 煉 所 勞 働 組 合	西 米 生 町 2 ~ 3 3	中 高 原 村 森 司	25. 6
三池製 煉 所 勞 働 組 合	西 米 生 町 2 ~ 3 3	中 高 原 村 森 司	24. 1
三池製 煉 所 勞 働 組 合	西 米 生 町 2 ~ 3 3	中 高 原 村 森 司	21. 8
三池製 煉 所 勞 働 組 合	西 米 生 町 2 ~ 3 3	中 高 原 村 森 司	21. 8
三池製 煉 所 勞 働 組 合	西 米 生 町 2 ~ 3 3	中 高 原 村 森 司	27. 5
三池製 煉 所 勞 働 組 合	西 米 生 町 2 ~ 3 3	中 高 原 村 森 司	27. 5
三池製 煉 所 勞 働 組 合	西 米 生 町 2 ~ 3 3	中 高 原 村 森 司	27. 5
三池製 煉 所 勞 働 組 合	西 米 生 町 2 ~ 3 3	中 高 原 村 森 司	21. 4
三池製 煉 所 勞 働 組 合	西 米 生 町 2 ~ 3 3	中 高 原 村 森 司	23. 11
三池製 煉 所 勞 働 組 合	西 米 生 町 2 ~ 3 3	中 高 原 村 森 司	22. 9
三池製 煉 所 勞 働 組 合	西 米 生 町 2 ~ 3 3	中 高 原 村 森 司	22. 9
三池製 煉 所 勞 働 組 合	西 米 生 町 2 ~ 3 3	中 高 原 村 森 司	21. 6
三池製 煉 所 勞 働 組 合	西 米 生 町 2 ~ 3 3	中 高 原 村 森 司	25. 11
三池製 煉 所 勞 働 組 合	西 米 生 町 2 ~ 3 3	中 高 原 村 森 司	26. 4
三池製 煉 所 勞 働 組 合	西 米 生 町 2 ~ 3 3	中 高 原 村 森 司	27. 11
三池製 煉 所 勞 働 組 合	西 米 生 町 2 ~ 3 3	中 高 原 村 森 司	26. 4
三池製 煉 所 勞 働 組 合	西 米 生 町 2 ~ 3 3	中 高 原 村 森 司	27. 2
三池製 煉 所 勞 働 組 合	西 米 生 町 2 ~ 3 3	中 高 原 村 森 司	25. 9
三池製 煉 所 勞 働 組 合	西 米 生 町 2 ~ 3 3	中 高 原 村 森 司	25. 12
三池製 煉 所 勞 働 組 合	西 米 生 町 2 ~ 3 3	中 高 原 村 森 司	22. 2
三池製 煉 所 勞 働 組 合	西 米 生 町 2 ~ 3 3	中 高 原 村 森 司	26. 4
三池製 煉 所 勞 働 組 合	西 米 生 町 2 ~ 3 3	中 高 原 村 森 司	27. 11

水 害 特 報

附 録 2

昭和27年市政日誌

1	1	新年祝賀式
1	5	市内電車運行休止
	1 6	機構改革に伴う人事異動発表
	2 3	赤司総務部長着任
2	2	大牟田市営久留米競輪 2日 3日 4日 8日 9日 10日
	2 8	臨時市議会 29日まで延期
3	1	三池初市 3日まで
	2	労働者総躍起大会 笹林公園
	6	市町村戸籍寄留事務協議会 7日まで
	1 4	三市収入役会議
	1 7	定例市議会 30日まで
	2 1	日米文化協會落成式
	3 1	玉川診療所開所式 (国保直営)
4	5	市職員永年勤続者表彰
	2 7	ミス大牟田選抜
5	1	第23回メーデー大会
	3	市制35周年記念式典
	3	市制35周年記念祭 6日まで
	1 3	県下12市監査委員会
6	2	定例市議会
	8	第五回九州都市対抗陸上競技大会 記念グラウンド
7	1 4	農業委員会委員会繰上補充選挙
	2 7	大牟田市営八幡競馬 27日 28日 29日 8月 3日 4日5日の6日間
8	2	有明海區漁業調整事務局開庁式
	7	大牟田市立図書館竣工式
	1 3	漁業調整委員会委員選挙
	2 8	オリンピック選手招聘 レスリング九州大会延命レスリング場
9	7	市民体育大会 レクリエーション大会 記念グラウンド
	1 8	縣民総躍起大会
	1 8	定例市議会
1 0	1	衆議院議員選挙最高裁判官国民審査投票
	5	縣市教育委員会委員選挙
	1 6	労働会館落成式
	1 7	炭労無期限スト始まる
	1 9	第一回戦死者合同慰霊祭
	2 8	臨時市議会
	2 9	教育委員会第一回会議
	3 0	炭労ストに関する労働者総躍起大会
1 1	1	教育委員会事務局開廳式 水道局設置
	4	臨時市議会
	1 0	立太子の礼 午後休務
	1 7	大牟田市警察署留置場落成式
1 2	1	五月橋渡初式
	5	市係長支所分所主任に対する監督者研修会
	6	英国塩船三池港入港
	1 2	大牟田市営久留米競輪 12日 13日 14日 19日 20日 21日の6日間
	1 7	炭労スト中止 63日目
	2 3	定例市議会
	2 7	御用納式

3 水 害 特 報

昭和28年5月下旬より降り出した梅雨は6月5日及6日の雨日には大雨となり県下に少なからぬ被害を與えたのであるが、特に6月25日から29日まで降り続いた雨は62年振りの大豪雨となり、本県においては遠賀川、筑後川、矢部川等の大河川を始めすべての河川は氾濫し隨所に堤防は決壊、低地は殆んど水面と化し、道路の決壊家屋、田畑の流失浸水等各地に甚大なる損害を與え交通通信はまひ状態に陥り憂慮すべき状態を現出した。

本市においても災害を予想万全の準備を講じていたので幸い大事に至らずこの豪雨を守り通しえた次第である。次に本市の被害状況並びに6月及び7月の降雨量を掲げ今後の防水対策の幾分にでも役立てば幸いである。

(一) 雨 量 昭和28年6月降雨量調 (m.m.) (三池港務所調)

月 日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
降雨量	1.2	8.7	0.0	25.4	110.9	83.5	16.3	0.0	0.4	0.7	1.2	0.0	0.0	10.7	0.0
16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	平均
0.0	14.0	7.6	54.5	4.9	6.6	3.8	0.0	11.7	229.3	34.0	34.5	85.6	3.5	0.0	24.9

昭和28年7月降雨量調 (m.m.)

月 日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	
降雨量	0.0	1.9	0.0	0.0	0.0	0.6	0.7	27.2	97.2	3.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.4	
16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	平均
63.0	48.8	23.0	6.5	3.2	8.6	12.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4.8	35.6	0.0	10.8

(一) 民 生 関 係 (市農林課調査)

人 的 被 害			住 宅 被 害				
死者	軽傷	計	全壊	半壊	床上浸水	床下浸水	計
人	人	人	戸	人			
1	6	7	7 31	8 49	144 637	1,719 6,360	1,878 7,077

非住宅(工場、倉庫、物置、小屋)含まず

(二) 土 木 関 係

区 分	箇 所	被 害 見 込 額	摘 要
道橋河崖学	路梁	62	内32ヶ所路側欠所、26ヶ所冠水に依る路面流失 橋体及橋台の被害 護岸欠所の被害 旧防空壕跡崩壊4ヶ所其他 甘木中学校外七ヶ所
	崩	8	
	壊	56	
	校	20	
下公都	水	23	土砂流入、埋没延6.2軒 甘木公園鳥塚公園 排水路浸漬10件路面流失9件 崩土取除2件、側溝6件
	園	2	
	復興	27	
計	206	55,972,000	

(三) 耕 地 関 係

区 分	箇 所	被 害 見 込 額	摘 要
溜用農	池路道	21	大字岩本字長浦外20ヶ所 水路護岸、欠所、片平町外延長1,607米 農道欠所は白銀字耳高延長1,697米
		1,607米	
		1,697米	
農井	道橋	3	
		15	
計	—	8,650,000	

(四) 山林関係

区分	箇所	被害見込額	摘要
治林	山道	10,000 150,000	崖崩れ大字四箇字湯谷外6ヶ所 林道法面崩壊
計	7 88米	160,000	

(五) 農産関係

区分	面積	被害見込額	摘要
裸小麦	427.3	28,804,000	75%減収
菜類	516.7	13,869,000	35% "
馬鈴薯	66.0	1,657,000	58% "
鈴薯	95.0	4,560,000	40% "
蔬菜類	252.0	10,242,800	27% "
果樹類	60.0	3,198,000	23% "
蔬菜採	8.0	589,800	
小計	1,425.0	62,920,600	
冠浸流	270.0	2,700,000	被害作物は苗代、蔬菜、果樹 開拓地
失埋	1,100.0	10,000,000	
小計	30.0	340,000	
小計	1,373.0	13,040,000	
合計	2,798.0	75,960,600	

(六) 水産関係

区分	数量	被害見込額	摘要
漁具	2 12万坪	100,000 6,000,000	沈没一隻 中破一隻 赤貝、あさり養殖場埋没
計		6,100,000	

(七) 工業関係

区分	被害見込額	摘要
第一次金属製造	582,000	停電による減産 建物破損 機械浸水
化学工業	100,000	
機械製造業	30,000	
輸送用機械修理	60,000	浸水による部品手入費 " 原材料及製品
紙及類似品製造	31,000	
計	803,000	

(八) 商業関係

区分	被害見込額	摘要
食料品	33,000	店舗浸水
雑貨	113,000	
建築資材	245,000	倉庫浸水
家量	130,000	"
その	27,000	店舗浸水
製の	55,000	"
具品他		
計	603,000	

あ　と　が　き

従來の統計年鑑の内容が極めて計数的に表現してあつたので、28年版はこれにでき得るだけ概況の説明を附し、その内容把握に力をそそぎ、又直感的にわかりやすくするため統計図表、寫眞など挿入すべき予定であつたが、それも希望通り行かず結局でき上つたものは平凡なもので外姿、内容ともになお不十分な点が多いと思われるが、本書が聊かでも本市の市政に関係ある人々並びに本市を知ろうとする人々にとって参考として役立てば幸である。

(昭和28年版)

大牟田市統計年鑑

(非賣品)

昭和28年11月25日印刷

昭和28年12月1日発行

編集

大牟田市有明町36番地

大牟田市役所総務部庶務課

発行

大牟田市有明町36番地

大牟田市役所

印刷

大牟田市三川町一丁目

福山印刷株式会社

